

Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 PDF ファイル出力モデル

取扱説明書

目次

第 1 章	概要	25
1.1	装置概要	25
1.2	各部の名称	26
1.2.1	前面	26
1.2.2	背面	28
1.3	接続構成例	31
第 2 章	PDF ファイル出力モデルの機能	32
2.1	PDF ファイル出力機能	32
2.2	描画設定機能	34
2.2.1	描画位置設定機能	34
2.2.2	印字欠落チェック機能	35
2.2.3	トリミング機能	37
2.2.4	各機能の処理順についての注意	38
2.3	仕分け機能	39
2.3.1	フォルダーによる仕分け	39
2.3.2	ファイル名による仕分け	39
2.4	プレプリント重畳機能	40
第 3 章	導入手順	41
3.1	運用検討と準備	41
3.2	ファイルサーバーの構築	41
3.3	フォルダーと認証ファイルの作成	42
3.4	運用管理端末の準備	43
3.5	送信先フォルダーの登録	43
3.6	プレプリントデータの登録	43
3.7	用紙情報の作成	44
3.8	その他の設定	44
3.9	運用確認	45
3.10	バックアップ	47

第 4 章	運用方法	48
4.1	設定項目	48
4.2	運用の手順	49
4.2.1	電源 ON	49
4.2.2	電源 OFF	50
4.2.3	富士通メインフレームからの印刷実行	51
4.2.4	運用時の注意事項	51
第 5 章	Web-UI の概要	52
5.1	動作環境	52
5.2	Web-UI の操作画面	52
5.3	ログイン	53
5.3.1	アクセス手順	53
5.3.2	ユーザーモードと権限	54
5.3.3	ユーザーモードのパスワード	54
5.4	Web-UI の画面構成	55
5.5	注意事項	56
第 6 章	Web-UI 操作（メインパネル）	57
6.1	状態コード表示エリア	57
6.2	装置状態表示エリア①	58
6.3	装置状態表示エリア②	59
6.4	メッセージエリア	60
6.5	インフォメーション通知エリア	62
6.6	装置情報表示エリア	64
6.7	チャネル情報表示エリア	65
6.8	データランプ表示エリア	66
6.9	装置操作ボタンエリア	67
6.10	「ログアウト」ボタンエリア	72
第 7 章	Web-UI 操作（メニューパネル／コンテンツパネル）	73
7.1	一般ユーザーモードメニュー	80
7.1.1	PDF ファイル情報表示	82
7.1.2	設定値一覧表示	83
7.1.3	用紙情報設定	86
7.1.4	描画設定（PDF ページサイズ）	90
7.1.5	描画設定（描画位置）	93

7.1.6	描画設定（印字欠落チェック）	96
7.1.7	描画設定（トリミング）	102
7.1.8	印刷設定	104
7.1.9	印刷設定（JEF 設定）	106
7.1.10	印刷設定（第 2FPD 設定）	108
7.1.11	印刷設定（JEF/AP 設定）	113
7.1.12	PDF ファイル設定（送信先フォルダー名）	115
7.1.13	PDF ファイル設定（ファイル名）	117
7.1.14	PDF ファイル設定（ファイル分割）	122
7.1.15	PDF ファイル設定（文書情報）	124
7.1.16	PDF ファイル設定（プレプリントデータ）	125
7.1.17	チャンネル設定	127
7.1.18	用紙長設定	130
7.1.19	データ操作	131
7.1.20	ユーザー管理者モード	138
7.2	ユーザー管理者モードメニュー	139
7.2.1	用紙情報設定	141
7.2.2	プレプリントデータ管理	154
7.2.3	ネットワーク設定	162
7.2.4	送信先設定	165
7.2.5	アクセス制御設定	169
7.2.6	日時設定	170
7.2.7	表示設定	172
7.2.8	ログ操作	178
7.2.9	UPS 設定	181
7.2.10	Import/Export	185
7.2.11	パスワード変更	188
7.2.12	画面設定	190
7.2.13	一般ユーザーモード	191
第 8 章	トラブルシューティング	192
付録 A	仕様	202
A.1	基本仕様	202
A.2	データ形式の仕様	203
A.3	通信要件	204
A.4	印刷範囲と用紙原点	205
付録 B	非互換一覧	209
付録 C	設置諸元	213

付録 D	オプション機構	214
付録 E	装置添付品	215
付録 F	周辺機器（推奨）	216
付録 G	定期保守と本装置故障時のお願い	217
付録 H	ファイルサーバーの構築と設定	218
付録 I	プレプリントデータファイルの形式	221

目次

図 1.1	本装置の接続例.....	25
図 1.2	前面	26
図 1.3	COP のボタンと表示ランプ	26
図 1.4	SSD の表示ランプ	28
図 1.5	背面	28
図 1.6	FCLINK カード	30
図 1.7	接続構成例	31
図 2.1	PDF ファイル出力機能	32
図 2.2	用紙タイプ (連帳)	33
図 2.3	用紙タイプ (カット紙)	33
図 2.4	描画位置の移動例	34
図 2.5	印字欠落チェック機能	35
図 2.6	トリミング機能	37
図 2.7	トリミングの印刷幅	38
図 2.8	BPO、手持ちプリンターでの印刷の仕分け例	39
図 2.9	PDF ファイルによる仕分け	39
図 2.10	プレプリント重畳機能の流れ	40
図 5.1	Web-UI	52
図 5.2	Web-UI の画面構成	55
図 5.3	通信エラーのエラーダイアログ例	56
図 6.1	メインパネルの構成	57
図 6.2	エラーコード表示	59
図 6.3	データ処理中表示	59
図 6.4	エラーメッセージ表示	60
図 6.5	ジョブ名表示	60
図 6.6	再起動メッセージ表示	61
図 6.7	インフォメーション通知	62
図 6.8	インフォメーションのポップアップ画面	63
図 6.9	装置名	64
図 6.10	日時表示	64
図 6.11	チャンネル情報表示	65
図 6.12	「スタート」 ボタン	67
図 6.13	ファイルサーバーおよび富士通メインフレームとの通信中画面	67
図 6.14	READY 状態のメインパネル	68
図 6.15	「ストップ」 ボタン	69
図 6.16	ストップ処理中画面	69
図 6.17	NOT READY 状態のメインパネル	69
図 6.18	リセット可能なエラー状態	70
図 6.19	リセット処理中画面	70
図 6.20	「ログアウト」 ボタンエリア	72
図 7.1	メニューパネルとコンテンツパネル (READY 状態)	73
図 7.2	メニューパネルとコンテンツパネル (NOT READY 状態)	74
図 7.3	ユーザーモード表示領域	75
図 7.4	設定情報入力時のエラー表示例	76
図 7.5	サポートログ収集完了画面	78
図 7.6	サポートログ収集タイムアウト発生時のエラーダイアログ	78

図 7.7	PDF ファイル情報表示	82
図 7.8	設定値一覧表示 (用紙タイプ: 連帳) (設定値一覧)	84
図 7.9	設定値一覧表示 (用紙タイプ: カット紙) (設定値一覧)	85
図 7.10	設定値一覧表示 (PDF ファイル関連設定値)	86
図 7.11	用紙情報設定	87
図 7.12	用紙情報詳細画面	89
図 7.13	描画設定の PDF ページサイズ (用紙タイプ: 連帳)	90
図 7.14	描画設定の PDF ページサイズ (用紙タイプ: カット紙)	91
図 7.15	描画設定の描画位置	93
図 7.16	垂直位置/水平位置/オーバーレイ位置の移動範囲	96
図 7.17	描画設定の印字欠落チェック	97
図 7.18	印字欠落検出口グ画面	99
図 7.19	印字欠落検出口グの保存画面	101
図 7.20	描画設定のトリミング	102
図 7.21	印刷設定	104
図 7.22	印刷設定の JEF 設定	106
図 7.23	第 2FPD 設定	108
図 7.24	第 2FPD 削除確認画面	110
図 7.25	プロテクト画面	111
図 7.26	コメント編集画面	112
図 7.27	印刷設定の JEF/AP 設定 (「拡張バーコード出力機構」オプションあり時)	113
図 7.28	印刷設定の JEF/AP 設定 (「拡張バーコード出力機構」オプションなし時)	113
図 7.29	PDF ファイル設定の送信先フォルダー	115
図 7.30	PDF ファイル設定のファイル名 (ジョブ名表示設定無効)	117
図 7.31	PDF ファイル設定のファイル名 (ジョブ名表示設定有効)	118
図 7.32	PDF ファイル設定のファイル分割	122
図 7.33	PDF ファイル設定の文書情報	124
図 7.34	PDF ファイル設定のプレプリントデータ	125
図 7.35	チャンネル設定	127
図 7.36	用紙長設定	130
図 7.37	データ操作	131
図 7.38	「クリアプリント」ボタン操作可能状態	132
図 7.39	クリアプリント確認画面	133
図 7.40	クリアプリント実行中画面	133
図 7.41	クリアプリント失敗画面	133
図 7.42	「データキャンセル」ボタン操作可能状態	134
図 7.43	データキャンセル確認画面	135
図 7.44	データキャンセル実行中画面	135
図 7.45	PDF ファイルログ画面	137
図 7.46	ユーザー管理者モードのパスワード入力画面	138
図 7.47	パスワード入力エラー画面	138
図 7.48	用紙情報設定	141
図 7.49	用紙情報登録・編集画面	145
図 7.50	用紙情報登録・編集確認画面 (新規/変更ありの場合)	147
図 7.51	用紙情報登録・編集確認画面 (変更なしの場合)	148
図 7.52	用紙情報削除確認画面	148
図 7.53	用紙情報詳細画面	149
図 7.54	一括登録中の画面	150
図 7.55	一括登録結果の画面 (注意メッセージなし)	150
図 7.56	一括登録結果の画面 (注意メッセージあり)	151
図 7.57	一括登録結果のログ	152
図 7.58	登録済送信先フォルダー名一覧	153
図 7.59	プレプリントデータ管理	154

図 7.60	プレプリントデータ操作（登録）結果画面	155
図 7.61	プレプリントデータ操作（登録）結果のログ画面	156
図 7.62	プレプリントデータ操作（削除）	156
図 7.63	プレプリントデータ操作（削除）エラー画面	157
図 7.64	プレプリントデータ操作（ダウンロード）	158
図 7.65	コメント操作（コメント編集）	158
図 7.66	コメント操作（コメント連携完了）	159
図 7.67	コメント操作（一覧表示）	161
図 7.68	ネットワーク設定（LAN1）	162
図 7.69	ネットワーク設定（LAN2）	162
図 7.70	ネットワーク設定（ゲートウェイ）	163
図 7.71	ネットワーク設定の適用画面	164
図 7.72	送信先設定	165
図 7.73	送信先設定の適用画面	166
図 7.74	接続確認の確認画面	167
図 7.75	接続確認中の画面	167
図 7.76	接続成功時の確認結果画面	167
図 7.77	接続失敗時の確認結果画面	167
図 7.78	ファイルサーバー接続中の画面	168
図 7.79	アクセス制御設定	169
図 7.80	アクセス制御設定の適用画面	170
図 7.81	日時設定	170
図 7.82	NTP サーバーとの時刻同期中画面	171
図 7.83	表示設定（日時表示）	172
図 7.84	表示設定（接続先情報表示）	173
図 7.85	表示設定（ジョブ名表示）	173
図 7.86	日時表示を「無効」に設定した場合	174
図 7.87	日時表示を「有効」に設定した場合	174
図 7.88	接続先情報表示の画面	175
図 7.89	接続先情報表示の設定例とチャンネル情報表示の表示例	176
図 7.90	接続先情報表示削除確認の画面例	176
図 7.91	ジョブ名表示の画面	177
図 7.92	サポートログ収集	178
図 7.93	サポートログ収集確認画面	178
図 7.94	サポートログ収集中ポップアップ画面	179
図 7.95	サポートログ収集の成功画面	179
図 7.96	サポートログ収集の失敗画面	179
図 7.97	ダウンロード画面	180
図 7.98	確認画面	180
図 7.99	UPS 設定（UPS）	181
図 7.100	UPS 設定（自動停止）	181
図 7.101	設定可能な自動停止	182
図 7.102	入力可能な UPS	183
図 7.103	UPS 設定の適用画面	184
図 7.104	Import/Export 画面	185
図 7.105	用紙情報の Import 処理中のプログレスバー	185
図 7.106	用紙情報の Import 処理完了画面	186
図 7.107	用紙情報の Import メインパネル「再起動が必要です」メッセージ	186
図 7.108	パスワード変更（一般ユーザー）	188
図 7.109	パスワード変更（ユーザー管理者）	188
図 7.110	一般ユーザーパスワードの初期化画面	189
図 7.111	画面設定	190
図 7.112	一般ユーザーモード	191

図 A.1	PS5110B の印刷範囲	205
図 A.2	PS5600C の印刷範囲	207
図 A.3	用紙タイプ「連帳」時の印刷範囲	208
図 A.4	用紙タイプ「カット紙」時の印刷範囲	208
図 C.1	保守エリア	213

表目次

表 1.1	COP のボタンと表示ランプ	27
表 1.2	SSD の表示ランプ	28
表 1.3	背面と電源ユニット	29
表 1.4	FCLINK カード	30
表 4.1	初期設定と運用中の操作／表示項目	48
表 5.1	Web-UI の動作環境	52
表 5.2	ユーザーモードとアクセス制限	54
表 5.3	ユーザーモードと初期パスワード	54
表 5.4	画面構成	55
表 6.1	メインパネルの部品一覧	57
表 6.2	装置状態表示エリア①	58
表 6.3	メッセージアイコンとメッセージ表示	62
表 6.4	インフォメーションのポップアップ画面	63
表 6.5	チャンネル情報	65
表 6.6	ホスト接続先情報	66
表 6.7	データランプの表示状態と意味	66
表 6.8	装置状態の表示と機能	67
表 6.9	「電源」ボタンを押したときのポップアップ画面	71
表 7.1	ユーザーモードの表示と権限レベル	75
表 7.2	装置状態と選択可能なメニュー	76
表 7.3	設定未適用時の警告表示	77
表 7.4	メニューパネル	79
表 7.5	一般ユーザーモードメニュー一覧	80
表 7.6	PDF ファイル情報表示の項目	82
表 7.7	設定値一覧表示（設定値一覧）	85
表 7.8	設定値一覧表示	86
表 7.9	用紙情報設定	87
表 7.10	描画設定の PDF ページサイズ（用紙タイプ：連帳）の設定項目	90
表 7.11	描画設定の PDF ページサイズ（用紙タイプ：カット紙）の設定項目	91
表 7.12	描画設定の描画位置設定項目	94
表 7.13	垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動量調整可能範囲	95
表 7.14	描画設定の印字欠落チェック設定項目	97
表 7.15	印字欠落検出ログ画面の項目	100
表 7.16	印字欠落検出ログの保存画面の項目	101
表 7.17	印字欠落ログファイル形式	101
表 7.18	描画設定のトリミング設定項目	102
表 7.19	印刷設定	105
表 7.20	印刷設定（JEF 設定）	107
表 7.21	印刷設定（第 2FPD 設定）	108
表 7.22	プロテクト画面の操作	111
表 7.23	コメント編集画面の操作	112
表 7.24	印刷設定（JEF/AP 設定）	114
表 7.25	PDF ファイル設定の送信先フォルダーの設定項目	115
表 7.26	PDF ファイル設定のファイル名（ジョブ名表示設定無効）の設定項目	117
表 7.27	PDF ファイル設定のファイル名（ジョブ名表示設定有効）の設定項目	119
表 7.28	PDF ファイル設定のファイル分割の設定項目	122

表 7.29	PDF ファイル設定の文書情報の設定項目	124
表 7.30	PDF ファイル設定のプレプリントデータの設定項目	126
表 7.31	チャンネル設定の項目	127
表 7.32	デフォルト用紙長の設定項目	130
表 7.33	PDF ファイル一覧画面	135
表 7.34	PDF ファイルログ画面	137
表 7.35	ユーザー管理者モードメニュー一覧	139
表 7.36	用紙情報設定	141
表 7.37	用紙情報（登録・編集）	146
表 7.38	送信先フォルダーの一括登録中のエラー一覧	151
表 7.39	登録済送信先フォルダー名一覧のファイル名形式	153
表 7.40	プレプリントデータ管理の項目	154
表 7.41	コメント操作（コメント連携）のエラー一覧	159
表 7.42	プレプリントデータファイル名とコメントの一覧のファイル名形式	161
表 7.43	ネットワーク設定の項目	163
表 7.44	送信先設定の項目	165
表 7.45	アクセス制御設定の項目	169
表 7.46	日時設定の項目	171
表 7.47	接続先情報表示の項目	175
表 7.48	ジョブ名表示の設定項目	177
表 7.49	UPS の項目	182
表 7.50	用紙情報の Import 操作中のエラー一覧	186
表 7.51	用紙情報 Export 出力ファイル名形式	187
表 7.52	パスワード変更の設定項目（一般ユーザー／ユーザー管理者）	189
表 7.53	画面設定の項目	190
表 7.54	画面設定の適用時に発生するエラー一覧	191
表 8.1	状態コード一覧	192
表 8.2	エラーコード一覧	193
表 A.1	基本仕様	202
表 A.2	JEF（ラインプリンタモード）	203
表 A.3	JEF/AP（ページプリンタモード）	204
表 A.4	ネットワーク通信ポート	204
表 B.1	従来構成と富士通メインフレーム + 本装置 + ファイルサーバーとの相違点	209
表 C.1	設置条件	213
表 C.2	設置条件（ラック搭載）	213
表 D.1	オプション	214
表 E.1	装置添付品	215
表 F.1	推奨周辺機器	216
表 H.1	ファイルサーバーのシステム要件	218
表 H.2	イーサネットアダプタの設定	218
表 H.3	FTP 接続用ユーザー設定	218
表 H.4	アクセス権設定用グループ設定	218
表 H.5	FTP サーバー機能	219
表 H.6	FTP サーバー設定	219
表 H.7	ping 設定	219
表 H.8	FTP サーバー通信設定	220
表 I.1	プレプリントデータの仕様	221

はじめに

本書は、本装置を使用して、富士通メインフレームの帳票を、印刷用の PDF ファイルに変換するための設定および運用する方法について説明しています。

本書は、本装置のシステム設計者およびオペレーターの手引きとしてご利用いただくことを目的として説明しています。

本書の内容についてよくご理解いただいたうえで使用してください。

なお、ファイルサーバーの操作についてはファイルサーバーのマニュアルを参照してください。

初版
2025 年 8 月

本装置は、日本国内でご利用いただくことを前提に製造・販売しております。
したがって、日本国外でのご使用はできません。

登録商標

本装置に関連する他社商標については、以下のサイトを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/brand.html>

- Revoria Press は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。
- QR コードは、(株) デンソーウェーブの登録商標です。
- Magic Packet は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
- その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。
- 本書に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（®、™）を付記していません。

内容と構成

本書は、以下の構成になっています。

- 第1章 概要
装置概要、機能概要、および装置外観の各部名称について説明しています。
- 第2章 PDF ファイル出力モデルの機能
本装置の仕組みや各種機能について説明しています。
- 第3章 導入手順
本装置を導入する際の必要事項について説明しています。
- 第4章 運用方法
起動と停止、環境設定、印刷などの本装置の基本操作について説明しています。
- 第5章 Web-UI の概要
Web-UI を使用する際の動作環境、操作画面、各種メニューの操作手順について説明しています。
- 第6章 Web-UI 操作（メインパネル）
本装置の状態表示と主な操作（メインパネル）について説明しています。
- 第7章 Web-UI 操作（メニューパネル／コンテンツパネル）
本装置の状態表示と主な操作（メニューパネル／コンテンツパネル）について説明しています。
- 第8章 トラブルシューティング
トラブルシューティングについて説明しています。

付録として以下の内容を掲載しています。

- ・ 付録 A 仕様
- ・ 付録 B 非互換一覧
- ・ 付録 C 設置諸元
- ・ 付録 D オプション機構
- ・ 付録 E 装置添付品
- ・ 付録 F 周辺機器（推奨）
- ・ 付録 G 定期保守と本装置故障時のお願い
- ・ 付録 H ファイルサーバーの構築と設定
- ・ 付録 I プレプリントデータファイルの形式

安全に使用していただくために

本書には、本装置を安全に正しくお使いいただくための重要な情報を記載しています。
本装置をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、[「安全上のご注意」\(P.18\)](#)をよく読みご理解され
たうえで本装置をお使いください。
また、本書は、本装置の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

■ 電波障害対策について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

■ アルミ電解コンデンサについて

本装置のプリント板ユニットに使用しているアルミ電解コンデンサは寿命部品であり、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因になる場合があります。

目安として、通常のオフィス環境（25℃）で使用された場合には、保守サポート期間内（5年）には寿命に至らないものと想定していますが、高温環境下での稼働など、お客様のご使用環境によっては、より短期間で寿命に至る場合があります。寿命を超えた部品について、交換が可能な場合は、有償にて対応させていただきます。なお、上記はあくまで目安であり、保守サポート期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

■ ハイセイフティ用途での使用について

本装置およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本装置を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

■ 瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷によって生じた電源ユニットの瞬時電圧低下により影響を受ける可能性があります。瞬時電圧低下を防ぐために、無停電電源装置（UPS）のご使用を推奨します。

（この注記は、JEITA（一般社団法人電子情報技術産業協会）が発行したガイドライン『パーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策』に従っています。）

■ 「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術について

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

■ 高調波電流規格について

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

表記について

本書では、いろいろな絵表示を使用しています。これは本装置を安全に正しくご使用いただき、あなたやほかの人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は以下のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うおそれがあることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことがあり得ることと、物的損害が生じる危険性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものなのかを区別するために、上記の表示と同時に以下のような記号を使用しています。



△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は感電注意）を示しています。



⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。



●で示した記号は、必ず行っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は電源プラグを抜く）を示しています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号については、以下のような意味があります。

注意

お使いになるときに注意していただきたいことを記述しています。必ずお読みください。

備考

操作や設定を行ううえで知っておくと便利な機能や使い方など、本文を補足する内容を記載しています。

使用している用語について

項	用語	内容
1	ホスト	富士通メインフレームの GS21 3600/3400 モデルグループ以降の製品を指します。OSIV/XSP 動作機構 (PRIMEQUEST 2000 シリーズ OSIV/XSP 動作機構キット 2 以降、および、Fujitsu Mainframe OSIV/XSP 動作機構 Powered by PRIMEQUEST) を含みます。
2	JEF (ラインプリンタモード)	Japanese processing Extended Feature. 富士通が独自開発した拡張漢字コードをベースとした日本語処理機能を持つ印刷データの名称です。
3	JEF/AP (ページプリンタモード)	Japanese processing Extended Feature/Advanced Printing. JEF の日本語処理機能に、アウトラインフォントやページ単位の制御などを加えることで、表現の自由度を大きく高めた拡張印刷データの名称です。
4	dpi	Dot Per Inch. プリンター装置や PDF ファイルの解像度 (ドット密度) を表す単位記号です。 約 25.4mm (1 インチ) あたりに印刷されるドット数を表します。
5	CPI	Character Per Inch. 約 25.4mm (1 インチ) あたりに印刷できる文字数を表します (文字ピッチとも言います)。
6	LPI	Line Per Inch. 約 25.4mm (1 インチ) あたりに印刷できる行数を表します (行ピッチとも言います)。
7	GS1-128	医療用などに使用される GS1-128 コード (旧 UCC/EAN-128) です。
8	GS1-128 (料金代理収納用)	公共料金など代理収納 GS1-128 コード (旧 UCC/EAN-128) コンビニ料金代理収納用です。
9	共通操作パネル	本装置の前面に位置するパネルです。
10	メインパネル／メニューパネル／コンテンツパネル	本装置の Web-UI を構成するパネルです。詳細は、 [第7章 Web-UI 操作 (メニューパネル／コンテンツパネル)] (P.73) を参照してください。
11	ホストジョブ	ホストから受信した印刷データを指します。
12	ジョブ名	ホストジョブのジョブ名を指します。本装置ではジョブ番号を含めてジョブ名と呼ぶ場合があります。
13	PDF ファイル	本装置が出力するファイルで、ホストジョブを複数ページにまとめ、PDF 形式に変換したファイルです。
14	従来装置	PS5600C/PS5110B のことを指します。
15	ファイルサーバー	本装置で生成した PDF ファイルを一時的に保管するサーバーです。お客様が事前に準備する必要があります。システム要件は [付録 H ファイルサーバーの構築と設定] (P.218) を参照してください。
16	FCLINK チャンネルまたは FCLINK	富士通メインフレームと本装置を接続するための接続チャンネルで以下の製品を指します。 • FCLINK チャンネル (略称：FCLINK) • プリンタ・テープ・コンソール接続機構 (略称：PTC) • コンソール・テープ接続機構 (略称：CTS)
17	増設チャンネルオプション	複数のホストと接続するため、本装置に 2 つ目の FCLINK カードを増設するオプションで、以下の 2 つから選択します。 • FCLINK-SWL チャンネルオプション • FCLINK-LWL チャンネルオプション
18	BPO	Business Process Outsourcing. 企業の業務プロセスの一部または全部を、外部の専門業者に委託することです。本書では、印刷サービスを指します。

項	用語	内容
19	プレプリントデータ	従来の印刷装置で使用されていたプレプリント用紙の印刷部分を電子データ化したデータです。
20	用紙情報	PDF ファイルへの印刷データ変換時に必要な、用紙サイズ、描画位置などの制御情報を事前に登録しておく情報です。
21	用紙タイプ	印刷用紙の種類で、本書では、連帳とカット紙の 2 種類を扱います。
22	送信先フォルダー	ファイルサーバー上にあるフォルダーで、本装置で作成した PDF ファイルを格納するためのフォルダーです。
23	印刷	紙に出力すること、またはホストからの印刷指示を行うことを指します。

安全上のご注意

設置時の注意事項

■ 準備

指示



本装置は、情報技術機器の関連する安全規則に準拠しています。本装置を設置する際は、保守技術員（担当 CE）にご連絡ください。

本書には、ハードウェアの設置作業の一部としてユーザーが注意すべき点や禁止事項、および保守技術員（担当 CE）または担当者が行うべき作業に関する情報を記載しています。

■ 輸送、開梱、設置

指示



- ・ 本装置が寒い環境から操作室に移動された場合、結露が生じる場合があります。本装置が室温で温まり、完全に乾いた状態になるまで、本装置の起動を実施しないでください。順応時間は、本装置の構成や搭載により異なりますが、最低でも 12 時間以上必要です。
- ・ 本装置の開梱から、設置および装置を使用開始するまで、本装置に関する設置要件や取扱情報の指示に従ってください。設置要件には、設置場所の大きさ、電気値、必要な環境、気候条件などが含まれます。



禁止



- ・ 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に設置しないでください。
故障・火災・感電の原因となります。
- ・ 電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足がひっかかる場所には設置しないでください。
故障の原因となります。
- ・ テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所には設置しないでください。
故障の原因となります。
- ・ 腐食性ガスが発生する地域や塩害地域では使用しないでください。
故障の原因となります。
腐食性ガスや塩風は、装置を腐食させ、誤動作、破損、および装置寿命を著しく短くする原因となりますので、空気清浄装置を設置するなどの対策が必要になります。また、塵埃が多い場所についても、記憶媒体の破損、冷却の妨げなどにより、誤動作や寿命短縮の原因となります。
 - 腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉／火山地帯などがあります。
 - 塩害地域の目安としては、海岸線から 500m 以内となります。
- ・ 本装置の上に重量物を載せないでください。また、本装置の上に物を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。また、本装置が故障したり誤動作をしたりする場合があります。

指示



- ・地震発生時の転倒防止のために、ラックシステム設計の際には必ず装置／ラックの固定などの耐震対策を行ってください。担当営業員にご相談ください。
本装置（ラックシステムを含む）は、250gal（震度 5 強相当）以下の振動では問題なく動作されるように設計されています。
- ・本装置は、水平で安定した場所、および大きな振動の発生しない場所に設置してください。振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所は、装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因になりますので、設置しないでください。
- ・本装置を移動するときは、必ず電源を切り、ケーブル類を外してください。

■ ケーブル類の接続

警告



荒天時にデータ転送路を接続したり、接続を切断したりしないでください（落雷の危険があります）。

ケーブル類を接続する場合または接続を取り外す場合、必ずプラグを持って作業を行ってください。ケーブルは絶対に引っ張らないでください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルがプラグから外れる可能性があります。

損傷したり曲がったりする危険がないようにケーブルを配線します。

■ 電源へのシステムの接続

指示



現地の電源環境が、本装置の定格電圧に適合することを確認してください。要件を満たさない場合は、本装置が損傷または破損することがあります。

禁止



- ・運用を開始する前に、すべてのケーブル類が正常であり、破損していないことを確認してください。特に、ケーブルが曲がっていないこと、角にきつく配線していないこと、ケーブルの上に何も配置されていないことを確認してください。また、すべてのコネクタがしっかりと固定されていることを確認してください。ケーブルに不具合や、配線に不備があると、健康を害したり（感電）ほかのデバイスを損傷するおそれがあります。
- ・電源プラグのある本装置は、使用する国の安全性試験に合格した AC 交流電源ラインを備えており、認可済みの耐衝撃ソケットにのみ接続できます。これ以外のものに接続すると感電するおそれがあります。
- ・本装置のソケットまたは PE（保護接地）壁コンセントの周辺に障害物がなく、緊急時には誰でも電源プラグをソケットから抜くことができるようになっていることを確認してください。また、ソケットを電源回路から切断するブレーカーが建物内に設置されている必要があります。
- ・故障時または整備が必要な状況が発生した場合（データの格納やケーブルに不具合がある場合、液体や異物が本装置に入った場合など）は、電源が遮断されることがあります。建物内の設置に関する問題は、必要に応じて建物の管理者に連絡してください。



禁止



- ・ 指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となります。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
- ・ 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- ・ 電源ケーブルや電源プラグが傷んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・ 電源ケーブルを折り曲げるなどして束ねた状態で使用しないでください。
ケーブルは伸ばして使用してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

指示



- ・ 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。
- ・ 電源プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

アース



電源を投入する前に、必ずアース接続をしてください。
アース接続ができない場合は、担当営業員にご相談ください。
万一漏電した場合、火災・感電の原因となります。

操作中の注意事項



禁止

- ・ 貴金属、クリップなどの異物や液体が本装置に入らないようにしてください。感電や短絡（ショート）が発生する可能性があります。
- ・ 本装置の使用中に換気が正常に行えないと、装置の温度上昇が発生する危険があります。換気口がふさがれていないこと、およびほこりで汚れていないことを確認してください。換気口がふさがれていると、操作に支障をきたすことがあります。
- ・ 本装置が正常に使用できるのは、格納カバーを正しく取り付け、ドアを閉めた状態の場合のみです（冷却、防火、電界、磁界、電磁界に対する遮蔽）。この要件を満たす場合に、EMC（電磁環境両立性）に適合した限界値が適用されます。
- ・ 故障時および整備中は電源プラグを抜いてください。本装置の電源を切っても、本装置は回路から切断されません。故障時や整備時には、本装置の電源プラグを抜く必要があります。以下の手順を行ってください。

- (1) 本装置の電源を切断する
- (2) メイン プラグを抜く
- (3) 修理相談窓口に連絡する

本装置が無停電電源装置（UPS）に接続されているときは、UPS の電源プラグを抜いても引き続き動作します。この場合は、UPS の取扱説明書に従って、UPS をシャット ダウンする必要があります。

- ・ 周辺機器もまた、配電から切断しただけでは電源を切ったことにはなりません。主電源から完全に切断するためには、電源プラグを抜く必要があります。
- ・ 本装置の上または近くに花瓶・植木鉢・コップなどの水や液体が入った容器、金属物を置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- ・ 清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含む物）を使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- ・ 本装置の上に重量物を載せないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。
- ・ CD/DVD ドライブなどの差し込み口に指などを入れないでください。けがの原因となります。
- ・ 携帯電話などを本装置に近づけて使用しないでください。本装置が正しく動作しないおそれがあります。



指示

- ・ 周囲で殺虫剤などを使用して害虫駆除を行う場合には、本装置を停止し、ビニールなどで保護してください。

プラグ



- ・本装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となったり、本装置が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
- ・長時間本装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。
- ・万一、本装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本装置の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後修理相談窓口にご連絡してください。お客様自身による修理は危険です。絶対に修理しないでください。異常状態や不適切な修理のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・異物（水・金属片・液体など）が本装置の内部に入った場合は、ただちに本装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理相談窓口にご連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

警告



本装置がスライドレール式ラックに取り付けられている場合は、本装置をラックから引き出しすぎないように気を付けてください。本装置がラックから落下して、本装置が破損したり、けがをするおそれがあります。

整備上の注意事項

■ 拡張、修理

禁止



本装置の修理は認可された資格者だけが行うことができます。不適切な修理を行うと、著しい危険が伴うことがあります（感電、火災）。

分解



不正に本装置や本装置の各部品を解体することは非常に危険です。不正に本装置や本装置の各部品を解体すると、保証の無効および賠償の対象外となります。



分解



- ・本装置を勝手に改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本装置のカバーや差し込み口に付いているカバーは取り外さないでください。内部の点検、修理は修理相談窓口にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

ラック キャビネットの取り扱い

ラック キャビネットを取り扱ううえで、安全に関する注意事項を示します。

警告



- ラックの固定
ラックが倒れないように必ず固定してください。
スタビライザーを設置する必要があるシステムおよびラック キャビネットは、必ず適切な部品を使用してスタビライザーを取り付けてください。
ただし、ラックが固定されている場合でも、スライド式のモジュールがレールから外れるおそれがあります。複数のモジュールが同時に引き出された場合、ラックの安定性が保たれない事態が発生することがあります。
- 過負荷の防止
同じ回路に多数のデバイスが接続されている場合は、電流分布に過負荷が生じていないことを確認してください。製品のタイプ表示に記載されている公称値に従ってください。

アース



- システムの接地
システムのアース（アース線）はサーバー デバイスまたは周辺機器に接続されます。
ラック キャビネットの接地は、電気保安上は必要ではありませんが、特定の基準および標準に準拠する必要がある場合があります。

静電気敏感性コンポーネントを含むモジュール（EGB/ESD）

EGB とは ESD（静電気放電）のことで、静電気放電に脆弱なコンポーネントを保護し、損傷や破損が発生しないようにするために行う処置を指します。静電気敏感性コンポーネントを含むシステムやモジュールには、通常以下のような識別表示があります。



静電気敏感性コンポーネントを
含むモジュールの表示

静電気敏感性コンポーネントが破損することを防ぐため、以下の処置を行ってください。



禁 止

- モジュールの設置および取り外しの準備
静電気敏感性コンポーネントを含むモジュールに触れる前に、（接地されているものに触れるなどして）静電気を放電してください。
- 保護を確実にするため、このタイプのモジュールを取り扱う際に手首に人体接地用バンド（リストストラップ）を装着している場合は、リストストラップをシステムの塗装されていない非導電の金属部分に接続してください。
- 静電気を発生させない道具のみを使用してください。
- コンポーネントを取り付けまたは取り外す前に、本装置の電源を切断し、本装置の電源コードを抜いてください。
- モジュールの運搬
モジュールの端部分のみを触れるようにしてください。モジュールの端子ピンや伝導路に触れないでください。
- モジュールの取り付けと取り外し
モジュールを取り付けおよび取り外す際に、リストストラップを着用するか、または金属質のものに手を触れて、人体の静電気を放電してください。
静電気を放電せずに作業を行うと、本装置が故障するおそれがあります。
作業中はセロファンの包装（菓子類やタバコなど）に触らないでください。これらの包装に触れると、静電気が増加します。
- モジュールの保管
モジュールは常時、保護 ESD 包装に入れて保管してください。保護 ESD 包装は損傷がない状態である必要があります。極度に折り目が付いたり、穴が開いたりしている保護 ESD 包装は、静電気に対する保護になりません。

第1章 概要

1.1 装置概要

Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 PDF ファイル出力モデル PS-R13NBA（以降、本装置）は、富士通メインフレームの帳票を、様々な環境で印刷できるようにすることを目的とした印刷用の PDF ファイルに変換して出力することを特長とする装置です。

出力された PDF ファイルは、BPO サービスを利用した印刷やお客様のプリンターでの印刷が可能となります。富士通メインフレームとは FCLINK 接続し、ファイルサーバーとは LAN で接続します。本装置を経由することにより、富士通メインフレームから、FCLINK チャンネル経由で JEF（ラインプリンタモード）および JEF/AP（ページプリンタモード）形式のデータを PDF 形式に変換することができます。本装置の操作や設定は、運用管理端末の Web ブラウザから行います（Web-UI 操作）。

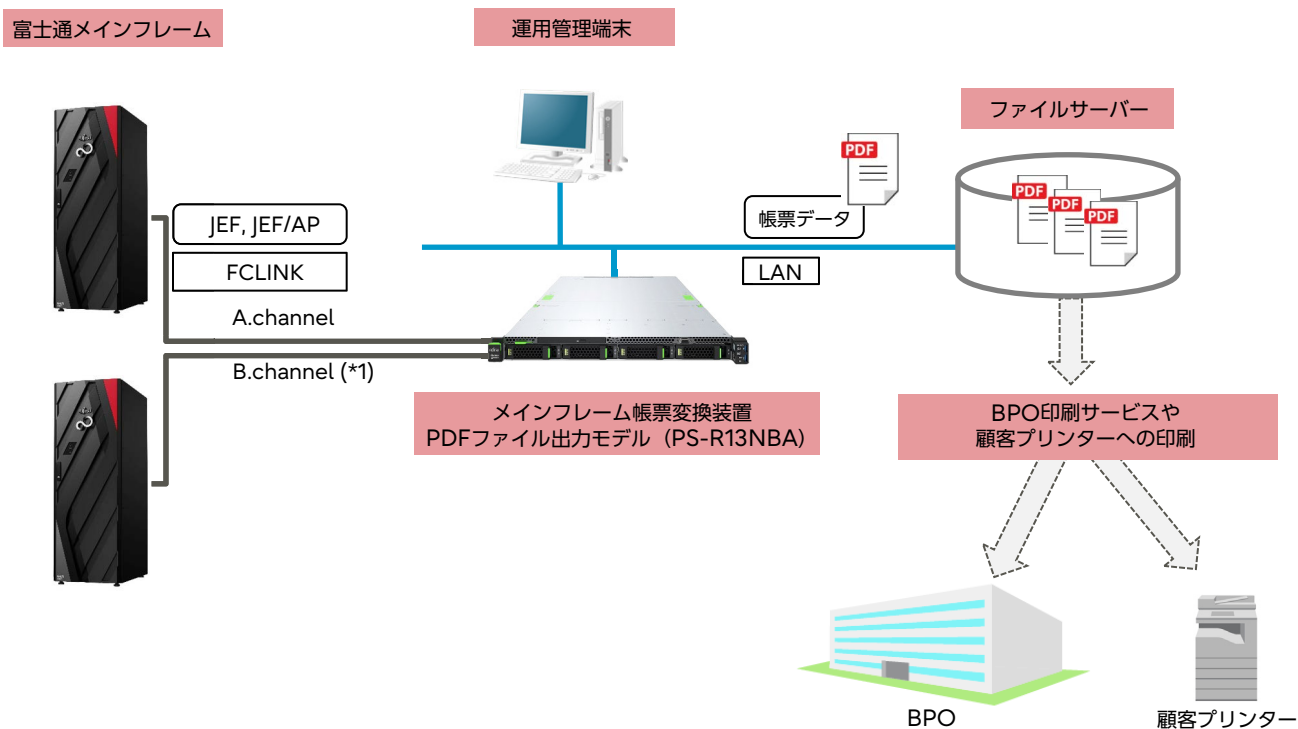


図 1.1 本装置の接続例

*1: 増設用のチャンネルカードオプションが必要です。

1.2 各部の名称

1.2.1 前面

前面にある各部の名称と動作について説明します。本装置前面には以下の部品があります。

- 共通操作パネル（以降、COP と記載）
- 内蔵ソリッドステートドライブ（以降、SSD と記載）

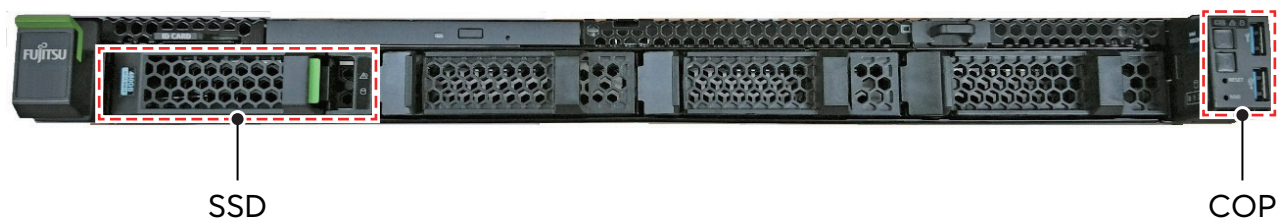


図 1.2 前面

■ COP のボタンと表示ランプ

COP にあるボタンおよび表示ランプの名称と動作について説明します。

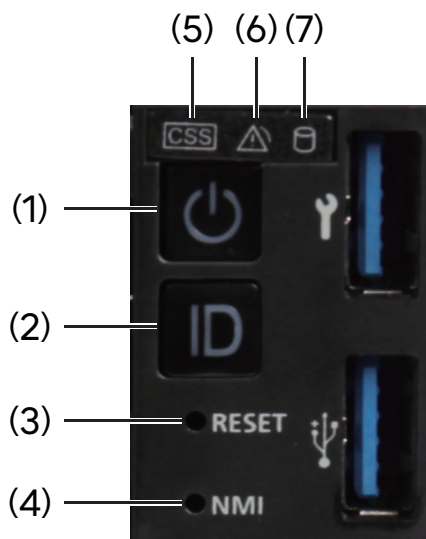


図 1.3 COP のボタンと表示ランプ

表 1.1 COP のボタンと表示ランプ

項番	名称	機能										
(1)	電源ボタン／ 電源表示ランプ／ AC 接続表示ランプ	電源ボタンは、スタンバイモード（白色に点灯）から本装置の電源を ON にする場合に使用します。 なお、本装置の電源を OFF にする場合は、Web-UI から実施してください（「[6.9 装置操作ボタンエリア]」(P.67) の電源ボタン参照）。 電源ランプは以下のとおり点灯／点滅します。 <table><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr><tr><td>緑色に点灯</td><td>電源 ON</td></tr><tr><td>白色に点灯</td><td>電源 OFF で主電源に接続されている</td></tr><tr><td>白色に点滅</td><td>本装置の監視／電源制御機能を起動中</td></tr><tr><td>消灯</td><td>電源 OFF で主電源に接続されていない</td></tr></table> 注 意 - 印刷処理中や本装置に印刷データが残っている状態（「[6.8 データランプ表示エリア]」(P.66) 参照）で電源ボタンを操作すると印刷データが失われる危険があります。 - 電源ボタンで主電源を切ることはできません。 主電源を切るには、電源プラグを抜きます。 - 本装置を主電源に接続したあと、スタンバイモードに切り替わるまで約 60 秒かかります。	状態	説明	緑色に点灯	電源 ON	白色に点灯	電源 OFF で主電源に接続されている	白色に点滅	本装置の監視／電源制御機能を起動中	消灯	電源 OFF で主電源に接続されていない
状態	説明											
緑色に点灯	電源 ON											
白色に点灯	電源 OFF で主電源に接続されている											
白色に点滅	本装置の監視／電源制御機能を起動中											
消灯	電源 OFF で主電源に接続されていない											
(2)	ID ボタン／ ID ランプ	本ボタンを押すと本装置の前面および背面の ID ランプが同期して点灯します。 消灯するにはもう一度本ボタンを押します（*1）。 ID ボタンおよびランプは装置を識別するためのもので、複数の装置がラックに搭載されている状態で後ろ側に回って作業をする場合、操作対象の装置を特定することができません。 *1: ID ランプはトラブル時にも点灯／点滅する場合があります。										
(3)	リセットボタン (RESET)	本ボタンを使用しないでください。 注 意 本ボタンは保守技術員（担当 CE）のみ使用します。										
(4)	保守用ボタン (NMI)	本ボタンを使用しないでください。 注 意 本ボタンは保守技術員（担当 CE）のみ使用します。										
(5)	CSS 表示ランプ	本ランプが点灯・点滅した場合は 「第 8 章 トラブルシューティング」(P.192) を参照してください。										
(6)	保守ランプ	本ランプが点灯・点滅した場合は保守技術員（担当 CE）に連絡してください。										
(7)	SSD アクセス 表示ランプ	SSD アクセス中に緑色に点滅します。詳細な SSD の状態は、「 SSD の表示ランプ」(P.28) を参照してください。										

■ SSD の表示ランプ

表示ランプの名称と動作について説明します。



図 1.4 SSD の表示ランプ

表 1.2 SSD の表示ランプ

項番	名称	機能
(1)	アクセスランプ	SSD アクセス時、緑色に点灯／点滅します。
(2)	故障ランプ	SSD 故障時、オレンジ色に点灯します。故障ランプ点灯時は保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

1.2.2 背面

背面にある各部の名称と動作について説明します。本装置背面には以下の部品があります。

- 電源ユニット
- FCLINK カード／LAN ポート

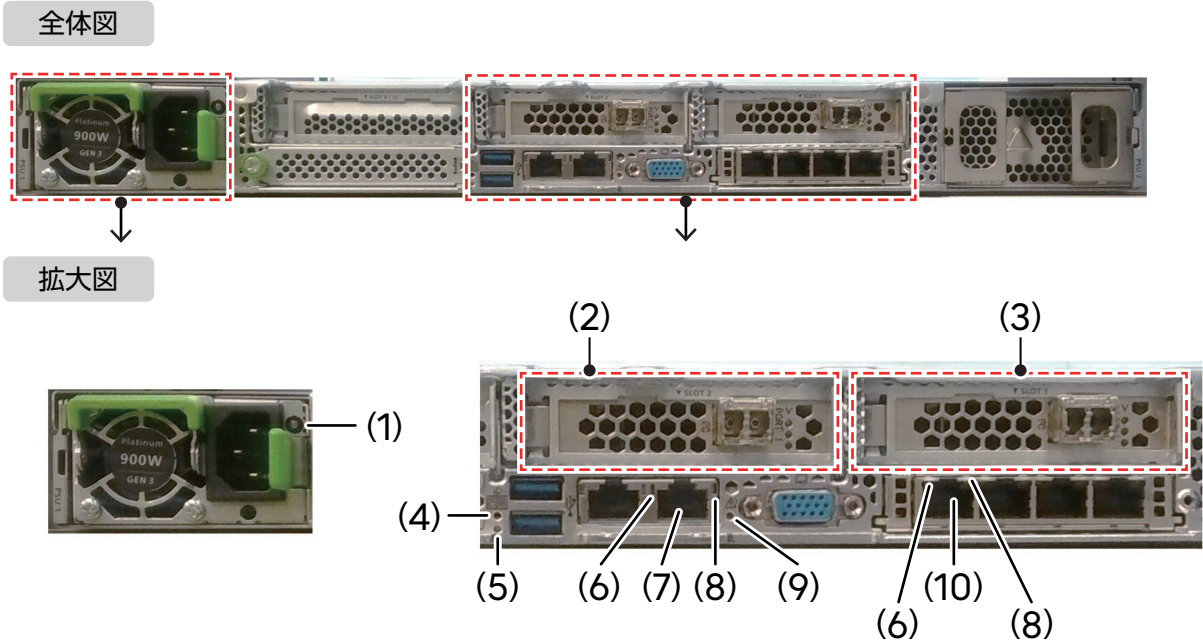
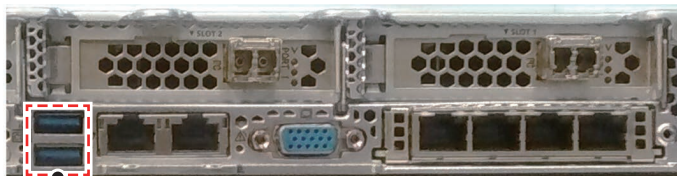


図 1.5 背面

注意

USB コネクタは保守作業時に使用します。



USB コネクタ

表 1.3 背面と電源ユニット

項番	名称	機能								
(1)	電源ユニット 表示ランプ	本装置の電源は切れていますが、主電源電圧が存在する場合（スタンバイモード）、緑色に点滅します。 本装置の電源が入り、正常に動作している場合、緑色に点灯します。 オレンジ色の点滅・点灯の場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。								
(2)	FCLINK カード (増設チャンネル)	増設の FCLINK カードで、PS-R101B51 または PS-R102B51 の搭載が可能です。 増設しない場合は搭載されません。								
(3)	FCLINK カード (標準チャンネル)	標準の FCLINK カードで、PS-R101B51 または PS-R102B51 の搭載が可能です。 必ず搭載してください。								
(4)	ID ランプ	本装置前面の ID ボタンを押すと、青色に点灯します。消灯するには再度本装置前面の ID ボタンを押します。								
(5)	CSS ランプ	CSS コンポーネントの故障を検出した場合、以下のとおり点灯・点滅します。 点灯・点滅した場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。 <table><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr><tr><td>オレンジ色に点灯</td><td>故障の予兆を検出したとき</td></tr><tr><td>オレンジ色に点滅</td><td>故障・異常を検出したとき</td></tr><tr><td>消灯</td><td>故障を検知していない場合</td></tr></table>	状態	説明	オレンジ色に点灯	故障の予兆を検出したとき	オレンジ色に点滅	故障・異常を検出したとき	消灯	故障を検知していない場合
状態	説明									
オレンジ色に点灯	故障の予兆を検出したとき									
オレンジ色に点滅	故障・異常を検出したとき									
消灯	故障を検知していない場合									
(6)	LAN リンク ／転送	LAN コネクタの確立時、緑色に点灯します。 LAN 接続がない場合、消灯します。 LAN データ転送中、緑色に点滅します。								
(7)	LAN1	ファイルサーバー、運用管理端末や UPS との接続に使用します。								
(8)	LAN 速度	LAN 転送速度が 1,000Mbit/s のデータトラフィックがある場合、黄色に点灯します。 LAN 転送速度が 100Mbit/s のデータトラフィックがある場合、緑色に点灯します。								
(9)	保守ランプ	保守ランプは、CSS コンポーネント以外の故障を検出した場合、以下のとおり点灯・点滅します。点灯・点滅した場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。 <table><tr><th>状態</th><th>説明</th></tr><tr><td>オレンジ色に点灯</td><td>故障の予兆を検出したとき</td></tr><tr><td>オレンジ色に点滅</td><td>故障・異常を検出したとき</td></tr><tr><td>消灯</td><td>故障を検知していない場合</td></tr></table>	状態	説明	オレンジ色に点灯	故障の予兆を検出したとき	オレンジ色に点滅	故障・異常を検出したとき	消灯	故障を検知していない場合
状態	説明									
オレンジ色に点灯	故障の予兆を検出したとき									
オレンジ色に点滅	故障・異常を検出したとき									
消灯	故障を検知していない場合									
(10)	LAN2	ファイルサーバーを、運用管理端末や UPS と別経路で接続したい場合に使用します。								

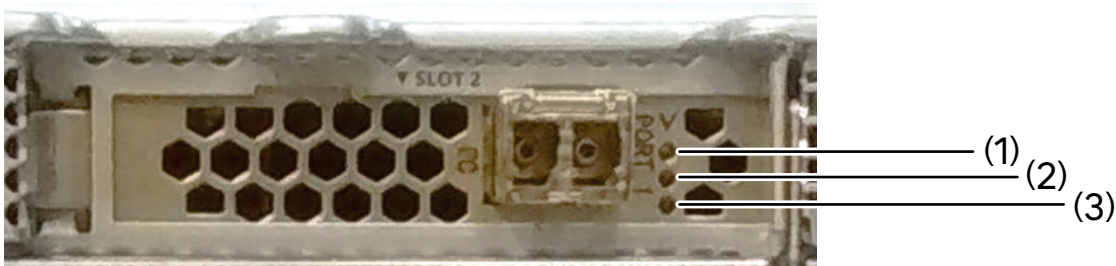


図 1.6 FCLINK カード

表 1.4 FCLINK カード

機能	
富士通メインフレームとのインターフェースとして、以下のとおり点灯・点滅します。	
状態	説明
(1) (2) (3) 消灯	電源断
(1) (2) (3) 緑色点灯	電源投入（初期化前）
(1) (2) (3) 緑色点滅	電源投入（初期化後）
(1) 緑色点灯、(2) (3) 消灯	32Gbit/s でリンク状態
(1) 緑色点滅、(2) (3) 消灯	32Gbit/s で通信状態
(1) (2) 消灯、(3) 緑色点灯	8Gbit/s でリンク状態
(1) (2) 消灯、(3) 緑色点滅	8Gbit/s で通信状態
(1)、(2)、(3) が順次点滅	ファームウェアエラー

注 意

本装置は、2Gbit/s および 4Gbit/s の転送速度はサポートしていません。

1.3 接続構成例

本装置の接続構成例を図 1.7 に示します。

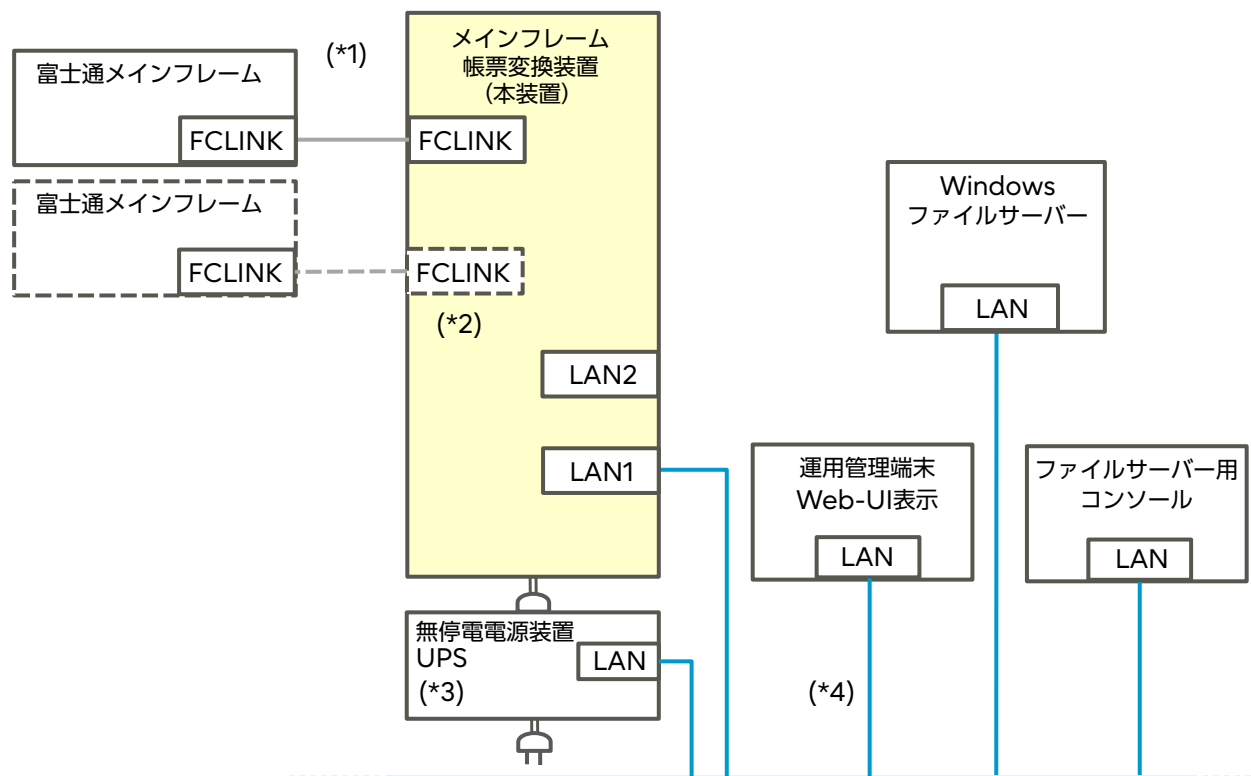


図 1.7 接続構成例

- *1: 富士通メインフレームと本装置の設置場所を離す場合は、SCL5 を使用して富士通メインフレームと本装置の接続距離を延長する構成としてください。
- *2: 増設チャンネルオプションを導入した場合の構成です。
- *3: UPS は周辺機器です。推奨する UPS は [「付録 F 周辺機器（推奨）」（P.216）](#) を参照してください。
- *4: 本装置を無停電電源装置（UPS）に接続する場合は、運用管理端末が接続されているネットワークに接続してください。また、UPS 専用のネットワークマネジメントカード（NMC）が必要です。UPS の設定は、ご使用の UPS の取扱説明書およびネットワークマネジメントカードの取扱説明書を参照してください。

第 2 章 PDF ファイル出力モデルの機能

本装置で出力する PDF ファイルは、従来の富士通メインフレームからの印刷と印刷互換を維持するため、本装置で富士通メインフレームからの印刷データを画像データに変換して PDF 形式にしたものです。PDF 形式のファイルに変換することで、今まで連帳プリンターに出していた帳票を、用途に合わせて、連帳またはカット紙のイメージに出力することができます。また、プレプリント用紙でのカラー帳票運用の代替えとして、プレプリントデータを本装置に事前登録することで、印刷データにプレプリントデータを重畳した PDF ファイルを作成することができます。

本章では、PDF ファイル出力モデルの機能について説明します。

2.1 PDF ファイル出力機能

本装置では、富士通メインフレームの印刷データを印刷イメージに展開し、PDF 形式のファイルに変換したあと、本装置と接続されているファイルサーバーの送信先フォルダーに PDF ファイルとして格納します。本装置では、PDF ファイルを格納するまでの対応となるため、印刷は設置済みのプリンター装置で行うか、または、BPO 業者に依頼してください。

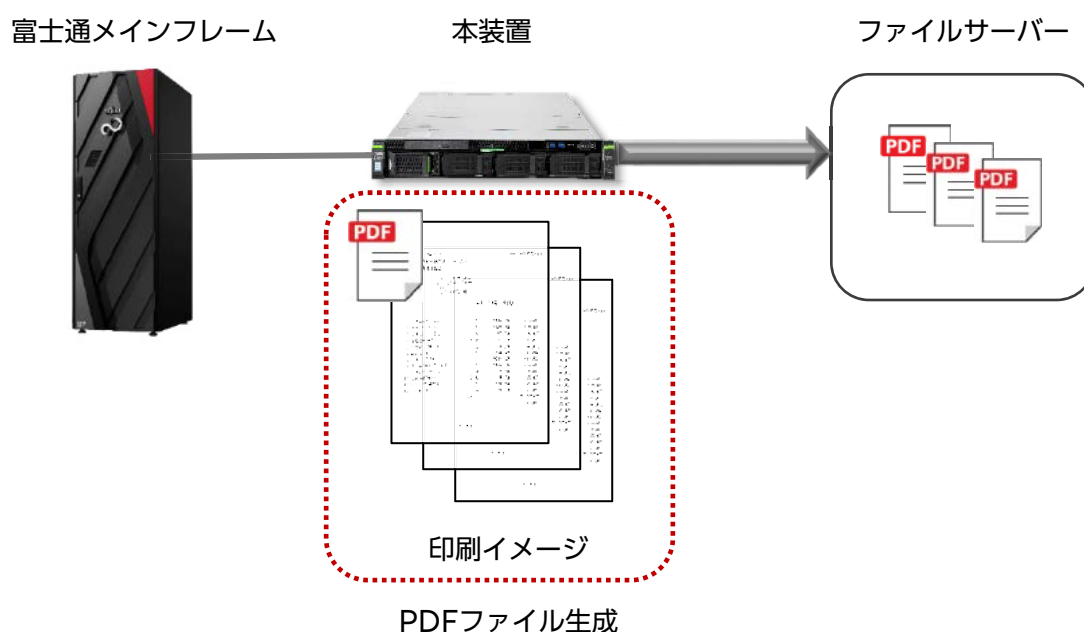


図 2.1 PDF ファイル出力機能

出力先のプリンター装置に合わせて用紙タイプと用紙サイズを設定します。

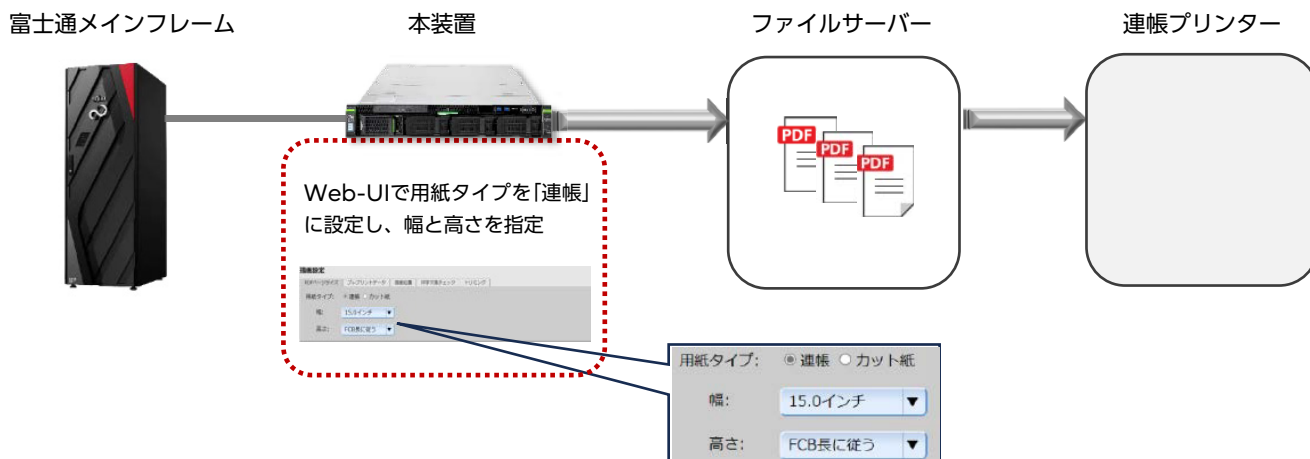


図 2.2 用紙タイプ (連帳)

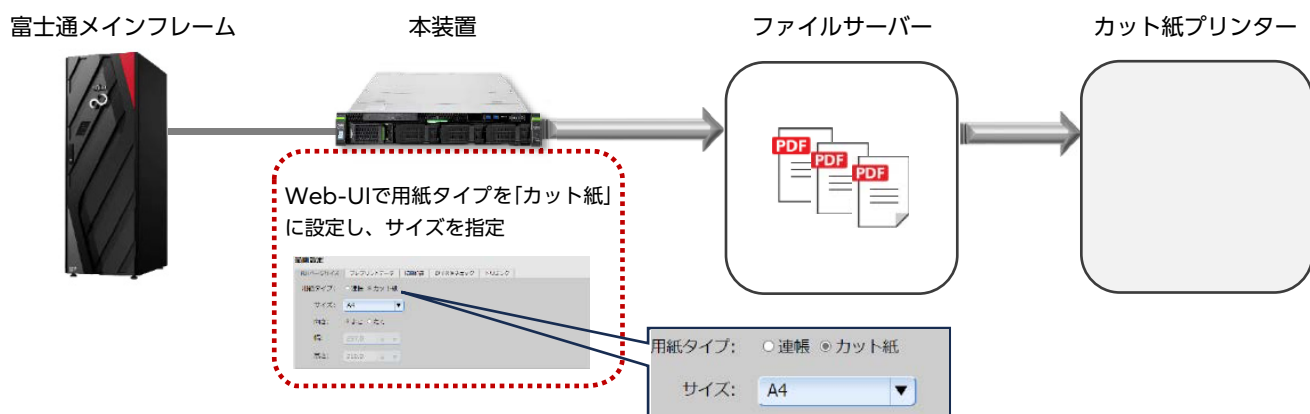


図 2.3 用紙タイプ (カット紙)

2.2 描画設定機能

PDF ファイル出力モデルには以下の機能があります。

- 描画位置設定機能
- 印字欠落チェック機能
- トリミング機能

2.2.1 描画位置設定機能

「描画位置」は印刷する用紙に合わせ、描画の位置を移動する機能です。
本機能を使用することで、大きめの用紙に印刷をしたあとに空白部分をカットするために位置を調整したり、プレプリント用紙への印刷で位置を微調整することができます。
設定については、[「7.1.5 描画設定（描画位置）」\(P.93\)](#)を参照してください。

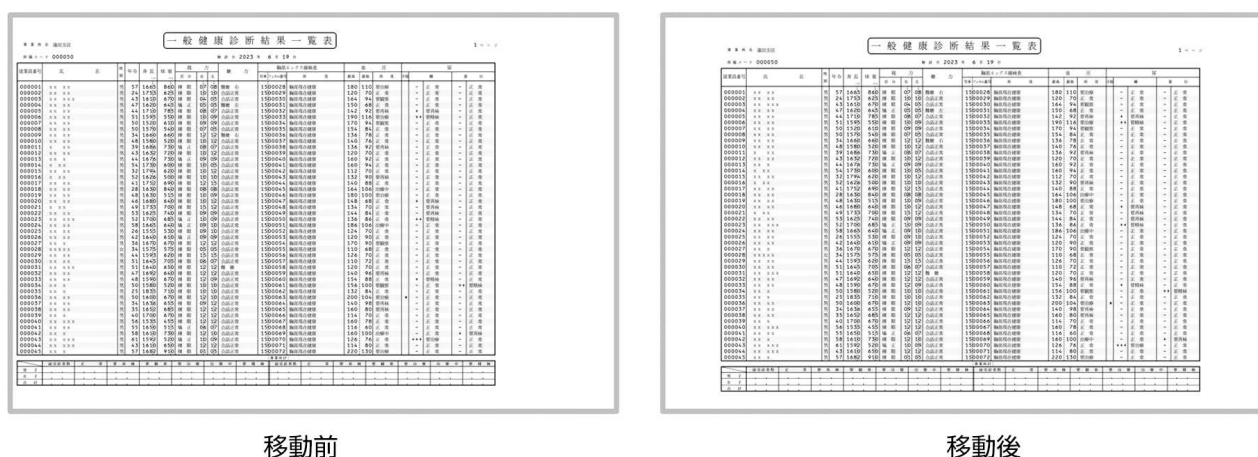


図 2.4 描画位置の移動例

2.2.2 印字欠落チェック機能

「印字欠落チェック」は、指定されている用紙の印字領域に対して、印刷データが領域をはみ出した場合に印字の欠落を検出する機能です。

本機能を使用することで、誤った用紙サイズの選択や誤った描画位置の変更などの場合に、異常を検出することが可能となります。

設定については、[「7.1.6 描画設定（印字欠落チェック）」](#) (P.96) を参照してください。

The figure consists of two side-by-side screenshots of a medical diagnosis form titled '一般健康診断結果一覧表' (General Health Examination Results Summary Table). The left screenshot, labeled '正常印刷イメージ' (Normal Print Image), shows the form printed correctly with all text visible. The right screenshot, labeled '印字欠落印刷イメージ' (Missing Character Print Image), shows the same form but with several areas where text is missing or cut off, highlighted by red boxes and arrows. These missing characters are primarily in the columns for '検査項目' (Examination Items) and '検査結果' (Examination Results).

正常印刷イメージ

印字欠落印刷イメージ

図 2.5 印字欠落チェック機能

印字欠落チェック機能では、検出した際の動作として以下の2種類が設定できます。

■ ログ

主に、運用開始前における従来装置からの帳票データ移行確認作業において、使用します。連帳データがカット紙に適正に割り付けられているかを確認するために使用します。

印字欠落が発生した場合に印字欠落検出ログに欠落情報を記録します。使い方の手順は以下のとおりです。

手順 ▶▶▶

- 1 富士通メインフレーム側で出力を行います。
- 2 [手順1](#) で出力した PDF ファイルがファイルサーバーに格納されていることを確認します。
- 3 印字欠落検出ログに欠落情報が記録されていないか確認します。ログに記録されていた場合は、以下を検討してください。
 - ・ 用紙サイズの見直し
 - ・ 描画位置調整 ([「7.1.5 描画設定（描画位置）」](#) (P.93) 参照)
 - ・ トリミング ([「7.1.7 描画設定（トリミング）」](#) (P.102) 参照)

備考

印字欠落検出ログに欠落情報が記録されていた場合は、作成された PDF ファイルに異常がある可能性があるため、ファイルサーバー内の該当する PDF ファイルを削除してください。

■ 停止

主に運用開始後に使用します。用紙サイズ内に印字が収まらない用紙情報を誤って選択した場合など、用紙サイズの誤りにより印刷物が欠落していることに気づかず正常な印刷として処理されないように、印字欠落が発生した場合に印字欠落検出ログに欠落情報を記録し、印刷を停止する機能です。

印刷停止時は、富士通メインフレームにエラーが通知されます。用紙情報の選択を誤った場合の復旧手順は以下のとおりです。

「リセット」ボタンと「スタート」ボタンを押して印刷を継続することも可能ですが、印字欠落が発生するため、注意してください。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 本装置の Web-UI で「リセット」ボタンを押します。
- 2 本装置の Web-UI で「用紙情報」の「選択」が正しいか確認します。

■ 「用紙情報」の「選択」が正しい場合

印刷データに対して使用する用紙サイズなどの設定が正しくない可能性があります、担当 SE に問い合わせてください。

■ 「用紙情報」の「選択」が誤っている場合

以下のいずれかの操作を実行します。

- ・ジョブを再実行せず、ライタからリカバリー操作を行う場合
以下の場合に操作が可能です。その他の場合は、[「ジョブを再実行し、先頭から再印刷を行う場合」\(P.36\)](#)の手順で操作してください。

- APS ライタの状態：Printing
- JES ライタの状態：Active

- (1) 本装置の Web-UI で「データ操作」から「クリアプリント」ボタンを押して、クリアプリントを実行します。
 - ・「印字欠落チェックを行う」のチェックあり
後続のページの印字欠落チェックも行います。
 - ・「印字欠落チェックを行う」のチェックなし
後続のページの印字欠落チェックを行いません。
 - (2) 本装置の Web-UI でクリアプリントが完了し「データ」ランプが消灯したことを確認します。
本装置の Web-UI でデータランプが点滅する ([「6.8 データランプ表示エリア」\(P.66\)](#) 参照) 場合は、[「ジョブを再実行し、先頭から再印刷を行う場合」\(P.36\)](#)の手順で操作してください。
 - (3) ライタでジョブの先頭から再出力 (BACKJOB など) を行います。
 - (4) 本装置の Web-UI で「用紙情報設定」で正しい「用紙情報」を「選択」します。
 - (5) ライタの準備ができたなら、本装置の Web-UI で「スタート」ボタンを押します。
- ・ジョブを再実行し、先頭から再印刷を行う場合
 - (1) 本装置の Web-UI で「データ操作」から「データキャンセル」ボタンを押して本装置内のデータを削除します。
 - (2) 本装置の Web-UI でデータランプが消灯したことを確認します。
 - (3) 本装置の Web-UI で「用紙情報設定」で正しい「用紙情報」を「選択」します。
 - (4) 本装置の Web-UI で「スタート」ボタンを押します。

(5) ライタからジョブを再実行します。

- 印刷を継続する場合

(1) 本装置の Web-UI で「リセット」ボタンを押します。

(2) 本装置の Web-UI で「スタート」ボタンを押します。



2.2.3 トリミング機能

「トリミング」は、用紙右端の不要な印刷を取り除く機能です。

本機能を使用することで、印字範囲外の領域に制御データが含まれている場合など、誤印字を防ぐことが可能となります。

設定については、[\[7.1.7 描画設定 \(トリミング\)\] \(P.102\)](#) を参照してください。

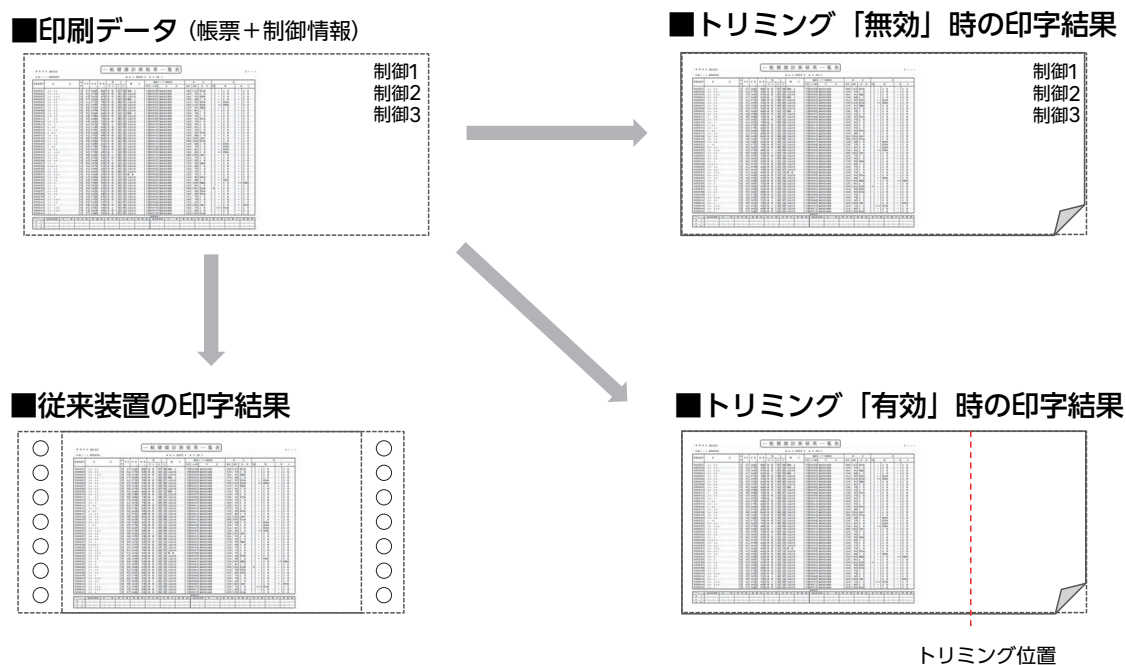


図 2.6 トリミング機能

トリミング位置は印刷幅（図 2.7 参照）で指定します。

15.24mm
(0.6インチ)

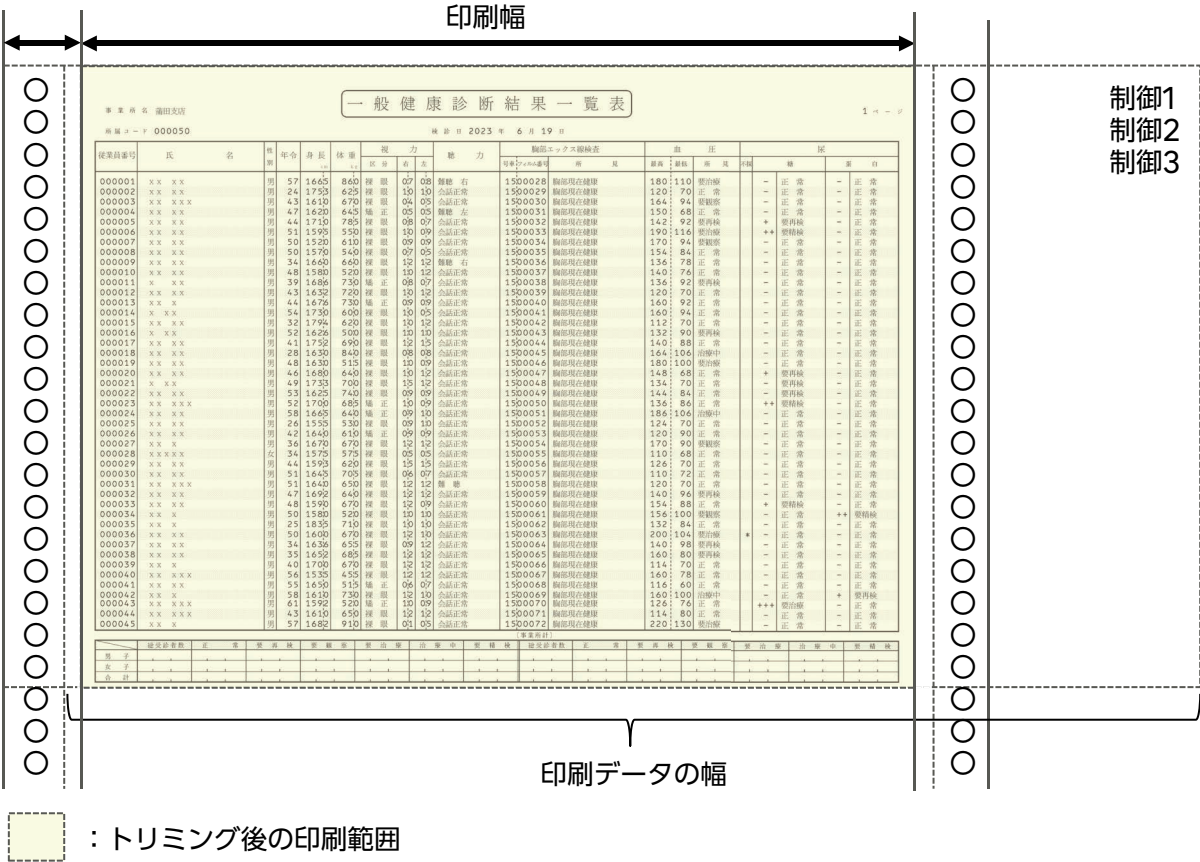


図 2.7 トリミングの印刷幅

2.2.4 各機能の処理順についての注意

各機能の処理順は以下になります。

- (1) 従来装置での連帳運用時の設定（垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動量）を反映
- (2) トリミング（トリミング設定が「有効」の場合）
- (3) 描画位置の上下・左右移動
- (4) 印字欠落チェック（印字欠落チェック設定が「有効」の場合）

2.3 仕分け機能

2.3.1 フォルダによる仕分け

従来装置では、プリンターのコピーセパレーションマークによるジョブの仕分けを行っていました。本装置では印刷ではなく PDF ファイル出力となるため、送信先フォルダを切り替えることによりジョブ仕分けを行います。これにより業務や用途別に以下のような仕分けが可能です。

- 業務単位での仕分け
- 印刷する用紙の種類での仕分け（用紙タイプでの仕分け）
- 印刷するプリンターでの仕分け（カラー、モノクロ）
- 後処理（裁断、封入）有無での仕分け
- BPO、手持ちプリンターでの印刷での仕分け

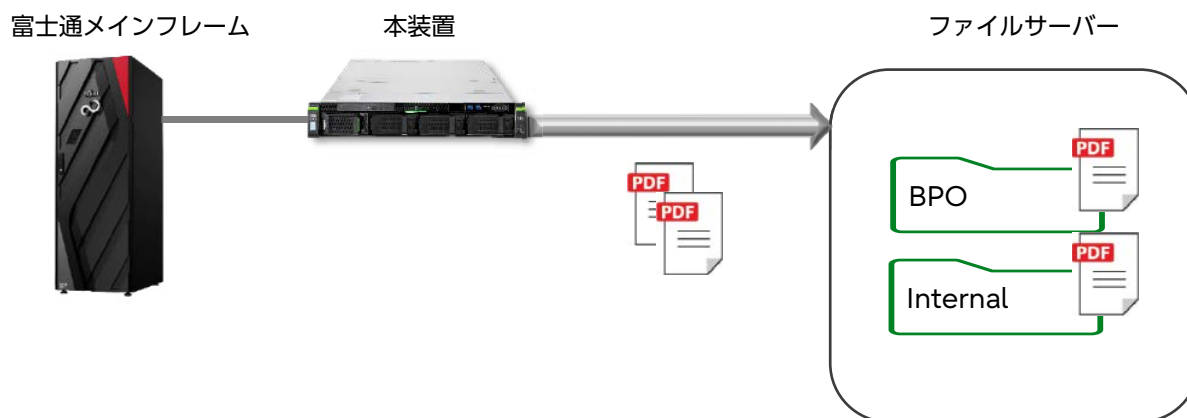


図 2.8 BPO、手持ちプリンターでの印刷の仕分け例

2.3.2 ファイル名による仕分け

本装置では、PDF ファイル名の先頭に仕分け用定義名を付加し、ファイル名による仕分けを行うことができます。

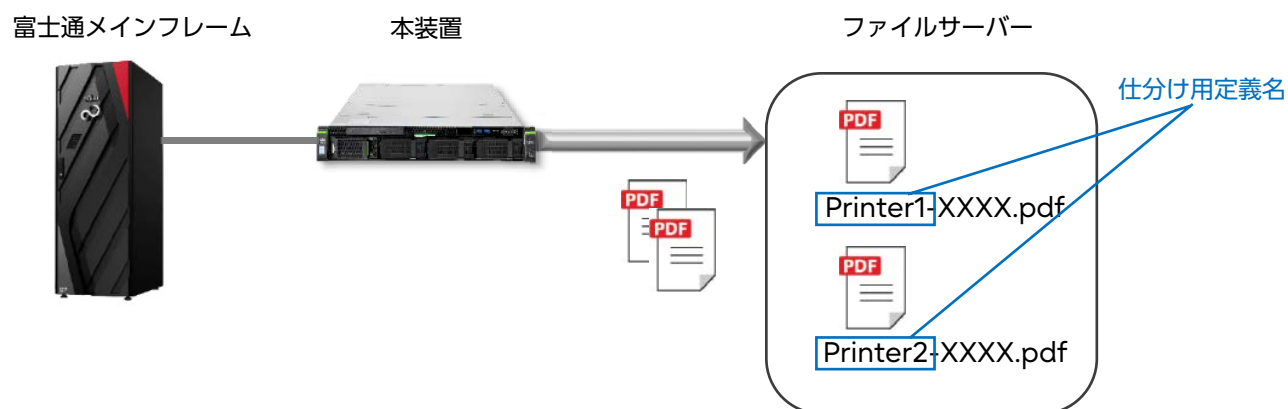


図 2.9 PDF ファイルによる仕分け

2.4 プレプリント重畳機能

本装置のプレプリント重畳機能を利用し、プレプリントデータ（プレ印刷）をレイヤーで重畳した PDF ファイルを生成することができます。これにより、カラープリンターでカラー印刷することが可能です。また、プレプリントデータは、PDF のレイヤー機能に対応し、1 つのレイヤーとして PDF ファイルに書き込まれます。これにより PDF ビューアー上で、プレプリントデータの重畳有無を切り替えて表示・確認することができます。詳細は、[「■ レイヤーの表示／非表示の切り替え」\(P.40\)](#) を参照してください。

プレプリント重畳機能による効果は以下のとおりです。

- ・ 汎用白紙用紙の使用が可能で、プレプリントデータの変更が容易となります。
- ・ プレプリント用紙使用時は印字との位置ずれの調整が必要でしたが、本機能を使用することにより不要となります。
- ・ PDF ファイルにより、ファイルサーバーで画面上での帳票内容の把握が容易となります。

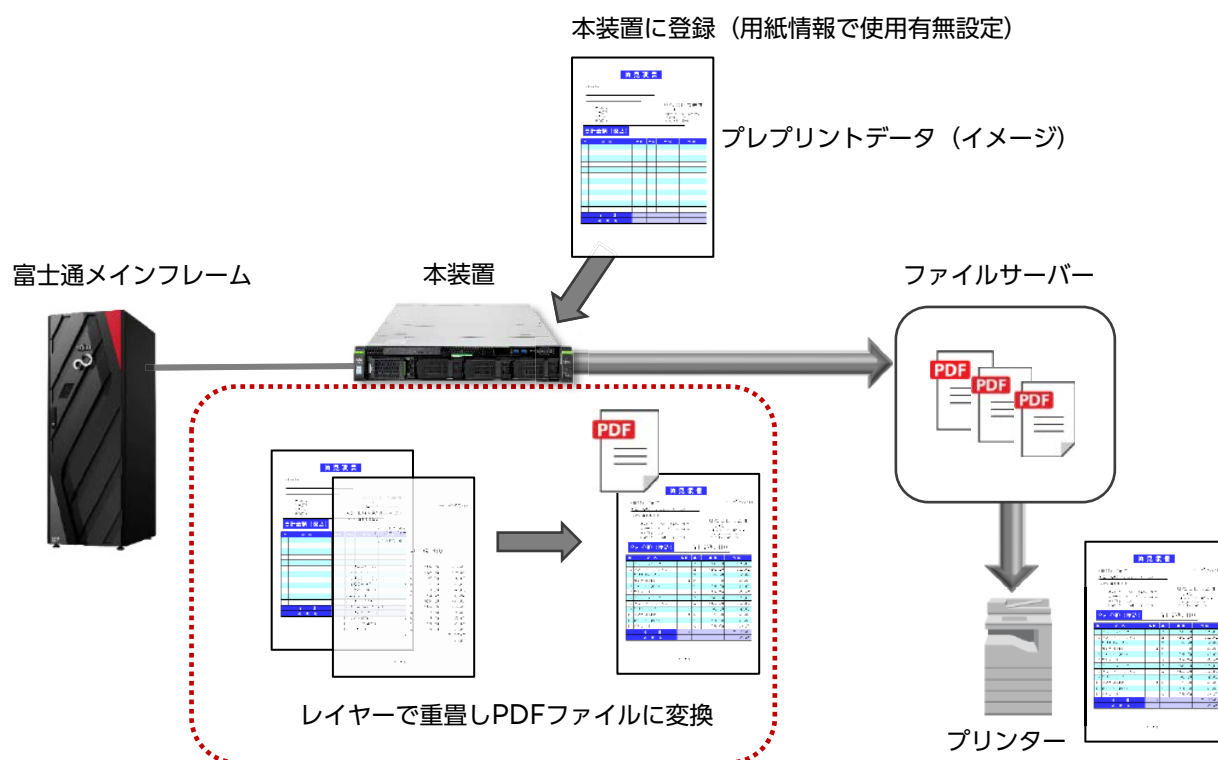


図 2.10 プレプリント重畳機能の流れ

■ レイヤーの表示／非表示の切り替え

レイヤーの表示／非表示の切り換えは、プレプリント用紙を使用して印刷する場合に活用できる機能です。プレプリント用紙へ印刷する場合にはプレプリントデータを PDF ファイルに埋め込む必要はありませんが、プレプリント用紙作成時に使用したプレプリントデータを本装置に取り込むことで、事前に重畳イメージを確認することが可能です。これにより、印刷前に仕上がリイメージを正確に把握できます。

第 3 章 導入手順

本章では導入の際に必要な事前準備、各種設定作業、およびバックアップまでの手順について説明します。導入時には以下の手順で作業を行ってください。

- 事前準備
 - (1) [\[3.1 運用検討と準備\] \(P.41\)](#)
- ファイルサーバーの構築と設定
 - (2) [\[3.2 ファイルサーバーの構築\] \(P.41\)](#)
 - (3) [\[3.3 フォルダーと認証ファイルの作成\] \(P.42\)](#)
- 運用管理端末の準備
 - (4) [\[3.4 運用管理端末の準備\] \(P.43\)](#)
- 本装置の設定
 - (5) [\[3.5 送信先フォルダーの登録\] \(P.43\)](#)
 - (6) [\[3.6 プレプリントデータの登録\] \(P.43\)](#)
 - (7) [\[3.7 用紙情報の作成\] \(P.44\)](#)
 - (8) [\[3.8 その他の設定\] \(P.44\)](#)
- 確認作業
 - (9) [\[3.9 運用確認\] \(P.45\)](#)
- バックアップ
 - (10) [\[3.10 バックアップ\] \(P.47\)](#)

3.1 運用検討と準備

以下の項目について、検討と準備をしてください。

- 帳票ごとに、印刷するプリンター装置を検討し、用紙サイズを選定してください。
- 業務に合わせ仕分けが必要な場合は、送信先フォルダーでの仕分けや PDF ファイル名での仕分けを検討してください。
- 従来装置でプレプリント用紙を使用しており、本装置のプレプリント重畳機能を使用する場合は、プレプリントデータファイルを準備してください。本装置で扱えるプレプリントデータのファイル形式は、[\[付録 I プレプリントデータファイルの形式\] \(P.221\)](#) を参照してください。

3.2 ファイルサーバーの構築

[\[付録 H ファイルサーバーの構築と設定\] \(P.218\)](#) を参照し、ファイルサーバーを構築してください。

3.3 フォルダーと認証ファイルの作成

ファイルサーバーにおいて、本装置に必要な設定作業を行います。以下に手順を示します。

手順 ▶▶▶

- 1 PDF ファイルの転送を行うための FTP 用フォルダーを準備します。
任意の場所に FTP 用のルートフォルダーを作成します。パス名の最大文字数は 40 文字です。
- 2 FTP 接続用ユーザーで、[手順 1](#) で作成したフォルダーにファイルの読み書きができるか確認します。
読み書きできない場合、フォルダーのプロパティの「セキュリティ」タブでアクセス権を設定してください。
アクセス権は[表 H.4](#) で設定したグループ名にします。
- 3 FTP ルートフォルダー配下に以下のフォルダーを作成してください。

フォルダー名	用途
Data	本装置で作成したPDFファイルの格納先です。このフォルダー配下に、業務に合わせた送信先フォルダーを作成します。
Maintenance	本装置の保守用ファイルの格納先です。

- 4 Data フォルダー内に、送信先フォルダーを業務に合わせ複数作成します。
送信先フォルダーのフォルダー名は 1～96 文字で指定します。利用可能文字は、半角英数字と記号です。ただし、" (ダブルクォーテーション)、\$ (ドルマーク)、& (アンパサンド)、' (シングルクォート)、* (アスタリスク)、, (カンマ)、/ (スラッシュ)、: (コロン)、; (セミコロン)、< (小なり)、= (イコール)、> (大なり)、? (クエスチョン)、@ (アットマーク)、¥ (円マークまたはバックスラッシュ)、` (バッククォート)、| (パイプライン)、および空白は使用できません。また、[(始め角括弧) と] (終わり角括弧) は同時に設定できません。
- 5 Maintenance フォルダー内に PS-R13_AUTH.txt という名前の認証ファイルを作成してください。ファイルの内容は、文字列 "PS-R13_AUTH" とします。



備考

本装置で指定する送信先フォルダー名は日本語非サポートです。ファイルサーバー上で日本語を含むフォルダー名を利用したい場合、シンボリックリンクを利用することで本装置からアクセスが可能となります。シンボリックリンクは以下の手順で作成します。

- (1) コマンドプロンプトを " 管理者として実行 " で開きます。
- (2) シンボリックリンクを作成するフォルダーへ移動します。
- (3) 以下のコマンドを実行しシンボリックリンクを作成します。
> mklink /d <リンク名> <ターゲットパス>

リンク名は本装置の送信先フォルダー名に登録するため半角英数字と一部の記号を使用してください。ターゲットパスは日本語フォルダー名を含む絶対パスを指定してください。ターゲットパスの文字数は 142 文字までとします。

3.4 運用管理端末の準備

運用管理端末は、本装置の操作を Web UI で行うために、LAN 経由で接続する必要があります。お客様にて別途ご用意ください。運用管理端末の詳細は、[\[1.3 接続構成例\] \(P.31\)](#) および「[\[5.1 動作環境\] \(P.52\)](#)」を参照してください。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 運用管理端末を接続します。
設置した運用管理端末 (*1) を本装置の「LAN1」(*2) と通信できるネットワークに接続し、電源を投入してください。
- 2 本装置を電源 ON にします。
本装置の COP の電源ボタンを押して、本装置の電源を投入します (「[\[■ COP のボタンと表示ランプ\] \(P.26\)](#)」参照)。
- 3 Web-UI のセキュリティに関する設定を行います。
運用管理端末から、Web-UI (ユーザー管理者モード) にログインします ([\[5.3 ログイン\] \(P.53\)](#) 参照)。
ログインパスワードやアクセス制限の設定を行います。(*3) (*4)

- *1: アクセス制御設定が有効となっている場合は、接続できる運用管理端末が制限されます。接続する運用管理端末がアクセス可能か事前に確認してください。
- *2: 本装置の LAN1 ポートは [\[1.2.2 背面\] \(P.28\)](#) を参照してください。
- *3: 一般ユーザーモードおよびユーザー管理者モードにログインする際のパスワードを必要に応じて変更することができます ([\[7.2.11 パスワード変更\] \(P.188\)](#) 参照)。
- *4: Web-UI にアクセスできる IP アドレスを制限することができます ([\[7.2.5 アクセス制御設定\] \(P.169\)](#) 参照)。



3.5 送信先フォルダーの登録

本装置にファイルサーバーの送信先フォルダー名を一括登録します。詳細は、[\[■ 送信先フォルダー名操作 \(一括登録\)\] \(P.150\)](#) を参照してください。

3.6 プレプリントデータの登録

本装置にプレプリントデータを登録します。登録の際、プレプリントデータを識別しやすくするためにコメントを付けることができます。運用に応じて設定してください。登録とコメントの追加についての詳細は、[\[■ プレプリントデータ操作 \(登録\)\] \(P.155\)](#) および [\[■ コメント操作 \(コメント編集\)\] \(P.158\)](#) を参照してください。

3.7 用紙情報の作成

用紙情報とは、富士通メインフレームからの印刷時に必要な、印刷位置や用紙幅などの設定を事前に登録し、印刷時に選択して使用する機能です。従来装置で使用していた用紙情報を本装置に引き継ぐこともできます。用紙情報を使用しない場合は、[\[3.8 その他の設定\] \(P.44\)](#)に進んでください。

従来装置で用紙情報を利用していなかった場合と、利用していた場合で手順が異なります。

■ 用紙情報を利用していなかった場合

手順 ▶▶▶ —————

- 1 ユーザー管理者モードでログインします。
- 2 本装置が「READY」の場合は、「ストップ」ボタンを押して、「NOT READY」にします（[\[■ 「ストップ」ボタン\] \(P.69\)](#) 参照）。
- 3 「用紙情報設定」メニューを押して用紙情報の「登録」を行います（[\[■ 用紙情報を登録・編集する\] \(P.144\)](#) 参照）。



■ 用紙情報を利用していた場合

手順 ▶▶▶ —————

- 1 用紙情報を従来装置から Import します。
保守技術員（担当 CE）に依頼し、従来装置から用紙情報を Export し、本装置に用紙情報を Import してください。
従来装置から Import される情報は、用紙番号、用紙情報名、垂直位置、水平位置、オーバーレイ位置、および印字幅です。Import される情報は、従来装置の種類によって追加になる場合があります。
- 2 ユーザー管理者モードでログインします。
- 3 本装置が「READY」の場合は、「ストップ」ボタンを押して、「NOT READY」にします（[\[■ 「ストップ」ボタン\] \(P.69\)](#) 参照）。
- 4 「用紙情報設定」メニューを押して、用紙情報の「編集」を行います（[\[■ 用紙情報を登録・編集する\] \(P.144\)](#) 参照）。
従来装置から Import した情報は取り込み済みのため、それ以外の情報を設定します。



3.8 その他の設定

用紙情報設定を除いたその他の項目（[表4.1](#)参照）については、変更する必要がある場合は、Web-UIで設定を行います。

3.9 運用確認

富士通メインフレームから印刷を行い、正しい送信先フォルダーに PDF ファイルが格納されていることを確認します。

手順 ▶▶▶

- 1 PDF ファイル名の確認
[\[7.1.13 PDF ファイル設定 \(ファイル名\)\] \(P.117\)](#) で設定したファイル名であることを確認します。
- 2 PDF ファイルのページ数の確認
ホストジョブのページ数と PDF ファイルのページ数が一致することを確認します。ファイルが分割されている場合は、分割されたファイルすべてを確認します。
 - (1) PDF ビューアーで PDF ファイルを開きページ数を確認します。
 - (2) PDF ファイル名にページ数を付加する設定をしている場合、ファイル名からページ数を確認します。
- 3 PDF ページサイズの確認
PDF ファイルを PDF ビューアーで開き、ページサイズが用紙情報で設定した値であることを確認します。
- 4 PDF ファイルの内容の確認
PDF ファイルを PDF ビューアーで開き、PDF ファイルが設定した内容であることを確認します。
 - 印刷位置の確認と調整
 - オーバレイ位置の確認 (ホストからオーバレイ印刷時)
 - プレプリントデータ位置の確認 (用紙情報でプレプリントデータファイルを設定時)
 - 用紙情報で設定した各種設定が反映されているかの確認

なお、印刷位置の確認と調整は以下の手順で行います。本手順は PDF ファイルでの印刷位置調整までとなります。印刷時に調整が必要な場合は、プリンター装置側で実施してください。

- プレプリントデータファイルを使用しない場合の印刷位置調整手順
 - (1) 印刷中でないことを確認します。
印刷途中で設定変更はできないため、以下を確認します。
 - ホストジョブが実行中でないこと
 - 本装置に印刷データがないこと
 - (2) ユーザー管理者メニューの「用紙情報設定」で編集する番号の行をクリックし、「登録・編集」ボタンを押して設定を変更します。選択する用紙タイプと印刷で使用するプリンターの印刷位置に合わせ、描画位置設定で位置を調節します。
 - (3) ユーザー管理者メニューの「用紙情報設定」で使用する番号の行をクリックし「選択」ボタンを押して、印刷に使用する用紙情報を選択します。
 - (4) 富士通メインフレームから確認する印刷ジョブを実行します。
 - (5) ファイルサーバーの送信先フォルダーに PDF ファイルが格納されていることを確認します。
 - (6) ファイルサーバーで PDF ファイルを開き内容を確認します。
 - 指定したページサイズであること
 - 印刷位置に問題がないこと

確認した結果が問題なければ終了します。変更が必要な場合は、[手順 \(1\)](#) へ戻ります。

- プレプリントデータファイルを使用する場合の印刷位置調整手順

- (1) 印刷中でないことを確認します。
印刷途中での設定変更はできないため、以下を確認します。
 - ホストジョブが実行中でないこと
 - 本装置に印刷データがないこと
- (2) ユーザー管理者メニューの「用紙情報設定」で編集する番号の行をクリックし、「登録・編集」ボタンを押し設定を変更します。選択する用紙タイプと印刷で使用するプリンターの印刷位置に合わせ、描画位置設定で位置を調節します。また、プレプリントデータファイルを選択します。
- (3) ユーザー管理者メニューの「用紙情報設定」で使用する番号の行をクリックし「選択」ボタンを押して、印刷に使用する用紙情報を選択します。
- (4) 富士通メインフレームより確認する印刷ジョブを実行します。
- (5) ファイルサーバーの送信先フォルダーに PDF ファイルが格納されていることを確認します。
- (6) ファイルサーバーで PDF ファイルを開き内容を確認します。
 - 指定したページサイズであること
 - 印刷位置に問題がないこと
 - 印刷データとプレプリントデータの位置に問題ないこと

確認した結果が問題なければ終了します。

プレプリントデータの位置を固定し印刷データの位置を調整する場合、[手順 \(2\)](#) へ戻ります。

印刷データの位置を固定しプレプリントデータの位置を調整する場合、グラフィックソフトでプレプリントデータファイルの画像の位置を編集します。プレプリントデータはイメージの左上を PDF ページの左上に合わせ配置される形となります。イメージの上側、左側の余白の量で位置を調整します。ユーザー管理者モードの「[■ プレプリントデータ操作 \(登録\)](#)」(P.155) で、変更後のプレプリントデータファイルを登録します。その後、[手順 \(2\)](#) へ戻ります。



3.10 バックアップ

本装置故障時の復旧作業に備え、以下の情報をあらかじめお客様にて運用管理端末へバックアップしてください。これらの情報は、本装置故障時に設定を復旧するために使用します。

手順 ▶▶▶

1 送信先フォルダー名一覧

送信先フォルダー名をデフォルトのまま運用する場合は、[手順 2](#)に進んでください。

ユーザー管理者メニューの用紙情報設定の「一覧表示」ボタンを押したあと、「保存」ボタンを押し、運用管理端末に送信先フォルダー名一覧のバックアップを行います（[\[7.2.1 用紙情報設定\] \(P.141\)](#) 参照）。

2 プレプリントデータファイル

プレプリントデータファイルを使用しない場合は[手順 4](#)に進んでください。

本装置に登録したプレプリントデータファイルを運用管理端末にバックアップしてください。

3 プレプリントデータファイルとコメント一覧

ユーザー管理者メニューのプレプリントデータ管理の「コメント操作（一覧表示）」ボタンを押したあと、「保存」ボタンを押し、運用管理端末にコメント一覧のバックアップを行います（[\[7.2.2 プレプリントデータ管理\] \(P.154\)](#) 参照）。

4 用紙情報

用紙情報を使用しない場合は、以下のバックアップ作業は不要です。

ユーザー管理者メニューの「Import/Export」の「Export」ボタンを押し、運用管理端末に用紙情報のバックアップを行います（[\[7.2.10 Import/Export\] \(P.185\)](#) 参照）。



注意

運用開始後、設定の変更を行った際は必ず、上記バックアップ作業を実施してください。

第 4 章 運用方法

4.1 設定項目

本装置で運用開始前に実施する初期設定と、運用中に実施する操作や表示項目を表 4.1 に示します。

表 4.1 初期設定と運用中の操作／表示項目

分類	操作／設定／表示項目	備考
初期設定	用紙情報設定	[第 3 章 導入手順] (P.41) 参照
	チャンネル設定	[7.1.17 チャンネル設定] (P.127) 参照
	アクセス制御	[7.2.5 アクセス制御設定] (P.169) 参照
	日時設定	[7.2.6 日時設定] (P.170) 参照
	NTP による日時同期設定	
	日時表示	[7.2.7 表示設定] (P.172) 参照
	接続先表示	
	ジョブ名表示	
	一般ユーザーパスワード変更	[7.2.11 パスワード変更] (P.188) 参照
	ユーザー管理者パスワード変更	
運用中の操作／ 表示項目	データランプの表示	[6.8 データランプ表示エリア] (P.66) 参照
	スタート／ストップ／リセット操作	[6.9 装置操作ボタンエリア] (P.67)
	印刷位置の調整	[7.1.5 描画設定 (描画位置)] (P.93) 参照
	用紙情報の選択	[7.1.3 用紙情報設定] (P.86) 参照
	コンビニ -EAN128 白黒補正	[7.1.8 印刷設定] (P.104) 参照
	JEF 設定	[7.1.9 印刷設定 (JEF 設定)] (P.106) 参照
	JEF/AP 設定	[7.1.11 印刷設定 (JEF/AP 設定)] (P.113) 参照
	PDF ファイル設定	[7.1.12 PDF ファイル設定 (送信先フォルダー名)] (P.115) 参照
	チャンネル設定	[7.1.17 チャンネル設定] (P.127) 参照
	用紙長の設定	[7.1.18 用紙長設定] (P.130) 参照
	データキャンセル操作	[7.1.19 データ操作] (P.131) 参照
	クリアプリント操作	

4.2 運用の手順

ここでは電源 ON/OFF の手順と、ホスト印刷を行う際の本装置の操作手順を示します。

4.2.1 電源 ON

ファイルサーバーおよび本装置を電源 ON にする手順を以下に示します。

手順 ▶▶▶

- 1 運用管理端末とファイルサーバーを電源 ON にします。
- 2 本装置を電源 ON にします。
電源ボタンを押して電源 ON にします（[「COP のボタンと表示ランプ」 \(P.26\)](#) 参照）。
- 3 富士通メインフレームから本装置に接続し、オンライン状態にします。
なお、仮想計算機を利用している場合は、事前に本装置を接続しているチャンネルをアタッチします。
- 4 本装置の準備を行います。
Web-UI で本装置が「READY」であることを確認します。
「READY」ではない場合、チャンネル接続が ON Line（[「7.1.17 チャンネル設定」 \(P.127\)](#) 参照）であることを確認し、「スタート」ボタンを押して本装置を「READY」にします（[「スタート」ボタン \(P.67\)](#) 参照）。

備考

本装置を常時通電にする場合は、本操作は不要です。

備考

本装置と運用管理端末が別々の部屋に設置されている場合などに LAN 経由のコマンド（Magic Packet®）を利用してリモートでの電源 ON が可能です。なお、ネットワーク機器は Magic Packet に対応している必要があります。

4.2.2 電源 OFF

ファイルサーバーおよび本装置を電源 OFF にする手順を以下に示します。本装置の操作は Web-UI（一般ユーザーモード）で行います。

電源 OFF にする前に処理が終わっていることを確認してください。

なお、ファイルサーバーのみ電源 OFF にしたいときは、本装置を「READY」のまま、[手順 3](#)を行ってください。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 「ストップ」ボタンを押して、本装置を「NOT READY」にします（[「ストップ」ボタン](#)（P.69）参照）。

備考

本装置を「NOT READY」にする前にライタを停止させてください。ライタ操作は各ライタのマニュアルを参照してください。

- 2 本装置を電源 OFF にします。
Web-UI の「電源」ボタンを押して、電源 OFF にします（[「電源」ボタン](#)（P.71）参照）。

備考

未印刷ジョブが残った状態で「電源」ボタンを押した場合、ジョブが失われることを示すポップアップ画面が表示されます（[「電源」ボタン](#)（P.71）参照）。

- 3 ファイルサーバーを電源 OFF にします。
ファイルサーバーが動作停止していることを確認し、電源 OFF にしてください。



4.2.3 富士通メインフレームからの印刷実行

手順 ▶▶▶

- 1 「ストップ」ボタンを押して、本装置を「NOT READY」にします（[「■ 「ストップ」 ボタン」 \(P.69\) 参照](#)）。
- 2 用紙情報設定（[「7.1.3 用紙情報設定」 \(P.86\) 参照](#)）で使用する用紙番号を選択します。
用紙情報を使用せず、印刷位置の調整が必要な場合は、描画設定（[「7.1.5 描画設定（描画位置）」 \(P.93\) 参照](#)）の「上下」と「左右」の値を変更します。
- 3 各種設定を確認し、必要があれば変更します。
 - JEF の場合
白黒補正（[「7.1.8 印刷設定」 \(P.104\) 参照](#)）
コンビニ-EAN128 目視文字位置（[「7.1.9 印刷設定（JEF 設定）」 \(P.106\) 参照](#)）
第2FPD 設定（[「7.1.10 印刷設定（第2FPD 設定）」 \(P.108\) 参照](#)）
 - JEF/AP の場合
コンビニ-EAN128 目視文字位置（[「7.1.11 印刷設定（JEF/AP 設定）」 \(P.113\) 参照](#)）
- 4 PDF ファイル名の変更改が必要な場合は、PDF ファイル設定（[「7.1.13 PDF ファイル設定（ファイル名）」 \(P.117\) 参照](#)）で PDF ファイル名の設定を行います。
- 5 用紙長（FCB）の定義がないジョブを印刷する場合は、用紙長の設定（[「7.1.18 用紙長設定」 \(P.130\) 参照](#)）を行います。
- 6 「スタート」ボタンを押して、本装置を「READY」にします（[「■ 「スタート」 ボタン」 \(P.67\) 参照](#)）。
- 7 ライタを操作し、富士通メインフレームから印刷を行います。



4.2.4 運用時の注意事項

従来装置では印刷完了を富士通メインフレーム側で確認できました。一方、本装置を経由した印刷では、ホストジョブが PDF 形式に変換され、PDF ファイルへの印刷データの書き込みが完了した時点で富士通メインフレーム側に印刷完了を通知します。

第 5 章 Web-UI の概要

5.1 動作環境

本装置の Web-UI を表示する運用管理端末の動作環境を以下に示します。

なお、保守技術員が PC の持ち込みができない場合、運用管理端末は保守作業で使うことがあるので、DVD-ROM ドライブを搭載してください。

表 5.1 Web-UI の動作環境

OS	ブラウザ	解像度と拡大レベル
Windows 10	Microsoft Edge	1280×1024 以上
Windows 11		100%推奨

5.2 Web-UI の操作画面

Web-UI は、本装置の状態表示と状態遷移、設定を行うためのユーザーインターフェースです。

Web-UI は、運用管理端末から表示します。運用管理端末の接続については、[\[3.4 運用管理端末の準備\]](#) (P.43) を参照してください。



図 5.1 Web-UI

5.3 ログイン

Web-UI の操作を始めるときは、運用管理端末の Web ブラウザを使用して本装置に接続し、ログインする必要があります。

5.3.1 アクセス手順

本装置の Web-UI にアクセスする手順を以下に示します。

手順 ▶▶▶

- 1 運用管理端末の Web ブラウザで、本装置の Web-UI の URL を指定します。

http://[IPアドレス]/webui

例：本装置の IP アドレスが 169.254.80.1 の場合

http://169.254.80.1/webui

注意

- [IP アドレス] は、[\[7.2.3 ネットワーク設定\] \(P.162\)](#) の「Web-UI 接続ポート設定」に設定した IP アドレスを指定します。
- 指定が間違っている場合、接続エラーや 403 / 404 エラーが発生します。

- 2 ログイン画面が表示されるので、ユーザーモードを選択、パスワードを入力してログインします。

ログイン

ユーザー: 一般ユーザー ▼

パスワード:

OK キャンセル

- ユーザーモード
操作する用途に応じて以下のいずれかのユーザーモードを選択します (*1)。
 - 一般ユーザー
 - ユーザー管理者
 - メンテナンス管理者
- パスワード
選択したユーザーのパスワードを入力します (*2)。

*1: 各ユーザーモードの詳細は、[\[5.3.2 ユーザーモードと権限\] \(P.54\)](#) を参照してください。

*2: パスワードの詳細は、[\[5.3.3 ユーザーモードのパスワード\] \(P.54\)](#) を参照してください。

3 「OK」ボタンを押します。

正しいパスワードを入力した場合、ユーザーで選択されたユーザーモードで Web-UI が表示されます。

備考

Web-UI を複数ブラウザから同時に使用することはできません。ほかのユーザーが Web-UI を使用している場合は「他ユーザー操作中」を表示し、操作することはできません（[「ほかのユーザーが使用中の場合の表示」](#) (P.75) 参照）。

ただし、同一 PC 上かつ同一ブラウザの場合は、ほかのユーザーが Web-UI を利用していても、あとからログインしたユーザーが操作できます。この場合、ログイン画面は表示されずに先にログインしたユーザーモードでログインされます。



5.3.2 ユーザーモードと権限

Web-UI のユーザーモードとアクセス制限を以下に示します。

表 5.2 ユーザーモードとアクセス制限

ユーザーモード	内容
一般ユーザーモード	本装置を印刷運用するユーザー用のモードです。主に印刷に関する設定や操作ができます。
ユーザー管理者モード	本装置を管理するユーザー用のモードです。主に運用管理端末に関する設定などの操作ができます。
メンテナンス管理者モード	本装置をメンテナンスする保守技術員（担当CE）向けのモードです。

5.3.3 ユーザーモードのパスワード

Web-UI のユーザーモードと、各ユーザーモードのパスワードについて、初期設定と変更の可否を[表 5.3](#)に示します。

表 5.3 ユーザーモードと初期パスワード

ユーザーモード	初期パスワード	変更可否
一般ユーザーモード	なし	可
ユーザー管理者モード	PRINTERADMIN	可

5.4 Web-UI の画面構成

Web-UI の画面は、大きく 3 つの領域（パネル）とポップアップ画面で構成されます。

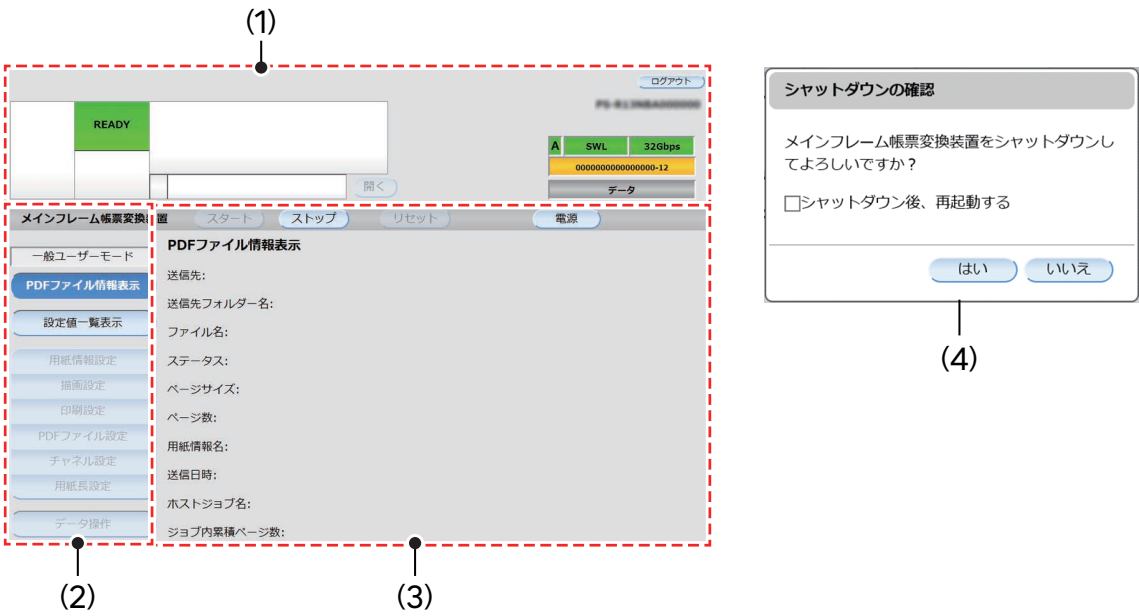


図 5.2 Web-UI の画面構成

表 5.4 画面構成

番号	構成要素	設定項目
(1)	メインパネル	常に表示される領域で、本装置の状態と主な操作ボタンが表示されます。
(2)	メニューパネル	現在のユーザーモードとメニューで構成されます。選択されたユーザーモードのメニューが表示されます。
(3)	コンテンツパネル	選択されたメニューに応じ、設定項目／表示または本装置の操作のためのコンテンツが表示されます。
(4)	ポップアップ画面	ユーザー操作の確認ダイアログとエラーダイアログが表示されます。ダイアログ表示中は Web-UI の操作はできません。

5.5 注意事項

- Web-UI 操作中に、ブラウザのボタン（「戻る」、「再読み込み」、および「閉じる」）を操作しないでください。これらのボタンを使用すると、予期しない影響を受けるおそれがあります。操作してしまった場合は、ブラウザのすべての画面を閉じてから、Web-UI に再接続してください。
- Web-UI を開いているときに休止状態やシステムスタンバイにならないようにしてください。休止状態またはシステムスタンバイ解除後の Web-UI の動作は保証しません。休止状態またはシステムスタンバイになった場合は、解除したあとに一度ブラウザのすべての画面を閉じて Web-UI に再接続してください。
- Web-UI 操作中に通信エラーのエラーダイアログが表示された場合は、運用管理端末と本装置間のネットワーク状態を確認してから一度ブラウザのすべての画面を閉じてから、Web-UI に再接続してください。

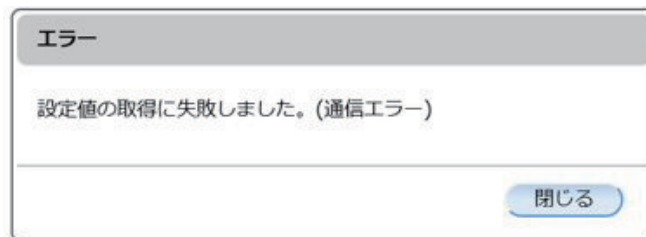


図 5.3 通信エラーのエラーダイアログ例

- Microsoft Edge の IE モードは使用できません。また、スリープタブ機能が有効となっている環境では、以下の事象などが発生する場合がありますため、Microsoft Edge の設定を行ってください。
 - 「通信エラー」や「他ユーザー操作中」などのエラーダイアログが表示される
 - Web-UI の表示が更新されない

なお、スリープタブ機能が無効となっている環境では対応不要です。

【設定内容】

Edge の「設定」－「システムとパフォーマンス」－「パフォーマンスの最適化」にある「これらのサイトをスリープ状態にしない」の横の「追加」を選択して、本装置の Web-UI 接続 IP アドレス（サイト欄に <IP アドレス> のみ記述または http://<IP アドレス> を記述）を追加してください。

第 6 章 Web-UI 操作（メインパネル）

本装置の Web-UI で常時表示される画面で、本装置の状態表示と主な操作ができます。
各エリアについて以下に示します。

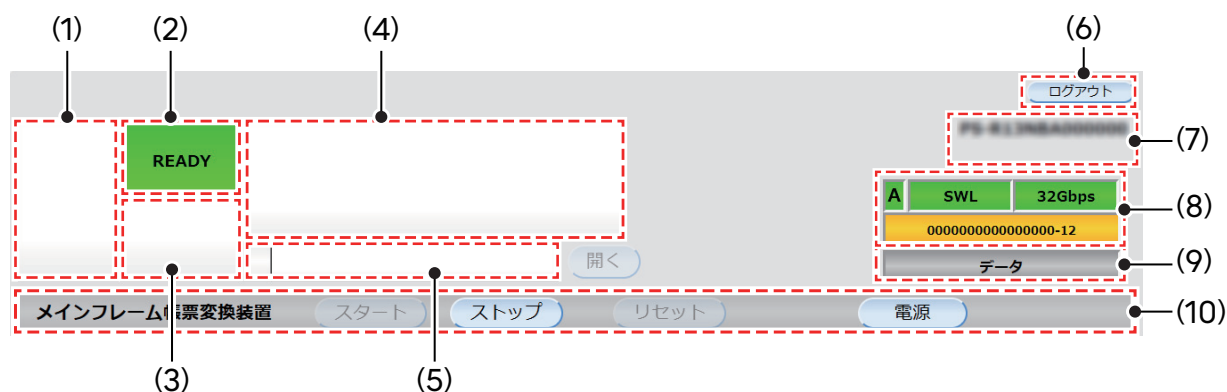


図 6.1 メインパネルの構成

表 6.1 メインパネルの部品一覧

番号	エリア名	備考
(1)	状態コード表示エリア	[6.1 状態コード表示エリア] (P.57)参照
(2)	装置状態表示エリア①	[6.2 装置状態表示エリア①] (P.58)参照
(3)	装置状態表示エリア②	[6.3 装置状態表示エリア②] (P.59)参照
(4)	メッセージエリア	[6.4 メッセージエリア] (P.60)参照
(5)	インフォメーション通知エリア	[6.5 インフォメーション通知エリア] (P.62)参照
(6)	ログアウトボタンエリア	[6.10 「ログアウト」 ボタンエリア] (P.72)参照
(7)	装置情報表示エリア	[6.6 装置情報表示エリア] (P.64)参照
(8)	チャンネル情報表示エリア	[6.7 チャンネル情報表示エリア] (P.65)参照
(9)	データランプ表示エリア	[6.8 データランプ表示エリア] (P.66)参照
(10)	装置操作ボタンエリア	[6.9 装置操作ボタンエリア] (P.67)参照

6.1 状態コード表示エリア

装置状態表示エリアの装置状態に応じた状態コードが表示されます。

- 初期化中、READY、メンテナンスの場合
何も表示しません（空白）。
- NOT READY の場合
「00」を表示します。
- エラーの場合
状態コードを表示します。状態コードは、[\[第 8 章 トラブルシューティング\]](#) (P.192) を参照してください。

6.2 装置状態表示エリア①

本装置の状態が表示されます。

表 6.2 装置状態表示エリア①

装置状態	表示色	意味
初期化中		本装置が初期化中（起動中）であることを示します。 初期化処理の完了後に、「READY」状態に遷移します。初期化処理が失敗した場合は、エラーに遷移します。
NOT READY		本装置は正常起動していますが、印刷はできない状態であることを示します。 本装置のメニューパネルおよびコンテンツパネルを操作する場合は、いったん「NOT READY」状態にする必要があります。 本状態には、以下のいずれかの操作により遷移します。 「ストップ」ボタンを押す - 復旧可能なエラー状態から「リセット」ボタンを押す
READY		本装置が正常起動しており、運用可能な状態であることを示します。印刷中などの正常動作中も本状態に含まれます。 本状態の場合、メッセージエリアは空白またはジョブ名が表示されます。
エラー		本装置に異常が発生し、運用が停止されている状態です。エラー状態は以下の 2 種類に分類されます。分類の判定はメインパネルに表示される状態コードおよびメッセージの内容で判断することができます。 - 復旧不可能なエラー 運用が継続できない異常が発生しており、電源ボタン（電源 OFF）のみ押すことができます。自動でサポートログ収集を行い、サポートログ収集完了画面が表示されます。本装置をシャットダウン後、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。 サポートログ収集 サポートログ収集に成功しました。 メインフレーム帳票変換装置をシャットダウンします。 ☒メインフレーム帳票変換装置をシャットダウン後、再起動する OK - 復旧可能なエラー 「リセット」ボタンでエラー状態が回復した場合は、ユーザー判断で、運用継続可能です。繰り返しエラーが発生した場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
メンテナンス		本装置がメンテナンス管理者モードであることを示します。メンテナンス管理者モードでログインした場合に本状態に遷移します。メンテナンス管理者モードは保守技術員（担当 CE）向けのモードです。

6.3 装置状態表示エリア②

エラーが発生している場合はエラーコードが表示され、処理中のデータがある場合はデータ処理中が表示されます。

■「装置状態表示エリア①」の装置状態がエラーの場合

エラーコードが表示されます。エラーコードの内容は、[\[第8章 トラブルシューティング\] \(P.192\)](#)の[表 8.2](#)を参照してください。



図 6.2 エラーコード表示

■ 富士通メインフレームからデータ受信を開始した場合

データ形式とデータ処理中が表示されます。データ形式は、JEF（ラインプリンタモード）の場合は「LP」、JEF/AP（ページプリンタモード）の場合は「PP」が表示されます（JEF/AP 出力機構オプション搭載時）。データ処理中の表示は、以下の状態に遷移すると消えます。

- 本装置が READY 以外の装置状態に遷移した
- すべてのデータを送信した
- データがキャンセルされた

出力を強制的に打ち切る指示を富士通メインフレームから行った場合、本装置内のすべてのデータをファイルサーバーに送信できず、データ処理中が表示されたままになることがあります。

この場合、本装置の「クリアプリント」ボタンまたは「データキャンセル」ボタンを押して、データ処理中を解除してください。詳細は、[\[7.1.19 データ操作\] \(P.131\)](#)を参照してください。



図 6.3 データ処理中表示

6.4 メッセージエリア

エラーが発生している場合はエラーメッセージが表示されます。ジョブ名表示が「有効」の設定でジョブ名が指定された場合は、ジョブ名が表示されます。ジョブ名表示の初期値は「有効」です。

■「装置状態表示エリア①」の装置状態がエラーの場合

エラーメッセージを表示します。エラーメッセージの内容は、[【第8章 トラブルシューティング】\(P.192\)](#)を参照してください。

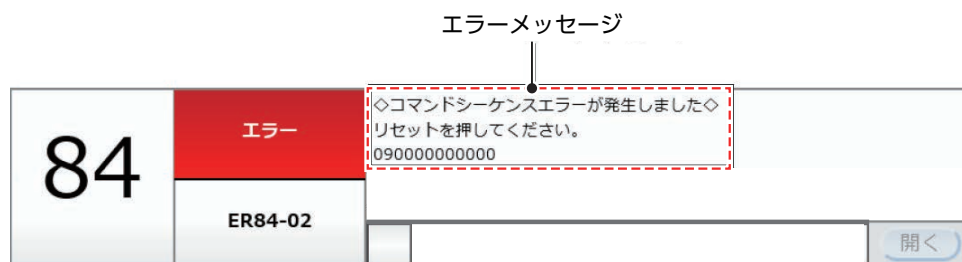


図 6.4 エラーメッセージ表示

■ ジョブ名が指定されたジョブがある場合

富士通メインフレームからジョブ名が指定された最初のページのPDFファイルの作成を開始したとき、メッセージエリアの最終行にジョブ名を表示します。

ジョブ名表示は印刷が終了しても表示されたままとなります。次のジョブ名が指定されることにより表示が切り替わります。

なお、ジョブ名は富士通メインフレーム APS ライタ利用時のみ表示することができます。

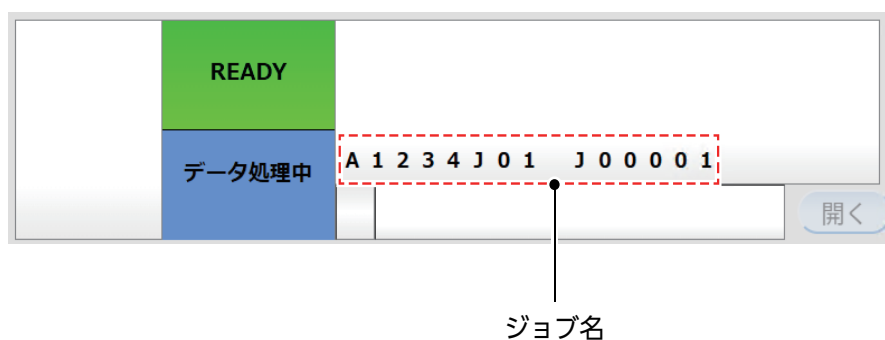
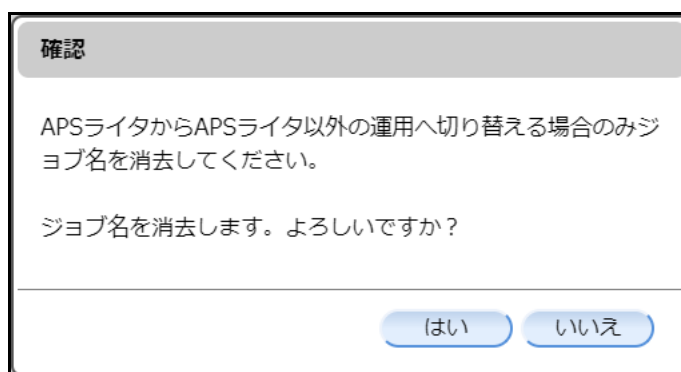


図 6.5 ジョブ名表示

備考



ジョブ名表示を使用する運用から、使用しない運用に切り換えた場合に、ジョブ名が表示されたままとなりますが、「ジョブ名消去」ボタンを押すことで表示を消すことができます。



「ジョブ名」を削除する場合は「はい」ボタンを押します。

「ジョブ名消去」ボタンは、本装置出荷時は非表示の設定となっているので、[\[7.2.7 表示設定\] \(P.172\)](#) の「[ジョブ名表示の設定を行う](#)」(P.177) を参照し、表示をする設定に変更してください。なお、「ジョブ名消去」ボタンは本装置の状態が「NOT READY」で、かつ、データランプの状態が「消灯」の場合に操作が可能となります。

再起動が必要となる場合

ユーザー管理者モードで以下の設定を変更した場合、再起動が必要となります。変更した値は、再起動後に適用されます。

- ネットワーク設定
- 送信先設定
- アクセス制御設定
- UPS 設定
- Import/Export の Import

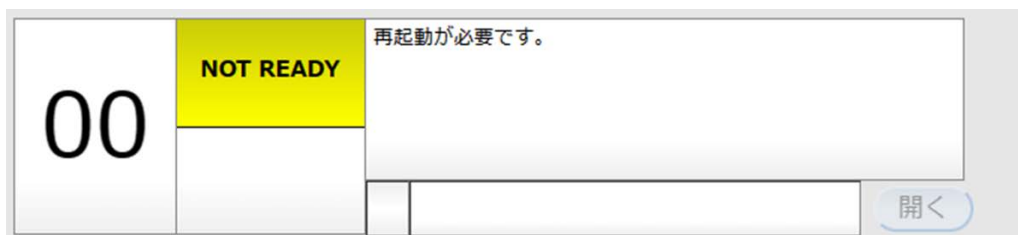
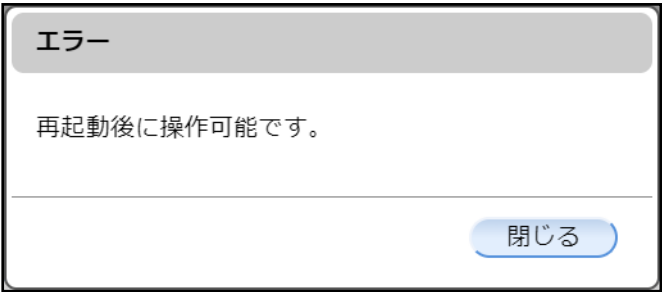


図 6.6 再起動メッセージ表示

備考

図 6.6 が表示されている時に、設定変更の操作を行った場合、以下のメッセージが表示されることがあります。設定変更は再起動後に実施してください。



6.5 インフォメーション通知エリア

インフォメーション通知のお知らせをするための領域です。



図 6.7 インフォメーション通知

表 6.3 メッセージアイコンとメッセージ表示

項目	説明	
メッセージアイコン + メッセージ領域	表示する補助情報のレベルがアイコンで表示されます。	
	アイコン	説明
		通知するインフォメーションがない場合にアイコンおよびメッセージ領域は表示しません。
開く		お知らせがある場合に表示します。 メッセージ領域には「お知らせがあります」と表示します。
	発生している情報の詳細を表示したポップアップ画面が開きます。 通知するインフォメーションがない場合は無効化され、押すことができません。 詳細は、図 6.8 を参照してください。	

インフォメーション通知エリアで「開く」ボタンを押すと、インフォメーションのポップアップ画面が表示されます。



図 6.8 インフォメーションのポップアップ画面

表 6.4 インフォメーションのポップアップ画面

項目	意味					
インフォメーション表示領域	通知するインフォメーションを以下のとおりに表示します。					
	メッセージ アイコン	通知する情報にあったアイコンを表示します。				
		<table><tr><th>アイコン</th><th>説明</th></tr><tr><td></td><td>お知らせを通知する場合に表示します。</td></tr></table>	アイコン	説明		お知らせを通知する場合に表示します。
		アイコン	説明			
		お知らせを通知する場合に表示します。				
日時	状態が発生した日時です。表示形式は以下のとおりです。 YYYY/MM/DD hh:mm 例：2024 年 12 月 7 日午後 1 時 12 分の場合 2024/12/07 13:12					
メッセージ	発生した状態を表示します。					
閉じる	本画面を閉じます。 「本画面を閉じる際に、表示されているインフォメーションを削除する。」をチェックした状態で「閉じる」ボタンを押すと、原因が解消されている場合、表示されていたインフォメーションは削除されます。					

6.6 装置情報表示エリア

装置名と日時が表示されます。

■ 装置名

装置情報表示エリアに本装置の装置名が表示されます。

ここで表示される装置名は、メンテナンス管理者モードメニューで設定します。



図 6.9 装置名

■ 日時表示

装置情報表示エリアに本装置の現在日時を表示します。

ここで表示される日時は、ユーザー管理者モードメニュー [\[7.2.6 日時設定\] \(P.170\)](#) で設定します。また、ユーザー管理者モードメニューの [\[7.2.7 表示設定\] \(P.172\)](#) の「日時表示」の設定により、日時表示の有無を選択できます。



図 6.10 日時表示

6.7 チャネル情報表示エリア

チャネル情報表示エリアには、チャネル情報とホスト接続先情報が表示されます。

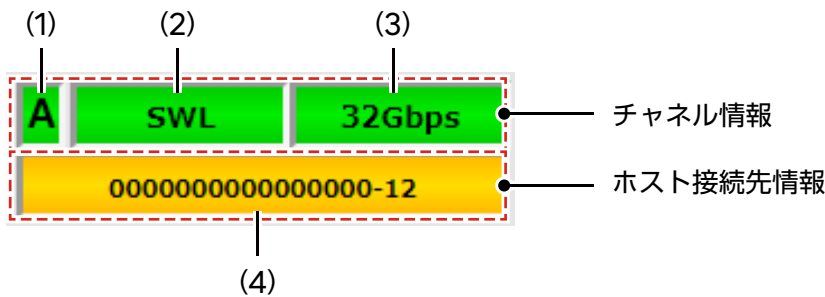


図 6.11 チャネル情報表示

■ チャネル情報

チャネル接続先と接続されている FCLINK カードの情報が表示されます。

表 6.5 チャネル情報

項番	項 目	説 明						
(1)	チャネル接続先	本装置と接続しているホストの接続先（A または B）が表示されます。 チャネル接続の設定が OFF Line の場合は何も表示されません。 チャネル接続とチャネル接続先は、一般ユーザーモードメニューの 「7.1.17 チャネル設定」 (P.127) で設定できます。						
(2)	FCLINK カード種別	接続している FCLINK カードの種別が表示されます。 LWL（Long Wavelength Laser：長波長）または、 SWL（Short Wavelength Laser：短波長）が表示されます。 チャネル接続の設定が OFF Line の場合は何も表示されません。 チャネル接続は、一般ユーザーモードメニューの 「7.1.17 チャネル設定」 (P.127) で設定できます。						
(3)	FCLINK カード転送速度	接続している FCLINK カードの転送速度が表示されます。 32Gbps または、8Gbps が表示されます。チャネル接続の設定が OFF Line の場合は何も表示されません。 チャネル接続は、一般ユーザーモードメニューの 「7.1.17 チャネル設定」 (P.127) で設定できます。						
(1)~(3)	背景色	背景色で現在のチャネルの接続状態を示します。 <table><tr><th>表示</th><th>状態</th></tr><tr><td></td><td>Channel Enable 状態 (本装置がホストと接続している場合)</td></tr><tr><td></td><td>Channel Disable 状態 (本装置がホストと接続していない場合)</td></tr></table>	表示	状態		Channel Enable 状態 (本装置がホストと接続している場合)		Channel Disable 状態 (本装置がホストと接続していない場合)
表示	状態							
	Channel Enable 状態 (本装置がホストと接続している場合)							
	Channel Disable 状態 (本装置がホストと接続していない場合)							

*1: FCLINK カード転送速度は保守技術員（担当 CE）が設定を行います。

■ ホスト接続先情報

本装置と接続しているホストの情報が表示されます。

表 6.6 ホスト接続先情報

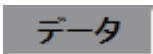
項番	項 目	説 明
(4)	ホスト接続先情報	本装置と接続しているホストの情報が表示されます。 接続していない場合は、「アタッチされていません」と表示されます。 接続内容は、ユーザー管理者モードメニューの [7.2.7 表示設定] (P.172) の接続先情報表示設定を参照してください。

6.8 データランプ表示エリア

データ表示エリアに本装置内のデータの状態をデータランプの点灯・点滅・消灯で表示します。

[表 6.7](#) に、表示状態とデータ状態の意味を示します。

表 6.7 データランプの表示状態と意味

ランプ	表示色	状態	意味
データ		消灯	READY 状態（印刷待ち／印刷中） NOT READY 状態で本装置内に印刷データはありません。
		点灯	NOT READY 状態で本装置内に印刷データがあります。(*1)
		点滅	NOT READY 状態で本装置内に印刷（未完成ページ）データがあります。

*1: データランプ点灯中に設定を変更した場合、「データがあるため、設定変更できません」と表示されることがあります。

6.9 装置操作ボタンエリア

本装置を操作するボタンが表示されます。装置状態によって有効または無効になる操作ボタンがあります。

表 6.8 装置状態の表示と機能

装置状態	装置操作ボタンの有効無効			
	スタート	ストップ	リセット	電源
初期化中	×	×	×	×
NOT READY	○	×	×	○
READY	×	○	×	○
エラー	×	×	○ (*1)	○

○：有効（操作可）、×：無効（操作不可）

*1: 復旧不可能なエラーの場合、「リセット」ボタンは無効となり操作できません。

■「スタート」ボタン

本装置を印刷が可能な状態（*1）である「READY」に遷移させる場合は、「スタート」ボタンを押します。

「スタート」ボタンは本装置の状態が「NOT READY」の場合に有効となります。

ただし、「スタート」ボタンはチャンネル接続先で選択されているチャンネルが OFF Line のときには操作できません（[\[7.1.17 チャンネル設定\]](#)（P.127）参照）。

*1: 印刷が可能な状態とは、富士通メインフレームから印刷データを受信し、ファイルサーバーに送信することが可能な状態を示します。

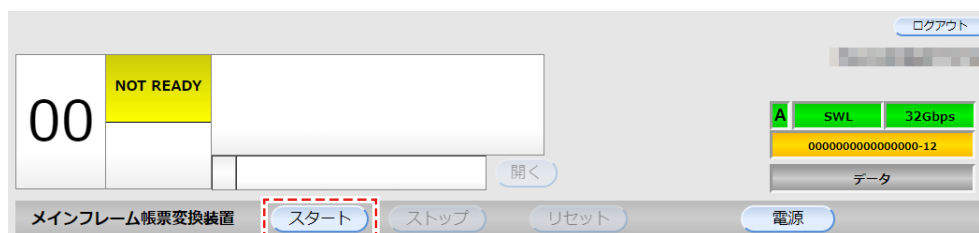


図 6.12 「スタート」ボタン

スタートボタンを押すと、ファイルサーバー、および富士通メインフレームとの通信を行います。通信中は以下の画面が表示されます。

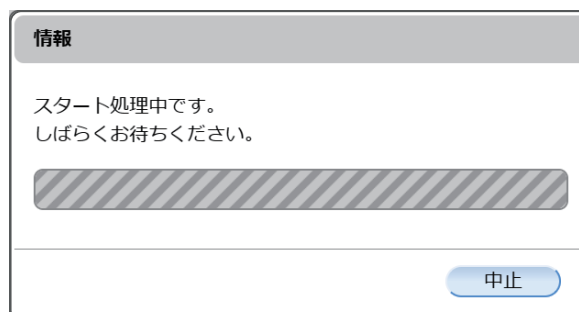


図 6.13 ファイルサーバーおよび富士通メインフレームとの通信中画面

注意

「日時設定」画面の「NTP 接続」を有効に変更したあと、1 回目のスタート遷移は、NTP サーバーと通信を行うため通常より時間がかかります。

「中止」ボタンを押すと、スタート処理を中止し、装置の状態は「NOT READY」のままとなります。

ファイルサーバーとの通信が失敗した場合、以下のエラーとなります。「リセット」ボタンを押して状態を確認してください。

- ファイルサーバーの電源が入っていない、またはネットワーク接続ができない。（「ER8B-80」、 「ER8B-8F」）
- ファイルサーバーへの FTP ログインに失敗した。（「ER8D-40」、 「ER8D-41」）
- ファイルサーバーの認証ファイル取得ができない。（「ER8D-43」）
- ファイルサーバーの認証ファイルに異常がある。（「ER8D-44」）
- ファイルサーバーの FTP サーバーが正しく設定されていない。（「ER8D-4A」）

富士通メインフレームと通信中に富士通メインフレームから切断される場合があります。この場合、本装置に「ER80-A0」が表示されるため、「リセット」ボタンを押して富士通メインフレームとの接続状態を確認してください。チャネル接続は「OFF Line」になります。

また、「中止」ボタンを押すタイミングにより、スタート処理を中止できず、「READY」になる場合があります。



図 6.14 READY 状態のメインパネル

備考

【印刷時のポイント】

印刷を行う場合、以下の状態になっていることを確認してください。

- 本装置が「READY」かつ、ファイルサーバーがファイル受信可能（FTP 接続可能）な状態になっていること。

■ 「ストップ」 ボタン

「NOT READY」 に遷移させる場合に、「ストップ」 ボタンを押します。
「ストップ」 ボタンを押すとファイルサーバーへの PDF ファイル送信を停止します。ただし、送信中の PDF ファイルがある場合は送信が完了してから「NOT READY」になります。
「ストップ」 ボタンは、本装置の状態が「READY」の場合に有効となります。

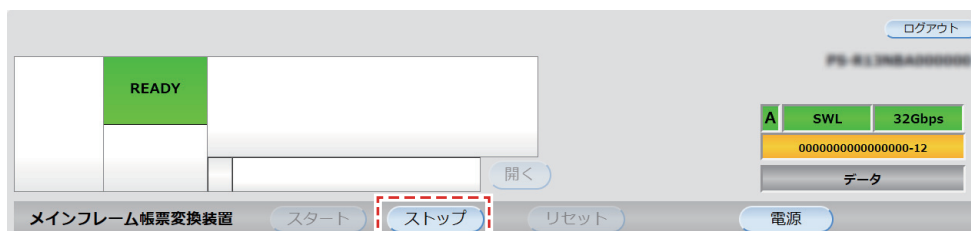


図 6.15 「ストップ」 ボタン

「ストップ」 ボタンを押すと、ストップ処理中の画面が表示されます。



図 6.16 ストップ処理中画面

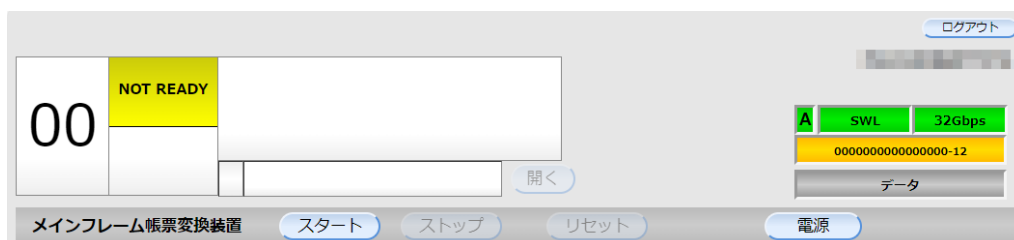


図 6.17 NOT READY 状態のメインパネル

■「リセット」ボタン

本装置でエラーが発生した際に、本装置のエラー状態を解除するときは「リセット」ボタンを押します。また、ファイルサーバーでエラーが発生した場合は、ファイルサーバー側で復旧操作を実施してください。なお、「リセット」ボタンは、復旧可能なエラーの場合に有効となります。「リセット」ボタンを押すことにより、すべてのエラーが復旧できた場合に「NOT READY」に遷移します（*1）。

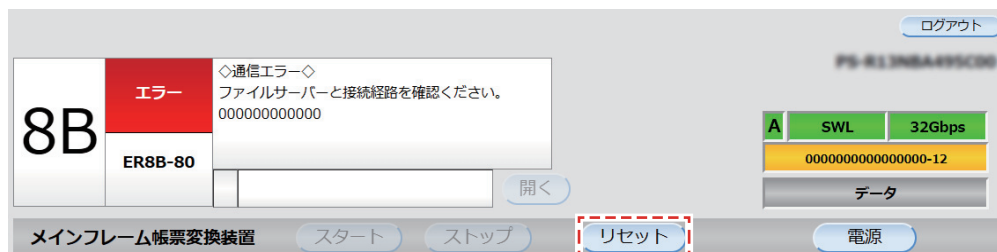


図 6.18 リセット可能なエラー状態

*1: 「リセット」ボタンは1つのエラーに対して復旧処理を行うため、エラー要因が複数の場合、エラー要因の数だけ「リセット」ボタンを押す必要があります。

「リセット」ボタンを押すと、リセット処理中の画面が表示されます。

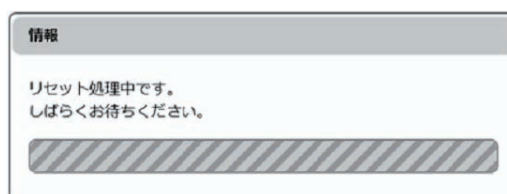


図 6.19 リセット処理中画面

■「電源」 ボタン

本装置を OFF する際に「電源」 ボタンを押します。「電源」 ボタンは、初期化中を除くすべてのモードで操作できます。

「電源」 ボタンを押したあとは、シャットダウンを確認するためのポップアップ画面が表示されます。表示するポップアップ画面については、[表 6.9](#) を参照してください。

表 6.9 「電源」 ボタンを押したときのポップアップ画面

データ	ポップアップ画面と動作	
データなし	シャットダウンの確認 メインフレーム帳票変換装置をシャットダウンしてよろしいですか？ ☐ シャットダウン後、再起動する はい いいえ	
	ボタン	動作
	はい	本装置をシャットダウンします。 「シャットダウン後、再起動する」をチェックすると、シャットダウン後に本装置を再起動します。
	いいえ	本画面を閉じて、操作画面に戻ります。
データあり (*1)	シャットダウンの確認 本装置内にデータがあります。 シャットダウンするとデータが破棄されます。 メインフレーム帳票変換装置をシャットダウンしてよろしいですか？ ☐ シャットダウン後、再起動する はい いいえ	
	ボタン	動作
	はい	本装置内のデータを破棄してシャットダウンします。 「シャットダウン後、再起動する」をチェックすると、シャットダウン後に本装置を再起動します。
	いいえ	本画面を閉じて、操作画面に戻ります。

*1: データありの状態で送信中の PDF ファイルについては、ファイルサーバーへの転送が完了してからシャットダウンします。送信中以外の印刷データについては破棄します。

6.10 「ログアウト」 ボタンエリア

本装置の Web-UI からログアウトするには、メインパネルの「ログアウト」 ボタンを押します。
Web ブラウザの閉じるボタン、ファイルメニューの終了からの Web-UI の終了は実施しないでください（本装置シャットダウン後のブラウザを閉じる操作以外）。

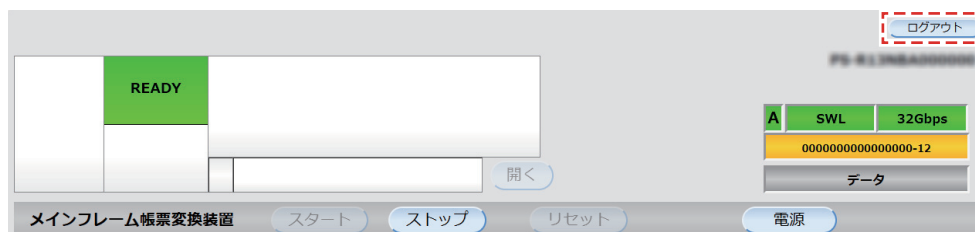


図 6.20 「ログアウト」 ボタンエリア

第7章 Web-UI 操作 (メニューパネル／コンテンツパネル)

メニューパネルで選択したメニューの項目がコンテンツパネルに表示されます。
メニューパネル、コンテンツパネルを操作するときは、メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にして、富士通メインフレームからのデータ受信を停止してから操作してください。



図 7.1 メニューパネルとコンテンツパネル (READY 状態)



図 7.2 メニューパネルとコンテンツパネル（NOT READY 状態）

■ ほかのユーザーが使用中の場合の表示

以下のいずれかの場合は、メニューパネルのユーザーモード表示領域が「他ユーザー操作中」の表示になります。

- すでにほかのユーザーがログインしている状態でログインした場合
- ほかのユーザーがあとから権限レベルの高いユーザーモードでログインした場合（権限レベルの詳細は、[表 7.1](#) 参照）

備考

Web-UI 操作を行いたい場合は、ほかのユーザーがログアウトしたことを確認後に再ログインしてください。



図 7.3 ユーザーモード表示領域

表 7.1 ユーザーモードの表示と権限レベル

通常時	ユーザーモード	権限レベル
一般ユーザーモード	一般ユーザーモード	低
ユーザー管理者モード	ユーザー管理者モード	中
メンテナンス管理者モード	メンテナンス管理者モード	高
他ユーザー操作中	-	-

■ 選択可能なメニュー

本装置の状態で、選択できるメニューが異なります。詳細を、[表 7.2](#) に示します。

表 7.2 装置状態と選択可能なメニュー

READY	NOT READY	エラー
すべてのメニューが選択不可	すべてのメニューが選択可能	ER85-52/ER8A-52 が発生した場合のみ 「印刷設定」が選択可能 上記以外選択不可

■ 設定情報入力時のエラー表示

コンテンツパネルまたはポップアップ画面の設定で、範囲外の値を入力して「適用」ボタンを押した場合、入力値エラーが表示されます。表示された使用可能文字を参考に再入力してください。

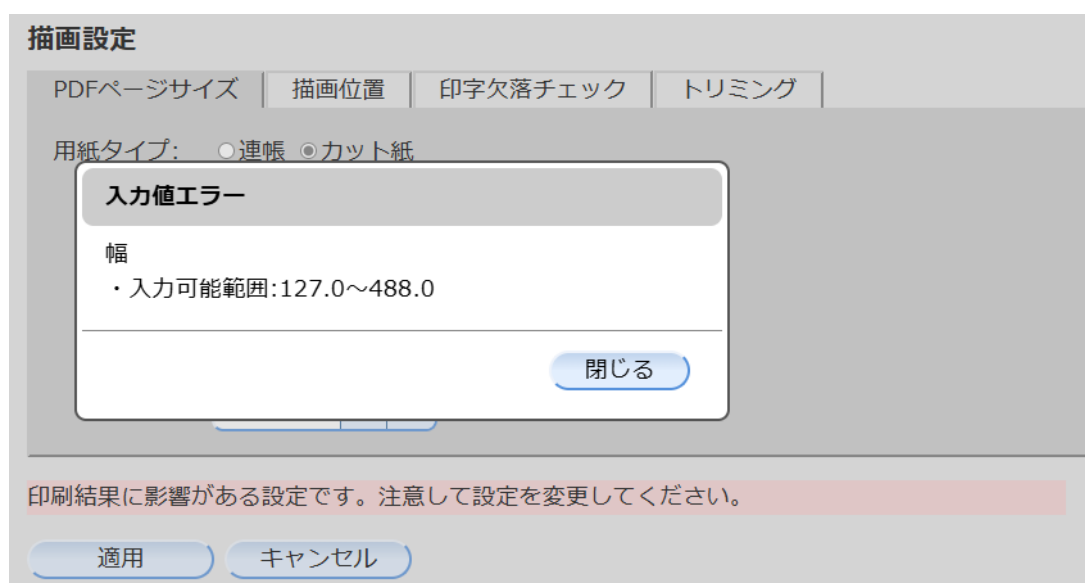


図 7.4 設定情報入力時のエラー表示例

■ 設定未適用時の警告表示

「適用」ボタンのあるメニューで「適用」ボタンを押さずに、メニューの移動やほかのボタンが押された場合、警告画面または確認画面を表示します。詳細は、[表 7.3](#) を参照してください。なお、設定変更中に本装置にエラーが発生した場合、変更中の設定値は破棄されます。

表 7.3 設定未適用時の警告表示

表示	ポップアップ画面と動作						
警告	「適用」ボタンのあるメニューで「適用」ボタンを押さずにほかのメニューへ移動しようとした場合に以下の警告画面を表示します。 警告 メニューを操作すると変更中の設定値は破棄されます。 よろしいですか？ はい いいえ <table><tr><th>ボタン</th><th>動作</th></tr><tr><td>はい</td><td>変更した設定値を破棄し、他のメニューに移動します。</td></tr><tr><td>いいえ</td><td>本画面を閉じて、元のメニュー操作画面に戻ります。</td></tr></table>	ボタン	動作	はい	変更した設定値を破棄し、他のメニューに移動します。	いいえ	本画面を閉じて、元のメニュー操作画面に戻ります。
ボタン	動作						
はい	変更した設定値を破棄し、他のメニューに移動します。						
いいえ	本画面を閉じて、元のメニュー操作画面に戻ります。						
確認	「適用」ボタンのあるメニューで「適用ボタン」を押さずに「スタート」ボタンまたは「電源」ボタンを押した場合に以下の確認画面を表示します。 確認 変更中の設定値は破棄されます。 よろしいですか？ はい いいえ <table><tr><th>ボタン</th><th>動作</th></tr><tr><td>はい</td><td>変更した設定値を破棄して、「スタート」ボタンまたは「電源」ボタン操作を実行します。</td></tr><tr><td>いいえ</td><td>本画面を閉じて、元のメニュー操作画面に戻ります。</td></tr></table>	ボタン	動作	はい	変更した設定値を破棄して、「スタート」ボタンまたは「電源」ボタン操作を実行します。	いいえ	本画面を閉じて、元のメニュー操作画面に戻ります。
ボタン	動作						
はい	変更した設定値を破棄して、「スタート」ボタンまたは「電源」ボタン操作を実行します。						
いいえ	本画面を閉じて、元のメニュー操作画面に戻ります。						

■ Web-UI 操作でタイムアウト発生時の表示

Web-UI 操作でタイムアウトが発生した場合に自動でサポートログ収集を行い、サポートログ収集画面を表示します。本装置をシャットダウン後、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

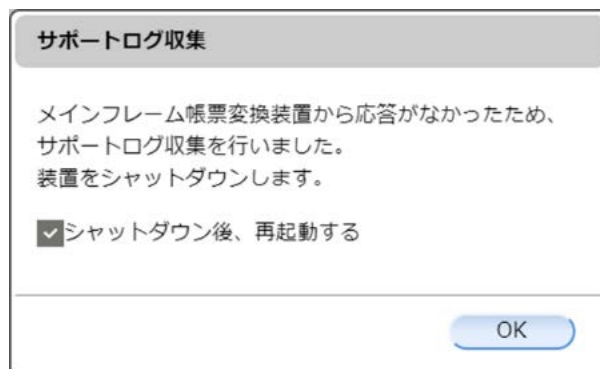


図 7.5 サポートログ収集完了画面

サポートログ収集でタイムアウトが発生した場合は、エラーダイアログを表示します。本装置をシャットダウン後、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

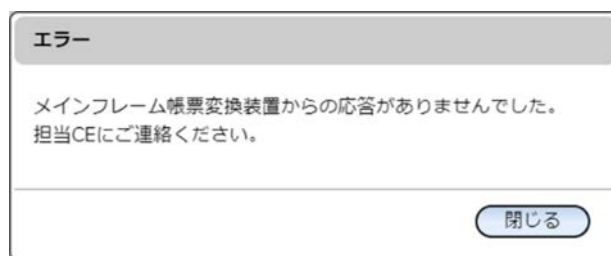
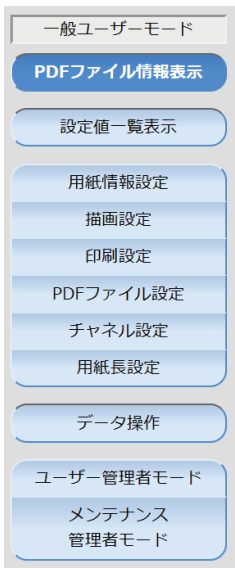


図 7.6 サポートログ収集タイムアウト発生時のエラーダイアログ

■ 各ユーザーモードのメニュー一覧

各ユーザーモードで操作できるメニューを[表 7.4](#)に示します。

表 7.4 メニューパネル

一般ユーザーモード	ユーザー管理者モード
表示されるメニューについては、「7.1 一般ユーザーモードメニュー」 (P.80) を参照してください。 	表示されるメニューについては、「7.2 ユーザー管理者モードメニュー」 (P.139) を参照してください。 

備考

メニューパネルは、画面をスクロールすることで、「ユーザー管理者モード」および「メンテナンス管理者モード」のメニューが表示されます。

また、「メンテナンス管理者モード」は、保守技術員（担当 CE）向けのモードです。

7.1 一般ユーザーモードメニュー

本装置を使用する一般ユーザー用のモードで、主に以下の操作を行うことができます。

- 印刷に関する設定表示／変更
- 印刷データのクリアプリント／データキャンセル

各設定項目について以下に示します。

表 7.5 一般ユーザーモードメニュー一覧

メニュー	設定		備考	
PDF ファイル情報表示	ファイルサーバーへ送信中または送信済みの PDF ファイル情報を表示		[7.1.1 PDF ファイル情報表示] (P.82) 参照	
設定値一覧表示	一般ユーザーモードの設定内容を表示		[7.1.2 設定値一覧表示] (P.83) 参照	
用紙情報設定	現在選択中の用紙情報	選択中の用紙情報を表示	[7.1.3 用紙情報設定] (P.86) 参照	
	用紙情報操作	選択		
		詳細		
描画設定	PDF ページサイズ	用紙タイプ	[7.1.4 描画設定 (PDF ページサイズ)] (P.90) 参照 [7.1.5 描画設定 (描画位置)] (P.93) 参照 [7.1.6 描画設定 (印字欠落チェック)] (P.96) 参照 [7.1.7 描画設定 (トリミング)] (P.102) 参照	
		連帳		幅
				高さ
		カット紙		サイズ
				向き
				カスタムサイズ 幅
				カスタムサイズ 高さ
	描画位置			垂直位置
		水平位置		
		オーバーレイ位置		
		上下		
		左右		
	印字欠落チェック	チェック		
		検出時の動作		
		チェック範囲		上端
		チェック範囲		下端
		チェック範囲		左端
		チェック範囲		右端
		印字欠落検出ログ		
	トリミング位置	トリミング		
		印刷幅の単位		
		印刷幅		

メニュー	設定		備考
印刷設定	JEF	印字幅	[7.1.8 印刷設定] (P.104) 参照 [7.1.9 印刷設定 (JEF 設定)] (P.106) 参照 [7.1.10 印刷設定 (第 2FPD 設定)] (P.108) 参照 [7.1.11 印刷設定 (JEF/AP 設定)] (P.113) 参照
		コンビニ -EAN128 目視文字位置 (*1)	
		第 2FPD 設定	
	JEF/AP (*2)	コンビニ -EAN128 目視文字位置	
		コンビニ -EAN128 (*3)	
コンビニ -EAN128 (*1)			
PDF ファイル設定	送信先フォルダー名		[7.1.12 PDF ファイル設定 (送信先フォルダー名)] (P.115) 参照 [7.1.13 PDF ファイル設定 (ファイル名)] (P.117) 参照 [7.1.14 PDF ファイル設定 (ファイル分割)] (P.122) 参照 [7.1.15 PDF ファイル設定 (文書情報)] (P.124) 参照 [7.1.16 PDF ファイル設定 (プレプリントデータ)] (P.125) 参照
	ファイル名	ファイル名生成	
		ホストジョブがない場合	
		ユーザー定義名	
		仕分け用定義名	
		ファイル名に付加する情報	
		ファイル名サンプル	
	ファイル分割	ファイル分割ページ数	
		ファイル分割ファイルサイズ	
	文書情報	タイトル	
		サブタイトルに用紙情報名を設定	
		サブタイトルにファイル名を設定	
	プレプリントデータ	現在選択されているプレプリントデータファイル名	
		選択	
		PDF ファイルを開いたときプレプリントデータを表示する	
チャンネル設定	CHC 機番アドレス		[7.1.17 チャンネル設定] (P.127) 参照
	Channel Enable 表示		
	チャンネル接続		
	チャンネル接続先		
用紙長設定	デフォルト用紙長		[7.1.18 用紙長設定] (P.130) 参照
データ操作	クリアプリント		[7.1.19 データ操作] (P.131) 参照
	データキャンセル		
	PDF ファイル		
	PDF ファイルログ		
ユーザー管理者モード	ユーザー管理者モードへの遷移		[7.1.20 ユーザー管理者モード] (P.138) 参照
メンテナンス管理者モード	メンテナンス管理者モードへの遷移		

*1: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に本設定項目が表示されます。

*2: 「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に本設定項目が表示されます。

*3: 「拡張バーコード出力機構」オプション搭載なし、かつ、「JEF/AP 出力機構」オプション搭載あり時に本設定項目が表示されます。

7.1.1 PDF ファイル情報表示

ファイルサーバーへ送信中または送信済みのファイル情報を表示することができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「PDF ファイル情報表示」を選択します。
コンテンツパネルに PDF ファイルの情報が表示されます。

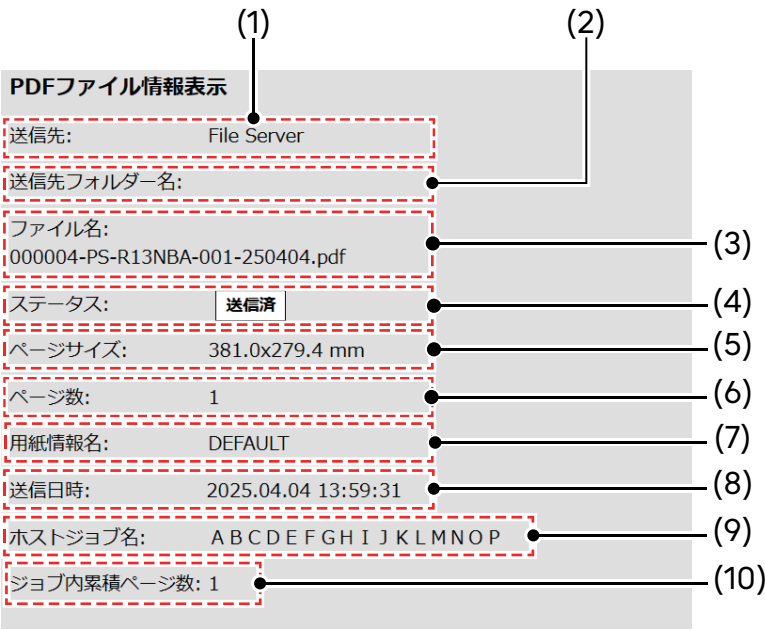


図 7.7 PDF ファイル情報表示

表 7.6 PDF ファイル情報表示の項目

番号	項目	説明
(1)	送信先	PDF ファイルの送信先で本装置の現調時に設定した名前が表示されます。
(2)	送信先フォルダー名	PDF ファイルの送信先フォルダー名 [7.1.12 PDF ファイル設定 (送信先フォルダー名)] (P.115) で設定した送信先フォルダー名が表示されます。
(3)	PDF ファイル名	PDF ファイル名が表示されます。

番号	項目	説明
(4)	ステータス	PDF ファイルの送信状態が表示されます。
(5)	ページサイズ	PDF のページサイズが幅 × 高さ mm の形式で表示されます。
(6)	ページ数	PDF ファイルのページ数が表示されます。
(7)	用紙情報名	PDF ファイルの用紙情報名が表示されます。
(8)	送信日時	PDF ファイルの送信を開始した日時が表示されます。
(9)	ホストジョブ名	ホストから指示されたジョブ名が表示されます。ホストジョブ名が指定されていない場合は表示されません。
(10)	ジョブ内累積ページ数 (*3)	ホストから受信済み分の累積ページ数が表示されます。 PDF ファイルの作成が完了したときに更新されます。

*1: PDF ファイルの送信中に異常が発生した場合は、ファイルサーバー側で通信エラーとなった PDF ファイルがあるか確認を行ってください。ファイルサーバー側でエラーとなったジョブがある場合、削除を行ってください。ファイルサーバー側のエラー解除後、本装置の Web-UI からの「スタート」ボタンを押すことで、通信エラーとなった送信保留中の PDF ファイルが再送されます。

*2: ファイルサーバーのディスクがフルの状態です。ファイルサーバーにて不要なファイルを削除してください。ファイルサーバーのディスクフルの解除後、本装置の Web-UI から「リセット」ボタンを押し、その後「スタート」ボタンを押すことで、ディスクフルでエラーとなった PDF ファイルが再送されます。

*3: ホスト側のジョブの区切りが本装置で識別できない場合は、ホストジョブとは関係なく累積を続けます。累積ページが 999,999 を超えた場合、累積ページは一度クリアされ、再度、累積されます。



7.1.2 設定値一覧表示

一般ユーザーモードで設定されている値を一覧で確認することができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「設定値一覧表示」を選択します。
コンテンツパネルに設定値の一覧が表示されます。

2 各項目を確認します。

設定値一覧表示

設定値一覧

PDFファイル関連設定値

用紙情報設定			
現在選択中の用紙番号	000	用紙情報名	DEFAULT
送信先フォルダー名	なし	-	-

描画設定:PDFページサイズ			
用紙タイプ	連帳	-	-
幅	15.0インチ	高さ	FCB長に従う

描画設定:描画位置			
垂直位置	4(1/60インチ)	上下	0.0mm
水平位置	05(1/60インチ)	左右	0.0mm
オーバーレイ位置	08(1/120インチ)	-	-

描画設定:印字欠落チェック			
チェック	無効	検出時の動作	--
上端	--	下端	--
左端	--	右端	--

描画設定:トリミング			
トリミング	無効	印刷幅	--

印刷設定:JEF			
印字幅	16.5インチ	現在選択中の第2FPD番号	101
コンビニ-EAN128目視文字位置	7mm	ラベル名	ノーデッキ

印刷設定:JEF/AP			
コンビニ-EAN128目視文字位置	7mm	-	-

印刷設定			
コンビニ-EAN128	白黒補正	-	-

チャンネル設定			
CHC機番アドレス	00	-	-
チャンネル接続	ON Line	チャンネル接続先	A Channel
A Channel転送速度	32Gbps	-	-

用紙長設定			
デフォルト用紙長	11.0インチ	-	-

(1)

(2)

(3)

(*)

(4)

(5)

図 7.8 設定値一覧表示（用紙タイプ：連帳）（設定値一覧）

*1: 「JEF/AP 出力機構」オプションと「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時の表示例です。設定値一覧表示は、オプションの搭載状況により変わります。

設定値一覧表示

設定値一覧

PDFファイル関連設定値

用紙情報設定			
現在選択中の用紙番号	000	用紙情報名	DEFAULT
送信先フォルダー名	なし	—	—

描画設定:PDFページサイズ			
用紙タイプ	カット紙	—	—
サイズ	A4	向き	よこ
カスタムサイズ:幅	--	カスタムサイズ:高さ	--

描画設定:描画位置			
垂直位置	4(1/60インチ)	上下	0.0mm
水平位置	05(1/60インチ)	左右	0.0mm
オーバーレイ位置	08(1/120インチ)	—	—

描画設定:印字欠落チェック			
チェック	無効	検出時の動作	--
上端	--	下端	--
左端	--	右端	--

描画設定:トリミング			
トリミング	無効	印刷幅	--

印刷設定:JEF			
印字幅	16.5インチ	現在選択中の第2FPD番号	101
コンビニ-EAN128目視文字位置	7mm	ラベル名	ノーデッキ

印刷設定:JEF/AP			
コンビニ-EAN128目視文字位置	7mm	—	—

印刷設定			
コンビニ-EAN128	白黒補正	—	—

チャンネル設定			
CHC機番アドレス	00	—	—
チャンネル接続	OFF Line	チャンネル接続先	A Channel
A Channel転送速度	32Gbps	—	—

用紙長設定			
デフォルト用紙長	11.0インチ	—	—

(1)

(2)

(3)

(*)

(4)

(5)

図 7.9 設定値一覧表示（用紙タイプ：カット紙）（設定値一覧）

*1: 「JEF/AP 出力機構」オプションと「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時の表示例です。設定値一覧表示は、オプションの搭載状況により変わります。

表 7.7 設定値一覧表示（設定値一覧）

番号	項目	備考
(1)	用紙情報設定	[7.1.3 用紙情報設定] (P.86) 参照
(2)	描画設定	[7.1.4 描画設定 (PDF ページサイズ)] (P.90) 、 [7.1.5 描画設定 (描画位置)] (P.93) 、 [7.1.6 描画設定 (印字欠落チェック)] (P.96) 、 [7.1.7 描画設定 (トリミング)] (P.102) 参照
(3)	印刷設定	[7.1.8 印刷設定] (P.104) 、 [7.1.9 印刷設定 (JEF 設定)] (P.106) 、 [7.1.10 印刷設定 (第 2FPD 設定)] (P.108) 、 [7.1.11 印刷設定 (JEF/AP 設定)] (P.113) 参照
(4)	チャンネル設定	[7.1.17 チャンネル設定] (P.127) 参照
(5)	用紙長設定	[7.1.18 用紙長設定] (P.130) 参照

設定値一覧表示

設定値一覧PDFファイル関連設定値

ファイル名			
ファイル名生成	ホストジョブ名	ホストジョブ名がない場合	ユーザー定義名
ユーザー定義名	PS-R13NBA	—	—
仕分け用定義名を使用する	使用しない	仕分け用定義名	--
総ページ数	付加しない	装置名	付加しない
ファイル分割時の開始・終了ページ	付加しない	データ形式情報	付加しない

ファイル分割			
ファイル分割ページ数	5000	ファイル分割サイズ	4096MB
ファイル分割契機削減(APSライタ用)	削減しない	—	—

文書情報			
タイトル	--	—	—
サブタイトルに用紙情報名を設定する	設定する	サブタイトルにファイル名を設定する	設定する

プレプリントデータ			
現在選択中のプレプリントデータファイル名	なし	ファイルを開いたときプレプリントデータを表示する	表示しない

(1)

(2)

(3)

(4)

図 7.10 設定値一覧表示（PDF ファイル関連設定値）

表 7.8 設定値一覧表示

番号	項目	備考
(1)	ファイル名	[7.1.13 PDF ファイル設定（ファイル名）] (P.117) 参照
(2)	ファイル分割	[7.1.14 PDF ファイル設定（ファイル分割）] (P.122) 参照
(3)	文書情報	[7.1.15 PDF ファイル設定（文書情報）] (P.124) 参照
(4)	プレプリントデータ	[7.1.16 PDF ファイル設定（プレプリントデータ）] (P.125) 参照

表示対象がない項目は「—」（全角のハイフン）を表示します。また、未設定の項目については「--」（半角のハイフン 2 つ）を表示します。

7.1.3 用紙情報設定

用紙情報を選択したり、用紙情報の詳細を確認することができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「用紙情報設定」を選択します。
コンテンツパネルに用紙情報設定の項目が表示されます。

2 各項目を設定します。

図 7.11 用紙情報設定

表 7.9 用紙情報設定

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中の用紙番号 および用紙情報名	000 DEFAULT	現在選択されている用紙情報の番号および用紙情報名が表示されます。変更する場合は、用紙情報一覧から変更したい用紙情報の行を選択し、「選択」ボタンを押します。
(2)	送信先フォルダー名	表示なし	現在選択されている用紙情報に連携した送信先フォルダー名とフォルダーの場所を表示します。
(3)	用紙情報一覧	000 行選択	用紙情報が一覧で表示されます。現在選択中の用紙情報は太文字で表示されます。各用紙情報には以下の項目があります。 - 番号 登録した用紙情報の番号です（範囲：000 ～ 511）。 - 用紙情報名 登録した用紙名です。用紙情報登録画面で指定します。 - 送信先フォルダー名 用紙情報に連携した送信先フォルダー名です。表示できない文字数の場合「...」が表示されます。 - 用紙タイプ PDF ページサイズ設定で設定した用紙タイプが表示されます。 - 幅 PDF ページサイズ設定で設定したページの幅が表示されます。 - 高さ PDF ページサイズ設定で設定したページの高さが表示されます。 - プレ印刷 プレプリントデータファイルの選択の有無が表示されます。

番号	項目	初期値	説明
(4)	▲▲	—	用紙情報一覧を 5 行ずつ上にスクロールできます。
	▲	—	用紙情報一覧を 1 行ずつ上にスクロールできます。
	▼▼	—	用紙情報一覧を 5 行ずつ下にスクロールできます。
	▼	—	用紙情報一覧を 1 行ずつ下にスクロールできます。
(5)	番号指定移動	000	指定した番号の用紙まで用紙情報一覧をスクロールさせる場合、番号指定に表示する用紙番号を入力し、「移動」ボタンを押します。000 ～ 511 の範囲で指定可能です。

3 以下のいずれかのボタンを押します。

- 選択
印刷に使用する用紙情報を選択する場合に「選択」ボタンを押します。選択した用紙情報が「選択中の用紙情報」に反映され、用紙情報一覧の選択された用紙情報の行が太文字で表示されます。また、各設定値が「描画設定」、「印刷設定」の「印字幅」、「コンビニ -EAN128」、「PDF ファイル分割ページ数」に反映されます。詳細は、[「■ 用紙情報を選択する」\(P.88\)](#) を参照してください。
- 詳細
登録済みの用紙情報の設定値を確認する場合に「詳細」ボタンを押します。用紙情報の詳細画面が開きます。詳細は、[「■ 用紙情報の詳細を確認する」\(P.89\)](#) を参照してください。



■ 用紙情報を選択する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙情報設定」の画面で選択する番号の行をクリックし、「選択」ボタンを押します。
「選択完了」の画面が開きます。
- 2 「閉じる」ボタンを押します。



■ 用紙情報の詳細を確認する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙情報設定」の画面で詳細を確認する番号の行をクリックし、「詳細」ボタンを押します。
「用紙情報詳細」画面が開きます。
- 2 各項目の設定内容を確認します。

用紙情報詳細

番号: 001 用紙情報名: PAPER01

送信先フォルダー名: FTPルートYData¥

描画設定

PDFページサイズ

用紙タイプ: 連続

幅: 15.0インチ 高さ: FCB長

描画位置

垂直位置: 4(1/60インチ) 水平位置: 05(1/60インチ) オーバーレイ位置: 08(1/120インチ)

トマ: 0.0mm 左右: 0.0mm

濃度: 1 (参考値)

印字欠落チェック

チェック: 無効

検出時の動作: --

上端: -- 下端: --

左端: -- 右端: --

トリミング

トリミング: 無効

印刷幅: --

印刷設定

印字幅: 16.5インチ

コンビ二-EAN128: 白黒補正

PDFファイル設定

ファイル名

ファイル名生成: ホストジョブ名

ホストジョブ名がない場合: ユーザー定義名

ユーザー定義名: PS-R13NBA

☐ 仕分け用定義名を使用する

仕分け用定義名:

ファイル名に付加する情報:

☐ 総ページ数

☐ ファイル分割時の開始・終了ページ

印刷名

データ形式情報

ファイル分割

ファイル分割ページ数: 5000

ファイル分割サイズ: 4096MB

☐ ファイル分割契機削減(APSライタ用)

文書情報

タイトル: --

☐ サブタイトルにファイル名を設定

☐ サブタイトルにファイル名を設定

プレプリントデータ設定

プレプリントデータ:

☐ PDFファイルを開いたときプレプリントデータを表示する

閉じる

図 7.12 用紙情報詳細画面

- *1: 濃度は、従来装置から用紙情報を Import した場合に参考値として表示されます。
- *2: データ形式情報は「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。

- 3 「閉じる」ボタンを押します。

7.1.4 描画設定（PDF ページサイズ）

ファイルサーバーへ送信する PDF ファイルの用紙サイズを設定します。印刷するプリンター装置に合わせ、用紙タイプとサイズを設定します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「描画設定」メニューを選択します。
- 2 「PDF ページサイズ」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

図 7.13 描画設定の PDF ページサイズ（用紙タイプ：連帳）

表 7.10 描画設定の PDF ページサイズ（用紙タイプ：連帳）の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	用紙タイプ	連帳	印刷データを PDF ファイルに変換する際の用紙タイプを指定します。 • 連帳 PDF ファイルが連帳をイメージしたものとなります。 • カット紙 PDF ファイルがカット紙をイメージしたものとなります。
(2)	幅	15.0 インチ	用紙タイプを連帳にした場合、PDF ファイルに変換する際の横幅を指定します。 指定可能な範囲：3.0 インチ～20.5 インチ 単位：0.5 インチ
(3)	高さ	FCB 長に従う	用紙タイプを連帳にした場合、PDF ファイルに変換する際の高さを指定します。 指定可能な範囲：3.5 インチ～15.0 インチ 単位：0.5 インチ 「FCB 長に従う」を選択した場合、ホストから指定された FCB 長を高さとします。 ホストから指定がない場合、「用紙長設定」に設定された「デフォルト用紙長」を高さとします。

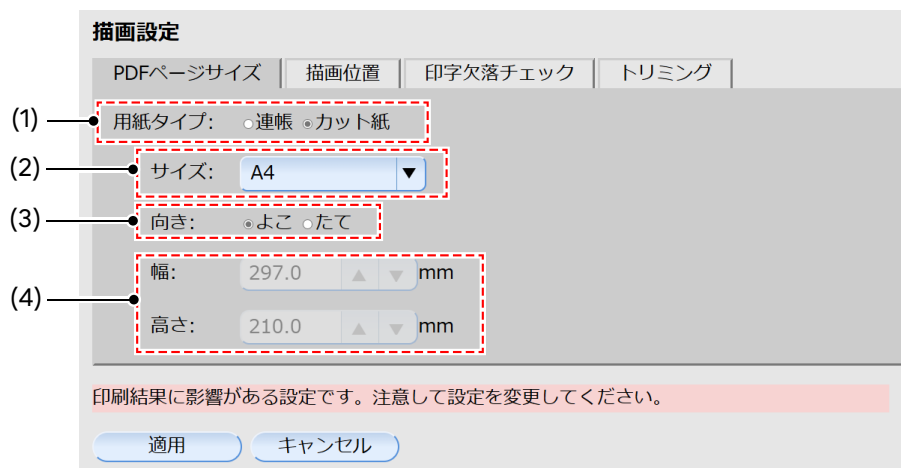


図 7.14 描画設定の PDF ページサイズ（用紙タイプ：カット紙）

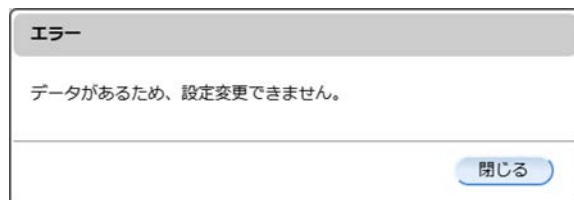
表 7.11 描画設定の PDF ページサイズ（用紙タイプ：カット紙）の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	用紙タイプ	連帳	印刷データを PDF ファイルに変換する際の用紙タイプを指定します。 - 連帳 PDF ファイルが連帳をイメージしたものとなります。 - カット紙 PDF ファイルがカット紙をイメージしたものとなります。
(2)	用紙サイズ	A4	用紙タイプをカット紙にして、定形用紙を使用する場合に設定します。 指定可能なサイズ：A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6 非定型サイズの用紙を使用する場合は、カスタムを指定します。
(3)	向き	よこ	用紙タイプをカット紙にして、定形用紙を使用する場合に用紙の向きを指定します。 指定可能な値：よこ、たて 用紙サイズでカスタムを指定した場合は、本項目は指定できません。
(4)	カスタムサイズ	幅	用紙サイズでカスタムを指定した場合に幅を設定します。 指定可能な範囲：127.0mm ～ 488.0mm 単位：0.1mm
		高さ	用紙サイズでカスタムを指定した場合に高さを設定します。 指定可能な範囲：70.0mm ～ 381.0mm 単位：0.1mm

4 「適用」 ボタンを押します。

注 意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態ですべての項目を「適用」ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。



備 考

用紙タイプにより、PDF ファイル生成時の用紙原点が異なります。詳細は、[\[付録 A 印刷範囲と用紙原点\] \(P.205\)](#) を参照してください。

7.1.5 描画設定 (描画位置)

用紙への印刷位置を指定します。従来装置で設定していた垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の設定に加え、カット紙に印刷するための調整を行うことが可能です。

また、用紙情報を複数登録し、用紙に応じて指定することができます。詳細は、[\[7.1.3 用紙情報設定\] \(P.86\)](#) を参照してください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「描画設定」を選択します。
- 2 「描画位置」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

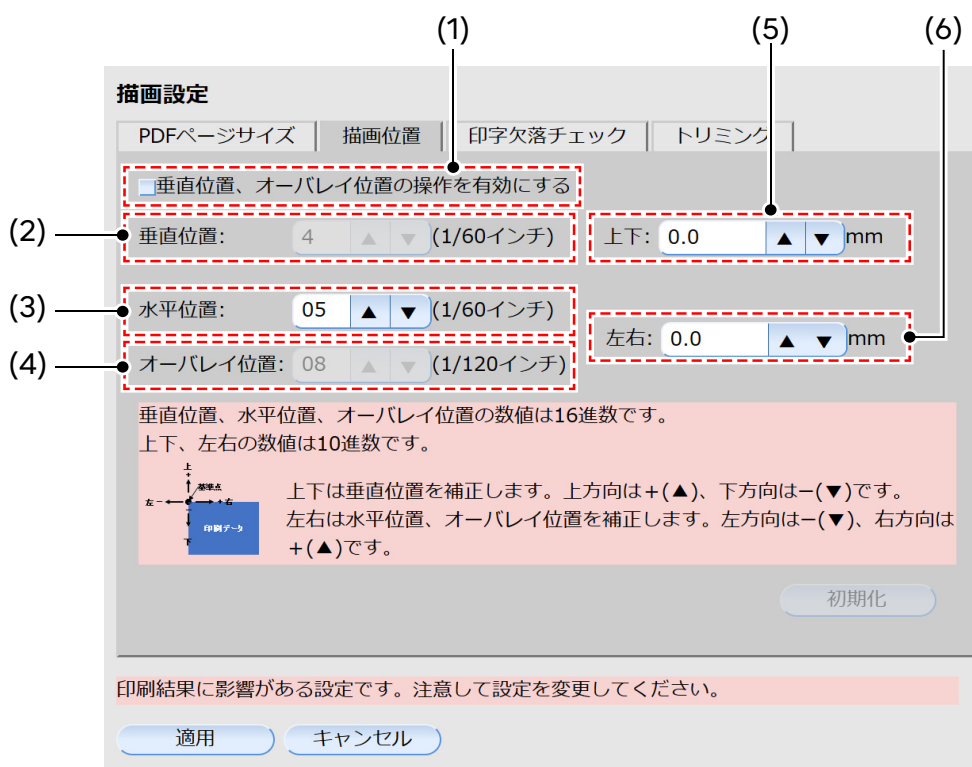


図 7.15 描画設定の描画位置

表 7.12 描画設定の描画位置設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	垂直位置、オーバーレイ位置の操作を有効にする	チェックなし	垂直位置、オーバーレイ位置の操作の有効／無効を指定します。 • チェックなし 垂直位置、オーバーレイ位置の操作を無効にします。設定値は反映されません。 • チェックあり 垂直位置、オーバーレイ位置の操作を有効にします。
(2)	垂直位置	0x4	基準点（印刷データの左上）の垂直オフセット量を調整します。値の単位は 1/60 インチです。
(3)	水平位置	0x05	基準点（印刷データの左上）の水平オフセット量を調整します。値の単位は 1/60 インチです。
(4)	オーバーレイ位置	0x08	オーバーレイも含めて基準点（印刷データの左上）の水平オフセット量を調整します。値の単位は 1/120 インチです。
(5)	上下	0.0	基準点（印刷データの左上）位置の上下の補正値を指定します。0.1mm 単位で設定可能です。 設定可能範囲は、用紙のタイプと向きの設定により以下となります。 • 用紙タイプが連帳の場合、-381.0mm ～ 381.0mm • 用紙タイプがカット紙「用紙の向き：よこ」の場合、-381.0mm ～ 381.0mm • 用紙タイプがカット紙「用紙の向き：たて」の場合、-488.0mm ～ 488.0mm • 用紙タイプがカット紙「カスタム」の幅 ≥ 高さの場合、-381.0mm ～ 381.0mm • 用紙タイプがカット紙「カスタム」の幅 < 高さの場合、-488.0mm ～ 488.0mm
(6)	左右	0.0	基準点（印刷データの左上）位置の左右の補正値を指定します。0.1mm 単位で設定可能です。 設定可能範囲は、用紙のタイプと向きの設定により以下となります。 • 用紙タイプが連帳の場合、-488.0mm ～ 488.0mm • 用紙タイプがカット紙「用紙の向き：よこ」の場合、-488.0mm ～ 488.0mm • 用紙タイプがカット紙「用紙の向き：たて」の場合、-381.0mm ～ 381.0mm • 用紙タイプがカット紙「カスタム」の幅 ≥ 高さの場合、-488.0mm ～ 488.0mm • 用紙タイプがカット紙「カスタム」の幅 < 高さの場合、-381.0mm ～ 381.0mm

4 「適用」 ボタンを押します。

備考

垂直位置、水平位置、およびオーバーレイ位置の値を初期化する場合は、「初期化」 ボタンを押してください。なお、「初期化」 ボタンは、「垂直位置、オーバーレイ位置の操作を有効にする」 がチェックされている場合に押すことができます。

注意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態で「適用」 ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。



■ 垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の調整可能範囲

垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の調整可能範囲を、[表 7.13](#) に示します。

表 7.13 垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動量調整可能範囲

内容	垂直位置	水平位置 (*1)	オーバーレイ位置
設定可能値の範囲 (*2)	0 ～ F	00 ～ BF	00 ～ 78
移動の単位	1/60 インチ	1/60 インチ	1/120 インチ
初期値（基準点）(*2)	4	05	08
基準点に対する移動方向・設定値 (*3)	下方向に最大 16 dot 1.69mm (4/60 インチ) 0 ～ 3	左方向に最大 20 dot 2.11mm (1/12 インチ) 00 ～ 04	左方向に最大 16 dot 1.69mm (1/15 インチ) 00 ～ 07
	上方向に最大 44dot 4.65mm (11/60 インチ) 5 ～ F	右方向に最大 744dot 78.74mm (3.1 インチ) 06 ～ BF	右方向に最大 224 dot 23.7mm (14/15 インチ) 09 ～ 78
移動対象となるデータ種別	文字・図形・イメージ・オーバーレイ	文字・図形・イメージ	文字・図形・イメージ・オーバーレイ

*1: 水平方向の描画位置は、オーバーレイ位置の設定の影響を受けるため注意が必要です。

*2: 設定値は 16 進数です。

*3: 移動 dot 数は、240dpi 換算です。

描画位置設定時に、設定値に応じて印刷位置が移動する用紙 1 ページ内のイメージを[図 7.16](#) に示します。移動範囲の数値は 16 進数です。

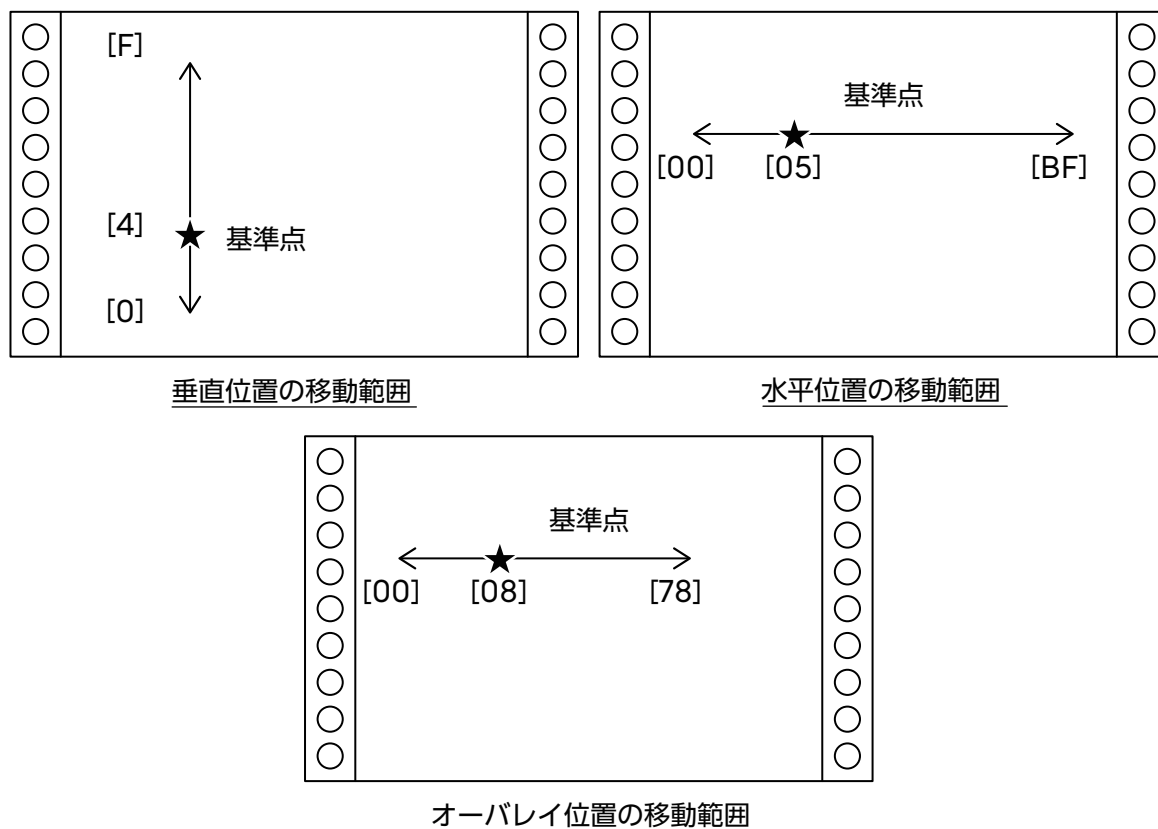


図 7.16 垂直位置／水平位置／オーバーレイ位置の移動範囲

7.1.6 描画設定（印字欠落チェック）

用紙情報設定および描画設定（描画）で設定した用紙の印字保証領域・印字可能領域に対して、印刷データが領域をはみ出した場合に印字の欠落を検出する機能です。文字だけでなく図形、イメージ、およびオーバーレイも検出の対象となります。プレプリントデータは検出の対象外です。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「描画設定」を選択します。
- 2 「印字欠落チェック」タブを選択します。

3 各項目を設定します。

描画設定

PDFページサイズ | 描画位置 | 印字欠落チェック | トリミング

(1) チェック: 無効 ▼

(2) 検出時の動作: ログ ▼

チェック範囲:

(3) 上端: 5.0 ▲ ▼ mm 下端: 5.0 ▲ ▼ mm
左端: 5.0 ▲ ▼ mm 右端: 5.0 ▲ ▼ mm

印字欠落チェックの領域は以下の通りです。

上端
AAA
BBB
左端 右端
下端

印字欠落検出ログ (4)

印刷結果に影響がある設定です。注意して設定を変更してください。

適用 キャンセル

図 7.17 描画設定の印字欠落チェック

表 7.14 描画設定の印字欠落チェック設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	チェック	無効	印字欠落チェックの動作を指定します。 - 無効 印字欠落チェックを行いません。 - 有効 印字欠落チェックを行います。
(2)	検出時の動作	ログ	印字欠落発生時の動作を指定します。「チェック」が有効のとき、指定が可能になります。 - ログ 印字欠落が発生した場合、印字欠落検出ログにログを記録し、印刷を継続します。 - 停止 印字欠落が発生した場合、印字欠落検出ログにログを記録し、印字欠落警告（ER55-8X）を表示して印刷を停止します。 [2.2.2 印字欠落チェック機能] (P.35) の [■ 停止] (P.36) を参照し、対応してください。

番号	項目	初期値	説明
(3)	チェック範囲	5.0mm	印字保証領域外の先端のチェック範囲を指定します。「チェック」が有効のとき、指定が可能になります。 • 上端 0.0mm ～ 381.0mm の範囲で指定が可能です。 • 下端 0.0mm ～ 381.0mm の範囲で指定が可能です。 • 左端 0.0mm ～ 488.0mm の範囲で指定が可能です。 • 右端 0.0mm ～ 488.0mm の範囲で指定が可能です。 各値の単位は 0.1mm です。
(4)	印字欠落検出ログ	-	「印字欠落検出ログ」を押すと印字欠落チェックログ画面が表示されます。

4 「適用」 ボタンを押します。

注 意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態で「適用」 ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。



■ 印字欠落検出ログ

「印字欠落チェック」タブの「印字欠落検出ログ」ボタンを押すと印字欠落検出ログ画面が表示されます。表示される印字欠落ログは、パスワード付き zip ファイルとして保存することができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「描画設定」を選択します。
- 2 「印字欠落チェック」タブを選択します。
- 3 「印字欠落検出ログ」ボタンを押し、「印字欠落検出ログ世代」を選択します。

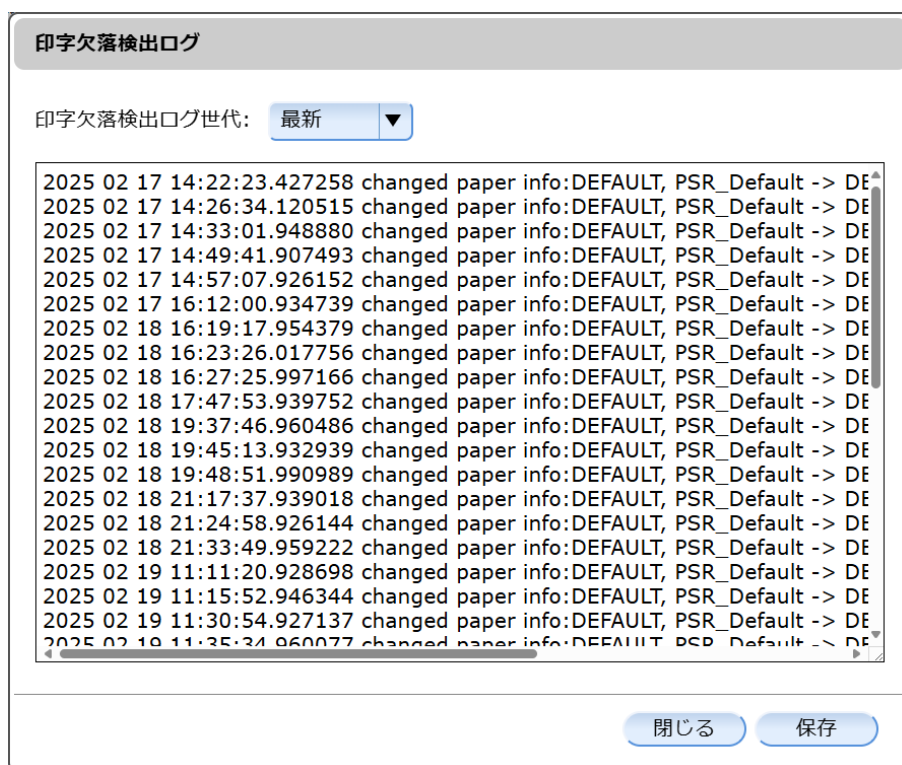


図 7.18 印字欠落検出ログ画面

表 7.15 印字欠落検出ログ画面の項目

項目	初期値	説明																					
印字欠落検出ログ世代	最新	表示する印字欠落検出ログの世代を指定します。ログのサイズが 2MB を超えると世代が変わります。 - 最新 1 世代前 2 世代前 3 世代前																					
印字欠落検出ログ	-	印字欠落を検出した場合のログを表示します。 <table><tr><th>項目</th><th>説明</th></tr><tr><td>日時</td><td>状態が発生した日で、表示形式は以下のとおりです。 YYYY MM DD HH:MM:SS.mmmmmmm 例) 2025 年 7 月 8 日 午前 4 時 43 分 12.345678 秒の場合 ▶ 2025 07 08 04:43:23.345678</td></tr><tr><td>メッセージ</td><td> メッセージは、以下の 3 種類があります。 - 印字欠落を検出した場合 PDF ファイル名、PDF ファイル内の検出したページおよび検出箇所を表示します。 - メッセージ形式 PDF ファイル名 (ホストジョブ名): 検出ページ 検出箇所 1, 検出箇所 2 , 検出箇所 3, 検出箇所 4, 検出箇所 5, 検出箇所 6, 検出箇所 7, 検出箇所 8 - メッセージ例 000001-PSR-OVL-001-230625-L(HOSTJOB J0001): 1p back end:24dot(1.02mm), right end:12dot(0.51mm) 検出箇所の記述は以下のとおりです。 <table><tr><th>チェック内容</th><th>印字での検出</th><th>オーバーレイでの検出</th></tr><tr><td>上</td><td>front end : yyydot (y.yy mm)</td><td>ovl front end : yyydot (y.yyx mm)</td></tr><tr><td>下</td><td>back end : yyydot (y.yy mm)</td><td>ovl back end : yyydot (y.yy mm)</td></tr><tr><td>左</td><td>left end : xxxdot (x.xx mm)</td><td>ovl left end : xxxdot (x.xx mm)</td></tr><tr><td>右</td><td>right end : xxxdot (x.xx mm)</td><td>ovl right end : xxxdot (x.xx mm)</td></tr></table> チェック内容の上 / 下 / 左 / 右の位置については、図 7.17 の印字欠落チェックの画面で確認してください。原稿の向きによって位置が変わるため注意してください。なお、印字欠落動作時の動作が「停止」に設定されていた場合、印字欠落検出時は “Size Check Detected” を表示します。 - 連続で同一の印字欠落を検出した場合 ページ数以外に同一の検出内容が連続で続いた場合は、新たに別の印字欠落の検出または検出しなくなるまで表示を行いません。新たに別の印字欠落の検出または検出しなくなった時点で連続数を表示します。 - メッセージ形式 same Log count 検出ページ数 pages - メッセージ例 same Log count 100pages - 用紙情報名を変更した場合 用紙情報名を変更した場合に表示します。 - メッセージ形式 changed. paper info : “ 変更前用紙情報名 ” -> “ 変更後用紙情報名 ” - メッセージ例 changed. paper info : PAPER-INFO-001 -> PAPER-INFO-002 </td></tr></table>	項目	説明	日時	状態が発生した日で、表示形式は以下のとおりです。 YYYY MM DD HH:MM:SS.mmmmmmm 例) 2025 年 7 月 8 日 午前 4 時 43 分 12.345678 秒の場合 ▶ 2025 07 08 04:43:23.345678	メッセージ	メッセージは、以下の 3 種類があります。 - 印字欠落を検出した場合 PDF ファイル名、PDF ファイル内の検出したページおよび検出箇所を表示します。 - メッセージ形式 PDF ファイル名 (ホストジョブ名): 検出ページ 検出箇所 1, 検出箇所 2 , 検出箇所 3, 検出箇所 4, 検出箇所 5, 検出箇所 6, 検出箇所 7, 検出箇所 8 - メッセージ例 000001-PSR-OVL-001-230625-L(HOSTJOB J0001): 1p back end:24dot(1.02mm), right end:12dot(0.51mm) 検出箇所の記述は以下のとおりです。 <table><tr><th>チェック内容</th><th>印字での検出</th><th>オーバーレイでの検出</th></tr><tr><td>上</td><td>front end : yyydot (y.yy mm)</td><td>ovl front end : yyydot (y.yyx mm)</td></tr><tr><td>下</td><td>back end : yyydot (y.yy mm)</td><td>ovl back end : yyydot (y.yy mm)</td></tr><tr><td>左</td><td>left end : xxxdot (x.xx mm)</td><td>ovl left end : xxxdot (x.xx mm)</td></tr><tr><td>右</td><td>right end : xxxdot (x.xx mm)</td><td>ovl right end : xxxdot (x.xx mm)</td></tr></table> チェック内容の上 / 下 / 左 / 右の位置については、図 7.17 の印字欠落チェックの画面で確認してください。原稿の向きによって位置が変わるため注意してください。なお、印字欠落動作時の動作が「停止」に設定されていた場合、印字欠落検出時は “Size Check Detected” を表示します。 - 連続で同一の印字欠落を検出した場合 ページ数以外に同一の検出内容が連続で続いた場合は、新たに別の印字欠落の検出または検出しなくなるまで表示を行いません。新たに別の印字欠落の検出または検出しなくなった時点で連続数を表示します。 - メッセージ形式 same Log count 検出ページ数 pages - メッセージ例 same Log count 100pages - 用紙情報名を変更した場合 用紙情報名を変更した場合に表示します。 - メッセージ形式 changed. paper info : “ 変更前用紙情報名 ” -> “ 変更後用紙情報名 ” - メッセージ例 changed. paper info : PAPER-INFO-001 -> PAPER-INFO-002	チェック内容	印字での検出	オーバーレイでの検出	上	front end : yyydot (y.yy mm)	ovl front end : yyydot (y.yyx mm)	下	back end : yyydot (y.yy mm)	ovl back end : yyydot (y.yy mm)	左	left end : xxxdot (x.xx mm)	ovl left end : xxxdot (x.xx mm)	右	right end : xxxdot (x.xx mm)	ovl right end : xxxdot (x.xx mm)
項目	説明																						
日時	状態が発生した日で、表示形式は以下のとおりです。 YYYY MM DD HH:MM:SS.mmmmmmm 例) 2025 年 7 月 8 日 午前 4 時 43 分 12.345678 秒の場合 ▶ 2025 07 08 04:43:23.345678																						
メッセージ	メッセージは、以下の 3 種類があります。 - 印字欠落を検出した場合 PDF ファイル名、PDF ファイル内の検出したページおよび検出箇所を表示します。 - メッセージ形式 PDF ファイル名 (ホストジョブ名): 検出ページ 検出箇所 1, 検出箇所 2 , 検出箇所 3, 検出箇所 4, 検出箇所 5, 検出箇所 6, 検出箇所 7, 検出箇所 8 - メッセージ例 000001-PSR-OVL-001-230625-L(HOSTJOB J0001): 1p back end:24dot(1.02mm), right end:12dot(0.51mm) 検出箇所の記述は以下のとおりです。 <table><tr><th>チェック内容</th><th>印字での検出</th><th>オーバーレイでの検出</th></tr><tr><td>上</td><td>front end : yyydot (y.yy mm)</td><td>ovl front end : yyydot (y.yyx mm)</td></tr><tr><td>下</td><td>back end : yyydot (y.yy mm)</td><td>ovl back end : yyydot (y.yy mm)</td></tr><tr><td>左</td><td>left end : xxxdot (x.xx mm)</td><td>ovl left end : xxxdot (x.xx mm)</td></tr><tr><td>右</td><td>right end : xxxdot (x.xx mm)</td><td>ovl right end : xxxdot (x.xx mm)</td></tr></table> チェック内容の上 / 下 / 左 / 右の位置については、図 7.17 の印字欠落チェックの画面で確認してください。原稿の向きによって位置が変わるため注意してください。なお、印字欠落動作時の動作が「停止」に設定されていた場合、印字欠落検出時は “Size Check Detected” を表示します。 - 連続で同一の印字欠落を検出した場合 ページ数以外に同一の検出内容が連続で続いた場合は、新たに別の印字欠落の検出または検出しなくなるまで表示を行いません。新たに別の印字欠落の検出または検出しなくなった時点で連続数を表示します。 - メッセージ形式 same Log count 検出ページ数 pages - メッセージ例 same Log count 100pages - 用紙情報名を変更した場合 用紙情報名を変更した場合に表示します。 - メッセージ形式 changed. paper info : “ 変更前用紙情報名 ” -> “ 変更後用紙情報名 ” - メッセージ例 changed. paper info : PAPER-INFO-001 -> PAPER-INFO-002	チェック内容	印字での検出	オーバーレイでの検出	上	front end : yyydot (y.yy mm)	ovl front end : yyydot (y.yyx mm)	下	back end : yyydot (y.yy mm)	ovl back end : yyydot (y.yy mm)	左	left end : xxxdot (x.xx mm)	ovl left end : xxxdot (x.xx mm)	右	right end : xxxdot (x.xx mm)	ovl right end : xxxdot (x.xx mm)							
チェック内容	印字での検出	オーバーレイでの検出																					
上	front end : yyydot (y.yy mm)	ovl front end : yyydot (y.yyx mm)																					
下	back end : yyydot (y.yy mm)	ovl back end : yyydot (y.yy mm)																					
左	left end : xxxdot (x.xx mm)	ovl left end : xxxdot (x.xx mm)																					
右	right end : xxxdot (x.xx mm)	ovl right end : xxxdot (x.xx mm)																					

- 4 「閉じる」ボタンを押すと印字欠落検出ログ画面を閉じます。
「保存」ボタンを押すと印字欠落検出ログの保存画面が表示されます。

印字欠落検出ログの保存

パスワード付きで保存: ☒ しない ☐ する

パスワード:

OK

キャンセル

図 7.19 印字欠落検出ログの保存画面

表 7.16 印字欠落検出ログの保存画面の項目

項目	説明
パスワード	パスワード付きで保存するかしないかを選択します。運用管理端末で印字欠落検出ログを確認する場合は、パスワード不要です。 ただし、運用管理端末以外の環境に転送し、印字欠落検出ログを確認する場合は、セキュリティ観点からパスワードの設定をご検討ください。 - しない パスワードをつけず zip ファイルで保存します。 - する パスワード付きの zip ファイルで保存します。解凍時に指定したパスワードの入力が必要です。保存用のパスワードを以下の制限内で入力します。 入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。 - 文字数 8 文字～ 16 文字 - 文字種別 半角英数字と記号（ただし、"（ダブルクォーテーション）、#（シャープ）、%（パーセント）、&（アンパサンド）、+（プラス）、¥（円マークまたはバックスラッシュ）、<（小なり）、>（大なり）、`（バッククォート）、[（始め角括弧）、]（終わり角括弧）、および半角空白は使用できません。）

「OK」ボタンを押すと、印字欠落検出ログをファイルとして保存します。保存ファイル名は以下の名前となります。

装置名_printMissCheck_yyyymmdd_hhmm.log.zip

表 7.17 印字欠落ログファイル形式

番号	項目	仕様
(1)	装置名	メンテナンス管理者モードの装置設定で設定した値になります。
(2)	yyymmdd	西暦によるファイル取得日で、操作端末のシステム日付になります。 yyyy：西暦、mm：月、dd：日
(3)	hhmm	24 時間表現によるファイル取得時刻で、操作端末のシステム時刻になります。 hh：時間、mm：分

7.1.7 描画設定（トリミング）

用紙の右端の印字保証外の領域に印刷を行わないようにトリミングを行うことが可能です。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「描画設定」を選択します。
- 2 「トリミング」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

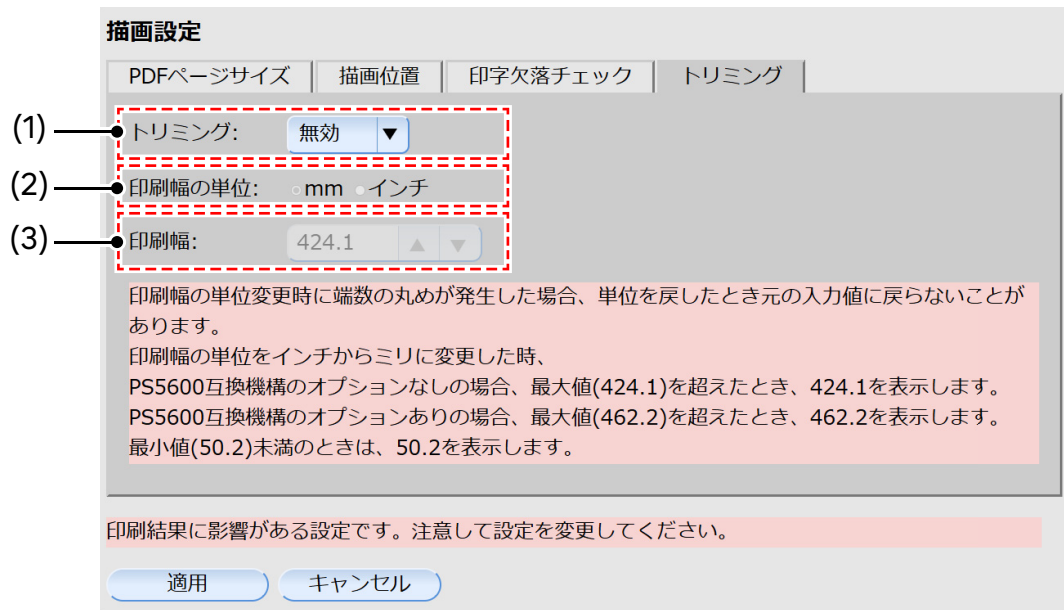


図 7.20 描画設定のトリミング

表 7.18 描画設定のトリミング設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	トリミング	無効	トリミングの動作を指定します。 - 無効 トリミングを行いません。 - 有効 トリミングを行います。

番号	項目	初期値	説明
(2)	印刷幅の単位	mm	印刷幅の表示単位を切り替えます。 • mm 単位を mm にします。 • インチ 単位をインチにします。 表示単位を変更した際に、数値の丸め誤差が発生し、単位を戻したときに元の表示と異なる場合があります。
(3)	印刷幅	424.1	従来装置の印刷で使用していた連帳の印刷幅を設定します（ 「2.2.3 トリミング機能」 （P.37）の図 2.7 参照）。「トリミング」の設定が「有効」のとき、指定が可能になります。 • 「印刷幅の単位」が mm の場合 148.0mm ～ 424.1mm の範囲で指定が可能です。値の単位は 0.1mm です。 • 「印刷幅の単位」がインチの場合 5.8 ～ 16.7 インチの範囲で指定が可能です。値の単位は 0.1 インチです。 「PS5600 互換機構」オプション搭載時、初期値は 426.2 で、範囲は以下になります。 • 「印刷幅の単位」が mm の場合 148.0mm ～ 462.2mm の範囲で指定が可能です。値の単位は 0.1mm です。 • 「印刷幅の単位」がインチの場合 5.8 ～ 18.2 インチの範囲で指定が可能です。値の単位は 0.1 インチです。

4 「適用」 ボタンを押します。

注 意

ジョブの途中で設定を変更できません。データありの状態ですべての項目を設定した状態で「適用」ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。



7.1.8 印刷設定

印刷に関する設定を行います。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「コンビニ -EAN128」の項目を設定します。



図 7.21 印刷設定

表 7.19 印刷設定

番号	項目	初期値	説明
(1)	コンビニ -EAN128	白黒補正	「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に本設定項目が表示されます。 補正およびバーコードの幅を指定します。 コンビニ -EAN128 の補正は、GS1-128（料金代理収納用）バーコードのみが対象です。 GS1-128（料金代理収納用）印刷を行わない場合は、設定の必要はありません。 • 補正なし - 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 • 白補正 - 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 5,9,13,17 ピクセルで印刷します。 • 白黒補正 - 黒のバーコード幅 3,7,11,15 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 5,9,13,17 ピクセルで印刷します。

3 「適用」 ボタンを押します。



7.1.9 印刷設定（JEF 設定）

印刷に関する設定を行います。JEF タブ画面で設定した値は、JEF の場合に有効となります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「JEF」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

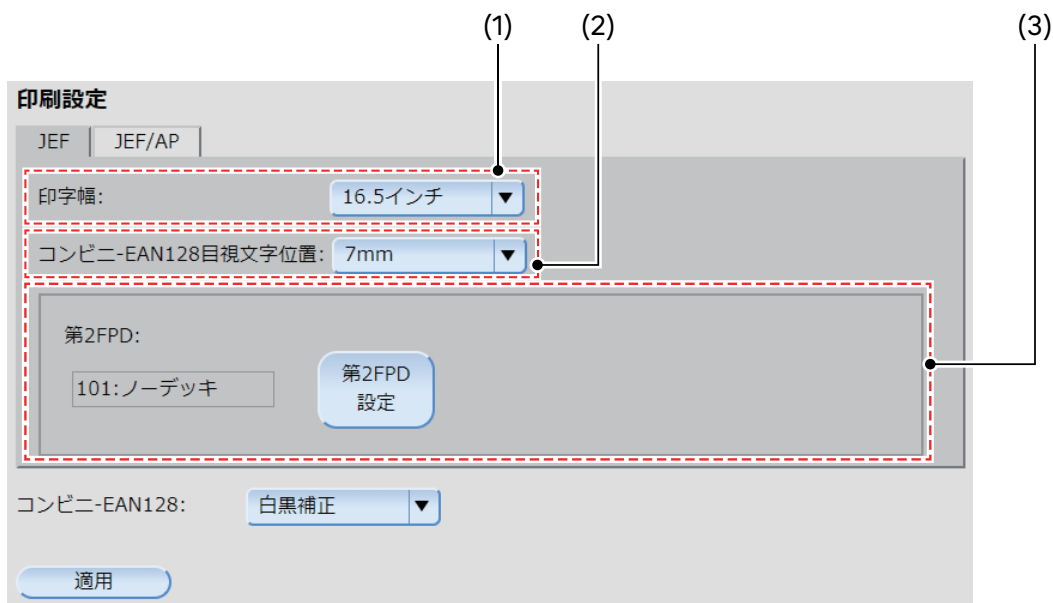


図 7.22 印刷設定の JEF 設定

表 7.20 印刷設定（JEF 設定）

番号	項目	初期値	説明
(1)	印字幅	16.5 インチ	印字最大幅を指定します。 データランプ点灯中は変更できません。 • 13.6 インチ 印字最大幅を 13.6 インチに指定します。 • 16.5 インチ 印字最大幅を 16.5 インチに指定します。 • 18.0 インチ 「PS5600 互換機構」搭載時に選択が可能です。 印字最大幅を 18.0 インチに指定します。
(2)	コンビニ -EAN128 目 視文字位置	7mm	「拡張バーコード出力機構」オプション搭載時に本設定項目が表示されます。GS1-128（料金代理収納用）バーコードのみが対象です。 GS1-128（料金代理収納用）バーコードの目視文字の位置を指定します。 • 7mm バーコードの目視文字の位置を 7mm に指定します。 • 9.5mm バーコードの目視文字の位置を 9.5mm に指定します。
(3)	第 2FPD 設定	—	第 2FPD 設定画面を開きます。 詳細は、[7.1.10 印刷設定（第 2FPD 設定）] (P.108) を参照してください。

4 「適用」 ボタンを押します。



7.1.10 印刷設定（第 2FPD 設定）

印刷に関する設定を行います。第 2FPD 設定は、文字パターンをあらかじめ本装置に登録しておき、業務に必要な第2FPDを選択し、運用を行うために使用するものです。第2FPDの登録はSE(システムエンジニア)が行います。第 2FPD は 001 ～ 099 まで登録可能です。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「JEF」タブを選択し、「第 2FPD 設定」ボタンを押します。
- 3 各項目を設定します。

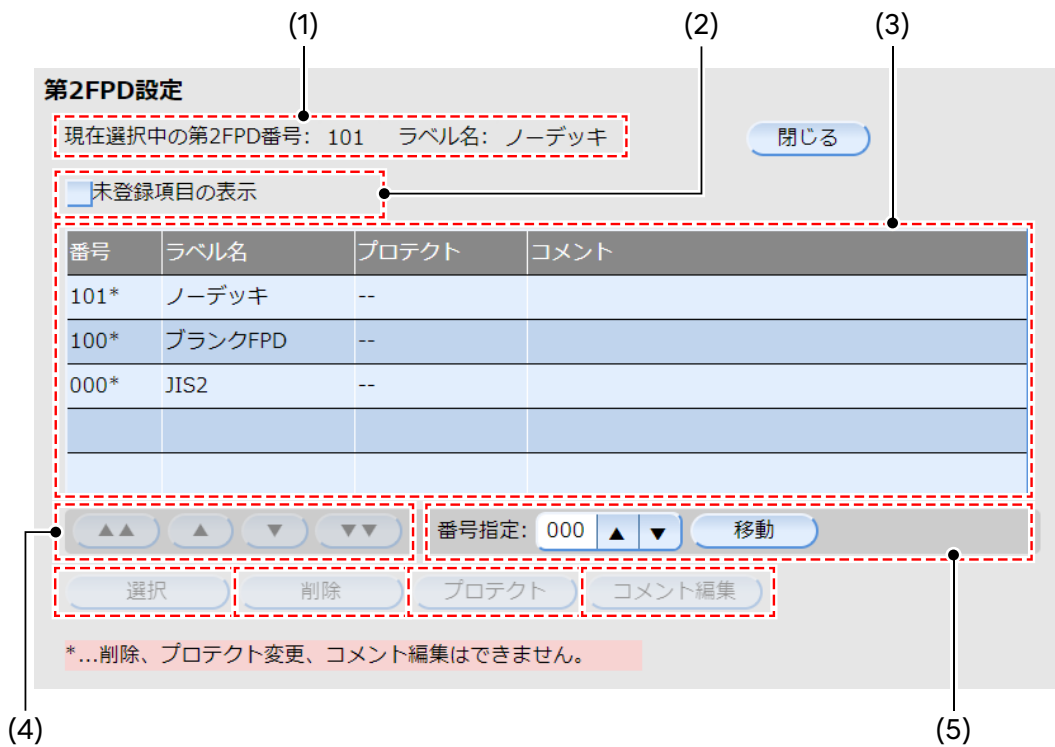


図 7.23 第 2FPD 設定

表 7.21 印刷設定（第 2FPD 設定）

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中の第 2FPD ラベル名	101 ノーデッキ	現在選択されている第 2FPD のラベル名を表示します。本項目 を変更する場合は、(3) で対象を選択し、「選択」ボタンを押 します。
(2)	未登録項目の表示	OFF	未登録行を表示するかを指定します。 • OFF 未登録行は表示しません。登録されている第 2FPD が 5 つ 未満の場合は、空行が表示されます。 • ON 未登録行を表示します。

番号	項目	初期値	説明
(3)	第 2FPD 情報一覧	101	登録済みの第 2FPD 情報を一覧で表示します。第 2FPD 情報には以下の項目があります。 番号「101 ノーデッキ」、[100 ブランク FPD]、[000 JIS2] は初期状態で登録されています。 - 番号 格納されている第 2FPD を表す 000 ～ 101 の数値です。 - ラベル名 格納されている第 2FPD のラベル名です。 - プロテクト 格納されている第 2FPD の書き込み可／不可の設定状態です。 - 「--」 初期状態で登録されており、変更できません。 - 「有効」 プロテクトが有効で書き込みできません。 - 「無効」 プロテクトが無効で書き込みできます。 - コメント 格納されている第 2FPD のコメントです。
(4)	スクロールアイコン	—	第 2FPD 情報一覧を上下にスクロールさせる場合に押します。「▲」ボタンまたは「▼」ボタンを押して 1 行ずつ上または下にスクロールします。「▲▲」ボタンまたは「▼▼」ボタンを押して 5 行ずつ上または下にスクロールします。
(5)	番号指定	000	選択したい第 2FPD 情報の番号を入力し、「移動」ボタンを押します。000 ～ 099 の範囲で指定できます。

注 意

「メンテナンス管理者モード」の「第 2FPD チェック」をエラーありに設定した際、以下の事象が発生します。

- ・「101 ノーデッキ」を「選択」し再起動した場合、ER8A-52 となります。
- ・「100 ブランク FPD」を「選択」し再起動した場合、現在選択中の第 2FPD は「101 ノーデッキ」となり、ER8A-52 となります。

ER8A-52 が発生した場合は、[\[7.1.10 印刷設定（第 2FPD 設定）\]（P.108）](#)のみ操作が可能です。正しい設定を行い、再起動してください。

なお、「100 ブランク FPD」は、新しい第 2FPD を作成するときに選択します。ブランク FPD を選択したまま運用すると、ER85-52 となる場合があります。

4 以下のいずれかのボタンを押します。

- ・ 選択
第 2FPD を選択します。詳細は、[\[■ 第 2FPD を選択する\]（P.110）](#)を参照してください。
- ・ 削除
第 2FPD を削除します。詳細は、[\[■ 第 2FPD を削除する\]（P.110）](#)を参照してください。
- ・ プロテクト
第 2FPD にプロテクトを設定します。詳細は、[\[■ 第 2FPD にプロテクトを設定する\]（P.111）](#)を参照してください。

- ・コメント編集

第 2FPD のコメントを編集します。詳細は、[「第 2FPD のコメントを編集する」\(P.112\)](#) を参照してください。



■ 第 2FPD を選択する

使用する第 2FPD を選択すると、選択した第 2FPD が「現在選択中の第 2FPD」に反映されます。

手順 ▶▶▶

- 1 「第 2FPD 設定」画面で、選択したい第 2FPD をクリックします。
- 2 「選択」 ボタンを押します。



注意

第 2FPD が 99（最大登録数）登録されていた状態で、「100 ブランク FPD」を選択後、「選択」 ボタンを押した場合、「登録が上限に達しています。」のメッセージが表示されエラーとなります。

■ 第 2FPD を削除する

格納されている第 2FPD を削除します。

初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は削除できません。

手順 ▶▶▶

- 1 「第 2FPD 設定」画面で、削除したい第 2FPD をクリックします。
- 2 「削除」 ボタンを押します。
第 2FPD 削除確認画面が開きます。

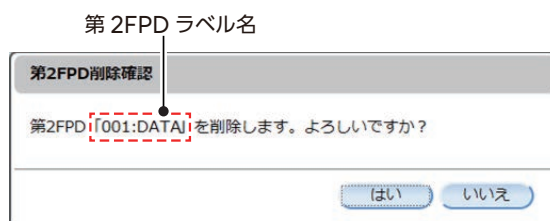


図 7.24 第 2FPD 削除確認画面

- 3 削除する第 2FPD ラベル名が正しい場合、「はい」 ボタンを押します。



■ 第2FPD にプロテクトを設定する

格納されている第2FPD をプロテクト（書き込み可／不可）状態に設定します。
プロテクトを有効に設定した第2FPD は、上書き登録できなくなります。なお、プロテクト有効時でも削除は可能です。
初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、「100 ブランク FPD」、「000 JIS2」は、プロテクト設定できません。

手順 ▶▶▶

- 1 「第2FPD 設定」画面で、プロテクトを設定したい第2FPD をクリックします。
- 2 「プロテクト」ボタンを押します。
プロテクト画面が開きます。
- 3 第2FPD 情報一覧で選択した第2FPD の書き込み可、または書き込み不可を設定します。

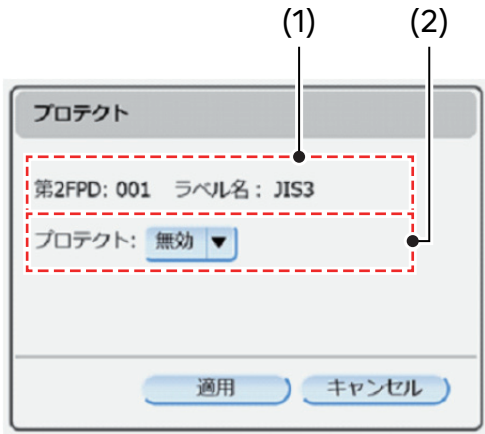


図 7.25 プロテクト画面

表 7.22 プロテクト画面の操作

番号	項目	説明
(1)	第2FPD ラベル名	選択した第2FPD の番号とラベル名を表示します。
(2)	プロテクト	選択した第2FPD のプロテクト指定を変更します。 - 有効 書き込み不可にします。 - 無効 書き込み可能にします。

- 4 「適用」ボタンを押します。



■ 第 2FPD のコメントを編集する

格納されている第 2FPD のコメントを編集します。
初期状態で登録されている「101 ノーデッキ」、 「100 ブランク FPD」、および「000 JIS2」のコメントは、編集できません。

手順 ▶▶▶

- 1 「第 2FPD 設定」画面で、コメントを編集したい第 2FPD をクリックします。
- 2 「コメント編集」ボタンを押します。
コメント編集画面が開きます。
- 3 第 2FPD 情報一覧で選択した第 2FPD のコメントを入力します。



図 7.26 コメント編集画面

表 7.23 コメント編集画面の操作

番号	項目	説明
(1)	選択中の第 2FPD	選択した第 2FPD の番号とラベル名が表示されます。
(2)	コメント	選択した第 2FPD のコメントを編集します。 最大 16 文字を入力できます。半角英数字、半角記号（*1）、全角文字を入力できます。半角空白は入力できません。

*1: ¥（円マークまたはバックスラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、&（アンパサンド）、<（小なり）、>（大なり）は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

- 4 「適用」ボタンを押します。



7.1.11 印刷設定（JEF/AP 設定）

印刷に関する設定を行います。JEF/AP のタブは、「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。JEF/AP タブ画面で設定した値は、JEF/AP の場合に有効となります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「印刷設定」を選択します。
コンテンツパネルに印刷設定の項目が表示されます。
- 2 「JEF/AP」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

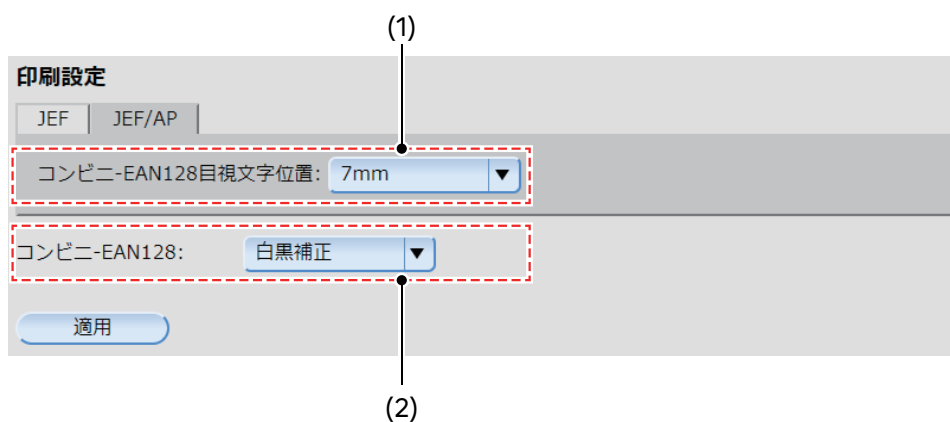


図 7.27 印刷設定の JEF/AP 設定（「拡張バーコード出力機構」オプションあり時）

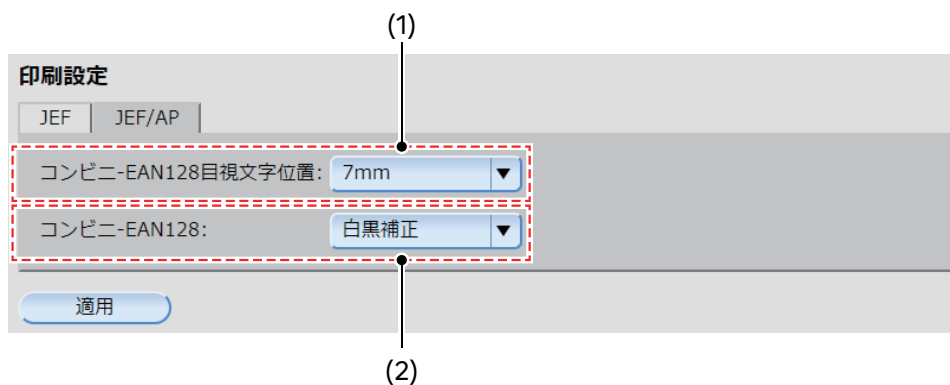


図 7.28 印刷設定の JEF/AP 設定（「拡張バーコード出力機構」オプションなし時）

表 7.24 印刷設定（JEF/AP 設定）

番号	項目	初期値	説明
(1)	コンビニ - EAN128 目視 文字位置	7mm	GS1-128（料金代理収納用）バーコードの目視文字の位置を指定します。 • 7mm バーコードの目視文字の位置を 7mm に指定します。 • 9.5mm バーコードの目視文字の位置を 9.5mm に指定します。
(2)	コンビニ - EAN128	白黒補正	補正およびバーコードの幅を指定します。 コンビニ -EAN128 の補正は、GS1-128（料金代理収納用）バーコードのみが対象です。 GS1-128（料金代理収納用）印刷を行わない場合は、設定の必要はありません。 • 補正なし - 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 • 白補正 - 黒のバーコード幅 4,8,12,16 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 5,9,13,17 ピクセルで印刷します。 • 白黒補正 - 黒のバーコード幅 3,7,11,15 ピクセルで印刷します。 - 白のバーコード幅 5,9,13,17 ピクセルで印刷します。

4 「適用」 ボタンを押します。



7.1.12 PDF ファイル設定（送信先フォルダー名）

送信先フォルダーを一時的に変更する場合に使用します。
通常、送信先フォルダー名を用紙情報に登録し、用紙情報を切り替えることで、送信先フォルダーも変更されます。ただし、本装置内に印刷データが存在する場合、用紙情報の切り替えは不可で、送信先フォルダーを変更することができません。
ファイルサーバーの送信先フォルダーを誤って削除した場合や、送信先フォルダーの指定誤りでエラーが発生した場合など、本装置内に印刷データが存在する状態では用紙情報の切り替えができないため、一時的に送信先フォルダーを変更するために使用します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「PDF ファイル設定」メニューを選択します。
- 2 「送信先フォルダー名」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

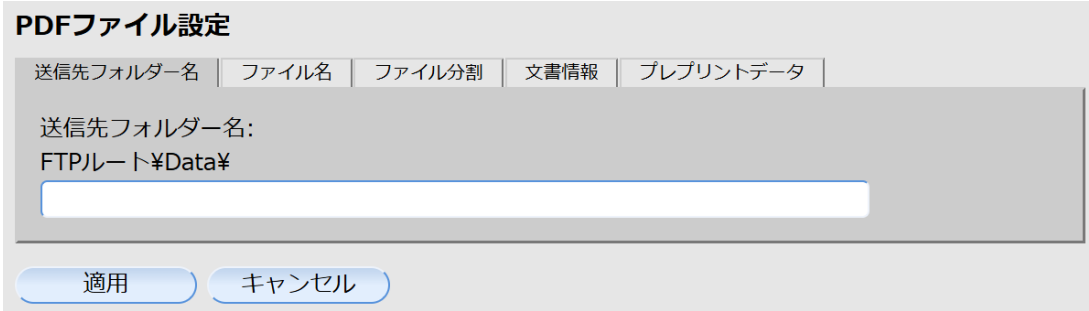


図 7.29 PDF ファイル設定の送信先フォルダー

表 7.25 PDF ファイル設定の送信先フォルダーの設定項目

項目	初期値	説明
送信先フォルダー名	なし	PDF ファイルを格納するファイルサーバーの FTP ルートフォルダーにある Data フォルダー配下にあるフォルダー名を指定します。 設定方法は、本装置に登録されている送信先フォルダーのリストから選択または手動で送信先フォルダー名を入力します。 手動で入力する場合は、1～96 文字で指定します。利用可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。

1: "（ダブルクォーテーション）、\$（ドルマーク）、&（アンパサンド）、'（シングルクォート）、（アスタリスク）、,（カンマ）、/（スラッシュ）、:（コロン）、;（セミコロン）、<（小なり）、=（イコール）、>（大なり）、?（クエスチョン）、@（アットマーク）、¥（円マークまたはバックスラッシュ）、?（バッククォート）、|（パイプライン）、および空白は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

- 4 「適用」 ボタンを押します。



備考

- 「適用」ボタンを押すと、用紙情報設定の送信先フォルダー名に反映されます。入力なしで「適用」ボタンを押した場合、送信先フォルダーは Data フォルダー直下になります。
新たに用紙情報を選択した場合、本設定は用紙情報で設定しているフォルダー名になります。
- 印刷中（本装置に印刷データがある状態）に Web-UI より「ストップ」ボタンを押し、本設定で送信先フォルダーを切り替える場合、PDF ファイルの分割状況によっては、1つのホストジョブが複数の送信先フォルダーに分かれて格納されるため、設定を変更する場合は PDF ファイルの格納先に注意してください。

7.1.13 PDF ファイル設定（ファイル名）

ファイルサーバーへ送信する際の PDF ファイル名を設定します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「PDF ファイル設定」メニューを選択します。
- 2 「ファイル名」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

図 7.30 PDF ファイル設定のファイル名（ジョブ名表示設定無効）

表 7.26 PDF ファイル設定のファイル名（ジョブ名表示設定無効）の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	ファイル名生成	ユーザー定義名	ファイルサーバーへ印刷データを送信する際の PDF ファイル名の生成方法を指定します。 - ユーザー定義名 「ユーザー定義名」を使用します。 - 用紙情報名 「用紙情報名」を使用します。使用するのは先頭から最大 16 文字までです。
(2)	ユーザー定義名	PS-R13NBA	ユーザー定義名を選択した場合のファイル名を設定します。最大 16 文字を入力できます。入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。
(3)	仕分け用定義名を使用する	チェックなし	ファイル名の先頭に仕分け用の文字列を付加することができます。 - チェックなし 仕分け用定義名を使用しません。 - チェックあり 仕分け用定義名を使用します。

番号	項目	初期値	説明
(4)	仕分け用定義名	-	指定された文字列をファイル名の先頭に付加します。 最大 16 文字を入力できます。 入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。
(5)	ファイル名に付加する情報	チェックなし	本装置から送信するファイル名にチェックを付けた情報を付加します。 - 総ページ数 - ファイル分割時の開始・終了ページ - 装置名 - データ形式情報 データ形式情報は「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。
(6)	ファイル名サンプル	-	設定内容を反映した PDF ファイル名のサンプルを表示します。

1: "（ダブルクォーテーション）、\$（ドルマーク）、&（アンパサンド）、'（シングルクォート）、（アスタリスク）、,（カンマ）、/（スラッシュ）、:（コロン）、;（セミコロン）、<（小なり）、=（イコール）、>（大なり）、?（クエスチョン）、@（アットマーク）、¥（円マークまたはバックスラッシュ）、`（バッククォート）、|（パイプライン）、および空白は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

PDFファイル設定

送信先フォルダー名 | **ファイル名** | ファイル分割 | 文書情報 | プレプリントデータ

(1) ファイル名生成: ホストジョブ名 ▼

(2) ホストジョブ名がない場合: ☒ ユーザー定義名 ☐ 用紙情報名

(3) ユーザー定義名: PS-R13NBA

(4) ☐ 仕分け用定義名を使用する

(5) 仕分け用定義名:

ファイル名に付加する情報:

(6) ☐ 総ページ数
☐ ファイル分割時の開始・終了ページ
☐ 装置名
☐ データ形式情報

ファイル名サンプル:

(7) 000100-HOSTJOBNAME-001-250603.pdf

適用 キャンセル

図 7.31 PDF ファイル設定のファイル名（ジョブ名表示設定有効）

表 7.27 PDF ファイル設定のファイル名（ジョブ名表示設定有効）の設定項目

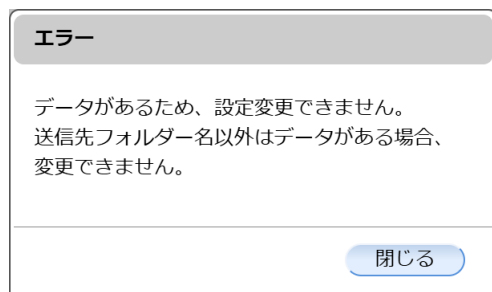
番号	項目	初期値	説明
(1)	ファイル名生成	ホストジョブ名	ファイルサーバーへ印刷データを送信する際の PDF ファイル名の生成方法を指定します。 • ホストジョブ名 ホストから指示されたジョブ名を使用します。「ジョブ名」はジョブ番号も含み、最大 16 文字です。ホストからジョブ名の指示がない場合、「ホストジョブ名がない場合」の設定を使用します。 • ユーザー定義名 「ユーザー定義名」を使用します。「ユーザー定義名」は、最大 16 文字です。 • 用紙情報名 「用紙情報名」を使用します。使用するのは先頭から最大 16 文字までです。
(2)	ホストジョブ名がない場合	ユーザー定義名	ホストからジョブ名の指定がない印刷データを受信した場合に、使用するファイル名を指定します。 • ユーザー定義名 「ユーザー定義名」を使用します。 • 用紙情報名 「用紙情報名」を使用します。使用するのは先頭から最大 16 文字までです。
(3)	ユーザー定義名	PS-R13NBA	ユーザー定義名を選択した場合のファイル名を設定します。最大 16 文字を入力できます。 入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。
(4)	仕分け用定義名を使用する	チェックなし	ファイル名の先頭に仕分け用の文字列を付加することができます。 • チェックなし 仕分け用定義名を使用しません。 • チェックあり 仕分け用定義名を使用します。
(5)	仕分け用定義名	-	指定された文字列をファイル名の先頭に付加します。最大 16 文字を入力できます。 入力可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。
(6)	ファイル名に付加する情報	チェックなし	本装置から送信するファイル名にチェックを付けた情報を付加します。 • 総ページ数 • ファイル分割時の開始・終了ページ • 装置名 • データ形式情報
(7)	ファイル名サンプル	-	設定内容を反映した PDF ファイル名のサンプルを表示します。

1: "（ダブルクォーテーション）、\$（ドルマーク）、&（アンパサンド）、'（シングルクォート）、（アスタリスク）、,（カンマ）、/（スラッシュ）、:（コロン）、;（セミコロン）、<（小なり）、=（イコール）、>（大なり）、?（クエスチョン）、@（アットマーク）、¥（円マークまたはバックスラッシュ）、`（バッククォート）、|（パイプライン）、および空白は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

4 「適用」 ボタンを押します。

注意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態で「適用」 ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。



備考

本装置から送信する PDF ファイル名の形式について説明します。以下の運用に合わせて、設定してください。

- ・ APS ライタを使用する場合
「ホストジョブ名」を選択し、ホストから指定するジョブ名を PDF ファイル名に使用します。
- ・ 運用に合わせ Web-UI から用紙情報を変更している場合
「用紙情報名」を選択し、用紙情報で選択している用紙情報名を使用します。
- ・ 上記以外の場合
「ユーザー定義名」で、PDF ファイル名に使用される名称を指定します。

PDF ファイル名の形式は以下になります。

AA...AA-NNNNNN-XX...XX-ZZZ-YYMMDD-PPPPP-SSSSSS_EEEEE-MM...MM-T.pdf

番号	情報ブロック	意味
1	AA...AA	PDF ファイル仕分け用文字列で、ファイルの先頭に任意の文字列を付加します。 最大文字数は 16 文字です。
2	NNNNNN	PDF ファイルを識別するためのファイル ID で、範囲は 000001 ～ 999999 です。 PDF ファイル作成ごとに 1 を加算します。 桁あふれで 000001 に戻ります。本装置の電源 OFF/ON ではクリアされず、電源 OFF の前の値を保持しています。
3	XX...XX	一般ユーザーモードの PDF ファイル設定の「ホストジョブ名」、「ユーザー定義名」、「用 紙情報名」の選択された名称を使用します。 「ホストジョブ名」が選択された場合、ジョブ名表示オーダで受信したジョブ名の文字列 を使用します。ホストジョブ名の文字列の途中に空白が含まれる場合、アンダーバー ("_") に置き換え、後ろの空白は使用しません。 ジョブ名指示がない場合、「ユーザー定義名」、「用紙情報名」のどちらかを使用します。 最大文字数は 16 文字です。
4	ZZZ	分割ファイルインデックスで、範囲は 001 ～ 999 です。 001 から設定し PDF ファイルの分割ごとに 1 加算します。 桁あふれで 001 に戻ります。 また、新規ホストジョブを受けた際や本装置の起動で 001 に戻ります。

番号	情報ブロック	意味
5	YYMMDD	PDF ファイルの作成開始日時です。 YY：西暦下 2 桁、MM：月、DD：日 PDF ファイル内の 1 ページ目を書き込み開始した日付となります。PDF ファイル作成のタイミングが日をまたぐ場合は、同一ホストジョブ内の PDF ファイルについても別の日付となります。
6	PPPPP	PDF ファイルに含まれる総ページ数です。
7	SSSSSS_EEEEE	分割前のホストジョブ全体に対する開始ページ数と終了ページ数です。開始ページ数と終了ページ数共に累積値になります。 なお、ホストジョブ切り替え時の開始ページ数は 000001 になります。また、桁あふれした際も 000001 になります。
8	MM...MM	装置名です。 最大文字数は 16 文字です。
9	-T	データ形式の情報です。 JEF/AP オプションが未搭載の場合： - 表示なし JEF/AP オプションが搭載の場合： - ライタのコマンドがラインプリンタモード（JEF）：「-L」 - ライタのコマンドがページプリンタモード（JEF/AP）：「-P」
10	.pdf	ファイルの拡張子です。

7.1.14 PDF ファイル設定（ファイル分割）

ファイルサーバーへ送信する際の分割ページ数を設定します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「PDF ファイル設定」メニューを選択します。
- 2 「ファイル分割」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

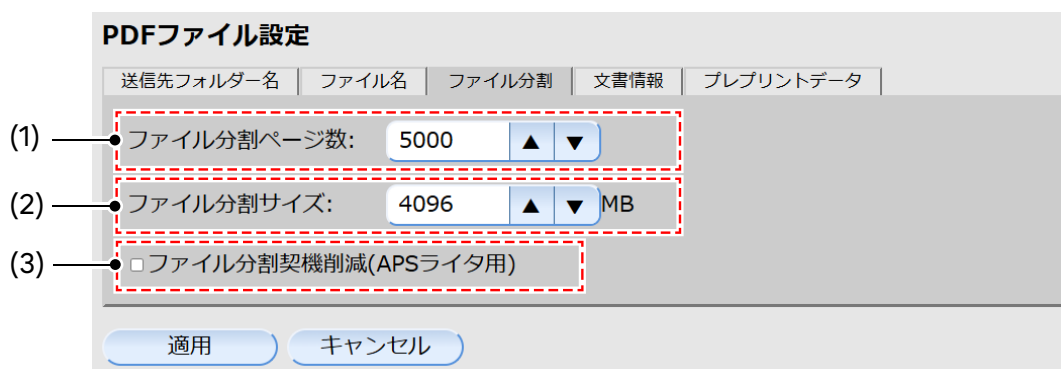


図 7.32 PDF ファイル設定のファイル分割

表 7.28 PDF ファイル設定のファイル分割の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	ファイル分割 ページ数 (*1)	5000	PDF ファイルの分割単位を指定します。ホストから受信した印刷データから PDF ファイルを作成する際、指定ページ数に到達した場合、作成した PDF ファイルをファイルサーバーへ送信し、新たに PDF ファイルを作成します。 指定範囲は 100 ～ 20000 ページです。
(2)	ファイル分割 サイズ (*1)	4096	PDF ファイルの最大ファイルサイズを指定します。ホストから受信した印刷データから PDF ファイルを作成する際、指定のファイル分割サイズを超えそうになった場合、作成した PDF ファイルをファイルサーバーへ送信し、新たに PDF ファイルを作成します。 指定範囲は 500 ～ 4096MB（設定は 1MB 単位）(*2) です。
(3)	ファイル分割契機 削減 (APS ライタ用)	チェックなし	APS ライタの制御を利用して、以下によるファイル分割契機を削減します。 - PDF ファイルを分離しなくても制御できる、本装置との同期が必要なホストコマンド - オーバレイ制御（1PDF ファイル内 256 種登録まで） なお、APS ライタ以外は、正しく動作できないため、必ず本設定が「チェックなし」の用紙情報を選択してください。

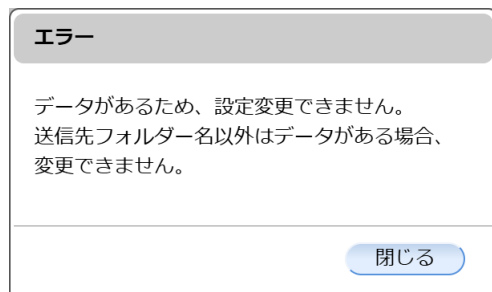
*1: ファイル分割ページ数とファイル分割サイズは、PDF ファイルに書き込み中、先に条件を満たした項目を優先的に分割条件として扱います。

*2: 1MB の計算は 1024KB で計算します。

- 4 「適用」 ボタンを押します。

注意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態で「適用」ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。



注意

- ・ファイル分割ページ数の初期値は 5000 ページですが、運用に合わせて変更してください。
- ・ファイル分割ページ数に到達すると PDF ファイルをファイルサーバーへ送信し、新たに PDF ファイルを作成します。
また、以下のように、ファイル分割ページ数に到達しなくても PDF ファイルをファイルサーバーへ送信することがあります。
 - a) 富士通メインフレームと同期が必要な場合（例）
 - 富士通メインフレームからのジョブが変わったとき
 - 用紙コードによる用紙掛け替え指示があったとき
 - ライタ操作が実行されたとき
 - 富士通メインフレームから、一定時間（3 秒）経過しても次のデータを受信できなかったとき
 - b) 本装置の Web-UI 操作が実行された場合（例）
 - 「データ操作」の「クリアプリント」ボタンを押したとき
 - c) 本装置で異常を検出した場合（例）
 - 印字欠落を検出したとき
 - PDF ファイルのサイズがファイル分割サイズを超えるととき

7.1.15 PDF ファイル設定（文書情報）

ファイルサーバーへ送信する PDF ファイルのプロパティを設定します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「PDF ファイル設定」メニューを選択します。
- 2 「文書情報」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

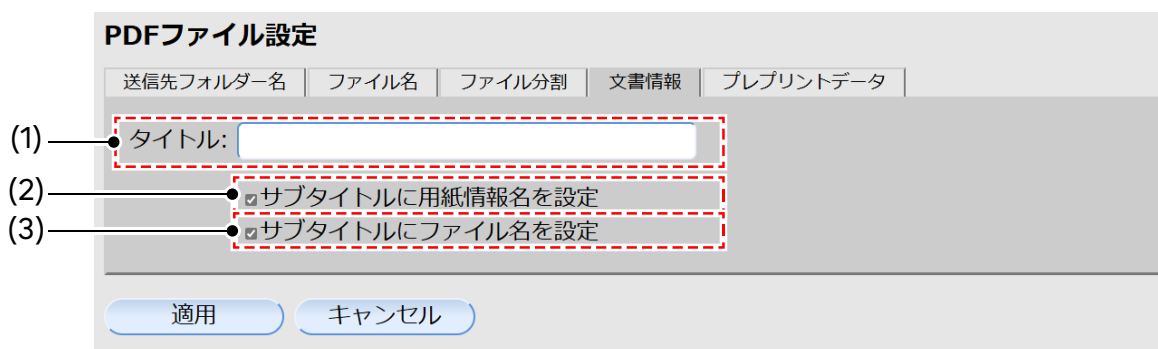


図 7.33 PDF ファイル設定の文書情報

表 7.29 PDF ファイル設定の文書情報の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	タイトル	-	PDF ファイルのプロパティにあるタイトルに表示する文字列を設定します。 最大 48 文字の半角英数字、半角記号、全角文字 Unicode (UCS2) を入力することができます。 ただし、以下の文字は入力不可となります。 " (ダブルクォーテーション)、& (アンパサンド)、, (カンマ)、< (小なり)、> (大なり)、¥ (円マークまたはバックslash)、 [(始め角括弧) と](終わり角括弧) の同時設定
(2)	サブタイトルに用紙情報名を設定	チェックあり	PDF ファイルのプロパティにあるサブタイトルに選択している用紙情報の番号と用紙情報名を設定します。 • チェックなし サブタイトルに設定します。 • チェックあり サブタイトルに設定しません。
(3)	サブタイトルにファイル名を設定	チェックあり	PDF ファイルのプロパティにあるサブタイトルに拡張子を除いた PDF ファイル名を設定します。 • チェックなし サブタイトルに設定します。 • チェックあり サブタイトルに設定しません。

4 「適用」 ボタンを押します。

注意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態で「適用」 ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。

エラー

データがあるため、設定変更できません。
送信先フォルダー名以外はデータがある場合、
変更できません。

閉じる

7.1.16 PDF ファイル設定（プレプリントデータ）

PDF ファイル作成時に使用するプレプリントデータを選択します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「PDF ファイル設定」メニューを選択します。
- 2 「プレプリントデータ」タブを選択します。
- 3 各項目を設定します。

PDFファイル設定

送信先フォルダー名 | ファイル名 | ファイル分割 | 文書情報 | プレプリントデータ

(1) 現在選択中のプレプリントデータファイル名: なし

プレプリントデータファイル	コメント
なし	プレプリントデータを使用しない

(2)

(3) ☐ PDFファイルを開いたときプレプリントデータを表示する

選択

適用 キャンセル

図 7.34 PDF ファイル設定のプレプリントデータ

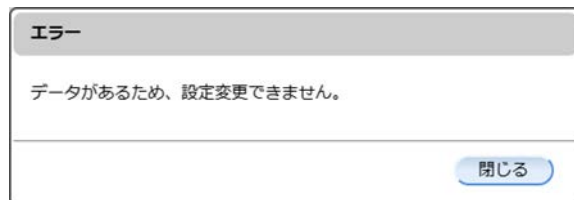
表 7.30 PDF ファイル設定のプレプリントデータの設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中のプレプリントデータファイル名	なし	PDF ファイル作成時に使用するプレプリントデータファイル名が表示されます。 PDF ファイルに登録できるプレプリントデータは1つです。
(2)	プレプリントデータファイル一覧	-	本装置に登録されているプレプリントデータファイルの一覧で、ユーザー管理者メニューのプレプリントデータ管理から登録したプレプリントデータファイルがファイル名順に表示されます。 - プレプリントデータファイル 登録したプレプリントデータのファイル名を表示します。 - コメント ファイルに対するコメントを表示します。
(3)	PDF ファイルを開いたときプレプリントデータを表示する	チェックあり	PDF ファイルを開いたとき、プレプリントデータをデフォルトで表示するかどうかを選択します。 - チェックあり プレプリントデータを表示します。 - チェックなし プレプリントデータを表示しません。

- 4 プレプリントデータファイル一覧の中から使用するファイルを選択し、「選択」ボタンを押します。

注意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態で「選択」ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。



7.1.17 チャネル設定

富士通メインフレームとの接続状態の表示と切り換えを行います。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「チャネル設定」を選択します。
コンテンツパネルにチャネル設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。
増設チャネルオプションが未搭載の場合は、チャネル接続先でチャネル A のみ ON Line、OFF Line の設定ができます。

注意

チャネル接続先の変更は、ホスト側の OS 上で装置が OFF Line になっていることを確認してから行ってください。

増設チャネルオプション搭載時の設定は、[【増設チャネルオプション搭載時】\(P.129\)](#)を参照してください。

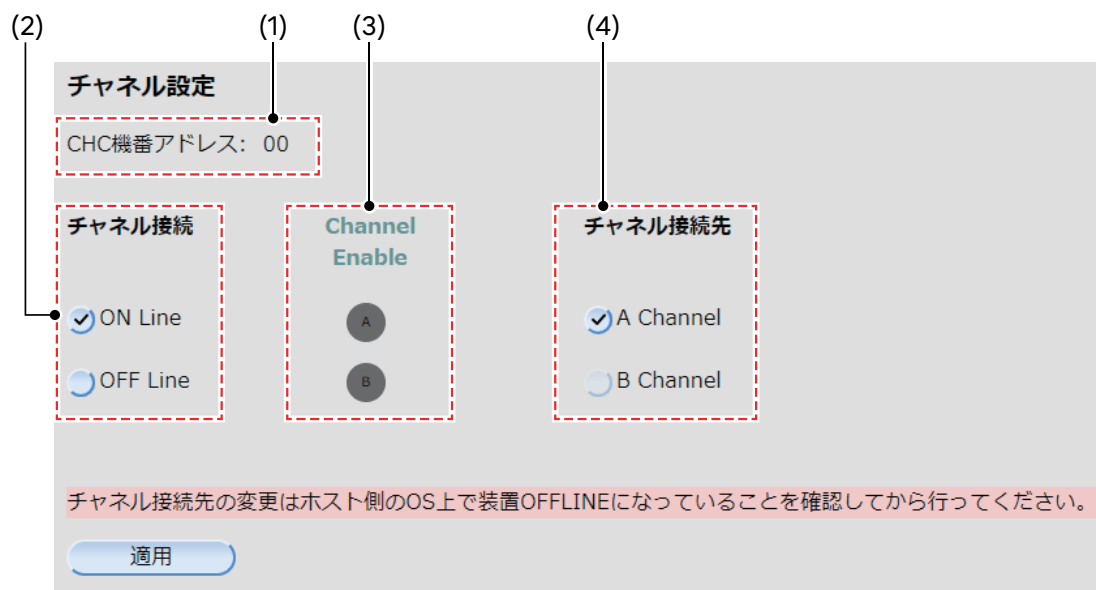


図 7.35 チャネル設定

表 7.31 チャネル設定の項目

番号	項目	説明
(1)	CHC 機番アドレス	本装置に設定されている機番を表示します。機番の設定は保守技術員（担当 CE）が行います。
(2)	チャネル接続	本装置をオンライン状態／オフライン状態へ遷移させます。「チャネル接続先」で選択されているチャネルに対して設定します。設定は「適用」ボタンを押すと反映されます。

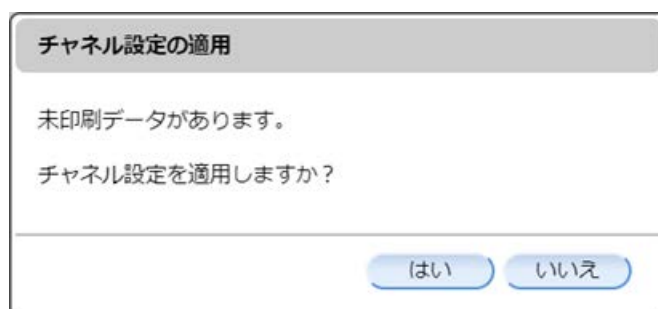
番号	項目	説明
(3)	Channel Enable	現在のチャンネル接続状態を示します。本装置のチャンネル接続が ON Line の場合に、チャンネル接続先で接続されているチャンネルのランプが緑色に点灯します。なお、オンライン状態となるチャンネルは A / B いずれか一方となります。
(4)	チャンネル接続先 (*1)	本装置に接続されているチャンネル A / B を切り替えることができます。設定は「適用」ボタンを押すと反映されます。なお、切り替える場合は、いったん「チャンネル接続」でオフライン状態に遷移させたあとに実施してください。

*1: 「B Channel」は増設チャンネルオプション搭載時に選択できます。

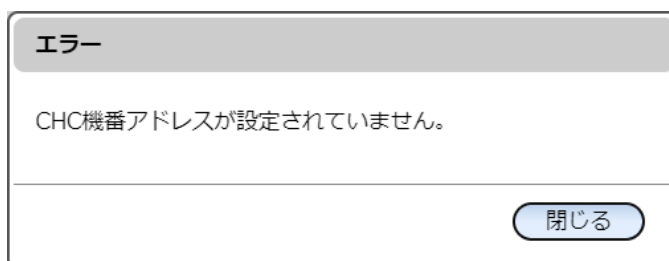
3 「適用」 ボタンを押します。

注 意

- データランプ点灯中に「適用」ボタンを押した場合は以下が表示されます。



- 「適用」ボタンを押した際に、CHC 機番アドレスが設定されていない場合は以下が表示されます。本事象が発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。



■ 増設チャンネルオプション搭載時

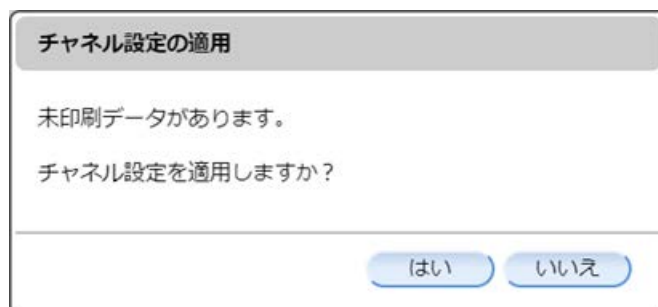
増設チャンネルオプション搭載時にチャンネルを切り換える場合は、「チャンネル設定」で以下の手順を行います。

手順 ▶▶▶

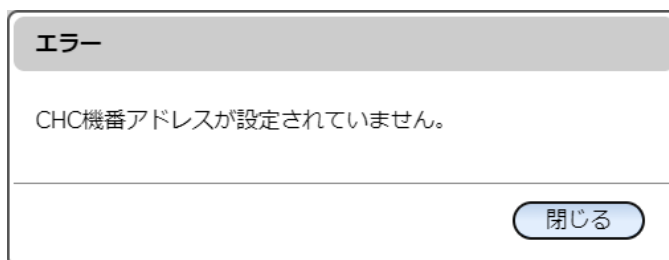
- 1 チャンネル接続で「OFF Line」を選択し、「適用」ボタンを押します。
チャンネル接続先で接続されているチャンネルのランプ（Channel Enable）が無点灯になります。
- 2 切り替えるチャンネル接続先を選択します。
- 3 チャンネル接続で「ON Line」を選択し、「適用」ボタンを押します。
チャンネル接続方法で接続されているチャンネルのランプ（Channel Enable）が緑色に点灯します。

注意

- ・データランプ点灯中に「適用」ボタンを押した場合は以下が表示されます。



- ・「適用」ボタンを押した際に、CHC 機番アドレスが設定されていない場合は以下が表示されます。
本事象が発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。



7.1.18 用紙長設定

デフォルト用紙長を指定します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「用紙長設定」を選択します。
コンテンツパネルに用紙長設定の項目が表示されます。
- 2 デフォルト用紙長を設定します。

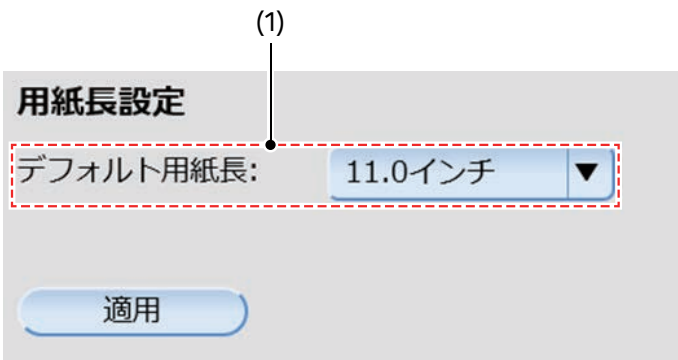


図 7.36 用紙長設定

表 7.32 デフォルト用紙長の設定項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	デフォルト用紙長	11.0 インチ	デフォルト用紙長を指定できます。 指定可能な範囲は 3.5 インチ～ 15.0 インチで、0.5 インチ間 隔で指定できます。

- 3 「適用」 ボタンを押します。



7.1.19 データ操作

本装置上のデータ操作ができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「データ操作」を選択します。
コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 2 操作するボタンを選択します。

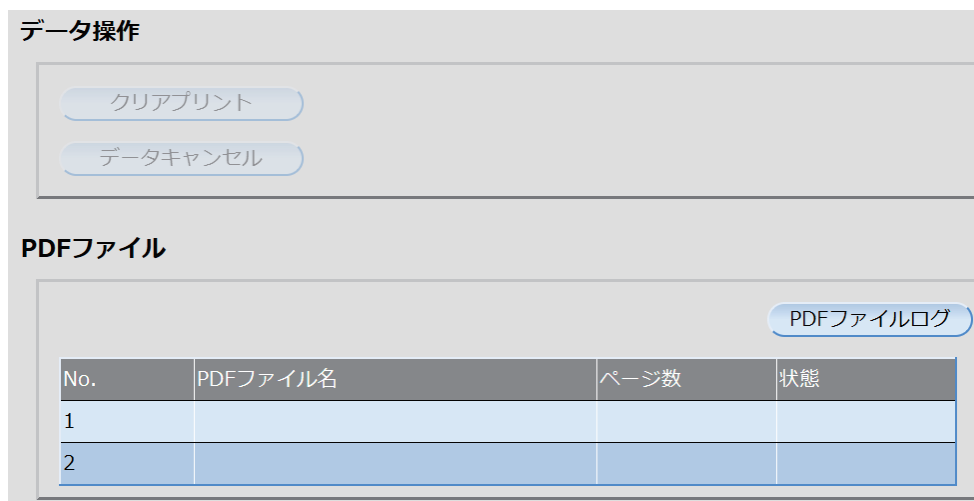


図 7.37 データ操作

- クリアプリント
本装置内に残っている印刷データを、PDF ファイルとして作成しファイルサーバーへ送信します。次の印刷データから新しい PDF ファイルを作成します。詳細は、[「■ クリアプリントを行う」 \(P.132\)](#) を参照してください。
- データキャンセル
本装置で作成した PDF ファイルを削除します。詳細は、[「■ データキャンセルを行う」 \(P.134\)](#) を参照してください。
- PDF ファイル
PDF ファイル一覧を表示します。一覧に表示されている PDF ファイルが「クリアプリント」ボタンおよび「データキャンセル」ボタン操作の対象となります。詳細は、[「■ PDF ファイル一覧」 \(P.135\)](#) を参照してください。
- PDF ファイルログ
本装置内で処理した PDF ファイルの履歴を表示します。詳細は、[「■ PDF ファイルログ」 \(P.137\)](#) を参照してください。



■ クリアプリントを行う

ライタ使用時は、ホストジョブの完成時ページ制御コマンドが伴うためファイルサーバーへ PDF ファイルが送信されます。データ管理直接出力使用時など、運用形態によってはページ制御コマンドの発行がなく、本装置内に印刷データが残ったままとなる場合があります。このような場合に、クリアプリントを実施すると、本装置内にある印刷データから PDF ファイルを作成しファイルサーバーへ送信します。ファイルサーバー側で PDF ファイルの確認を行ってください。

また、APS ライタ使用時でも、用紙情報を変更するとき、データ処理中で用紙情報が変更できない場合はクリアプリントを実施してください。

データ処理中の例：

[\[7.1.14 PDF ファイル設定 \(ファイル分割\)\] \(P.122\)](#) の「ファイル分割契機削減 (APS ライタ用)」をチェックありで運用中に、用紙掛け替えメッセージが表示され、用紙情報を変更したい場合

手順 ▶▶▶

- 1 メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にします。
- 2 メニューパネルから「データ操作」を選択します。
コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 3 データ操作画面で「クリアプリント」ボタンを押します。

注意

通常、「クリアプリント」ボタンはグレースアウトしており、操作できません。一度ボタン部分を押すと、グレースアウトが解除され、操作可能となります。

なお、操作可能後、5 秒以内にボタンを操作しない場合、再びグレースアウトになります。

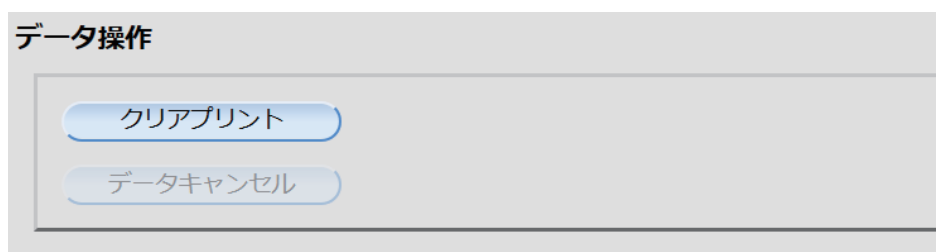


図 7.38 「クリアプリント」ボタン操作可能状態

操作可能になった「クリアプリント」ボタンを押すと確認画面が開きます。

4 「はい」 ボタンを押します。

- ・「描画設定」の「印字欠落チェック」の設定が以下の場合
チェック：有効、かつ、検出時の動作：停止

確認

クリアプリントを実行します。
よろしいですか？

☒ 印字欠落チェックを行う

はい いいえ

- ・左記以外の場合

確認

クリアプリントを実行します。
よろしいですか？

はい いいえ

図 7.39 クリアプリント確認画面

クリアプリント実行中は以下の画面が表示されます。

情報

クリアプリント実行中です。
しばらくお待ちください。

図 7.40 クリアプリント実行中画面

ファイルサーバーへ PDF ファイルの送信が失敗すると「クリアプリントに失敗しました。」の画面が表示され、通信エラーとなります。

エラー

クリアプリントに失敗しました。

閉じる

図 7.41 クリアプリント失敗画面

注意

クリアプリント実行後、ページが完成していないデータがある場合は、データランプが点滅します。この場合、以下のいずれかの対応を行ってください。

- ・完成していないページを印刷する場合は、「スタート」ボタンを押し、印刷を継続してください。
- ・完成していないページを削除する場合は、「データキャンセル」ボタンを押し、削除してください。

■ データキャンセルを行う

データキャンセルを実施すると、以下の状態の PDF ファイルを削除します。

- 作成中
- 待機中
- 通信エラー
- ファイルサーバーディスクフル

「送信済」および「送信中」状態の PDF ファイルは本装置から削除できません。ファイルサーバー側で不要な PDF ファイルは削除してください。

また、富士通メインフレームから本装置へ送信中のジョブまたは SYSOUT ファイルを取り消すかどうかは、各ライタの仕様に従ってください。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 メインパネルの「ストップ」ボタンで本装置を NOT READY 状態にします。
- 2 メニューパネルから「データ操作」を選択します。
コンテンツパネルにデータ操作の項目が表示されます。
- 3 データ操作画面で「データキャンセル」ボタンを押します。

注意

通常、「データキャンセル」ボタンはグレイアウトしており、操作できません。一度ボタン部分を押すと、グレイアウトが解除され、操作可能となります。なお、5 秒以内にボタンを操作しない場合、再びグレイアウトになります。

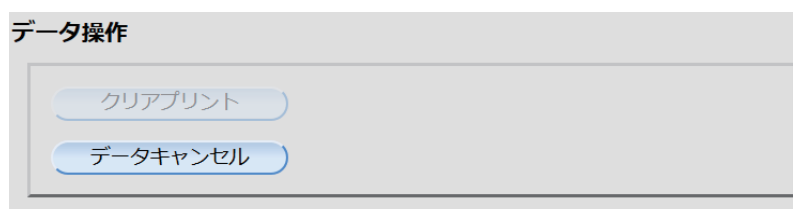


図 7.42 「データキャンセル」ボタン操作可能状態

有効になった「データキャンセル」ボタンを押すと確認画面が開きます。

4 「はい」 ボタンを押します。

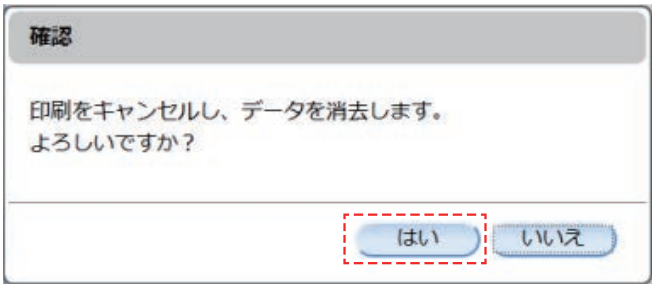


図 7.43 データキャンセル確認画面

データキャンセル実行中は以下の画面が表示されます。

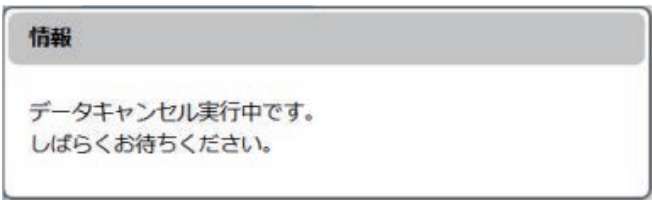


図 7.44 データキャンセル実行中画面

■ PDF ファイル一覧

「ストップ」ボタンを操作した時点での、本装置内で処理中、またはファイルサーバーへ送信完了した PDF ファイルの情報を表示します。一覧に表示されるのは、直近の 2 ファイルまでの情報になります。また、一覧に表示されている PDF ファイル（送信済を除く）が、「クリアプリント」ボタンおよび「データキャンセル」ボタン操作の対象となります。

表 7.33 PDF ファイル一覧画面

項目	説明
No.	本装置内で処理中、またはファイルサーバーへ送信が完了した PDF ファイル ID を表示します。
PDF ファイル名	本装置内で処理中、または送信を完了した PDF ファイル名を表示します。 PDF ファイル名は、 7.1.13 PDF ファイル設定（ファイル名） （P.117）で設定した名称となります。

項目	説明														
ページ数	PDF ファイルのページ数を表示します。														
状態	PDF ファイルの状態を表示します。 <table> <tr> <th>状態</th><th>説明</th></tr> <tr> <td>作成中</td><td>PDF ファイルの作成中です。 ホストから印刷データ受信後、PDF ファイル作成完了前までの状態です。</td></tr> <tr> <td>待機中</td><td>PDF ファイル作成完了後、ファイルサーバーへ送信を待っている状態です。ファイルサーバーへ送信する PDF ファイルは1ファイルずつのため、すでに「送信中」の PDF ファイルがある場合、先行している送信が完了するまで「待機中」で待たされます。</td></tr> <tr> <td>送信中</td><td>ファイルサーバーへ送信中の状態です。</td></tr> <tr> <td>送信済</td><td>ファイルサーバーへ送信を完了した状態です。</td></tr> <tr> <td>通信エラー</td><td>ファイルサーバーへ送信中にエラーを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 通信エラーとなる要因については、本装置、本装置 - ファイルサーバー間のネットワーク、ファイルサーバー側の問題があります。[第8章トラブルシューティング] (P.192) を参照し、要因を取り除いてください。 通信エラーとなる要因が運用継続可能なものであった場合、要因を取り除いたあと、本装置 Web-UI から「リセット」ボタン操作を実施することでエラーが解除され、本装置は「NOT READY」状態となります。「スタート」ボタン操作で本装置は「READY」となり、PDF ファイルがファイルサーバーへ再送され、「通信エラー」から「送信中」に変化します（*1）。</td></tr> <tr> <td>ファイルサーバーディスクフル</td><td>ファイルサーバーへ送信中、ファイルサーバー側のディスクフルを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 ファイルサーバー側の操作でディスクフルを解除してください。</td></tr> </table>	状態	説明	作成中	PDF ファイルの作成中です。 ホストから印刷データ受信後、PDF ファイル作成完了前までの状態です。	待機中	PDF ファイル作成完了後、ファイルサーバーへ送信を待っている状態です。ファイルサーバーへ送信する PDF ファイルは1ファイルずつのため、すでに「送信中」の PDF ファイルがある場合、先行している送信が完了するまで「待機中」で待たされます。	送信中	ファイルサーバーへ送信中の状態です。	送信済	ファイルサーバーへ送信を完了した状態です。	通信エラー	ファイルサーバーへ送信中にエラーを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 通信エラーとなる要因については、本装置、本装置 - ファイルサーバー間のネットワーク、ファイルサーバー側の問題があります。 [第8章トラブルシューティング] (P.192) を参照し、要因を取り除いてください。 通信エラーとなる要因が運用継続可能なものであった場合、要因を取り除いたあと、本装置 Web-UI から「リセット」ボタン操作を実施することでエラーが解除され、本装置は「NOT READY」状態となります。「スタート」ボタン操作で本装置は「READY」となり、PDF ファイルがファイルサーバーへ再送され、「通信エラー」から「送信中」に変化します（*1）。	ファイルサーバーディスクフル	ファイルサーバーへ送信中、ファイルサーバー側のディスクフルを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 ファイルサーバー側の操作でディスクフルを解除してください。
状態	説明														
作成中	PDF ファイルの作成中です。 ホストから印刷データ受信後、PDF ファイル作成完了前までの状態です。														
待機中	PDF ファイル作成完了後、ファイルサーバーへ送信を待っている状態です。ファイルサーバーへ送信する PDF ファイルは1ファイルずつのため、すでに「送信中」の PDF ファイルがある場合、先行している送信が完了するまで「待機中」で待たされます。														
送信中	ファイルサーバーへ送信中の状態です。														
送信済	ファイルサーバーへ送信を完了した状態です。														
通信エラー	ファイルサーバーへ送信中にエラーを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 通信エラーとなる要因については、本装置、本装置 - ファイルサーバー間のネットワーク、ファイルサーバー側の問題があります。 [第8章トラブルシューティング] (P.192) を参照し、要因を取り除いてください。 通信エラーとなる要因が運用継続可能なものであった場合、要因を取り除いたあと、本装置 Web-UI から「リセット」ボタン操作を実施することでエラーが解除され、本装置は「NOT READY」状態となります。「スタート」ボタン操作で本装置は「READY」となり、PDF ファイルがファイルサーバーへ再送され、「通信エラー」から「送信中」に変化します（*1）。														
ファイルサーバーディスクフル	ファイルサーバーへ送信中、ファイルサーバー側のディスクフルを検出し、送信を停止した状態です。本装置は「エラー」状態となります。 ファイルサーバー側の操作でディスクフルを解除してください。														

*1: ファイルサーバーへは PDF ファイルの再送となるため、エラーが発生したページから印刷再開とはならず、PDF ファイルの先頭ページからの再印刷となります。ファイルサーバー側にエラーが発生した PDF ファイルがある場合、重複印刷を避けるため、必要に応じて削除を行ってください。エラーが発生した際には必ず前後のファイルの印刷結果を確認し、重複印刷がある場合は取り除いてください。

「クリアプリント」ボタンを操作した場合、ファイルサーバーへ「作成中」、「待機中」、「通信エラー」、「ファイルサーバーディスクフル」の PDF ファイルを順次送信します。

「通信エラー」、「ファイルサーバーディスクフル」の状態の PDF ファイルについても「クリアプリント」ボタン操作でファイルサーバーへ再送を行いますが、エラーとなる要因が取り除かれていない場合は、再度エラーとなります。

「データキャンセル」ボタンを操作した場合、「作成中」、「待機中」、「通信エラー」、「ファイルサーバーディスクフル」の PDF ファイルを削除します。送信済と送信中のファイルは一覧表から削除されません。

本装置内の PDF ファイルは、本装置の再起動時に削除されます。

PDF ファイルログ

PDF ファイル一覧の情報は、ファイルサーバーへ送信したもののから順次削除されますが、「PDF ファイルログ」ボタンから、本装置内で処理した PDF ファイルの履歴を確認することができます。

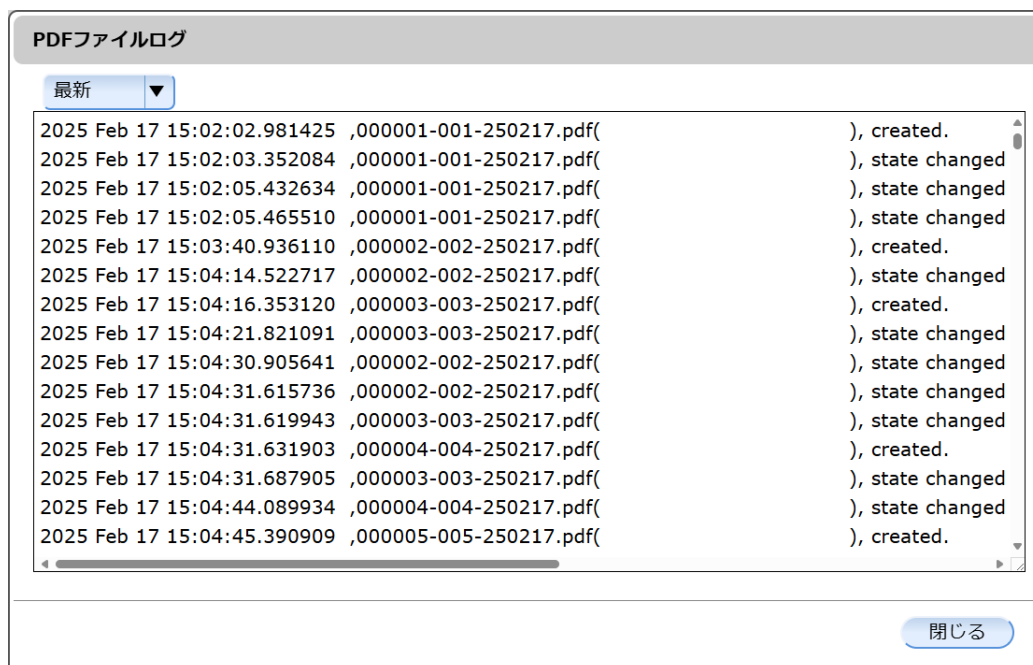


図 7.45 PDF ファイルログ画面

表 7.34 PDF ファイルログ画面

項目	説明
記録日時	情報を PDF ファイルログに登録した日時を表示します。 例) 2024 Dec 15 03:07:58.397014
PDF ファイル名	対象の PDF ファイル名を表示します。括弧内は、その PDF ファイルに対応するジョブ名を表示します。ジョブ名表示設定が無効の場合は空白です。 ジョブ名表示設定の詳細は、 「ジョブ名表示の設定を行う」(P.177) を参照してください。
処理内容	PDF ファイルに対する処理内容を表示します。 created. : PDF ファイル作成開始 state changed to waiting. : PDF ファイル作成完了、PDF ファイルの状態を「待機中」に変更 state changed to transferring,YYYY/MM/DD hh:mm:ss,Np. : PDF ファイルをファイルサーバーへ送信開始、送信開始時刻、ページ数 state changed to transfer completed,YYYY/MM/DD hh:mm:ss,Np. : PDF ファイル送信完了、送信完了時刻、ページ数 state changed to communication error. : PDF ファイルの状態を「通信エラー」に変更 state changed to diskfull error. : PDF ファイルの状態を「ファイルサーバーディスクフル」に変更
Web-UI 操作 クリアプリント / データキャンセル	操作内容を表示します。データキャンセルの場合、削除された PDF ファイルの情報を表示します。 User clear printed data. : クリアプリント操作 clear print done. : クリアプリント完了 User canceled data. : データキャンセル操作 Cancel data done. : データキャンセル完了 User deleted job(xxxxxxxxxxxxxx). : データキャンセルで削除された PDF ファイル名とページ数

7.1.20 ユーザー管理者モード

一般ユーザーモードからユーザー管理者モードに遷移する場合に操作します。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「ユーザー管理者モード」を選択します。
ユーザー管理者モードのパスワード入力画面が開きます。

備考

ユーザー管理者モードへの遷移を行わない場合は、メニューパネルでほかのメニューを選択し、一般ユーザーモードに戻ってください。

- 2 パスワードを入力します。
入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。

注意

「ユーザー管理者モード」のパスワードの初期値は“PRINTERADMIN”（すべて大文字）です。

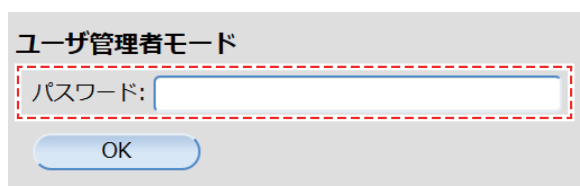


図 7.46 ユーザー管理者モードのパスワード入力画面

- 3 「OK」ボタンを押します。
正しいパスワードを入力した場合、ユーザー管理者モードに遷移します。
誤ったパスワードを入力した場合、パスワード入力エラー画面を表示し（[図 7.47](#)）、「閉じる」ボタンを押すとパスワード入力画面に戻ります。



図 7.47 パスワード入力エラー画面

備考

ユーザー管理者モードのパスワードは一般ユーザーには公開せず、パスワードは定期的に変更してください。
パスワードの変更については、[\[7.2.11 パスワード変更\] \(P.188\)](#) を参照してください。

7.2 ユーザー管理者モードメニュー

運用管理端末に関する設定や、Web-UI にログインするためのパスワード設定など、様々な設定を行うことができます。

各設定項目について以下に示します。

表 7.35 ユーザー管理者モードメニュー一覧

メニュー	項目		備考		
用紙情報設定	用紙情報操作	登録・編集	[7.2.1 用紙情報設定] (P.141) 参照		
		削除			
		選択			
		詳細			
	送信先フォルダー名操作	一括登録			
		一覧表示			
プレプリントデータ管理	ファイル一覧	現在選択中のプレプリントデータファイル名	[7.2.2 プレプリントデータ管理] (P.154) 参照		
		PDF ファイルを開いたときプレプリントデータを表示する			
	プレプリントデータ操作	登録			
		削除			
		ダウンロード			
	コメント操作	コメント編集			
		コメント連携			
		一覧表示			
	ネットワーク設定	LAN1		有効プロトコル（表示のみ）	[7.2.3 ネットワーク設定] (P.162) 参照
				MAC アドレス（表示のみ）	
IP アドレス					
ネットマスク					
LAN2		有効プロトコル（表示のみ）			
		MAC アドレス（表示のみ）			
		IP アドレス			
		ネットマスク			
ゲートウェイ		デフォルトゲートウェイ			
		スタティックルート			
送信先設定	ファイルサーバー	送信先名	[7.2.4 送信先設定] (P.165) 参照		
		有効プロトコル（表示のみ）			
		IP アドレス			
		ユーザー			
		パスワード			
		オートスタート			
アクセス制御設定	IP アドレスによるアクセス制御		[7.2.5 アクセス制御設定] (P.169) 参照		
	アクセス許可リスト（5 設定分）				

メニュー	項目		備考
日時設定	日時設定		[7.2.6 日時設定] (P.170) 参照
	NTP 接続		
	NTP サーバー		
表示設定	日時表示		[7.2.7 表示設定] (P.172) 参照
	接続先情報表示		
	ジョブ名表示		
ログ操作	サポートログを収集する		[7.2.8 ログ操作] (P.178) 参照
UPS 設定	UPS	UPS 接続	[7.2.9 UPS 設定] (P.181) 参照
		IP アドレス	
		ユーザー名	
		パスワード	
	自動停止	自動停止	
		自動停止開始時間	
Import/Export	用紙情報の Import/Export		[7.2.10 Import/Export] (P.185) 参照
パスワード変更	一般ユーザーパスワード変更		[7.2.11 パスワード変更] (P.188) 参照
	ユーザー管理者パスワード変更		
画面設定	装置名の文字色		[7.2.12 画面設定] (P.190) 参照
	装置操作ボタンエリアの背景色		
	装置操作ボタンエリアの文字		
	装置操作ボタンエリアの文字色		
一般ユーザーモード	一般ユーザーモードへ遷移		[7.2.13 一般ユーザーモード] (P.191) 参照

7.2.1 用紙情報設定

運用帳票が複数ある場合、用紙ごとに、用紙名、および印刷位置調整の値などを登録できます。用紙情報は、初期状態で登録されている「DEFAULT」を除き、511 種類登録できます。ユーザー管理者モードでは、送信先フォルダー名の一括登録や、用紙情報と送信先フォルダー名の一括連携を行うことができます。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「用紙情報設定」を選択します。
コンテンツパネルに用紙情報設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

図 7.48 用紙情報設定

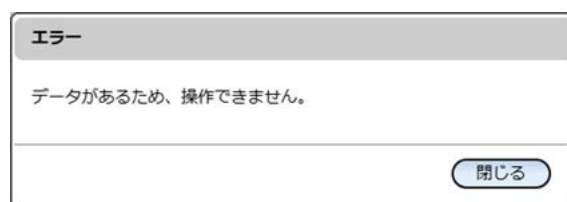
表 7.36 用紙情報設定

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中の用紙番号 および用紙情報名	000 DEFAULT	現在選択されている用紙情報の番号および用紙情報名が表示されます。変更する場合は、用紙情報一覧から変更したい用紙情報の行を選択し、「選択」ボタンを押します。
(2)	送信先フォルダー名	表示なし	現在選択されている用紙情報に連携した送信先フォルダー名を表示します。

番号	項目	初期値	説明
(3)	未登録項目の表示	チェックなし	用紙情報一覧で用紙情報が登録されていない行を表示するかしないかを選択できます。なお、新しい用紙情報を登録する場合は、チェックを付けて（ON）ください（「用紙情報を登録・編集する」(P.144) 参照）。 • チェックなし 用紙情報が登録されていない行は表示しません。登録されている用紙情報が 5 つ未満の場合は、空行が表示されます。 • チェックあり 用紙情報が登録されていない行を表示します。また、新しい用紙情報を登録する場合は、チェックを付けます。
(4)	用紙情報一覧	000 行選択	用紙情報が一覧で表示されます。各用紙情報には以下の項目があります。 • 番号 登録した用紙情報の番号です（範囲：000 ～ 511）。 • 用紙情報名 登録した用紙名です。用紙情報登録画面で指定します。 • 送信先フォルダー名 用紙情報に連携した送信先フォルダー名です。表示できない文字数の場合、表示可能な文字の最終に「…」が表示されます。 • 用紙タイプ 描画設定（PDF ページサイズ）で設定した用紙タイプが表示されます。 • 幅 / サイズ 描画設定（PDF ページサイズ）で設定した幅が表示されます。 • 高さ / 向き 描画設定（PDF ページサイズ）で設定した高さが表示されます。 • プレ印刷 プレプリントデータファイルの選択の有無が表示されます。
(5)	▲▲	—	用紙情報一覧を 5 行ずつ上にスクロールできます。
	▲	—	用紙情報一覧を 1 行ずつ上にスクロールできます。
	▼▼	—	用紙情報一覧を 5 行ずつ下にスクロールできます。
	▼	—	用紙情報一覧を 1 行ずつ下にスクロールできます。
(6)	番号指定移動	000	指定した番号の用紙まで用紙情報一覧をスクロールさせる場合、番号指定に表示する用紙番号を入力し、「移動」ボタンを押します。000 ～ 511 の範囲で指定可能です。

注 意

ジョブの途中で設定を変更することはできません。データありの状態ではボタンを押すと以下のエラー画面が表示されます。



3 以下のいずれかのボタンを押します。

- 登録・編集
新しい用紙情報を登録する場合や登録済みの用紙情報を編集する場合に、「登録・編集」ボタンを押します。用紙情報は「DEFAULT」を除き、511 種類まで登録できます。詳細は、[「■ 用紙情報を登録・編集する」 \(P.144\)](#) を参照してください。
- 削除
登録済みの用紙情報を削除する場合に「削除」ボタンを押します。「DEFAULT」は削除できません。詳細は、[「■ 用紙情報を削除する」 \(P.148\)](#) を参照してください。
- 選択
印刷に使用する用紙情報を選択する場合に「選択」ボタンを押します。選択した用紙情報が「選択中の用紙情報」に反映され、各設定値が一般ユーザーモードの「描画設定」、「印刷設定」の「印字幅」、「コンビニ-EAN128」、「PDF ファイル分割ページ数」に反映されます。詳細は、[「■ 用紙情報を選択する」 \(P.148\)](#) を参照してください。
- 詳細
登録済みの用紙情報の設定値を確認する場合に「詳細」ボタンを押します。用紙情報の詳細画面が開きます。詳細は、[「■ 用紙情報の詳細を確認する」 \(P.149\)](#) を参照してください。
- 送信先フォルダー名操作（一括登録）
ファイルサーバー側で作成した FTP ルートフォルダーにある Data フォルダー配下のフォルダー名を本装置に送信先フォルダー名の一覧に一括登録します。詳細は、[「■ 送信先フォルダー名操作（一括登録）」 \(P.150\)](#) を参照してください。
- 送信先フォルダー名操作（一覧表示）
本装置に登録済みの送信先フォルダー名を一覧で表示します。また、フォルダー名の一覧を保存することもできます。詳細は、[「■ 送信先フォルダー名操作（一覧表示）」 \(P.152\)](#) を参照してください。



■ 用紙情報を登録・編集する

手順 ▶▶▶

- 1 登録・編集する用紙情報の各項目の値をあらかじめ決めておきます。設定が必要な項目は以下のとおりです。
 - 描画設定の PDF ページサイズ ([\[7.1.4 描画設定 \(PDF ページサイズ\)\] \(P.90\)](#) 参照)
 - 描画設定のプレプリントデータ ([\[7.1.5 描画設定 \(描画位置\)\] \(P.93\)](#) 参照)
 - 描画設定の垂直位置/水平位置/オーバーレイ位置/上下/左右 ([\[7.1.5 描画設定 \(描画位置\)\] \(P.93\)](#) 参照)
 - 描画設定の印字欠落チェック ([\[7.1.6 描画設定 \(印字欠落チェック\)\] \(P.96\)](#) 参照)
 - 描画設定のトリミング ([\[7.1.7 描画設定 \(トリミング\)\] \(P.102\)](#) 参照)
 - 印刷設定のコンビニ-EAN128 ([\[7.1.8 印刷設定\] \(P.104\)](#) 参照)
 - 印刷設定の印字幅 ([\[7.1.9 印刷設定 \(JEF 設定\)\] \(P.106\)](#) 参照)
 - 印刷設定の JEF/AP 設定 ([\[7.1.11 印刷設定 \(JEF/AP 設定\)\] \(P.113\)](#) 参照)
 - PDF ファイル設定 ([\[7.1.12 PDF ファイル設定 \(送信先フォルダー名\)\] \(P.115\)](#) 参照)

備考

用紙情報で登録する各項目の値は、実際の用紙でテスト印刷をして印字状態を確認しながら決定してください。

- 2 「用紙情報設定」の画面で登録する番号の行をクリックし、「登録・編集」ボタンを押します。新規登録の場合は、「未登録項目の表示」にチェックを付け、登録する番号の行をクリックし、「登録・編集」ボタンを押します。
用紙情報の登録・編集画面が開きます。

3 登録・編集する各項目値を確認し、入力します。

用紙情報登録・編集

(1) 番号: 001 用紙情報名:

(2) ※下記の設定値が登録されます。

(3) 送信先フォルダー名: FTPルート¥Data¥
なし

(4) 描画設定

PDFページサイズ

用紙サイズ: * 用紙サイズを選択

幅: 15.0-インチ 高さ: FCB長に従う

描画位置

垂直位置: 5 (1/60インチ) 水平位置: 06 (1/60インチ)
オーバーレイ位置: 08 (1/120インチ)
上下: 0.0 mm 左右: 0.0 mm

印字欠落チェック

チェック: 無効
検出時の動作: 停止

上端: 5.0 mm 下端: 5.0 mm
左端: 5.0 mm 右端: 5.0 mm

トリミング

トリミング: 無効
印刷幅の単位: mm 〇インチ
印刷幅: 424.1

印刷設定

(5) 印字幅: 16.5-インチ
(6) コンビニ-EAN128: 白黒補正

(7) PDFファイル設定

ファイル名

ファイル名生成: ホストジョブ名
ホストジョブ名がない場合: *ユーザー定義名 〇用紙情報名
ユーザー定義名: PS-R13NBA
☐ 仕分け用定義名を使用する
仕分け用定義名:

ファイル名に付加する情報:
☐ 総ページ数
☐ ファイル分割時の開始・終了ページ
☐ 装置名
☐ データ形式情報

ファイル分割

ファイル分割ページ数: 5000
ファイル分割サイズ: 4096 (MB)
☐ ファイル分割契機削減(APSライタ用)

文書情報

タイトル:

☐ サブタイトルにサブタイトルを設定
☐ サブタイトルにファイル名を設定

プレプリントデータ設定

プレプリントデータ:
なし

☐ PDFファイルを開いたときプレプリントデータを表示する

OK キャンセル

図 7.49 用紙情報登録・編集画面

表 7.37 用紙情報（登録・編集）

番号	項目	説明
(1)	番号	用紙情報一覧で選択した用紙番号が表示されます。
(2)	用紙情報名	登録する用紙情報名を1～16文字で指定します。 利用可能文字は、半角英数字、"-"（ハイフン）です。 新規登録の初期値は、「空白」です。
(3)	送信先フォルダー名	本装置に登録済みの送信先フォルダー名を、リストから選択します。 送信先フォルダーを選択しない場合、FTP ルートフォルダー配下にある Data フォルダーになります。この場合、表示は空白になります。 新規登録の初期値は、「空白」です。
(4)	描画設定	描画設定の各項目について指定します。 新規登録の初期値は、描画設定メニューの現在の設定値となります。 各項目の詳細は、 [7.1.4 描画設定（PDF ページサイズ）]（P.90） 、 [7.1.5 描画設定（描画位置）]（P.93） 、 [7.1.6 描画設定（印字欠落チェック）]（P.96） 、 [7.1.7 描画設定（トリミング）]（P.102） を参照してください。
(5)	印字幅	印字幅を指定します。 新規登録の初期値は、印刷設定メニューの現在の設定値となります。 項目の詳細は、 [7.1.9 印刷設定（JEF 設定）]（P.106） を参照してください。
(6)	コンビニ -EAN128	コンビニ -EAN128 バーコードの白黒補正を指定します。 新規登録の初期値は、印刷設定メニューの現在の設定値となります。 項目の詳細は、 [7.1.9 印刷設定（JEF 設定）]（P.106） を参照してください。 本項目は、「拡張バーコード出力機構」オプションまたは「JEF/AP 出力機構」オプションが搭載されている時に表示されます。
(7)	PDF ファイル設定	PDF ファイルに関する設定を指定します。 新規登録の初期値は、PDF ファイル設定メニューの現在の設定値となります。 項目の詳細は、 [7.1.12 PDF ファイル設定（送信先フォルダー名）]（P.115） 、 [7.1.13 PDF ファイル設定（ファイル名）]（P.117） 、 [7.1.14 PDF ファイル設定（ファイル分割）]（P.122） 、 [7.1.15 PDF ファイル設定（文書情報）]（P.124） 、 [7.1.16 PDF ファイル設定（プレプリントデータ）]（P.125） を参照してください。

4 「OK」 ボタンを押します。

用紙情報登録・編集確認

以下の値で用紙情報を登録・編集します。よろしいですか？

番号

001

用紙情報名

PAPER01

送信先フォルダー名

なし

描画設定

PDFページサイズ

用紙タイプ

連帳

幅

15.0インチ

高さ

FCB長

描画位置

垂直位置

5(1/60インチ)

水平位置

06(1/60インチ)

オーバーレイ位置

08(1/120インチ)

上下

0.0mm

左右

0.0mm

印字欠落チェック

チェック

無効

検出時の動作

--

上端

--

下端

--

左端

--

右端

--

トリミング

トリミング

無効

印刷幅の単位

--

印刷幅

--

印刷設定

印字幅

16.5インチ

コンビニ-EAN128

白黒補正

PDFファイル設定

ファイル名

ファイル名生成

ホストジョブ名

ホストジョブ名がない場合

ユーザー定義名

ユーザー定義名

PS-R13NBA

仕分け用定義名を使用しない

ファイル名に付加する情報

ファイル分割

ファイル分割ページ数

5000

ファイル分割サイズ

4096MB

ファイル分割契機削減(APSライタ用)しない

文書情報

タイトル

サブタイトルに用紙情報を設定する

サブタイトルにファイル名を設定する

プレプリントデータ

選択中のプレプリントデータ

なし

PDFファイルを開いたときプレプリントデータを表示しない

はい

いいえ

図 7.50 用紙情報登録・編集確認画面（新規／変更ありの場合）

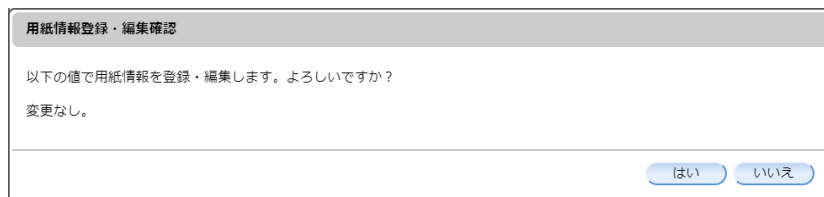


図 7.51 用紙情報登録・編集確認画面（変更なしの場合）

登録・編集を行う場合は「はい」ボタンを、登録・編集画面に戻る場合は「いいえ」ボタンを押してください。



■ 用紙情報を選択する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙情報設定」の画面で選択する番号の行をクリックし、「選択」ボタンを押します。
「選択完了」の画面が開きます。
- 2 「閉じる」ボタンを押します。



■ 用紙情報を削除する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙情報設定」の画面で削除する番号の行をクリックし、「削除」ボタンを押します。
「用紙情報削除確認」画面が開きます。
- 2 「用紙情報」の内容を確認し、「はい」ボタンを押します。
用紙情報には、用紙情報設定画面で選択した用紙情報番号および用紙情報名が表示されます。

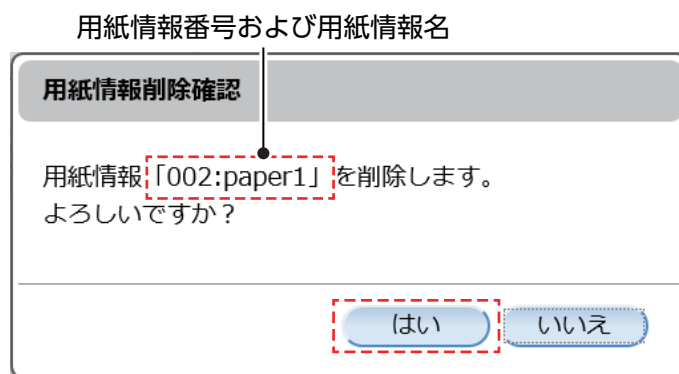


図 7.52 用紙情報削除確認画面



注意

「DEFAULT」は削除できません。また、選択中の用紙情報を削除すると、「DEFAULT」が選択されます。

■ 用紙情報の詳細を確認する

手順 ▶▶▶

- 1 「用紙情報設定」の画面で詳細を確認する番号の行をクリックし、「詳細」ボタンを押します。
「用紙情報詳細」画面が開きます。
- 2 各項目の設定内容を確認します。

用紙情報詳細

番号: 001 用紙情報名: PAPER01

送信先フォルダー名: FTPルート¥Data¥

描画設定

PDFページサイズ

用紙タイプ: 連帳

幅: 15.0インチ 高さ: FCB長

描画位置

垂直位置: 5(1/60インチ) 水平位置: 06(1/60インチ) オーバレイ位置: 08(1/120インチ)

上下: 0.0mm 左右: 0.0mm

濃度: 1 (参考値) (*1)

印字欠落チェック

チェック: 無効

検出時の動作: --

上端: -- 下端: --

左端: -- 右端: --

トリミング

トリミング: 無効

印刷幅: --

印刷設定

印字幅: 16.5インチ

コンビニ-EAN128: 白黒補正

PDFファイル設定

ファイル名

ファイル名生成: ホストジョブ名

ホストジョブ名がない場合: ユーザー定義名

ユーザー定義名: PS-R13NBA

☐ 仕分け用定義名を使用する

仕分け用定義名:

ファイル名に付加する情報:

☐ 総ページ数

☐ ファイル分割時の開始・終了ページ

☐ 装置名

☐ データ形式情報 (*2)

ファイル分割

ファイル分割ページ数: 5000

ファイル分割サイズ: 4096MB

☐ ファイル分割契機削減(APSライタ用)

文書情報

タイトル: --

☐ サブタイトルにファイル名を設定

☐ サブタイトルにファイル名を設定

プレプリントデータ設定

プレプリントデータ:

☐ PDFファイルを開いたときプレプリントデータを表示する

閉じる

図 7.53 用紙情報詳細画面

*1: 濃度は、従来装置から用紙情報を Import した場合に参考値として表示されます。

*2: データ形式情報は、「JEF/AP 出力機構」オプション搭載時に表示されます。

3 「閉じる」ボタンを押します。



■ 送信先フォルダー名操作（一括登録）

ファイルサーバーのFTPルートフォルダーにあるDataフォルダー配下のフォルダー一覧を本装置に取り込みます。

手順 ▶▶▶

- 1 ファイルサーバーで送信先フォルダーリストを作成します。
 コマンドプロンプトを起動し、FTP ルートフォルダーにある Data フォルダーへ移動します。
`cd X:¥xxxxxx¥FTP_ROOT¥Data`
 以下のコマンドで送信先フォルダー名の一括登録用のリストを作成します。ファイル名は任意です。
`dir /a:d /b > folderlist.txt`
- 2 本装置のメニューパネルから「用紙情報設定」を選択します。
- 3 「送信先フォルダー名操作」の「一括登録」ボタンを押します。
 「開く」画面が表示されます。
- 4 送信先フォルダー名の一括登録用のリストを選択し「アップロード」ボタンを押し、確認のダイアログが表示されたら「開く」を押します。「キャンセル」ボタンを押した場合は、一括登録を行わず終了します。
 アップロード処理中は一括登録中の画面が表示されます。

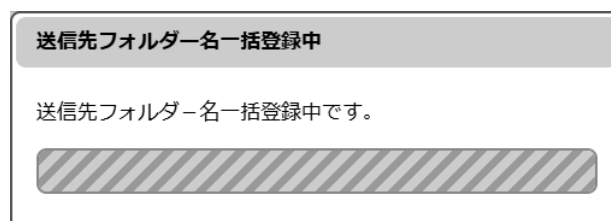


図 7.54 一括登録中の画面

- 5 一括登録処理が完了すると一括登録結果の画面が表示されます。

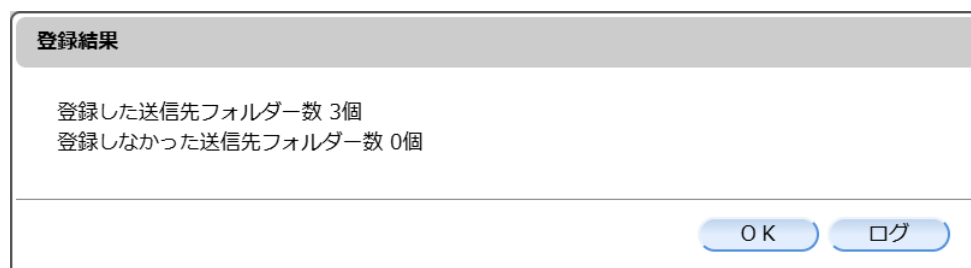


図 7.55 一括登録結果の画面（注意メッセージなし）

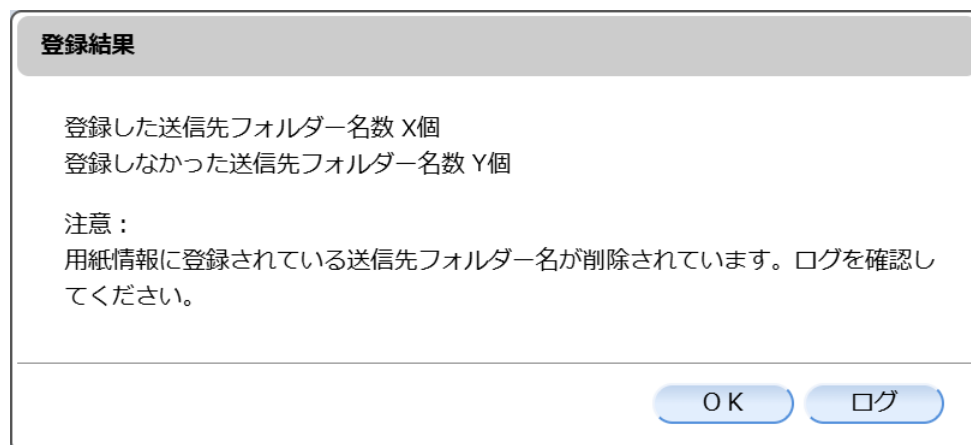


図 7.56 一括登録結果の画面（注意メッセージあり）

- 6 「OK」ボタンを押すと、一括登録結果の画面が閉じ一括登録操作を終了します。「ログ」ボタンを押すと、一括登録結果のログ画面が表示されます。

送信先フォルダーの一括登録中に発生するエラーを[表 7.38](#)に示します。

表 7.38送信先フォルダーの一括登録中のエラー一覧

メッセージ	意味／処置
選択したファイルのサイズが 200MB を超えています。 正しい一括登録ファイルを選択してください。	一括登録ファイルのファイルサイズが 200MB を超えています。 指定したファイルが間違っています。正しいファイルを指定してください。
送信先フォルダー名の一括登録に失敗しました。 登録数の上限を超えています。	一括登録ファイルに 512 個以上のフォルダーがあります。 送信先フォルダーの登録数の上限は 511 個です。一括登録ファイルの見直しをしてください。
送信先フォルダー名の一括登録に失敗しました。 行目：フォーマットを間違えています。一括登録ファイルに空行を使用することはできません。	一括登録ファイルに空行があります。 空行はエラーとなるため、一括登録ファイルの見直しをしてください。
送信先フォルダー名の一括登録に失敗しました。 行目と行目の送信先フォルダー名が重複しています。	一括登録ファイルに同じ名前のフォルダーがあります。 同じ名前のフォルダーはエラーとなるため、一括登録ファイルの見直しをしてください。
送信先フォルダー名の一括登録に失敗しました。 有効な送信先フォルダー名がありません。	一括登録ファイルに有効なフォルダー名がありません。 正しいファイルを指定してください。

注 意

用紙情報に登録されている送信先フォルダー名が一括登録により削除された場合、用紙情報の送信先フォルダー名は登録なしになります。この用紙情報を使用した場合は、PDF ファイルは FTP ルートフォルダーの Data フォルダー直下に格納されます。

新たに送信先フォルダーを設定する場合、一括登録結果のログから対象の用紙情報の番号を確認し、「用紙情報設定」メニューから、送信先フォルダー名を設定してください。詳細は、[\[7.2.1 用紙情報設定\] \(P.141\)](#) を参照してください。

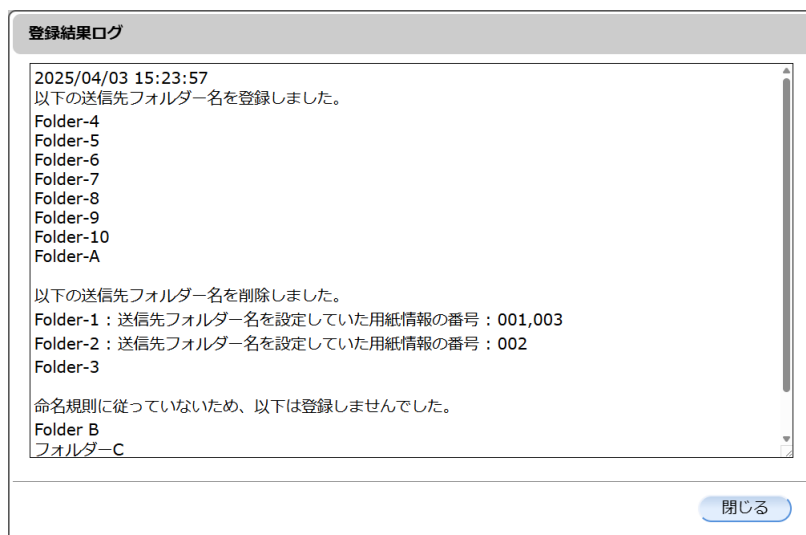


図 7.57 一括登録結果のログ

■ 送信先フォルダー名操作（一覧表示）

本装置に登録済みの送信先フォルダー名を一覧表示します。

手順 ▶▶▶

- 1 本装置のメニューパネルから「用紙情報設定」を選択します。

2 「送信先フォルダー名操作」の「一覧表示」ボタンを押します。

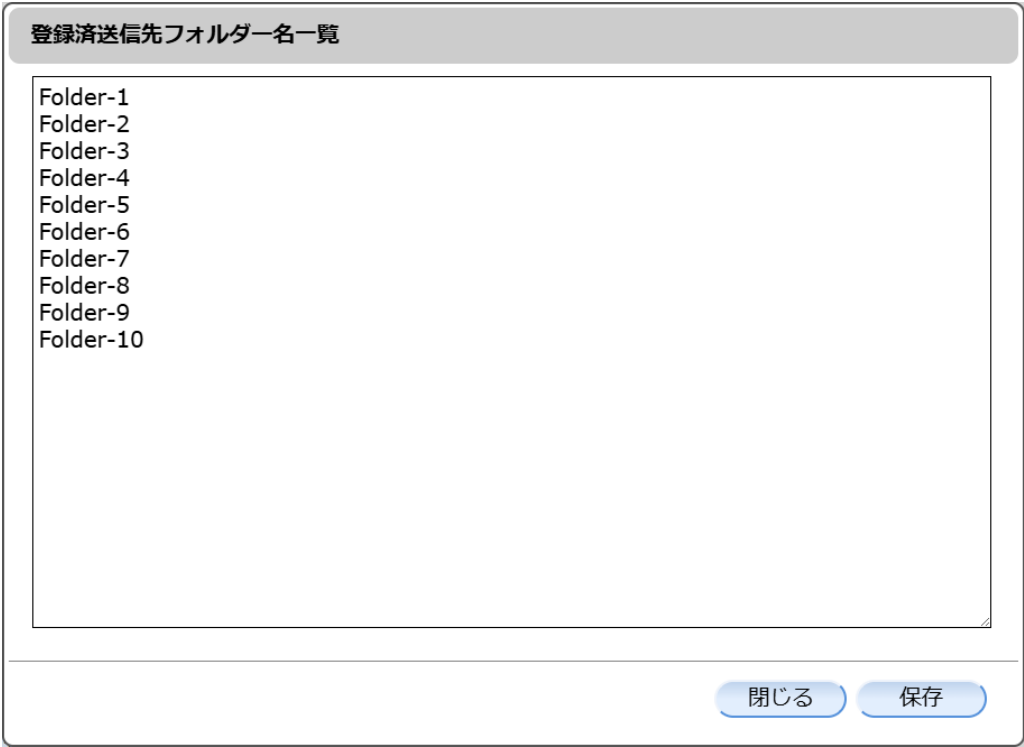


図 7.58 登録済送信先フォルダー名一覧

- 3 「閉じる」ボタンを押し、「一覧表示」画面を終了します。
「保存」ボタンを押すと表示されている一覧をファイルに保存することができます。
ファイル名は以下の名前となります。
装置名_folderList_yyyymmdd_hhmm.txt

表 7.39 登録済送信先フォルダー名一覧のファイル名形式

項目	仕様
装置名	メンテナンス管理者モードの装置設定で設定した値になります。
yyyymmdd	西暦によるファイル取得日で、操作端末のシステム時刻になります。 yyyy：西暦、mm：月、dd：日
hhmm	24 時間表現によるファイル取得時刻で、操作端末のシステム時刻になります。 hh：時間、mm：分



7.2.2 プレプリントデータ管理

プレプリントデータファイルの登録や削除等の管理を行います。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「プレプリントデータ管理」を選択します。
コンテンツパネルに「プレプリントデータ管理」の項目が表示されます。

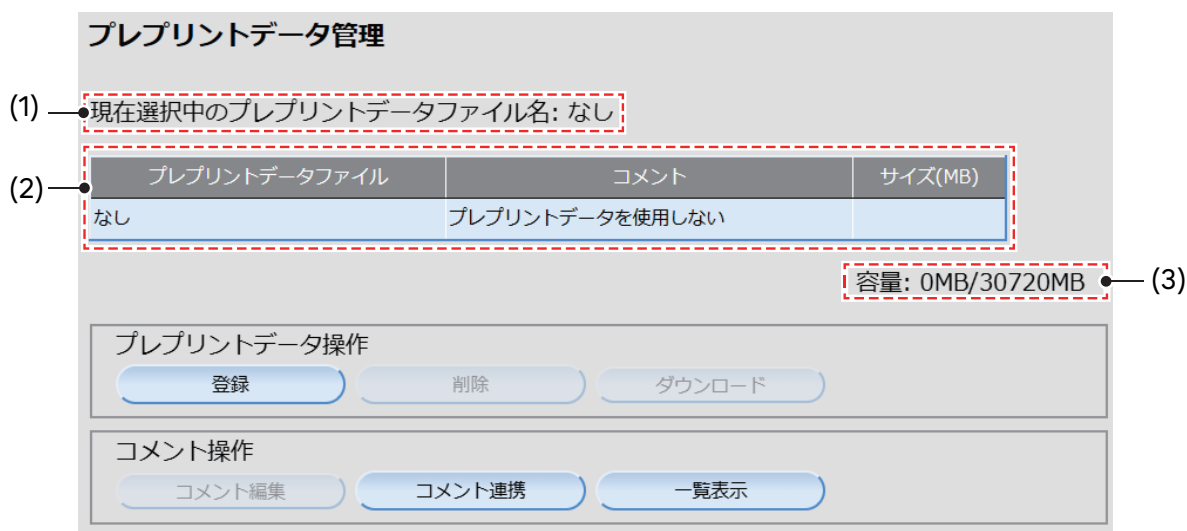


図 7.59 プレプリントデータ管理

表 7.40 プレプリントデータ管理の項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	現在選択中のプレプリントデータファイル名	なし	PDFファイル作成時に使用するプレプリントデータファイル名が表示されます。 PDFファイルのレイヤーに登録できるプレプリントデータは1つです。
(2)	プレプリントデータファイル一覧	-	本装置に登録されているプレプリントデータファイルの一覧で、ユーザー管理者メニューのプレプリントデータ管理から登録したプレプリントデータファイルがファイル名順に表示されます。 • プレプリントデータファイル名 登録したプレプリントデータのファイル名を表示します。 • コメント ファイルに対するコメントを表示します。
(3)	容量	0MB	本装置に登録されているプレプリントデータファイルのサイズの合計です。 本装置登録最大容量は30GB（30720MB）となります。

- 2 以下のいずれかのボタンを押します。
 - プレプリントデータ操作（登録）
本装置にプレプリントデータを登録する場合に「登録」ボタンを押します。
詳細は、[「■ プレプリントデータ操作（登録）」\(P.155\)](#)を参照してください。

- プレプリントデータ操作（削除）
登録済みのプレプリントデータを削除する場合に「削除」ボタンを押します。
詳細は、[「■ プレプリントデータ操作（削除）」\(P.156\)](#)を参照してください。
用紙情報と連携しているプレプリントデータファイルは削除できません。
- プレプリントデータ操作（ダウンロード）
選択したプレプリントデータファイルをダウンロードする場合に「ダウンロード」ボタンを押します。
詳細は、[「■ プレプリントデータ操作（ダウンロード）」\(P.157\)](#)を参照してください。
- コメント操作（コメント編集）
登録したプレプリントデータファイルに対してコメントを追加する場合に「コメント編集」ボタンを押します。
詳細は、[「■ コメント操作（コメント編集）」\(P.158\)](#)を参照してください。
- コメント操作（コメント連携）
プレプリントデータファイル名とコメントの一覧ファイルを取り込み、プレプリントデータファイル名一覧に取り込んだコメントを反映する場合に「コメント連携」ボタンを押します。
詳細は、[「■ コメント操作（コメント連携）」\(P.159\)](#)を参照してください。
- コメント操作（一覧表示）
登録されているプレプリントデータファイル名とコメントを一覧で表示する場合に「一覧表示」ボタンを押します。
詳細は、[「■ コメント操作（一覧表示）」\(P.161\)](#)を参照してください。



■ プレプリントデータ操作（登録）

本装置にプレプリントデータを登録します。

手順 ▶▶▶

- 1 事前に、登録するプレプリントデータを、運用管理端末からアクセスできるフォルダーに格納します。
- 2 「登録」ボタンを押します。
「開く」画面が表示されます。登録するプレプリントデータファイルを選択します。確認のダイアログが表示されたら「アップロード」を押します。「キャンセル」ボタンをした場合は、登録を行わず終了します。アップロード処理中は登録中の画面が表示されます。
- 3 登録処理が完了すると登録結果の画面が表示されます。

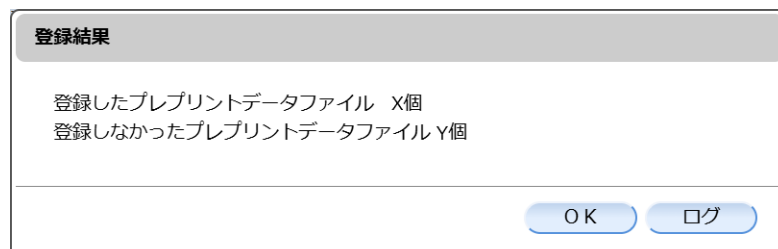


図 7.60 プレプリントデータ操作（登録）結果画面

- 4 「OK」ボタンを押すと、登録結果の画面が閉じ登録操作を終了します。「ログ」ボタンを押すと、登録結果のログ画面が表示されます。

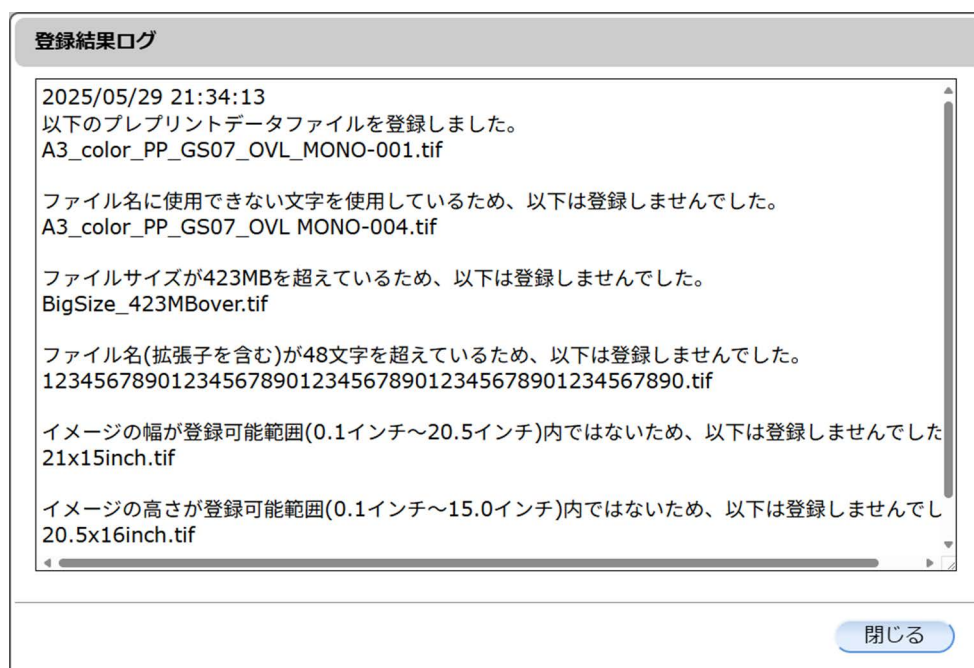


図 7.61 プレプリントデータ操作（登録）結果のログ画面

■ プレプリントデータ操作（削除）

プレプリントデータファイル一覧の中から選択したファイルを削除します。

手順 ▶▶▶

- 1 削除するプレプリントデータファイルを一覧よりクリックして選択します。
- 2 「削除」ボタンを押します。

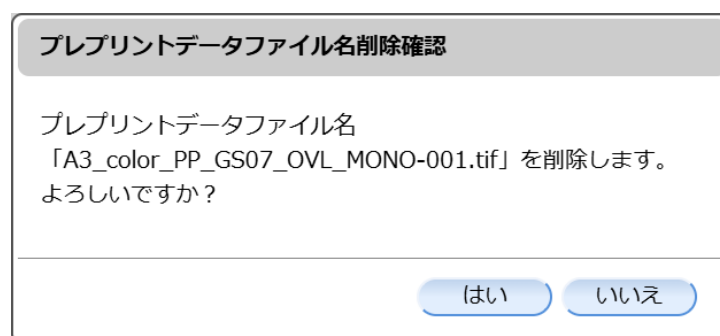


図 7.62 プレプリントデータ操作（削除）

- 3 「はい」ボタンを押すと削除され、「いいえ」ボタンを押すと削除されません。

- 4 削除が完了すると「プレプリントデータファイルを削除しました。」画面が表示されるので、「閉じる」ボタンを押して処理を終了します。

注意

用紙情報に登録されているプレプリントデータファイルは削除できません。誤って、用紙情報に登録されているプレプリントデータファイルを選択し、「削除」ボタンを押した場合、以下の画面が表示されます。

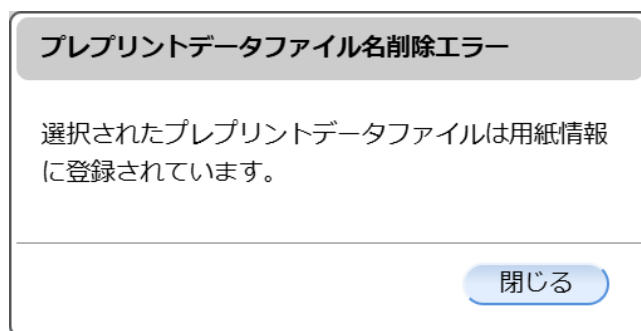


図 7.63 プレプリントデータ操作（削除）エラー画面

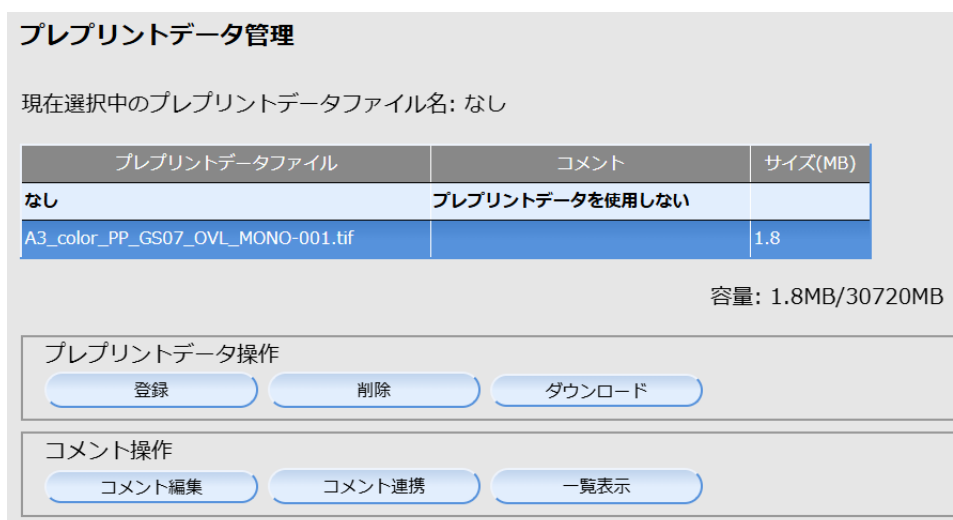
「閉じる」ボタンを押して処理を終了してください。

■ プレプリントデータ操作（ダウンロード）

プレプリントデータファイル一覧の中から選択したファイルを運用管理端末にダウンロードします。

手順 ▶▶▶

- 1 プレプリントデータファイル一覧より、ダウンロードするプレプリントデータファイルをクリックして選択します。



- 2 「ダウンロード」ボタンを押します。

3 「OK」ボタンを押して終了します。

運用管理端末に該当するファイルがダウンロードされていることを確認してください。

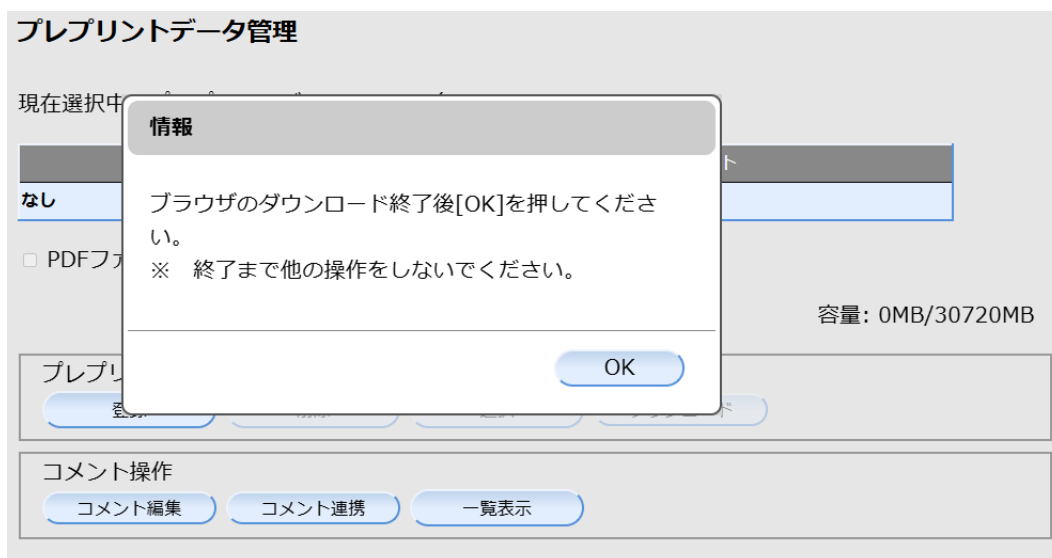


図 7.64 プレプリントデータ操作（ダウンロード）

■ コメント操作（コメント編集）

登録したプレプリントデータファイルに対してコメントを追加します。

手順 ▶▶▶

- 1 プレプリントデータファイル一覧より、コメントを編集するプレプリントデータファイルをクリックして選択します。
- 2 「コメント編集」ボタンを押し、コメント入力欄にコメントを入力します。



図 7.65 コメント操作（コメント編集）

- 3 「適用」ボタンを押すとコメント欄に編集内容が反映されます。「キャンセル」ボタンを押すと編集内容は反映されません。

■ コメント操作（コメント連携）

運用管理端末に格納したプレプリントデータファイル名とコメントの一覧のテキストファイル（テキストファイルのファイル形式は、[「■ コメント操作（一覧表示）」\(P.161\)](#) 参照）を取り込み、プレプリントデータファイル名一覧に、取り込んだコメントを反映します。

手順 ▶▶▶

- 1 「コメント連携」ボタンを押します。
あらかじめ用意したプレプリントデータファイル名とコメントの一覧のテキストファイルを選択します。
- 2 「開く」ボタンを押します。「キャンセル」ボタンを押すと処理を終了します。

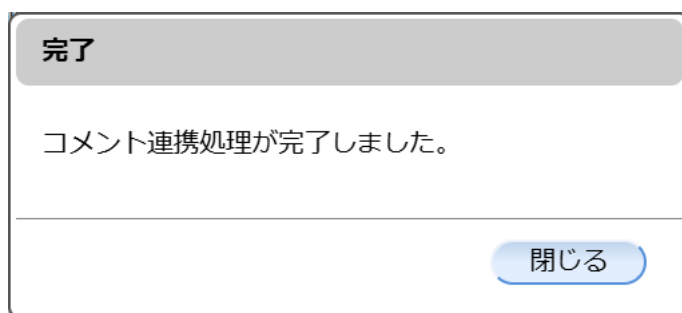


図 7.66 コメント操作（コメント連携完了）

- 3 「閉じる」ボタンを押します。

コメント操作（コメント連携）中に発生するエラーを[表 7.41](#)に示します。

表 7.41 コメント操作（コメント連携）のエラー一覧

メッセージ	意味／対処
選択したファイルのサイズが 200MB を超えています。 正しい一括連携ファイルを選択してください。	プレプリントデータファイル名とコメントの一覧ファイルのファイルサイズが 200MB を超えています。 指定したファイルが間違っています。正しいファイルを選択してください。
選択したファイルのサイズが 0 バイトです。 ファイルを選択し直してください。	選択したファイルが正しいファイルではありません。正しいファイルを選択してください。
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 行目：フォーマットを間違えているか、使用できない文字が含まれています。	プレプリントデータファイル名とコメントの一覧ファイルの形式が間違っています。 以下の確認を行ってください。 • 空行は削除してください。 • 1行ごとに、「"プレプリントデータファイル名","コメント"」の形式にしてください。
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 登録数の上限を超えています。	登録数の上限の 511 個を超えています。 プレプリントデータファイル名とコメントの一覧ファイルの見直しをしてください。
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 行目：フォーマットを間違えているか、使用できない文字が含まれています。	プレプリントデータファイル名が間違っています。 プレプリントデータファイル名の見直しをしてください。 利用可能文字は半角英数字、半角記号（*1）です。

メッセージ	意味/対処
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 行目: ファイル名の長さは1～48文字の範囲です。	プレプリントデータファイル名の文字数が上限を超えています。 プレプリントデータファイル名の見直しをしてください。 ファイル名の文字は拡張子を含め最大48文字です。
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 行目: フォーマットを間違えているか、使用できない文字が含まれています。	コメントに使用できない文字が含まれています。 コメントの見直しをしてください。 利用可能文字は、半角英数字、半角記号(*2)、全角文字です。
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 行目: コメントの長さは0～48文字の範囲です。	コメントの文字数が上限を超えています。 コメントの見直しをしてください。
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 行目と行目のプレプリントデータファイル名が重複しています。	プレプリントデータファイル名が重複しています。 同じ名前のプレプリントデータファイル名は、エラーとなるため、プレプリントデータファイル名とコメントの一覧ファイルの見直しをしてください。
プレプリントデータファイル名とコメントの連携に失敗しました。 登録済のプレプリントデータファイル名を記述してください。	本装置に登録されていないプレプリントデータファイル名が指定されています。 登録済みのプレプリントデータファイル名を指定してください。

1: " (ダブルクォーテーション)、\$ (ドルマーク)、& (アンパサンド)、' (シングルクォート)、 (アスタリスク)、, (カンマ)、/ (スラッシュ)、: (コロン)、; (セミコロン)、< (小なり)、= (イコール)、> (大なり)、? (クエスチョン)、@ (アットマーク)、¥ (円マークまたはバックスラッシュ)、` (バッククォート)、| (パイプライン)、および空白は使用できません。[(始め角括弧) と] (終わり角括弧) は同時に設定できません。また、ファイルの先頭に . (ピリオド) と ~ (チルダ) は使用できません。

*2: ¥ (円マークまたはバックスラッシュ)、" (ダブルクォーテーション)、& (アンパサンド)、< (小なり)、> (大なり) は使用できません。また、[(始め角括弧) と] (終わり角括弧) は同時に設定できません。

■ コメント操作（一覧表示）

本装置に登録しているプレプリントデータファイル名とコメントを一覧で表示します。また、一覧をテキスト形式で保存することができます。

手順 ▶▶▶

- 1 「一覧表示」ボタンを押します。
以下の画面が表示されます。表示形式は1行ごとに「プレプリントデータファイル名」、「コメント」になります。

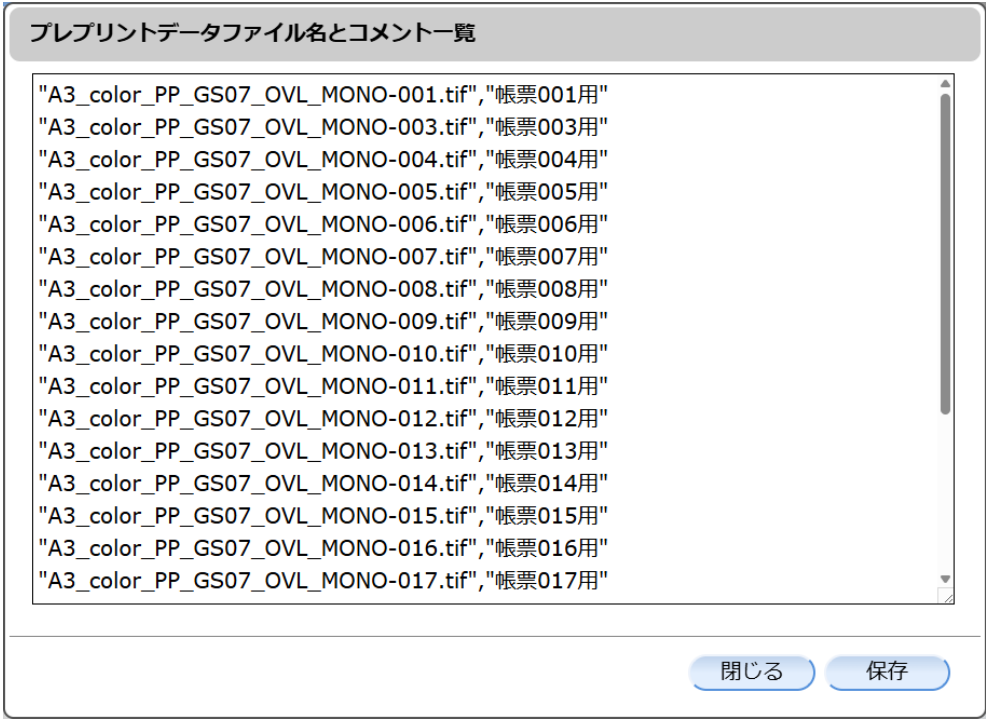


図 7.67 コメント操作（一覧表示）

- 2 「閉じる」ボタンを押すと一覧表示は終了します。プレプリントデータファイル名とコメントの一覧をファイルに保存する場合は、「保存」ボタンを押し、保存先のファイル名を指定します。

保存先のファイル名を指定しない場合は、以下となります。

装置名_preprintcomment_yyyymmdd_hhmm.txt

表 7.42 プレプリントデータファイル名とコメントの一覧のファイル名形式

項目	仕様
装置名	メンテナンス管理者モードの装置設定で設定した値になります。
yyymmdd	西暦によるファイル取得日で、操作端末のシステム日付になります。 yyyy：西暦、mm：月、dd：日
hhmm	24 時間表現によるファイル取得時刻で、操作端末のシステム時刻になります。 hh：時間、mm：分

7.2.3 ネットワーク設定

各種ネットワーク設定を行います。

注意

ネットワーク設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（図 6.6）が表示されるので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「ネットワーク設定」を選択します。
コンテンツパネルにネットワーク設定の項目が表示されます。
- 2 「LAN1」タブ、「LAN2」タブ、および「ゲートウェイ」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

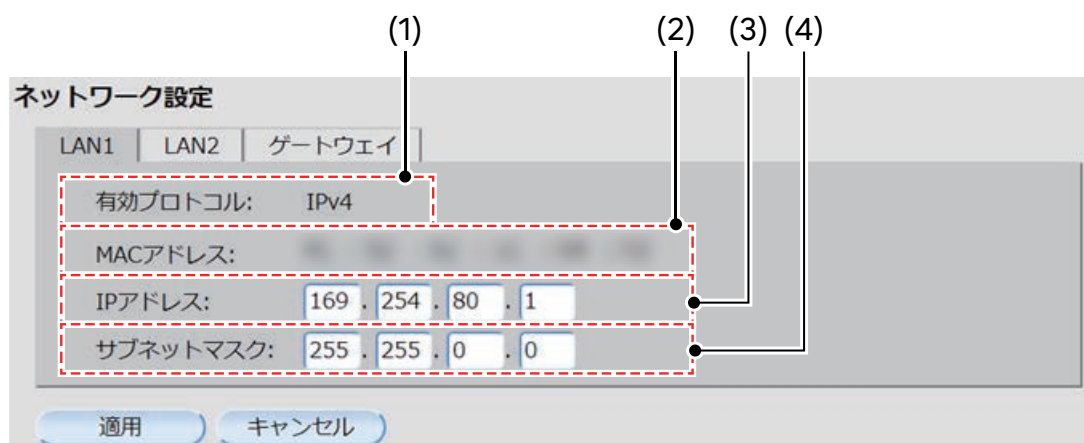


図 7.68 ネットワーク設定（LAN1）

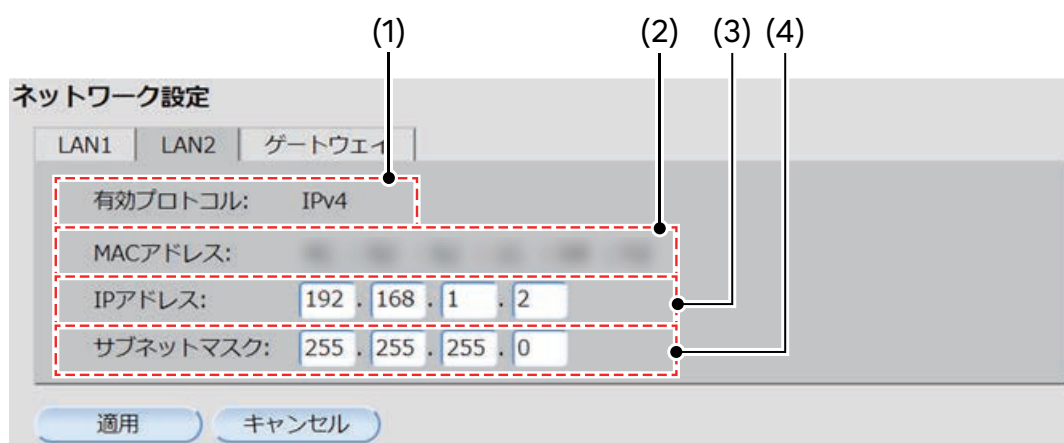


図 7.69 ネットワーク設定（LAN2）

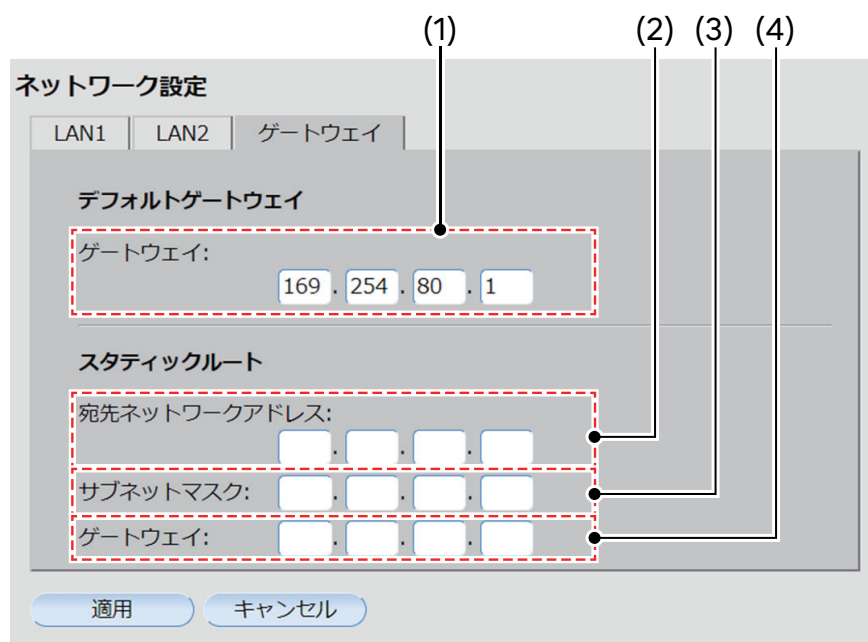


図 7.70 ネットワーク設定（ゲートウェイ）

表 7.43 ネットワーク設定の項目

グループ	番号	項目		初期値	説明
LAN1	(1)	有効プロトコル		IPv4（固定値）	LAN1のIPアドレスのインターネットプロトコルです。
	(2)	MAC アドレス		—	LAN1の接続ポートのMACアドレスを表示します。
	(3)	IP アドレス		169.254.80.1	LAN1のIPアドレスを指定します。
	(4)	サブネットマスク		255.255.0.0	LAN1のIPアドレスのサブネットマスクを指定します。
LAN2	(1)	有効プロトコル		IPv4（固定値）	LAN2のIPアドレスのインターネットプロトコルです。
	(2)	MAC アドレス		—	LAN2の接続ポートのMACアドレスを表示します。
	(3)	IP アドレス		192.168.1.2	LAN2のIPアドレスを指定します。
	(4)	サブネットマスク		255.255.255.0	LAN2のIPアドレスのサブネットマスクを指定します。
ゲートウェイ	(1)	デフォルトゲートウェイ (*1)		169.254.80.1	デフォルトゲートウェイを設定します。
	(2)	スタティックルート (*2)	宛先ネットワークアドレス	なし	LAN1とLAN2で2系統のネットワーク使用時に設定します。 2系統目のネットワークアドレスを指定します。
	(3)		サブネットマスク	なし	
	(4)		ゲートウェイ (*1)	なし	

- *1: デフォルトゲートウェイとゲートウェイの値が同一の場合、またはデフォルトゲートウェイとゲートウェイが LAN1 または LAN2 に属していない場合、入力エラーとなります。
- *2: スタティックルートを使用する場合に入力します。1 か所でも未設定（空白）がある場合は入力エラーとなります。また設定を削除する場合は、全項目を削除してください。

3 「適用」 ボタンを押します。

ネットワーク設定の適用画面が開きます。

「キャンセル」 ボタンを押すと各値を変更前の値に戻します。

4 「はい」 ボタンを押します。

本装置の再起動後、設定が反映されます。「いいえ」 ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

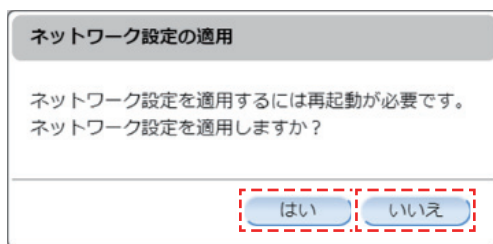


図 7.71 ネットワーク設定の適用画面



7.2.4 送信先設定

本装置の Web-UI より接続するファイルサーバーの設定を行います。

注意

送信先設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（[図 6.6](#)）が表示されるので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「送信先設定」を選択します。
コンテンツパネルに送信先設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

送信先設定

ファイルサーバー

送信先名: File Server

有効プロトコル: IPv4

IPアドレス: [][][][]

FTP接続

ユーザー: PS-R13_USER

パスワード:

送受信ポート: 21

オートスタート: 無効 ▼

適用 キャンセル 接続確認

図 7.72 送信先設定

表 7.44 送信先設定の項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	送信先名	File Server	本装置と接続するファイルサーバー名を 1～24 文字で入力します。(*1) 入力可能文字は半角英数字です。ただし、先頭と末尾に半角空白は使用できません。
(2)	有効プロトコル	IPv4	本装置と接続するファイルサーバーの IP アドレスのインターネットプロトコルを表示します。表示のみで変更はできません。

番号	項目	初期値	説明
(3)	IP アドレス	192.168.1.1	本装置と接続するファイルサーバーの IP アドレスを設定します。 ファイルサーバーには、本装置から接続する IP アドレスを設定してください。DHCP は使用できません。
(4)	ユーザー	PS-R13_USER	ファイルサーバーに PDF ファイルを送信する際の FTP 接続用ユーザー名を 1～20 文字で指定します。本設定はファイルサーバー側に設定する FTP 接続ユーザーと同じものを設定してください。入力可能な文字は、半角英数字、半角記号 (*2) です。
(5)	パスワード	31R-SP_PASS	ファイルサーバーに PDF ファイルを送信する際の FTP 接続のためのパスワードを 1～64 文字で設定します。入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。本設定はファイルサーバー側に設定する FTP 接続パスワードと同じものを設定してください。入力可能な文字は、半角英数字、半角記号 (*2) です。
(6)	送受信ポート	21	ファイルサーバーへの PDF ファイル送信の制御用通信ポート番号を設定します。 本設定はファイルサーバー側に設定するバインドのポートと同じポート番号を設定する必要があります。 なお、ファイルサーバー側に設定するバインド時の動作に従い、本設定の 1 つ若いポート番号がデータ用通信ポート番号として使用されます。
(7)	オートスタート	無効	本装置の起動完了後の装置状態を設定します。(*3)

*1: 送信先名は、本装置で接続するファイルサーバー名を Web-UI 上に表示・識別するためのものであり、ファイルサーバー側の設定と合わせる必要はありません。

2: " (ダブルクォーテーション)、 (アスタリスク)、/ (スラッシュ)、: (コロン)、< (小なり)、> (大なり)、` (バッククォート)、? (クエスチョン)、¥ (円マークまたはバックスラッシュ)、| (パイプライン)、および半角空白は使用できません。また、[(始め角括弧) と] (終わり角括弧) は同時に設定できません。

*3: 起動完了後の装置状態を READY で起動する場合は、「有効」を設定します。
オートスタートが「有効」でファイルサーバーと接続完了、かつチャンネルが ON Line のとき、READY で起動します。それ以外は、NOT READY で起動します。

3 「適用」 ボタンを押します。

再起動を確認する「送信先設定の適用」画面が表示されます。

4 「はい」 ボタンを押します。

本装置の再起動後、設定が反映されます。

「いいえ」 ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

送信先設定の適用

送信先設定を適用するには再起動が必要です。
送信先設定を適用しますか？

はい
いいえ

図 7.73 送信先設定の適用画面

備考

- ・「接続確認」ボタンをデータランプ点灯中に押すと、「データがあるため、実行できません。」が表示されます。
- ・「接続確認」ボタンを押すと、指定したファイルサーバーが接続できるかを確認します。接続確認は、確認するファイルサーバーの IP アドレスが本装置に適用されている状態で実施してください。IP アドレスを変更する場合は、本装置の再起動が必要です。

接続確認

接続確認を実行します。よろしいですか？

はい いいえ

図 7.74 接続確認の確認画面

接続確認中

接続確認中

Progress bar (hatched)

図 7.75 接続確認中の画面

接続確認結果

接続確認に成功しました。

閉じる

図 7.76 接続成功時の確認結果画面

エラー

接続確認に失敗しました。
ファイルサーバーが起動しているか、または、
設定値と接続先を確認してください。

閉じる

図 7.77 接続失敗時の確認結果画面

- ・オートスタート設定を「有効」にした場合、本装置起動時にファイルサーバーに接続します。接続処理中に Web-UI でログインすると、ファイルサーバー接続中の画面が表示されます。

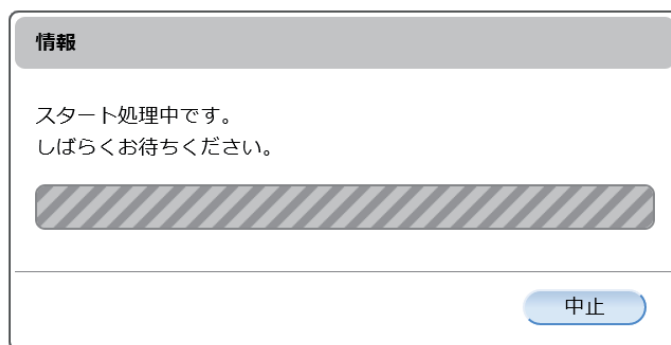


図 7.78 ファイルサーバー接続中の画面

- ・オートスタート時にファイルサーバーとの接続が確立できなかった場合、ファイルサーバーの準備ができてから、本装置の「スタート」ボタンを押してください。
- ・ファイルサーバーとの接続中に「中止」ボタンを押すとオートスタートの処理を中止します。オートスタートの中止完了後、画面は閉じられ、本装置は「NOT READY」状態となります。



7.2.5 アクセス制御設定

運用管理端末以外からのアクセスを制限するために、本装置にアクセスできる IP アドレスを設定します。

注意

誤った IP アドレスを指定したり、登録した IP アドレスを忘れたりした場合は、本装置の Web-UI にアクセスできなくなります。アクセスできなくなった場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。アクセス制御設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（図 6.6）が表示されるので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「アクセス制御設定」を選択します。
コンテンツパネルにアクセス制御設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

図 7.79 アクセス制御設定

表 7.45 アクセス制御設定の項目

番号	項目	初期値	説明
(1)	IP アドレスによるアクセス制御	無効	運用管理端末へのアクセス制限を設定します。 - 無効 すべてのアドレスからのアクセスが可能となります。 - 有効 「アクセス許可リスト」のアドレス以外からのアクセスを制限します。
(2)	アクセス許可リスト (*1)	—	アクセス許可する IP アドレスは 5 種類設定できます。マスク長に適切なビットマスクを設定すると、同じサブネット内の複数の IP アドレスを設定できます。

*1: ファイルサーバー、UPS および NTP サーバーの IP アドレスは、アクセス許可の対象になるため、本設定で登録する必要はありません。

- 3 「適用」ボタンを押します。
再起動を確認する「アクセス制御設定の適用」画面が表示されます。

4 「はい」 ボタンを押します。

本装置の再起動後、設定が反映されます。「いいえ」 ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

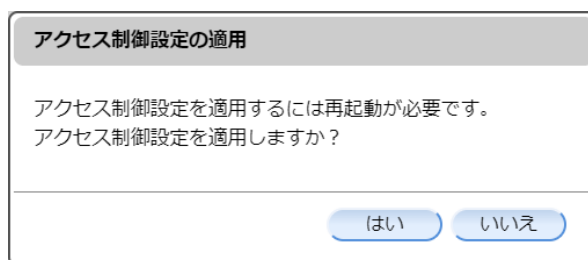


図 7.80 アクセス制御設定の適用画面

7.2.6 日時設定

本装置の日時に関する設定を行います。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「日時設定」を選択します。
コンテンツパネルに日時設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

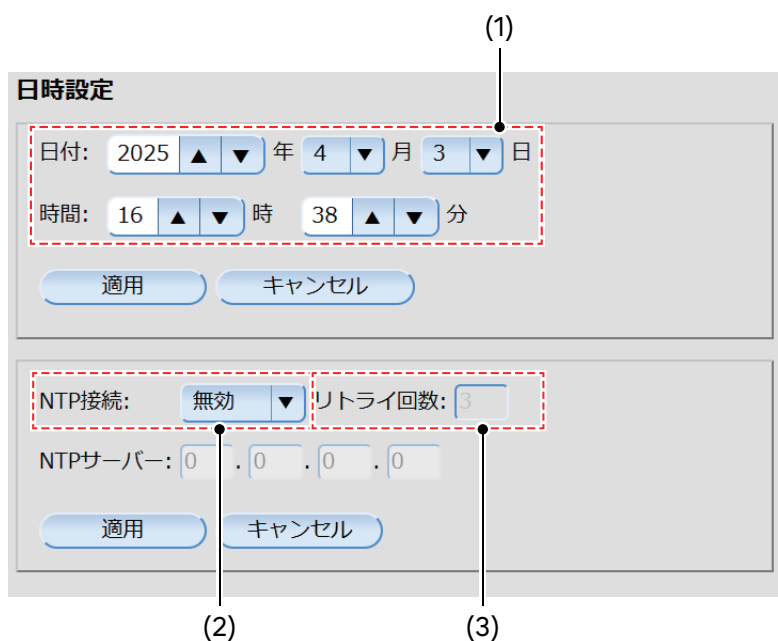


図 7.81 日時設定

表 7.46 日時設定の項目

番号	項目	説明
(1)	日付 時間	システム日付を設定します。 NTP 接続を有効にした場合は、グレースアウトします（設定不要）。
(2)	NTP 接続	NTP による時刻同期を設定します。 - 無効 NTP サーバーと時刻同期しません。定期的に時刻補正を行ってください。 - 有効 NTP サーバーと時刻同期します。NTP サーバーの IP アドレスを正しく入力してください。
(3)	リトライ回数	本装置の起動時に NTP サーバーとの接続確認を行います。接続確認が失敗した場合のリトライ回数を設定します。 指定範囲は 3 ～ 10 です。

3 「適用」 ボタンを押します。

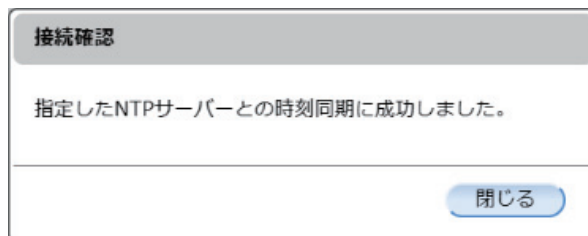
NTP サーバーと同期する場合、同期中画面が表示されます。



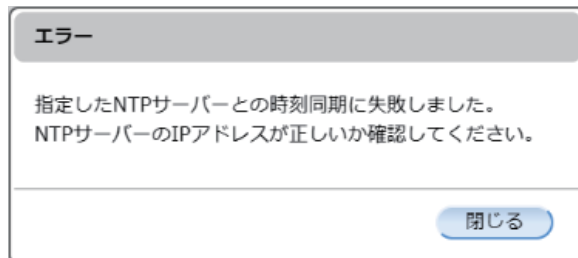
図 7.82 NTP サーバーとの時刻同期中画面

結果は、ポップアップメッセージで表示されます。

- 成功した場合



- 失敗した場合



7.2.7 表示設定

本装置の Web-UI の表示設定を行います。本設定では、Web-UI 上への日時表示の選択（表示する日時は [\[7.2.6 日時設定\]](#) (P.170) 参照）、および接続先情報表示内容の更新を行います。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 メニューパネルから「表示設定」を選択します。
コンテンツパネルに表示設定の項目が表示されます。
- 2 「日時表示」タブ、「接続先情報表示」タブ、および「ジョブ名表示」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。



図 7.83 表示設定（日時表示）

表示設定

日時表示 | 接続先情報表示 | ジョブ名表示

No.	接続先情報	表示名
01		
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

設定 削除

図 7.84 表示設定（接続先情報表示）

表示設定

日時表示 | 接続先情報表示 | ジョブ名表示

ジョブ名表示: 有効 ▼

ジョブ名消去ボタン: 無効 ▼

適用

ジョブ名表示を有効にするとPDFファイル名の生成にジョブ名を使用することができます。
ジョブ名を使用するかどうかはPDFファイル設定に従います。

図 7.85 表示設定（ジョブ名表示）

- **日時表示**
メインパネルの日時を表示するかどうかを設定します。詳細は、[「■ 日時表示の設定を行う」 \(P.174\)](#)を参照してください。
- **接続先情報表示**
メインパネルに表示する接続先情報の表示名を設定します。詳細は、[「■ 接続先情報の設定を行う」 \(P.175\)](#) および [「■ 接続先情報の設定を削除する」 \(P.176\)](#) 参照してください。

- ・ジョブ名表示

メインパネルにジョブ名を表示するかどうか、また、ジョブ名消去ボタンを表示するかどうかを設定します。詳細は、[【ジョブ名表示の設定を行う】\(P.177\)](#)を参照してください。



■ 日時表示の設定を行う

手順 ▶▶▶

- 1 「日時表示」タブで日時表示を「有効」に選択します。
初期値は「無効」です。
- 2 「適用」ボタンを押します。

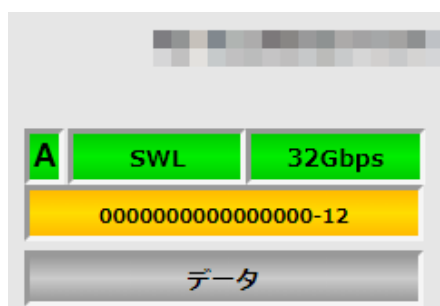


図 7.86 日時表示を「無効」に設定した場合

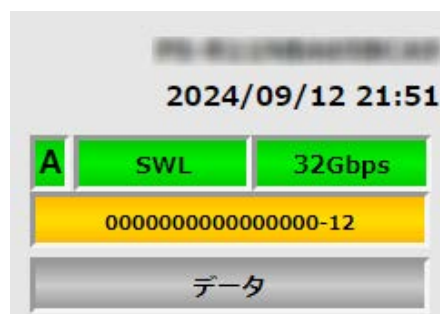


図 7.87 日時表示を「有効」に設定した場合



■ 接続先情報の設定を行う

メインパネルの「接続チャンネル情報表示」エリアに表示する表示名を設定します。この設定をすると、接続先情報が 16 進数表示ではなく表示名に設定した名称での表示が可能です。そのため、どの富士通メインフレームと接続しているのかが分かりやすくなります。表示名が設定された接続先と接続している場合は、メインパネルに設定した表示名が表示されます。表示名が設定されていない場合は、接続先情報を表示します。

手順 ▶▶▶ —————

- 1 「接続先情報表示」タブで接続先情報が設定されていない行を選択します。
- 2 「設定」ボタンを押します。
設定画面が表示されます。
- 3 各項目を入力します。

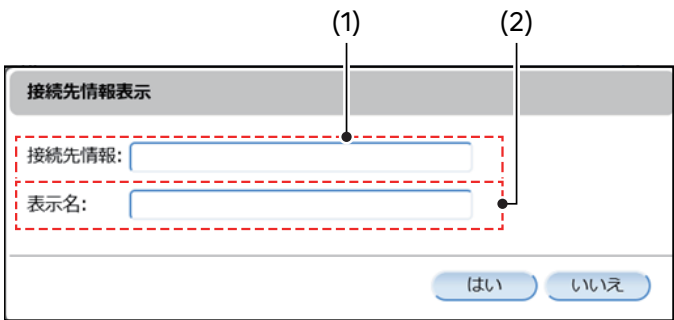


図 7.88 接続先情報表示の画面

表 7.47 接続先情報表示の項目

番号	項目	説明
(1)	接続先情報	表示名を設定する接続先情報を 16 文字で指定します（任意）。 利用可能文字は 16 進数の数字です。
(2)	表示名	接続先情報の表示名を 1～16 文字で指定します（任意）。 利用可能な文字は英数字です。

- 4 「はい」ボタンを押します。
入力した内容が表示設定メニューの接続先情報表示一覧に反映されます。



・ 接続先情報表示の設定例

表示設定

日時表示 接続先情報表示 ジョブ名表示

No.	接続先情報	表示名
01	00000000000010100	SystemA
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

設定 削除

・ チャネル情報表示の表示例

A	SWL	32Gbps
SystemA-04		
データ		

図 7.89 接続先情報表示の設定例とチャネル情報表示の表示例

■ 接続先情報の設定を削除する

設定した接続先情報を削除します。

手順 ▶▶▶

- 1 「接続先情報表示」 タブで削除したい接続先情報の行を選択します。
- 2 「削除」 ボタンを押します。
削除確認画面が表示されます。

接続先情報の表示名

接続先情報表示削除確認

「02:00000000001110900:HOST1」を削除します。
よろしいですか？

はい いいえ

図 7.90 接続先情報表示削除確認の画面例

- 3 「はい」 ボタンを押します。

■ ジョブ名表示の設定を行う

印刷中のジョブ名を Web-UI のメインパネルに表示するかを設定します。

手順 ▶▶▶

- 1 「ジョブ名表示」タブで設定を行います。
- 2 各項目を入力します。

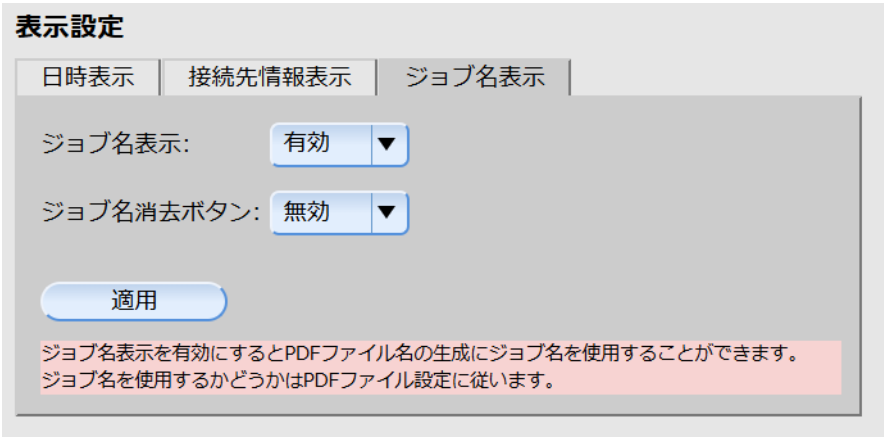


図 7.91 ジョブ名表示の画面

表 7.48 ジョブ名表示の設定項目

項目	初期値	説明
ジョブ名表示	有効	印刷中のジョブ名を Web-UI のメインパネルに表示するかを設定します。 - 無効 ジョブ名を表示しません。 - 有効 ジョブ名を表示します。
ジョブ名消去ボタン	無効	Web-UI のメインパネルに「ジョブ名消去」ボタンを表示するかを設定します。「ジョブ名表示」が「無効」の場合は設定できません。 - 無効 ジョブ名消去ボタンを表示しません。 - 有効 ジョブ名消去ボタンを表示します。

- 3 「適用」ボタンを押します。
「ジョブ名消去」ボタン設定が「有効」の場合は、メインパネルに「ジョブ名消去」ボタンが表示されます。



7.2.8 ログ操作

ログの収集は、保守技術員（担当 CE）から指示があった場合に実施してください。「サポートログを収集する」ボタンを押し、本装置内のサポートログを収集します。本装置からサポートログを取り出すには対象ファイルを選択し、「ダウンロード」ボタンを押します。

注意

仮想 PC や VPN 環境では、サポートログのダウンロード処理が失敗する場合があります。その場合、一般の LAN に接続された物理 PC で処理を実行してください。

ログの収集後は本装置の再起動が必要です。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「ログ操作」を選択します。
コンテンツパネルに「サポートログを収集する」が表示されます。



図 7.92 サポートログ収集

- 2 「サポートログを収集する」ボタンを押します。
- 3 サポートログ収集後は再起動が必要であることを警告する画面が表示されるため、「はい」ボタンを押します。

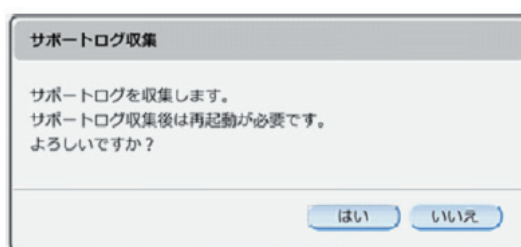


図 7.93 サポートログ収集確認画面

サポートログを収集中は「サポートログ収集中」ポップアップ画面が表示され、収集結果が表示されます。



図 7.94 サポートログ収集中ポップアップ画面

結果は、ポップアップメッセージで表示されます。

- 成功した場合
以下のポップアップメッセージが表示され、本装置の ID ランプが点灯します。

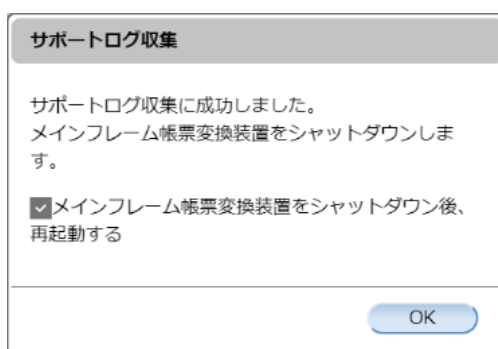


図 7.95 サポートログ収集の成功画面

- 失敗した場合
以下のポップアップメッセージが表示され、本装置の ID ランプが点滅します。本事象が発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

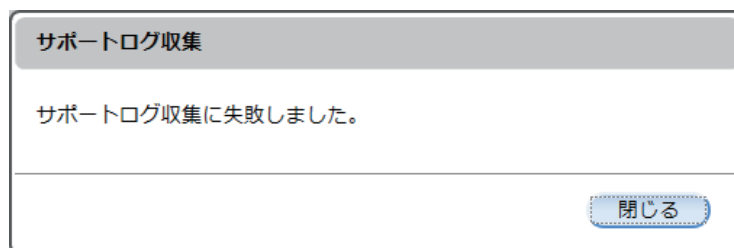


図 7.96 サポートログ収集の失敗画面

- 4 サポートログの一覧からダウンロードしたいファイルを選択し「ダウンロード」ボタンを押します。



図 7.97 ダウンロード画面

確認画面が表示されるため、「OK」ボタンを押します。

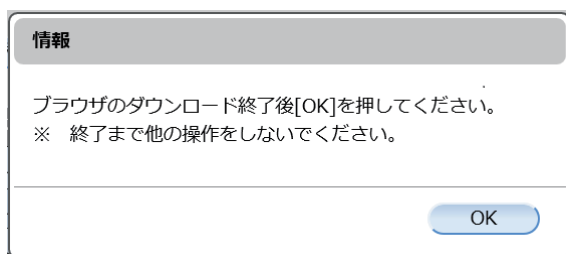


図 7.98 確認画面



7.2.9 UPS 設定

本装置を UPS に接続する場合の設定を行います。

注意

UPS 設定後は本装置の再起動が必要です。メッセージエリアに「再起動が必要です。」のメッセージ（[図 6.6](#)）が表示されるので、再起動を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「UPS 設定」を選択します。
コンテンツパネルに UPS 設定の項目が表示されます。
- 2 「UPS」タブおよび「自動停止」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

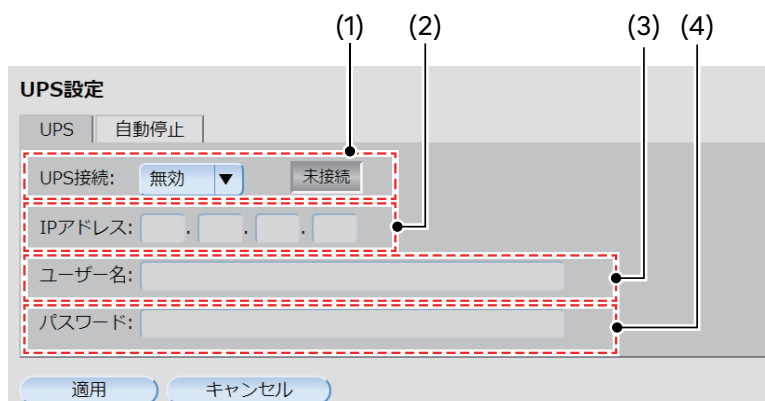


図 7.99 UPS 設定 (UPS)

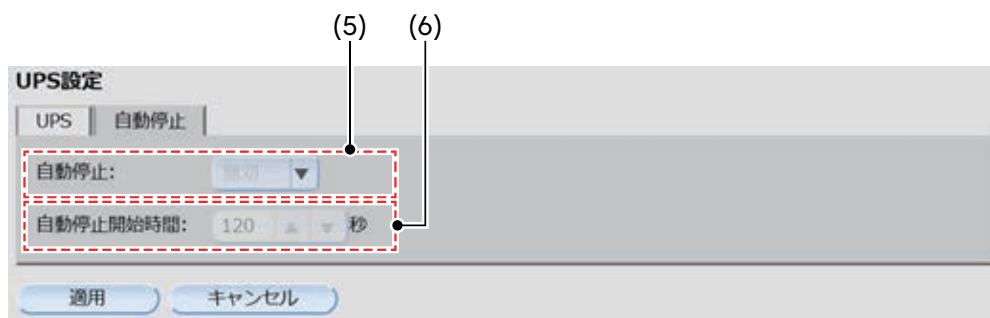


図 7.100 UPS 設定 (自動停止)

備考

自動停止設定は、「UPS」タブで「有効」に設定後、設定が可能になります。

「UPS」タブのUPS接続で「有効」を選択すると、自動停止設定が設定可能になります。「UPS」タブのUPS接続で「無効」を選択すると、本装置の自動停止設定は無効化され、自動停止は行いません。

UPS設定

UPS | 自動停止

自動停止: 無効 ▼

自動停止開始時間: 120 ▲ ▼ 秒

適用 キャンセル

図 7.101 設定可能な自動停止

表 7.49 UPS の項目

タブ	番号	項目	説明
UPS	(1)	UPS 接続	本装置を UPS に接続するかどうかを指定します。本装置が UPS に接続されていない場合は、「無効」を選択してください (*1) (*2)。 - 無効 本装置を UPS に接続しない場合に選択します。 - 有効 本装置を UPS に接続する場合に選択します。 UPS 接続状態を表示します。 UPS を接続する設定が有効の場合、本装置起動から約 30 秒間隔で接続状態を監視します。UPS との接続が確認できた場合、UPS 接続状態を接続済に変更します。 - 未接続 UPS と接続していない状態 - 接続済 本 UPS との接続が確認できた状態
	(2)	IP アドレス	UPS の IP アドレスを指定します (*3) (*4)。
	(3)	ユーザー名	UPS と接続するためのユーザー名を入力します。ユーザー名を 1～10 文字で入力します。入力可能文字は、半角英数字、半角記号 (*5) です。先頭と末尾に半角空白は使用できません。(*3) (*4)
	(4)	パスワード (認証フレーズ)	UPS と接続するためのパスワードを入力します。パスワードを 15～32 文字で入力します。入力可能文字は、半角英数字、半角記号 (*6) です。先頭と末尾に半角空白は使用できません。(*3) (*4)

タブ	番号	項目	説明
自動停止	(5)	自動停止	停電等で電力供給が UPS に切り替わった際に、本装置を自動的に停止するかどうかを選択します。各指定は以下のとおりです。 - 無効 本装置の自動停止を行いません。UPS からの電力供給で起動を継続します（*7）。 - 有効 本装置の自動停止を行います。
	(6)	自動停止開始時間	「自動停止」で「有効」を選択した場合に、設定することができます。UPS からの電力供給に切り替わってから本装置の停止を開始するまでの時間を 0-600 秒の間で指定します（*8）。

*1: 本装置が UPS に接続されていない状態で「有効」を選択すると、自動停止は動作しません。

*2: 本装置との接続を推奨する UPS は「[付録 F 周辺機器（推奨）](#)」(P.216) を参照してください。

*3: UPS で「有効」を選択した場合に、入力することができます。

図 7.102 入力可能な UPS

*4: ユーザー名とパスワードはネットワークマネジメントカードの設定と合わせてください。UPS の設定は、ご使用の UPS の取扱説明書およびネットワークマネジメントカードの取扱説明書を参照してください。

*5: ￥（円マークまたはバックスラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、#（シャープ）、%（パーセント）、&（アンパサンド）、<（小なり）、=（イコール）、>（大なり）、?（クエスチョン）、@（アットマーク）、+（プラス）、:（コロン）は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

*6: ￥（円マークまたはバックスラッシュ）、"（ダブルクォーテーション）、<（小なり）、>（大なり）、#（シャープ）、:（コロン）は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

*7: UPS で「有効」を選択したとき、UPS がバッテリー容量低下を示す「Low Runtime Warning」状態になった場合、自動停止の設定状態にかかわらず、本装置は自動停止します。

*8: 自動停止開始時間に設定する時間は、本装置の停止完了前に UPS の電源供給が終了しないよう、以下の条件に合致するように考慮して設定してください。

UPS の電源供給可能時間 > 自動停止開始時間 + 本装置の停止時間（180 秒）

3 「適用」 ボタンを押します。

4 「はい」 ボタンを押します。

本装置の再起動後、設定が反映されます。「いいえ」 ボタンを押した場合は、設定は反映されません。

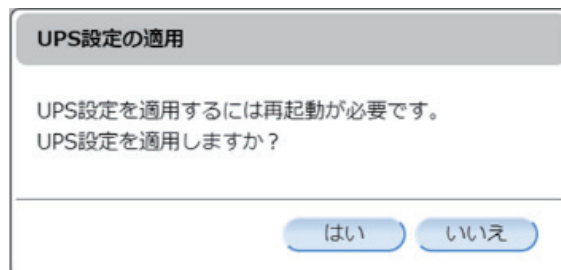


図 7.103 UPS 設定の適用画面

備考

UPS を使用する場合は、UPS 側の設定を行う必要があります。

ネットワークマネジメントカードの取扱説明書を参照し以下の設定を行ってください。

設定が間違っていると、UPS との連動が正常に動作しないことがあります。

設定項目	設定箇所	設定値
電源停止までの待機時間	「設定」 - 「コンセントグループ」 - 「順序」	180 [秒]
電源障害の継続時間が次の時間を超えたとき	「設定」 - 「コンセントグループ」 - 「負荷制限機能」 (コンセントグループをオフにするタイミ ング)	チェックしない
UPS のランタイム残り時間が次の期間より短いとき		チェックしない
UPS が過負荷状態になったとき		チェックしない
待機してからコンセントをオフにする処理をスキップする		チェックしない
バッテリー残量低下持続時間	「設定」 - 「シャットダウン」 - 「シャットダウンの開始」	3 [分]
バッテリー動作時のシャットダウン動作	「設定」 - 「シャットダウン」 - 「PowerChute シャットダウン パラメータ」	電源をオフにしたまま
ユーザー名	「設定」 - 「シャットダウン」 - 「シャットダウン設定」 - のユーザー名	1 ～ 10 文字で入力する (*1)
パスワード (認証フレーズ)	「設定」 - 「シャットダウン」 - 「シャットダウン設定」 - の認証フレーズ	15 ～ 32 文字で入力する (*2)

*1: 入力可能文字は、半角英数字と半角記号で、先頭と末尾に半角空白は使用できません。ただし、¥ (円マークまたはバックスラッシュ)、" (ダブルクォーテーション)、# (シャープ)、% (パーセント)、& (アンパサンド)、< (小なり)、= (イコール)、> (大なり)、? (クエスチョン)、@ (アットマーク)、+ (プラス)、: (コロン) は使用できません。また、[(始め角括弧) と] (終わり角括弧) は同時に設定できません。

*2: 入力可能文字は、半角英数字と半角記号で、先頭と末尾に半角空白は使用できません。ただし、¥ (円マークまたはバックスラッシュ)、" (ダブルクォーテーション)、< (小なり)、> (大なり)、# (シャープ)、: (コロン) は使用できません。また、[(始め角括弧) と] (終わり角括弧) は同時に設定できません。

7.2.10 Import/Export

「用紙情報設定」の用紙情報をファイルで取り込んだり、ファイルに取り出したりすることができます。

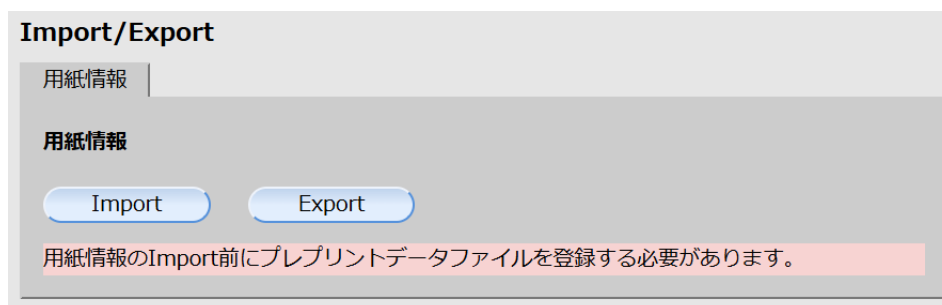


図 7.104 Import/Export 画面

■ Import

用紙情報の設定を取り込み、本装置の用紙情報に反映します。

なお、Import が完了すると、一般ユーザーモードおよびユーザー管理者モードの「用紙情報設定」の現在選択中の用紙情報が初期化され、現在選択中の用紙番号：000、用紙情報名：DEFAULT、プレプリントデータファイル名：設定なし、および送信先フォルダー名：設定なしに変更されます。

また、各用紙情報のプレプリントデータファイル名、送信先フォルダー名については、本装置に該当するプレプリントデータファイル、送信先フォルダー名が登録されているかをチェックし、登録されていない場合はその用紙情報のプレプリントデータファイル名、送信先フォルダー名は設定なしに変更されます。

Import 後は再起動が必要です。再起動後、一般ユーザーモードの「[■ 用紙情報を選択する](#)」(P.88)、または、ユーザー管理者モードの「[■ 用紙情報を選択する](#)」(P.148) で用紙情報の選択を行ってください。

手順 ▶▶▶

- 1 「Import」 ボタンを押します
「開く」画面が表示されます。
- 2 用紙情報ファイル（拡張子は dat）を選択し、「開く」ボタンを押します。
「キャンセル」ボタンを押すと、Import 操作を終了します。
- 3 選択された用紙情報ファイルをアップロードし、Import 処理を実行します。
Import 処理中は、プログレスバーを表示します。



図 7.105 用紙情報の Import 処理中のプログレスバー

Import 処理が完了すると、Import 完了画面が表示されます。

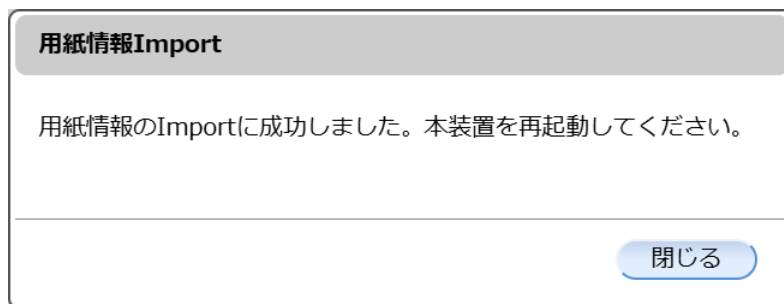


図 7.106 用紙情報の Import 処理完了画面

「閉じる」ボタンを押すと、Import 処理完了画面が閉じ、メインパネルは以下の表示となります。

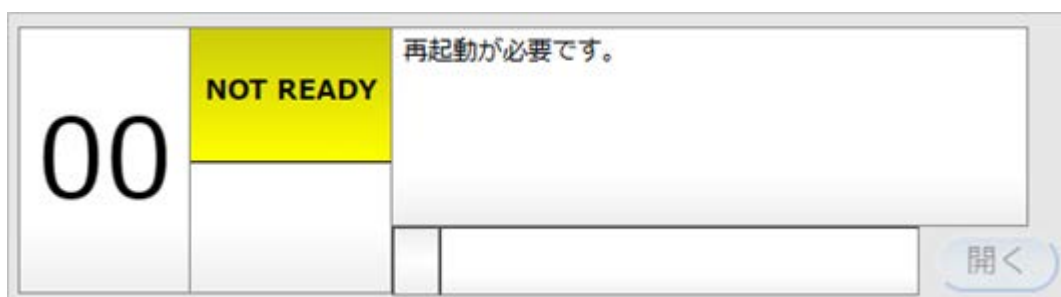


図 7.107 用紙情報の Import メインパネル「再起動が必要です」メッセージ

Import 操作や処理中に発生するエラーを[表 7.50](#)に示します。

表 7.50 用紙情報の Import 操作中のエラー一覧

メッセージ	意味／処置
データがあるため、操作できません。	本装置内に印刷データがあるため、Import できません。 以下の対応を行ったあと、再度 Import を行ってください。 - 完成していないページを印刷する場合は、「スタート」ボタンを押し、印刷を継続してください。 - 完成していないページを削除する場合は、「データキャンセル」ボタンを押し、削除を行ってください。
選択したファイルのサイズが 200MB を超えています。 正しい用紙情報ファイルを選択してください。	用紙情報のファイルのサイズが 200MB を超えています。 指定したファイルが間違っています。正しいファイルを指定してください。
選択したファイルは本装置の用紙情報ファイルではありません。 正しい用紙情報ファイルを選択してください。	選択したファイルが正しいファイルではありません。 正しいファイルを選択してください。
選択したファイルのサイズが 0 バイトです。 ファイルを選択し直してください。	選択したファイルが正しいファイルではありません。 正しいファイルを選択してください。

メッセージ	意味／処置
用紙情報の Import に失敗しました。本装置を再起動後、もう一度 Import 操作を行ってください。	装置エラーが発生しました。 装置再起動後、もう一度 Import を行ってください。
用紙情報の Import に失敗しました。正しい用紙情報ファイルを選択してください。	選択したファイルが正しいファイルではありません。 正しいファイルを選択してください。

4 再起動を行います。



■ Export

用紙情報をまとめて1つのファイルに取り出し（ダウンロード）します。

手順 ▶▶▶

- 1 「Export」 ボタンを押します。
- 2 保存画面が表示されます。
ファイル名は以下の名前となります。
装置名 _PAPERINFO_yyyymmdd_hhmm.dat

表 7.51 用紙情報 Export 出力ファイル名形式

項目	仕様
装置名	メンテナンス管理者モードの装置設定で設定した値になります。
yyymmdd	西暦によるファイル取得日で、操作端末のシステム時刻になります。 yyyy：西暦、mm：月、dd：日
hhmm	24 時間表現によるファイル取得時刻で、操作端末のシステム時刻になります。 hh：時間、mm：分

- 3 保存先のフォルダーを選択し、「保存」 ボタンを押します。



7.2.11 パスワード変更

一般ユーザーモードとユーザー管理者モードにログインする際のパスワードを変更する場合に本操作を行います。

注意

ユーザー管理者モードのパスワードは一般ユーザーには公開せず、定期的に変更してください。
ユーザー管理者モードのパスワードの初期化は保守技術員（担当 CE）に依頼してください。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「パスワード変更」を選択します。
コンテンツパネルにパスワード変更の項目が表示されます。
- 2 「一般ユーザーパスワード変更」タブおよび「ユーザー管理者パスワード変更」タブをそれぞれ選択し、各項目を設定します。

パスワード変更

一般ユーザーパスワード変更 | ユーザー管理者パスワード変更

現在のパスワード:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

一般ユーザーパスワードを初期化

適用 キャンセル

図 7.108 パスワード変更（一般ユーザー）

パスワード変更

一般ユーザーパスワード変更 | ユーザー管理者パスワード変更

現在のパスワード:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

一般ユーザーパスワードを初期化

適用 キャンセル

図 7.109 パスワード変更（ユーザー管理者）

表 7.52 パスワード変更の設定項目（一般ユーザー／ユーザー管理者）

番号	項目	説明
(1)	現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。 入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。 一般ユーザーパスワードは、初回設定されていないため、初回変更時は、入力不要です。
(2)	新しいパスワード	新しいパスワードを以下の制限内で入力します。 - 文字数上限 16 文字 - 文字種別 半角英数字、"."（ドット） 入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。
(3)	パスワードの確認	新しいパスワードの入力が正しいかを確認するために、再度新しいパスワードを入力します。入力した文字は「●」（黒丸）で表示されます。
(4)	一般ユーザーパスワードを初期化	一般ユーザーのパスワードを初期化します。

「一般ユーザーパスワードを初期化」を押すと、確認画面が表示されます。
「はい」を押すと、一般ユーザーのパスワードを初期化して、確認画面を閉じます。
「いいえ」を押すと、一般ユーザーのパスワードを初期化せずに本画面を閉じます。

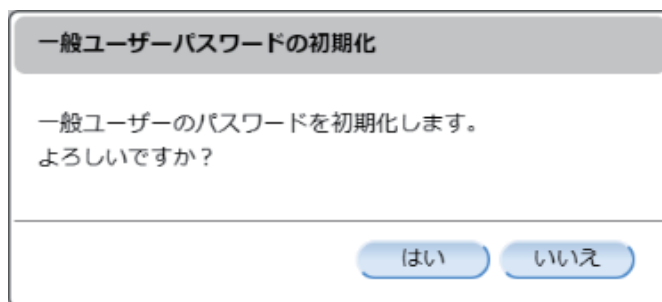


図 7.110 一般ユーザーパスワードの初期化画面

3 「適用」 ボタンを押します。



7.2.12 画面設定

Web-UI 操作画面のメインパネルの文字や背景色を変更する機能です。複数のメインフレーム帳票変換装置を設置し、複数の Web-UI 操作画面を操作する際、本設定を行うことで装置の区別がしやすくなります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「画面設定」を選択します。
コンテンツパネルに画面設定の項目が表示されます。
- 2 各項目を設定します。

図 7.111 画面設定

表 7.53 画面設定の項目

項目	初期値	説明
装置名の文字色	#000000	メインパネル右上の装置名の文字色を選択します。
装置操作ボタンエリアの背景色	#BBBBBB	装置操作ボタンエリアの背景色を選択します。
装置操作ボタンエリアの文字	メインフレーム帳票変換装置	装置操作ボタンエリアに表示されている文字を変更します。入力可能な文字数は1～16文字です。使用可能文字は、半角英数字、半角記号（*1）です。 日本語は「メインフレーム帳票変換装置」のみ指定が可能です。
装置操作ボタンエリアの文字色	#000000	装置操作ボタンエリアに表示されている文字の色を選択します。

*1: 使用可能文字は、半角英数字と記号です。
なお、¥（円マークまたはバックスラッシュ）、/（スラッシュ）、?（クエスチョン）、:（コロン）、*（アスタリスク）、"（ダブルクォーテーション）、<（小なり）、>（大なり）、|（パイプライン）、@（アットマーク）、=（イコール）、および半角空白は使用できません。また、[（始め角括弧）と]（終わり角括弧）は同時に設定できません。

「プレビュー」ボタンを押すと、確認画面が表示されます。
「初期化」ボタンを押すと、画面設定を初期化します。

- 3 「適用」 ボタンを押します。
設定した内容が反映されます。
画面設定の適用時に発生するエラーを[表 7.54](#) に示します。

表 7.54 画面設定の適用時に発生するエラー一覧

メッセージ	意味/処置
画面設定の適用に失敗しました。	画面設定で「適用」 ボタン操作時、本装置で不具合を検出しました。 再度、設定操作を行ってください。 再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
画面設定の適用に失敗しました。（通信エラー）	画面設定で「適用」 ボタン操作時、運用管理端末と本装置間で通信エラーが発生しました。 運用管理端末と本装置間のネットワーク経路を確認し、再度、設定操作を行ってください。 再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。



7.2.13 一般ユーザーモード

ユーザー管理者モードから一般ユーザーモードに遷移する場合に操作します。
遷移後は一般ユーザーモードのメニュー表示になります。

手順 ▶▶▶

- 1 メニューパネルから「一般ユーザーモード」を選択します。
2 「OK」 ボタンを押します。

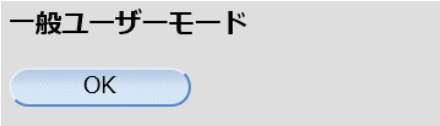


図 7.112 一般ユーザーモード

一般ユーザーモードに遷移します。



第 8 章 トラブルシューティング

本装置は、異常で停止した場合、Web-UI のメインパネルにエラーコードとメッセージを表示します。この内容に従って適切に処置する必要があります。

本装置の状態コードの内容を[表 8.1](#) に、エラーコード、メッセージ表示に対する復旧手順を[表 8.2](#) に示します。

なお、エラーコードは以下の形式で表示します。

ERXX-XX

X は 16 進数の値になります。

注 意

ファイルサーバーの異常は、ファイルサーバーのマニュアルに従って対応してください。

表 8.1 状態コード一覧

状態コード	エラー発生原因の事象
50	オーバレイデータエラー
55	用紙情報選択エラー
58	PDF ファイルチェック
80	チャンネル制御異常
82	メインフレーム帳票変換装置ハード異常
83	プロセス監視異常
84	ホストコマンドシーケンス異常
85	第 2FPD 系異常
87	描画処理異常
89	内部論理矛盾系異常
8A	ストレージ系異常
8B	通信（LAN）系異常
8C	オプション系異常
8D	ファイルサーバー要因
8E	ランリセット（システムリセット）
8F	ドライバ異常

表 8.2 エラーコード一覧

状態コード	エラーコード	メッセージ表示	状態内容	処置
50	ER50-01	◇オーバーレイデータエラーが発生しました◇ リセットを押してください。	オーバーレイデータエラー (ZINER：ゼロインサートエラー)	「リセット」ボタンを押してください。 プログラムのオーバーレイデータの確認を SE に依頼してください。 再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER50-02		オーバーレイデータエラー (NLSS1：先頭データが LSS1でない)	
	ER50-04		オーバーレイデータエラー (NEDMK：エンドマークなし)	
	ER50-08		オーバーレイデータエラー (NLSS：1ラインの先頭に同期信号なし)	
	ER50-10		オーバーレイデータエラー (CPOVR：変換点数の規定オーバー)	
	ER50-20		オーバーレイデータエラー (BITOV：1ラインの復元ドット数規定オーバー)	
	ER50-40		オーバーレイデータエラー (WLOVR：水平ランレングス符号規定外)	
	ER50-80		オーバーレイデータエラー (DNOVR：垂直ランレングス符号規定外)	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
55	ER55-80	◇印字欠落検出◇ 描画設定、用紙情報 設定を確認してくだ さい。	印字欠落警告 (印字)	本装置の Web-UI で「リセット」 ボタンを押します。 本装置の Web-UI で「用紙情報」の「選択」が正しい か確認してください。 復旧手順については 「2.2.2 印字欠落チェック機能」 (P.35) の 「■ 停止」 (P.36) を参照してください。
	ER55-81		印字欠落警告 (オーバーレイ)	
	ER55-82		印字欠落警告 (印字・オーバ レイ)	
58	ER58-00	◇ PDF ファイル チェック◇ ファイルサーバーを 確認してください。	ファイル サーバーエラー	以下を確認し、エラーを解除、または正しい設定に 変更してください。 • ファイルサーバーのエラー発生状況 • 送信先フォルダーの容量、またはクォータによ る制限 • ファイルサーバーの FTP サーバーの状態 • ファイアウォールの設定 本装置の「リセット」 ボタンを押し、その後「ス タート」 ボタンを押してください。 上記の確認後でも再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
80	ER80-00	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡く ださい。	FCLINK カード 異常 (初期化時)	本装置を再起動してください。再度発生する場 合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してくださ い。
	ER80-01		FCLINK カード 異常 (運用時)	
	ER80-10		FC ドライバイ ンターフェース 異常	
	ER80-20		FCLINK カード スロット状態異 常	
	ER80-3X		FC ドライバイ ンターフェース 異常	
	ER80-A0	◇装置エラー◇ ホスト接続を確認し てください。	ホスト通信不可 能状態	「リセット」ボタンを押してください。 富士通メインフレームとの接続を確認してくだ さい。 富士通メインフレームと接続していない場合、「接 続チャンネル情報表示エリア」の「接続先情報」に 「アタッチされていません」と表示されます。 再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連 絡してください。
82	ER82-0X	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡く ださい。	装置内ハード ウェア異常 (重要度： Critical)	本装置を再起動してください。再度発生する場 合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してくださ い。
	ER82-10	◇装置エラー◇ リセットを押してく ださい。	装置内ハード ウェア異常 (重要度： Major)	本装置に重度（Major）のエラーが発生しています。 保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-11			
	ER82-12	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡く ださい。	装置内通信 エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場 合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-13		未確認の装置内 ハードウェア異 常発生	
	ER82-14	◇装置エラー◇ リセットを押してく ださい。	装置内通信異常	「リセット」ボタンを押してください。
	ER82-15	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡く ださい。	LAN ポート異常	本装置を再起動してください。再度発生する場 合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-20		メモリーエラー	本装置を再起動してください。再度発生する場 合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER82-30			
	ER82-44			
	ER82-53			
	ER82-CX			
83	ER83-1X	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡く ださい。	装置内論理 エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場 合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER83-40			
	ER83-60			

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
84	ER84-01	◇コマンドシーケンスエラーが発生しました◇ リセットを押してください。	コマンドシーケンスエラー (イメージ)	「リセット」 ボタンを押してください。プログラムのデータを確認してください。
	ER84-02		コマンドシーケンスエラー (図形)	
	ER84-04		コマンドシーケンスエラー (QR コード)	
	ER84-80		コマンドシーケンスエラー (キャンセルスイッチ)	
	ER84-A0		コマンドシーケンスエラー (ページデータ混在)	
	ER84-A1		コマンドシーケンスエラー (キャンセルスイッチ未通知パス変更)	
85	ER85-52	◇ FPD 異常◇ 第 2FPD を確認してください。	FPD データ形式異常	• 「リセット」 ボタンが有効な場合 (運用中に発生) 「リセット」 ボタンを押してください。 本装置のユーザーモードの [第 2FPD 設定] を確認し、正しい設定を行ってください。 再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。 • 「リセット」 ボタンが有効でない場合 (装置起動時に発生) 本装置のユーザーモードの [第 2FPD 設定] を確認し正しい設定を行ったあと、再起動してください。 上記の確認後でも再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
87	ER87-XX	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
89	ER89-XX	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。

状態コード	エラーコード	メッセージ表示	状態内容	処置
8A	ER8A-2X	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER8A-30			
	ER8A-40			
	ER8A-52	◇ FPD 異常◇ 第 2FPD を確認してください。	第 2FPD ハードエラー	「リセット」ボタンが有効な場合（運用中に発生） 「リセット」ボタンを押してください。 本装置の一般ユーザーモードの「第 2FPD 設定」を確認し正しい設定を行ってください。 再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。 「リセット」ボタンが有効でない場合（装置起動時に発生） 本装置の一般ユーザーモードの「第 2FPD 設定」を確認し正しい設定を行ったあと、再起動してください。 再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER8A-53	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡ください。	装置内処理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER8A-54			
	ER8A-55		SSD 異常	
	ER8A-6X		SSD 異常	

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
8B	ER8B-80	◇通信エラー◇ ファイルサーバーと 接続経路を確認くだ さい。	ファイルサー バーと接続でき ません。	以下を確認して「リセット」ボタンを押し、ファ イルサーバーと再接続してください。 - ネットワークとネットワーク関連装置の設定と 状態を確認してください。 - 接続対象のファイルサーバーが起動しているか 確認してください。 - ファイルサーバーが起動している場合は、 ファイルサーバーの設定の見直しと状態を確認 してください。 - ファイルサーバーが起動していない場合は、 電源を投入し、ファイルサーバーを起動して ください。 上記の確認後でも再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	8B-8F			以下を確認して「リセット」ボタンを押し、ファ イルサーバーと再接続してください。 - 接続対象のファイルサーバーが起動しているか 確認してください。 - ファイルサーバーが起動していない場合は、 電源を投入し、ファイルサーバーを起動して ください。 - ファイルサーバーが起動している場合は、 ファイルサーバーの設定の見直しと状態を確認 してください。 ファイルサーバーに問題がある場合は、ファ イルサーバーの保守技術員に調査を依頼して ください。 - ネットワークとネットワーク関連装置の設定と 状態を確認してください。 ネットワークに問題がある場合は、ネットワ ーク管理者に調査を依頼してください。 上記の確認後でも再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。

状態コード	エラーコード	メッセージ表示	状態内容	処置
8C	ER8C-21	◇装置エラー◇ リセットを押してください。	装置内論理エラー	「リセット」ボタンを押してください。 - 設定を確認してください。 ユーザー管理者モードの「日時設定」のNTPサーバーのアドレスを確認し、誤っている場合は修正してください。 - NTPサーバーの状態を確認してください。 NTPサーバーに問題がある場合は、管理者に調査を依頼してください。 - ネットワークとネットワーク関連装置の状態を確認してください。 ネットワークに問題がある場合は、管理者に調査を依頼してください。 上記確認後でも再度発生する場合は、保守技術員（担当CE）に連絡してください。
	ER8C-22		NTPサーバーと接続できません。	
	ER8C-23	◇装置エラー◇ 担当CEにご連絡ください。	装置内論理エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当CE）に連絡してください。
	ER8C-A0	◇UPS異常◇ UPSを確認してください。	UPS異常（過負荷状態）	「リセット」ボタンを押してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当CE）に連絡してください。
	ER8C-A1		UPS異常（バッテリー交換要）	
	ER8C-A2		UPS異常（バッテリー未装着）	本装置を再起動してください。再度発生する場合は、保守技術員（担当CE）に連絡してください。
	ER8C-A3		UPSと接続できません。	「リセット」ボタンを押してください。 UPS設定、UPS側の設定、ネットワークを確認してください。 再度発生する場合は、保守技術員（担当CE）に連絡してください。
	ER8C-A4		UPSからの信号により自動停止しました。	UPSおよび電源の状態を確認してください。
	ER8C-A5		UPSがバッテリー運用に変わりました。	UPSおよび電源の状態を確認してください。 バッテリー運用が続く場合、「リセット」ボタンを押して、作業中の操作を中断し、本装置をシャットダウンしてください。 UPSの復電を確認後、本装置の電源を投入してください。 バッテリー運用から復旧した場合、「UPSがバッテリー運用から商用電源に復旧しました。」の情報が表示されるので「閉じる」ボタンを押して情報画面を閉じ、その後、「リセット」ボタンを押してください。

状態 コード	エラー コード	メッセージ表示	状態内容	処置
8D	ER8D-40	◇認証エラー◇ 設定を確認してください。	ファイルサーバー 認証エラー (ユーザー・パスワード異常)	「リセット」 ボタンを押してください。送信先設定の IP アドレスが正しいことを確認してください。 本装置およびファイルサーバーの FTP ユーザー名、パスワードの設定を確認してください。 本装置の設定に誤りがあった場合は、設定を修正後に再起動を行ってください。 ファイルサーバーの設定に誤りがあった場合は、設定を修正後に、「スタート」 ボタンを押してください。 上記の確認後でも再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	ER8D-41	◇通信エラー◇ ファイルサーバーと接続経路を確認ください。	サポートしていないファイルサーバーが接続されています。	「リセット」 ボタンを押してください。 本装置の送信先設定に設定した IP アドレスが正しいことを確認してください。 ファイルサーバーの状態が正常で、本装置の送信先設定の IP アドレスが正しく設定されていた場合、または修正したあとでも、再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	ER8D-43	◇認証エラー◇ 設定を確認してください。	認証ファイル取得不可	「リセット」 ボタンを押してください。 本装置の送信先設定に設定した IP アドレスが正しいことを確認してください。 ファイルサーバーに認証ファイルを格納してください。 送信先設定の IP アドレスを修正、または認証ファイル格納後、「スタート」 ボタンを押してください。 IP アドレス、または認証ファイルが正常である場合でも再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	ER8D-44	◇認証エラー◇ 設定を確認してください。	認証ファイルエラー	「リセット」 ボタンを押してください。 ファイルサーバーの認証ファイルを確認してください。 認証ファイルを修正後、「スタート」 ボタンを押してください。 認証ファイルが正常である場合でも再度発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。
	ER8D-4A	◇通信エラー◇ 設定を確認してください。	FTP 接続設定異常	「リセット」 ボタンを押してください。 本装置から接続するファイルサーバー側の IIS が起動しているか確認してください。 また、本装置に設定した FTP 接続の設定値がファイルサーバー側に設定されていることを確認してください。 ファイルサーバー側の IIS が起動していて、設定が正しい場合、または修正したあとでも本エラーが発生する場合は、保守技術員 (担当 CE) に連絡してください。

状態コード	エラーコード	メッセージ表示	状態内容	処置
8D	ER8D-4B	◇通信エラー◇ ファイルサーバーと 接続経路を確認く ださい。	FTP 通信プロト コル異常	「リセット」 ボタンを押してください。ファイル サーバーとの通信に異常が発生しました。ファイル サーバーの状態とネットワークを確認してくださ い。 「スタート」 ボタンを押してください。エラーによ り、送信保留中となった PDF ファイルを再送しま す。確認結果に異常がなく、再度発生する場合は、 保守技術員（担当 CE）に連絡してください。
	ER8D-4C	◇通信エラー◇ 設定を確認してくだ さい。	送信先フォル ダーなし	「リセット」 ボタンを押してください。 以下のファイルサーバーのフォルダーを確認してく ださい。 • 本装置の送信先フォルダーに設定したフォル ダー名がファイルサーバーに設定されている • 送信先フォルダーに対するアクセス権、または フォルダー内に同名のファイルが存在する場合 は、ファイルに対するアクセス権が正しく設定 されている • シンボリックリンクを設定している場合は、リ ンク先のフォルダーに対して上記の設定を確認 する 「スタート」 ボタンを押してください。エラーによ り、送信保留中となった PDF ファイルを再送しま す。 ファイルサーバーの状態が正常である場合でも再度 発生する場合は、保守技術員（担当 CE）に連絡し てください。
8E	ER8E-0X	◇システムリセット が発行されました◇ リセットを押してく ださい。	システムリセッ トを検出しまし た。	「リセット」 ボタンを押してください。
8F	ER8F-AA	◇装置エラー◇ 担当 CE にご連絡く ださい。	装置内論理 エラー	本装置を再起動してください。再度発生する場合 は、保守技術員（担当 CE）に連絡してください。

付録 A 仕様

A.1 基本仕様

本装置の基本仕様を以下に示します。

表 A.1 基本仕様

項目		仕様
接続可能メインフレーム		Fujitsu Mainframe GS21 4600 モデルグループ FUJITSU Server GS21 3600/3400 モデルグループ Fujitsu Mainframe OSIV/XSP 動作機構 Powered by PRIMEQUEST Fujitsu Server PRIMEQUEST 3000 シリーズ OSIV/XSP 動作機構 Fujitsu Server PRIMEQUEST 2000 シリーズ OSIV/XSP 動作機構キット 2/ キット 3
接続インターフェース	富士通メインフレーム	FCLINK チャンネル (*1)、PTC チャンネル、CTS チャンネル
	ファイルサーバー	Ethernet-LAN (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
	運用管理端末	
	UPS	
データ形式		JEF (ラインプリンタモード) JEF/AP (ページプリンタモード)
起動時間 (目安)		3 分
装置寿命		5 年

*1: SCL5 および FCLS 経由可です。

注 意

- ・本装置とファイルサーバーは、1000BASE-T による接続を推奨します。
- ・ツイストペアケーブルは、EN 50173 および EN 50174-1/2 規格、または ISO/IEC 11801 規格にそれぞれ準拠する必要があります。
- ・ツイストペアケーブル 1000BASE-T はカテゴリ 6、100BASE-TX/10BASE-T はカテゴリ 5 以上を使用してください。
- ・FCLINK ケーブルやツイストペアケーブルは、装置構成に応じて必要な本数を準備してください。

A.2 データ形式の仕様

データ形式の仕様を以下に示します。

表 A.2 JEF（ラインプリンタモード）

項目	仕様	
文字構成（横×縦）	英数字・カナ	最大24×40ドット（10CPI時）
	漢字	30×30ドット（9ポイント相当時）
文字間隔（*1）	英数字・カナ	10CPI、12CPI、15CPI
	漢字	10CPI（7ポイント相当） 8CPI（9ポイント相当） 15/2CPI（9ポイント相当） 20/3CPI（9ポイント相当） 6CPI（9、12ポイント相当） 5CPI（9、12ポイント相当）
行間隔	6LPI、8LPI、12LPI	
桁位置合わせ	水平スキップにて可能	
文字発生機構	基本：英数字・カナ 255字、漢字 18,432字 【JIS第一水準漢字+JIS非漢字（3418字）を含む】	
書体	明朝体、ゴシック体	
文字サイズ	漢字	7、9、12ポイント相当
	各サイズの倍角文字、平体文字、長体文字、 半角文字（半角対象文字種のみ）、および1/4角文字（1/4角対象文字種のみ）	
縦書き	文字を90°回転	
フォーマット印刷	書式オーバーレイ（ドット圧縮方式）	
	メモリ容量	基本：4MB 拡張オーバーレイ機構（PS-R100B52）搭載時：20MB
バーコード印刷（*2）	標準 JAN、短縮 JAN、Code 3 of 9、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流用標準、物流用拡張、EAN-13、Matrix 2 of 5、UPC（バージョン A）、UPC（バージョン E）、UPC（バージョン E 圧縮形式）、カスタマバーコード、書留バーコード、GS1-128、GS1-128（料金代理収納用）、QR コード（モデル 2）、マイクロ QR コード	
図形印刷	線分、円、円弧、面塗りなどが可能	
イメージ印刷	矩形の圧縮イメージ情報の印刷が可能 非圧縮／MH／MR／MMR（2値）方式をサポート	
拡大文字	9ポイント文字の3～8倍（整数倍）、10倍、12倍、14倍、16倍の印刷が可能	

*1: 表中の値は全角と長体（縦倍角）印刷時の値です。平体（横倍角）と倍角印刷時は 1/2 になり、半角と 1/4 角印刷時は 2 倍になります。

*2: 印刷濃度や用紙媒体などで品質が変化することがあるため、十分な事前確認を行ってください。
なお、QR コードの品質は、出力モジュールサイズ 9 ドット以上で保証されます。
QR コード、マイクロ QR コード印刷は、QR コード出力機構（PS-R100B56）が必須となります。
GS1-128（料金代理収納用）バーコードの印刷には、拡張バーコード出力機構（PS-R100B55）が必須となります。
GS1-128（料金代理収納用）バーコード以外のバーコードは、従来装置では 240dpi 印刷でしたが、本装置では 600dpi に合わせた描画となるため、大きさが異なる場合があります。

表 A.3 JEF/AP (ページプリンタモード)

項目	仕様	
文字構成 (*1)	英数字・カナ・漢字 (アウトラインフォント使用) (5.5ポイント以下はラスタフォントを基本的に使用する)	
文字間隔	任意の文字間隔が指定可能	
行間隔	任意の行間隔が指定可能	
桁位置合わせ	任意のメディア (文字／図形／イメージ) を任意の点に配置が可能	
文字発生機構	文字サイズ、書体により格納できる文字数が変化	
書体	フォント辞書 (FONTLIB/XXX) で提供されている書体すべて印刷可能	
縮小印刷	APS (JEF/APスプール変換ユーティリティ) で指定可能	
文字サイズ	3～300ポイント	
文字の回転	任意角度での文字の回転が可能	
文字列の方向	上下左右の指定が可能	
フォーマット印刷	書式オーバーレイ (ベクトルオーバーレイ方式)	
	メモリ容量	基本: 4MB 拡張オーバーレイ機構 (PS-R100B52) 搭載時: 20MB
バーコード印刷 (*2)	標準JAN、短縮JAN、Code 3 of 9、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、物流用標準、物流用拡張、EAN-13、Matrix 2 of 5、UPC (バージョンA)、UPC (バージョンE)、UPC (バージョンE 圧縮形式)、カスタマバーコード、GS1-128、GS1-128 (料金代理収納用)、QRコード (モデル2)、マイクロQRコード	
図形印刷	線分、円、円弧、面塗りなどが可能 (ISO/CGM準拠)	
イメージ印刷	矩形の圧縮イメージ情報の印刷が可能 (ISO/CGM準拠) 非圧縮/MH/MR/MMR (2値) 方式をサポート	

- *1: JEF/AP (ページプリンタモード) の印刷結果は、JEF (ラインプリンタモード) の印刷結果と一部異なる場合があります。このため、事前に印刷確認を行うことを推奨します。
- *2: 印刷濃度や用紙媒体などで品質が変化することがあるため、十分な事前確認が必要です。
QRコード、マイクロQRコード印刷は、QRコード出力機構 (PS-R100B56) が必須となります。
バーコードは、従来装置では 400dpi 印刷でしたが、本装置では 600dpi に合わせた描画となるため、大きさが異なる場合があります。

A.3 通信要件

本装置で使用するネットワーク通信ポートを以下に示します。

表 A.4 ネットワーク通信ポート

通信ポート	プロトコル名	プロトコル種別	用途	ポート番号	TCPまたはUDP
LAN1 LAN2	FTP	一般通信プロトコル	ファイルサーバー通信	20/21 (デフォルト)	TCP
	HTTP		運用管理端末通信	80 (固定)	
	NTP		NTPサーバー通信	8080 (固定)	
	PowerChute Network Shutdown	独自通信プロトコル	UPS 通信	123 (固定)	UDP
				3052 (デフォルト)	TCP

A.4 印刷範囲と用紙原点

従来装置の印刷範囲と、本装置での用紙原点について説明します。

(1) 従来装置（PS5110B（BMC/FCLINK 接続））での用紙の印刷範囲と印字禁止領域

項目	モード	JEF機能 (ラインプリンタモード)	JEF/AP機能 (ページプリンタモード)
印刷範囲 (*1)		図 A.1 の斜線内の領域	
印字範囲 (*2)		最大 419.1 mm (16.5 インチ)	最大 421.64 mm (16.6 インチ)
印字禁止領域 (*3)		6LPI: ページの前後各 2 行 (8.4 mm) 8LPI: ページの前後各 2 行 (6.35 mm) 12LPI: ページの前後各 3 行 (6.35 mm)	ページの前後各 6.35 mm (1/4 インチ) (ピッチに依存しない)

*1: 印刷範囲は、オーバーレイ (ADJUST の印刷範囲は最大 16.7 インチ)・図形・イメージデータの印刷が可能な範囲です。

*2: 印字範囲は、文字データの印字が可能な範囲です。

*3: 印字禁止領域は、各ページの折り畳み用ミシン目近傍の印字を禁止する領域です。

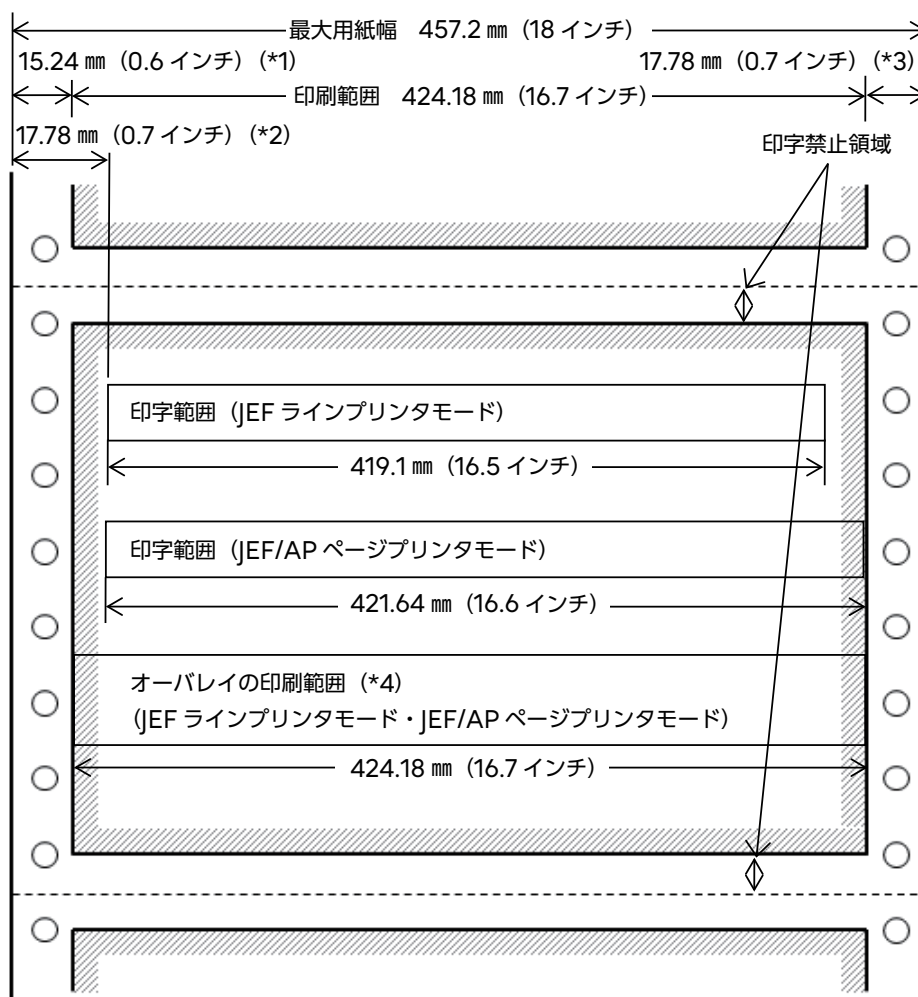


図 A.1 PS5110B の印刷範囲

*1: 上図の数値は、F モードの場合で、I モードでは 13.97mm (0.55 インチ) です。

*2: 上図の数値は、F モードの場合で、I モードでは 16.51mm (0.65 インチ) です。

*3: 上図の数値は、Fモードの場合で、Iモードでは 19.05mm (0.75 インチ) です。

*4: オーバレイについては、ADJUST の印刷範囲は最大 424.18 mm (16.7 インチ) までです。

- 幅 165.1 ~ 454.66mm (6.5 ~ 17.9 インチ) の用紙の場合
プリンター装置手前側で 15.24mm (0.6 インチ) とプリンター装置奥側で 15.24mm (0.6 インチ) の範囲を除いた内側の部分が印刷範囲です。
- 幅 457.2mm (18 インチ) の用紙の場合
プリンター装置手前側で 15.24mm (0.6 インチ) とプリンター装置奥側で 17.88mm (0.7 インチ) の範囲を除いた内側の部分が印刷範囲です。

(2) 従来装置 (PS5600C (BMC/FCLINK 接続)) での用紙の印刷範囲と印字禁止領域

項目	モード	JEF機能 (ラインプリンタモード)	JEF/AP機能 (ページプリンタモード)
印刷範囲 (*1)		図 A.2 の斜線内の領域	
印字範囲 (*2)		最大 457.2 mm (18.0 インチ)	最大 421.64 mm (16.6 インチ)
印字禁止領域 (*3)		6LPI: ページの前後各 2 行 (8.4 mm) 8LPI: ページの前後各 2 行 (6.35 mm) 12LPI: ページの前後各 3 行 (6.35 mm)	ページの前後各 6.35 mm (1/4 インチ) (ピッチに依存しない)

*1: 印刷範囲は、オーバレイ (ADJUST の印刷範囲は最大 16.7 インチ)・図形・イメージデータの印刷が可能な範囲です。

*2: 印字範囲は、文字データの印字が可能な範囲です。

*3: 印字禁止領域は、各ページの折り畳み用マシン目近傍の印字を禁止する領域です。

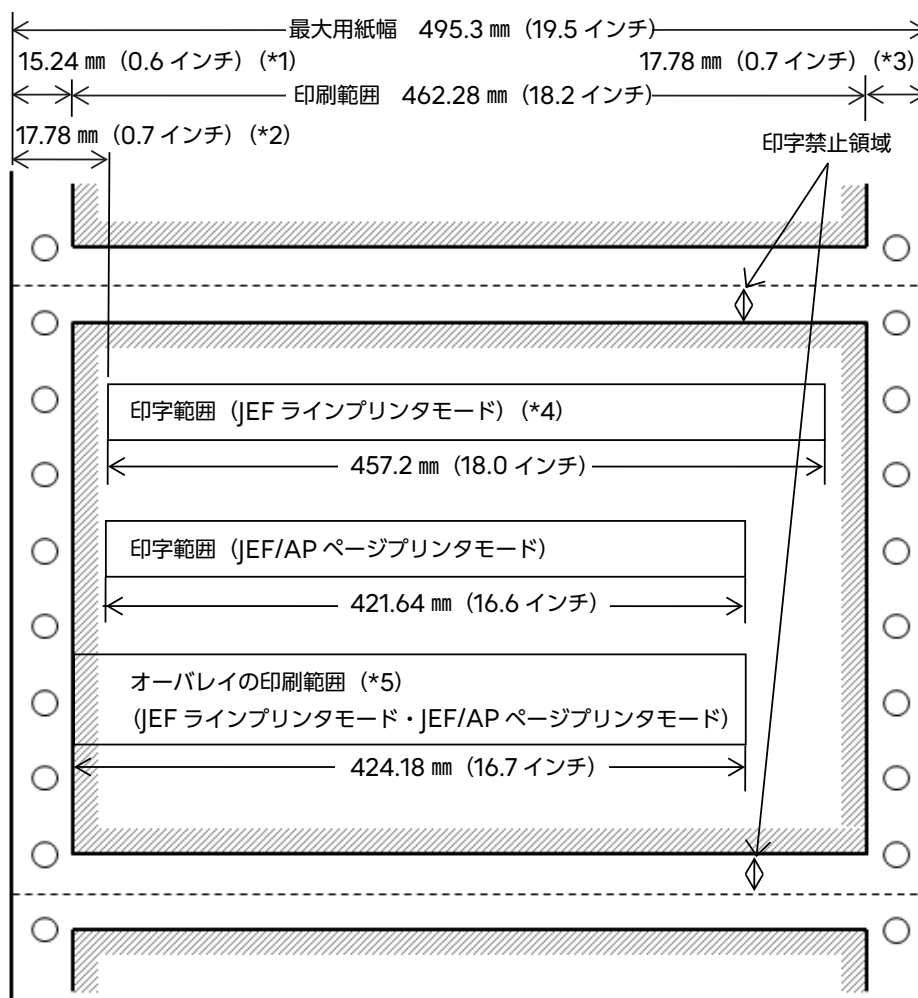


図 A.2 PS5600C の印刷範囲

- *1: 上図の数値は、Fモードの場合で、Iモードでは 13.97mm (0.55 インチ) です。
- *2: 上図の数値は、Fモードの場合で、Iモードでは 16.51mm (0.65 インチ) です。
- *3: 上図の数値は、Fモードの場合で、Iモードでは 19.05mm (0.75 インチ) です。
- *4: 装置側の設定を初期値の 16.5 インチから 18 インチに変更が必要です。
- *5: オーバレイについては、ADJUST の印刷範囲は最大 424.18mm (16.7 インチ) までです。

- 幅 165.1 ~ 492.76mm (6.5 ~ 19.4 インチ) の用紙の場合
用紙端よりプリンター装置手前側で 15.24mm (0.6 インチ) とプリンター装置奥側で 15.24mm (0.6 インチ) の範囲を除いた内側の部分が印刷範囲です。
- 幅 492.76 ~ 495.3mm (19.4 ~ 19.5 インチ) の用紙の場合
用紙端よりプリンター装置手前側で 15.24mm (0.6 インチ) から 462.28mm (18.2 インチ) が印刷範囲です。

(3) 本装置を用紙タイプ「連帳」で利用時の印刷範囲と用紙原点

PDF ファイル上では従来装置と同等となりますが、プリンター装置によって印字保証／可能領域は異なりますので、印刷する装置に合わせて位置の調整が必要です。詳細は、対象プリンター装置のマニュアルを確認してください。

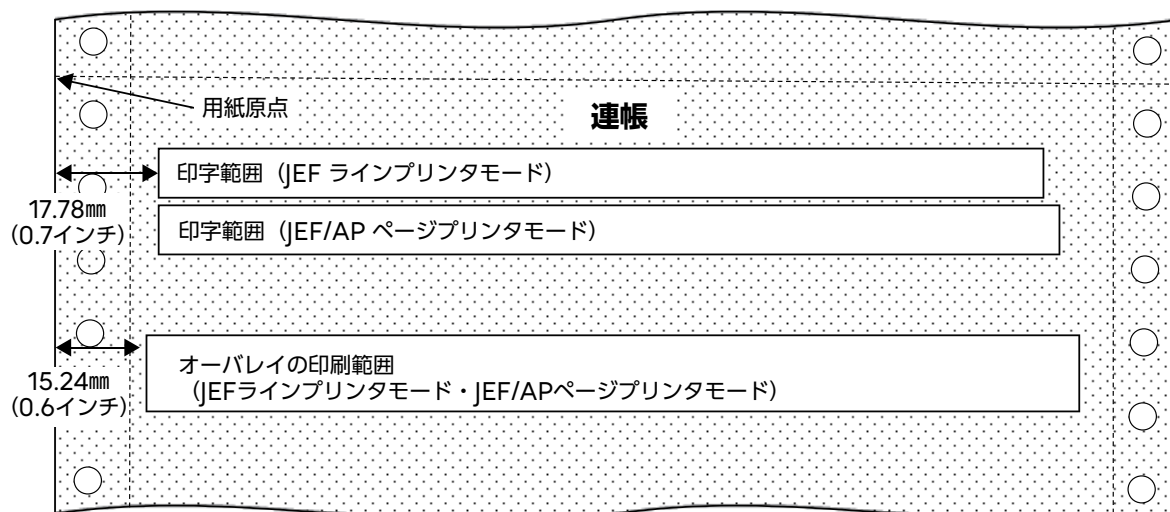


図 A.3 用紙タイプ「連帳」時の印刷範囲

(4) 本装置を用紙タイプ「カット紙」で利用時の印刷範囲と用紙原点

プリンター装置によって印字保証／可能領域は異なりますので、印刷する装置に合わせて位置の調整が必要です。詳細は、対象プリンター装置のマニュアルを確認してください。

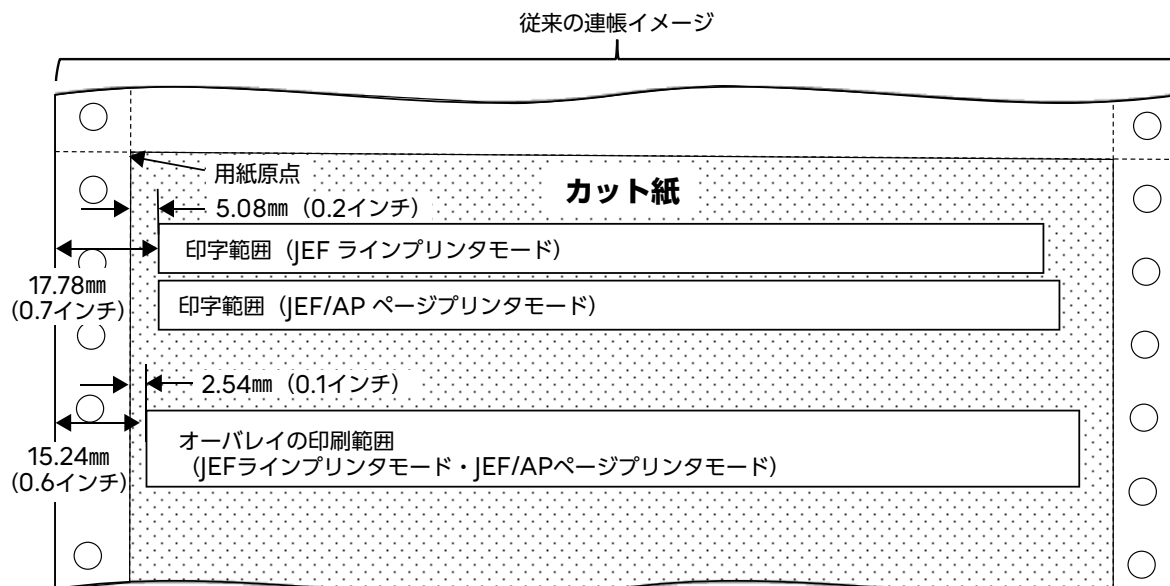


図 A.4 用紙タイプ「カット紙」時の印刷範囲

付録 B 非互換一覧

富士通メインフレームから PS5110B/PS5600C にチャンネル直結で印刷する場合（従来構成）と、富士通メインフレームから本装置を中継してファイルサーバーに PDF ファイルを送信する場合の相違点を以下に示します。

表 B.1 従来構成と富士通メインフレーム + 本装置 + ファイルサーバーとの相違点

分類	項目	従来構成		富士通メインフレーム + 本装置 + ファイルサーバー
		富士通メインフレーム + PS5000 シリーズ (BMC/PSD 接続)	富士通メインフレーム + PS5000 シリーズ (FCLINK 接続)	
システム構成	富士通メインフレーム I/F	BMC/PSD チャンネル	FCLINK チャンネル ・ 転送速度：8Gbps、 波長：LWL	FCLINK チャンネル ・ 転送速度：32Gbps、 波長：SWL ・ 転送速度：32/ 8Gbps、波長：LWL
	運用管理端末 (クライアント PC)	プリンターの主操作パネル操作のため不要	チャンネル接続機構オプションの Web-UI による操作のため、ブラウザ搭載 PC が必要	本装置 Web-UI による操作のため、ブラウザ搭載 PC が必要
	コンソール (クライアント PC)	不要	不要	ファイルサーバー操作のための PC が必要 (*1)
	装置構成	プリンター装置単体	チャンネル接続機構オプション + プリンター装置 + 運用管理端末	本装置 + ファイルサーバー + 運用管理端末 + コンソール
印刷処理	解像度	240dpi/400dpi/600dpi	←	600dpi (*2)
	バーコード	従来バーコード描画	←	バーコードの指定サイズによっては解像度 600dpi に合わせて描画するため、バーコードの大きさが従来と異なる場合あり
	マーク印刷	・ コピーセパレーションマーク (*3) ・ マークフォーム (*4)	・ コピーセパレーションマーク (*3)	非サポート (*5)
	2 アップ	サポート	非サポート	非サポート (*5)
	ホストリカバリ	サポート	サポート	非サポート (*5)
	セルフリカバリ	サポート	非サポート	非サポート (*5)

分類	項目	従来構成		富士通メインフレーム + 本装置 + ファイルサーバー
		富士通メインフレーム + PS5000 シリーズ (BMC/PSD 接続)	富士通メインフレーム + PS5000 シリーズ (FCLINK 接続)	
運用	印刷情報設定	プリンター装置で設定	チャンネル接続機構オプションで設定	本装置で設定
		用紙情報として設定可能な情報 - 垂直／水平／オーバーレイ位置 - 濃度（濃度レベルの指定範囲の設定は、用紙情報に含まない（印刷設定の値で一意）） - 印字幅設定 - 印刷開始制御 - コンビニ -EAN128 設定	用紙情報として設定可能な情報 - 垂直／水平／オーバーレイ位置 - 印字幅設定 - 印刷開始制御 - コンビニ -EAN128 設定	用紙情報として設定可能な情報 - 垂直／水平／オーバーレイ位置 - 印字幅設定 - コンビニ -EAN128 設定 PDF ファイル出力モデルで追加された上記以外の用紙情報は「 7.1.3 用紙情報設定 」(P.86) 参照
	印刷単位	富士通メインフレームのライタ操作に依存	←	ファイルサーバーへの PDF ファイル単位 (*6)
	ジョブ名表示 (APS ライタ使用時のみ)	プリンター装置の主操作パネル	チャンネル接続機構オプションの運用管理端末	本装置の運用管理端末 (*7)
	印刷完了の確認	富士通メインフレームから確認	←	- 本装置の運用管理端末で送信完了済を確認 - ファイルサーバーの送信先フォルダーに格納されていることを確認 (*5)
	操作方法	プリンター装置の主操作パネルで操作	プリンター装置の主操作パネル、およびチャンネル接続機構オプションの Web-UI で操作	ファイルサーバーのコンソール、および本装置の Web-UI で操作 (*5)
	装置のトラブル対処	プリンター装置トラブルの富士通メインフレーム報告あり	- チャンネル接続機構オプショントラブルの富士通メインフレーム報告あり - プリンター装置トラブルの富士通メインフレーム報告あり	- 本装置トラブルの富士通メインフレーム報告あり - ファイルサーバートラブルの富士通メインフレーム報告なし (*5)
		プリンター装置の操作パネルでトラブル要因を確認して対処	プリンター装置の主操作パネル、またはチャンネル接続機構オプションの Web-UI でトラブル要因を確認して対応	本装置の Web-UI またはファイルサーバーで、トラブル要因を確認して対応してください。 (*5)

分類	項目	従来構成		富士通メインフレーム + 本装置 + ファイルサーバー
		富士通メインフレーム + PS5000 シリーズ (BMC/PSD 接続)	富士通メインフレーム + PS5000 シリーズ (FCLINK 接続)	
運用	電源連動制御	富士通メインフレーム からプリンター電源 ON/OFF 指示が可能	富士通メインフレーム からプリンター装置の 電源 ON/OFF 指示が可 能 (*8) 富士通メインフレーム またはプリンター装置 から、チャンネル接続機 構オプションの電源 ON/OFF の指示は不可	非サポート
設置	設置性	プリンター装置のみ	プリンタ装置 + チャン ネル接続機構オプション (*9) + クライアント PC (運用管理端末) (*10)	本装置 (*9) + ファイル サーバー + クライアン ト PC (運用管理端末) (*10) + コンソール (*10)
	接続 (ケーブルの敷設)	富士通メインフレーム - プリンター装置間を BMC チャンネルケーブル で接続	• FCLINK ケーブル 富士通メインフレー ム - チャンネル接続機 構オプション間 • ツイストペアケー ブル チャンネル接続機構 オプション - プリン ター装置間 チャンネル接続機構 オプション - 運用管 理端末間 チャンネル接続機構 オプション - UPS 間	• FCLINK ケーブル 富士通メインフレー ム - 本装置間 • ツイストペアケー ブル 本装置 - ファイル サーバー間 本装置 - 運用管理端 末間 本装置 - UPS 間
	無停電電源装置 (UPS)	PS5600C: プリンター 装置に内蔵 PS5110B: プリンター 装置に内蔵 (*11)	PS5600CL: プリンター 装置に内蔵 PS5110BL: 非サポート チャンネル接続機構オプ ション: サポート	本装置: サポート (*12) ファイルサーバー: (*13)

- *1: 運用管理端末用の PC との共用は可能です。
- *2: 本装置では、解像度 600dpi に変換して出力されます。GS1-128 (料金代理収納用) バーコードがある帳票は、解像度 600dpi または 1200dpi で印刷をしてください。
- *3: コピーセパレーションとは、用紙のミシン目上の左端に 1 本または 2 本の短いたて棒のマーク (コピーセパレーションマーク) を印刷するもので、オペレーターの用紙の仕分けを支援するものです。
- *4: マークフォームとは、ジョブの切れ目が分かるように、用紙のミシン目にマーク (ジョブセパレーションマーク) 付きの白紙ページを出力するものです。
- *5: 本装置は、ホストジョブを PDF ファイルに変換し、そのファイルをファイルサーバーに格納するまでの機能を搭載した装置です。印刷は、実際に使用されるプリンター装置の機能を使用して行います。詳細は、プリンター装置の取扱説明書を確認してください。
- *6: 富士通メインフレームから受信した印刷データは、必要に応じて分割された PDF ファイルとしてファイルサーバーへ送信されます。詳細は、[\[7.1.14 PDF ファイル設定 \(ファイル分割\)\] \(P.122\)](#) を参照してください。
- *7: 設定により、PDF ファイル名にジョブ名を含めることが可能です。詳細は、[\[7.1.13 PDF ファイル設定 \(ファイル名\)\] \(P.117\)](#) を参照してください。
- *8: PS5600CL の SCCI のみです。

- *9: ラックマウントタイプ (1U) のため、サーバーラックへの搭載が必要です。
- *10: 運用管理端末を設置するため、机が必要です。
- *11: チャンネル接続機構オプション (PS5110B10) 搭載時のみです。
- *12: サポートする無停電電源装置 (UPS) は、[【付録 F 周辺機器 \(推奨\)】 \(P.216\)](#) を参照してください。
- *13: ファイルサーバーに対応している UPS をお客様にて設置してください (任意)。

付録 C 設置諸元

本装置の設置条件を以下に示します。

表 C.1 設置条件

項目	仕様
外形寸法（幅 × 奥行き × 高さ）	483mm×871mm×43mm（1U）
質量	約 14.9kg（19.1kg：ラックレール含む）
入力電源	AC 100V±10%（50/60Hz）
消費電力（皮相電力）	約 479W（484VA）
入力電源コンセント形状	3 ピン形状（平行 2P アース極付）、3m
温度条件	10 ～ 35℃（動作時）
湿度条件	8 ～ 85%（結露なきこと）
騒音	48dB(A)（動作時）
発熱量	約 1.725MJ/h

表 C.2 設置条件（ラック搭載）

項目	仕様
ラックでの取り付け時の奥行き	880mm
ラックサイズ	1U
19 インチラックマウント	対応

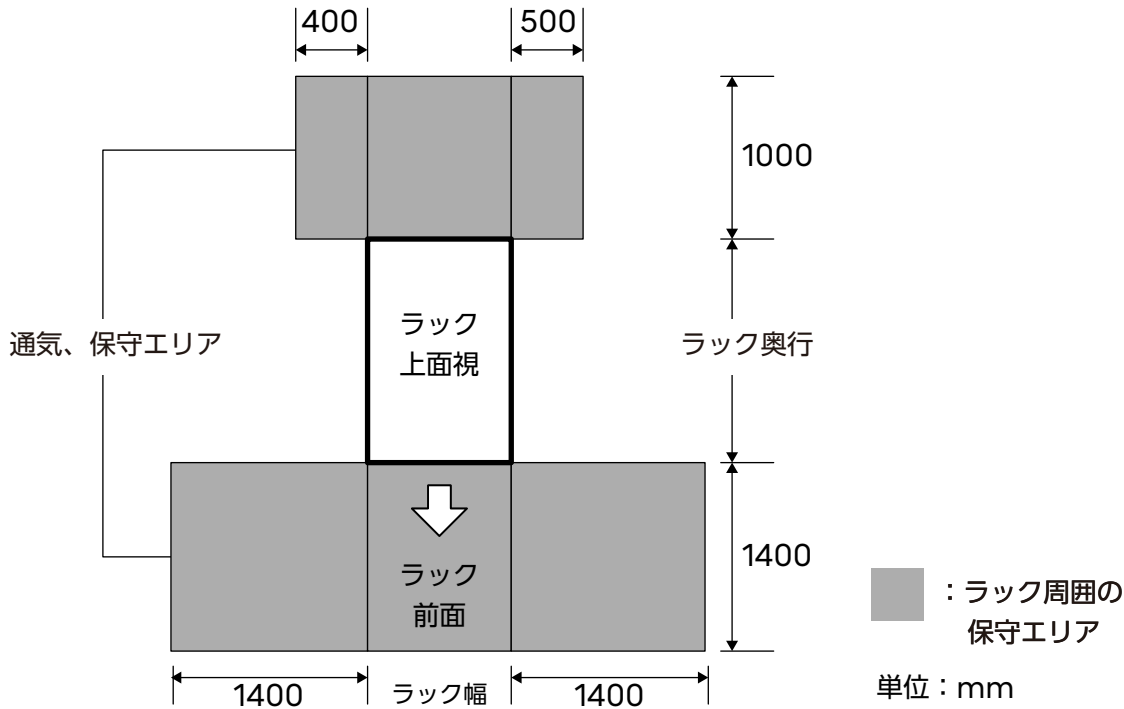


図 C.1 保守エリア

付録 D オプション機構

本装置のオプション機構を以下に示します。

表 D.1 オプション

項	名称	型名	JEF	JEF/AP	備考
1	FCLINK-SWL チャンネルオプション (*1)	PS-R101B51	○	○	FCLINK カード (SWL (Short Wavelength Laser : 短波長))
2	FCLINK-LWL チャンネルオプション (*1)	PS-R102B51	○	○	FCLINK カード (LWL (Long Wavelength Laser : 長波長))
3	拡張オーバレイ機構	PS-R100B52	○	○	基本部 4MB から 20MB 分までフォームオーバレイデータを収容可能にするために必要なオプション
4	拡張文字パターン出力機構	PS-R100B53		○	JEF (ラインプリンタモード) で使用していた、明朝フォントまたはゴシックフォントの 7、9、12 ポイント以外に JEF/AP (ページプリンタモード) で任意の文字サイズ、教科書体や毛筆体など各種フォントを追加で使用する場合に必要メモリ。 JEF/AP (ページプリンタモード) 印刷時のみ有効 < PS-R100B54 必須 >
5	JEF/AP 出力機構	PS-R100B54		○	JEF/AP (ページプリンタモード) 印刷時に必要なオプション
6	拡張バーコード出力機構	PS-R100B55	○		JEF (ラインプリンタモード) にて GS1-128 (料金代理収納用) バーコードを印刷する場合に必要なオプション
7	QR コード出力機構	PS-R100B56	○	○	QR コード印刷をする場合に必要なオプション
8	PS5600 互換機構	PS-R100B57	○	○	本装置で標準の PS5110B ベースから PS5600C ベースに切り替えるオプションで、PS5600C から移行する場合の導入推奨オプション

*1: 必須選択オプションです。最低 1 台の選択が必須で、最大 2 台の搭載が可能です。FCLINK-SWL チャンネルオプションと FCLINK-LWL チャンネルオプションの混在搭載が可能で、接続するホストのインターフェースに合わせて選択します。

付録 E 装置添付品

本装置の装置添付品を以下に示します。[表 E.1](#) を参照して、添付品に漏れがないか確認してください。
万一、欠品などがありましたら、担当営業員に連絡してください。

- 添付のリカバリ／セットアップディスクは、システムの変更時やファームウェアの再インストール時に必要となるため、大切に保管してください。
- 本書に記載の添付品のほかに、注意書きの紙が入っている場合があります。

表 E.1 装置添付品

項	名称	個数	用途／備考
1	電源コード	1 本	3m、平行 2 ピン、アース極付き
2	ラックレールキット	1 式	ラックレール (1 セット) ネジ (4 個)
3	クリアファイルケース	1 個	
4	ケーブルクランプホルダー	1 個	
5	Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 PDF ファイル出力モデル (PS-R13NBx) 取扱説明書 (CD)	1 枚	本書
6	SSD リカバリディスク Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 PDF ファイル出力モデル (PS-R13NBx) (DVD)	1 枚	保守作業用に使用
7	システムボード セットアップディスク (BIOS/iRMC) Fujitsu メインフレーム帳票変換装置 (CD)	1 枚	保守作業用に使用
8	はじめにお読みください	1 部	
9	安全上のご注意	1 部	
10	装置添付品	1 部	
11	試験成績書	1 部	
12	ライセンスシート	1 ～ 6 枚	ご購入されたオプション (*1) ごとに 1 枚添付されます。 ライセンスは保守技術員 (担当 CE) が登録します。

- *1: 対象オプションは、以下のとおりです。
- 拡張オーバレイ機構 (PS-R100B52)
 - 拡張文字パターン出力機構 (PS-R100B53)
 - JEF/AP 出力機構 (PS-R100B54)
 - 拡張バーコード出力機構 (PS-R100B55)
 - QR コード出力機構 (PS-R100B56)
 - PS5600 互換機構 (PS-R100B57)

付録 F 周辺機器（推奨）

使用を推奨する周辺機器を以下に示します。

表 F.1 推奨周辺機器

項	名称	型名	備考
1	Smart-UPS SMT 1500RMJ	PY-UPAR152	瞬時の停電や電圧低下時に電源を供給したり、長時間の停電時に本装置を正常に電源 OFF したりするための無停電電源装置
2	Smart-UPS SMT 1200RMJ	PY-UPAR122	
3	ネットワークマネジメントカード	PY-UPC02	Smart-UPS SMT 1500RMJ と Smart-UPS SMT 1200RMJ の LAN 接続用オプションカード LAN で接続することにより、UPS の状態監視や停電時に本装置の電源 OFF を自動で行うことが可能 UPS の背面パネルにある拡張用スロットに装着

付録 G 定期保守と本装置故障時のお願い

本装置の定期保守と故障時のお願い事項を記載します。

- 保守技術員用の PC が持ち込めない場合や「アクセス制御設定」が有効となっている場合に、お客様の運用管理端末を本装置のファームウェアアップデート作業などで使用する場合があります。
- 動作確認のため、お客様にファイルサーバーの操作をお願いする場合があります。
- 本装置の故障時、設定データを復元するにはバックアップは必須です。バックアップがない場合、お客様の設定が失われる可能性があります。

そのため、以下の対応を行ってください。

- バックアップの実施（[\[3.10 バックアップ\]](#) (P.47) 参照）：
本装置の設定内容を、初回設定時と設定変更後に必ずバックアップしてください。
- 保管場所の共有：
初回の定期保守時に、バックアップデータの保管場所を保守技術員にお知らせください。

付録 H ファイルサーバーの構築と設定

本装置にファイルサーバーを接続するための設定について説明します。
[表 H.1](#) のシステム要件に合った Windows Server を準備します。

表 H.1 ファイルサーバーのシステム要件

項目	仕様
OS	Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows Server 2025
ディスク	OS のシステム要件を満たすディスク容量＋ 業務用（PDF ファイル出力）に必要なディスク容量（*1）
LAN	2 系統以上の有線接続ができる 1Gbps 以上のネットワークカード 本装置との接続は 1 台につき、1 つのネットワークカードを割り当てることを推奨します。

*1: PDF ファイルを格納するために必要な容量を確保してください。目安として、用紙サイズ幅 15 インチ x 高さ 11 インチ、圧縮率 6.7%、5,000 ページの場合、PDF ファイルのサイズは約 2.32GB になります。

手順 ▶▶▶

1 本装置と接続するイーサネットアダプタの初期設定を行います。

表 H.2 イーサネットアダプタの設定

項目	設定値
IPアドレス	192.168.1.1（*1）
サブネットマスク	255.255.255.0（*1）

*1: 初期設定値です。お客様の環境に合わせて設定してください。

2 FTP 接続用のユーザーを作成します。

表 H.3 FTP 接続用ユーザー設定

項目	設定値
ユーザー名	PS-R13_USER（*1）
パスワード	31R-SP_PASS（*1）

*1: 初期設定値です。お客様の環境に合わせて設定してください。

3 FTP フォルダのアクセス権設定用グループを作成します。

表 H.4 アクセス権設定用グループ設定

項目	設定値
グループ名	FTP-Group（*1）
メンバー	手順2 で設定したユーザー名を含むメンバーを登録（*2）

*1: 名前は任意で設定してください。本書では上記名前 で説明します。

*2: FTP フォルダから PDF ファイルを取り出すユーザーなど、運用に合わせてメンバーを登録してください。

4 FTP サーバー機能をインストールします。

表 H.5 FTP サーバー機能

項目	設定値
追加する役割	Webサーバー (IIS)
役割サービスの選択	「Web サーバー」の選択を外す 「FTP サーバー」を選択する (FTP 拡張は不要) 「管理ツール」の「IIS 管理コンソール」を選択する

5 FTP サーバーの設定を行います。

表 H.6 FTP サーバー設定

大項目	項目	設定値
サイト情報	FTPサイト名	任意の名称
	コンテンツディレクトリ	FTPルートフォルダー 例) D:\¥FTP
バインドとSSLの設定	バインド	IPアドレス
		ポート
		仮想ホスト名を有効にする
	FTPサイトを自動的に開始する	
	SSL	
認証および承認の情報	認証	匿名
		基本
	承認	アクセスの許可
		指定ユーザー
		読み取り
		書き込み
FTPログ	W3Cフィールドの選択	ログに記録する情報の既定値に加え、 「受信バイト数」もチェックありとする

*1: 初期設定値です。[手順1](#)で設定したイーサネットアダプタのIPアドレスを設定してください。

*2: 初期設定値です。[\[7.2.4 送信先設定\] \(P.165\)](#)で設定した送受信ポートを設定してください。

*3: 初期設定値です。[手順2](#)で設定したユーザー名を設定してください。

6 ファイアウォールの設定を行います。

本装置からファイルサーバーへPingコマンドを発行するため、ファイルサーバーで応答許可の設定を行ってください。ここでは、Windows Server に標準搭載されている Windows Defender ファイアウォールでの設定方法について説明します。ほかのセキュリティ対策アプリケーションを使用する場合は、その説明書に従って ping 応答と FTP サーバーの通信設定を行ってください。

[表 H.7](#) の内容で、「受信の規則」で新しい規則を作成してください。

表 H.7 ping 設定

大項目	項目	設定値
規則の種類	カスタム	チェックあり
プログラム	すべてのプログラム	チェックあり
	サービス	カスタマイズ不要

大項目	項目	設定値
プロトコル およびポート	プロトコルの種類	ICMPv4
	インターネット制御メッセージ プロトコル (ICMP) の設定	特定の種類のICMP 「エコー要求」のみチェックあり
スコープ	ローカルIPアドレス	任意のIPアドレス
	リモートIPアドレス	192.168.1.2 (*1)
操作	接続を許可する	チェックあり
プロファイル	ドメイン	チェックあり
	プライベート	チェックあり
	パブリック	チェックあり
名前	名前	Fujitsu メインフレーム 帳票変換装置 (ping)
	説明 (オプション)	任意 (設定なしでも可)

*1: 初期設定値です。お客様の環境に合わせて設定してください。

FTP サーバーの通信設定を行います。

FTP サーバーを構築すると既定で FTP 用のファイアウォール例外が有効となり、任意のリモート IP アドレスから接続が可能となります。接続するリモート IP アドレスを制限する場合は、[表 H.8](#) に従い、「受信の規則」で既存の「FTP サーバー (FTP トラフィック受信)」規則を変更してください。

表 H.8 FTP サーバー通信設定

大項目	項目	設定値
スコープ	ローカルIPアドレス	任意のIPアドレス
	リモートIPアドレス	192.168.1.2 (*1)

*1: 初期設定値です。お客様の環境に合わせて設定してください。

7 Windows Server を再起動します。



付録Ⅰ プレプリントデータファイルの形式

本装置で扱えるプレプリントデータの仕様について説明します。

表 I.1 プレプリントデータの仕様

項目	説明
ファイル形式	TIFF6.0 アルファチャンネル：非サポート マルチページ：非サポート
解像度	600dpi
カラー指定	CMYK、グレースケール、モノクロ 2 階調をサポート CMYK カラーは 8bit/ チャンネルのみサポート
イメージサイズ	最大 幅 20.5 インチ × 高さ 15 インチ
ファイル名	ファイル名の文字数は、拡張子を含め、最大 48 文字です。 利用可能文字は、半角英数字と記号 (*1) です。
登録数	最大 511 個
1 ファイルの最大サイズ	423MB
登録ファイルの最大合計サイズ	30GB

1: " (ダブルクォーテーション)、\$ (ドルマーク)、& (アンパサンド)、' (シングルクォート)、 (アスタリスク)、, (カンマ)、/ (スラッシュ)、: (コロン)、; (セミコロン)、< (小なり)、= (イコール)、> (大なり)、? (クエスチョン)、@ (アットマーク)、¥ (円マークまたはバックスラッシュ)、` (バッククォート)、| (パイプライン)、および空白は使用できません。[(始め角括弧) と] (終わり角括弧) は同時に設定できません。また、ファイルの先頭に . (ピリオド) と ~ (チルダ) は使用できません。

Fujitsu メインフレーム帳票変換装置
PDF ファイル出力モデル
取扱説明書

C145-0023-01Z3

発行日 2025 年 8 月
発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書の内容は、細心の注意を払って制作いたしましたが、本書中の誤字、情報の抜け、本書情報の使用に起因する運用結果に関しましては、責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU